

戸別収集実験事業アンケート調査
報 告 書

令和 8 年 2 月
茅ヶ崎市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の内容	1
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
II 市民調査結果	3
1. 回答者の属性	3
(1) 年齢	3
(2) 世帯構成	3
(3) 居住地域	3
(4) 住居形態	4
(5) 自治会加入状況	4
(6) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況	5
(7) 年齢×居住地域	5
(8) 世帯構成×居住地域	6
(9) 住居形態×世帯構成	7
(10) 住居形態×居住地域	8
(11) 自治会加入状況×住居形態	9
(12) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況×住居形態	9
(13) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況×自治会加入状況	10
2. “燃やせるごみのごみ出し”について	11
(1) ごみ出し負担の変化	11
(2) ごみ排出量の変化	17
(3) ごみ減量・分別意識の変化	23
(4) 鳥獣対策の方法	35
3. “集積場所（ステーション）の維持管理負担の変化”について	51
(1) ステーションを起因とする諸問題の認知	51
(2) ステーションの維持管理負担の変化	57
(3) ステーションの維持管理負担が減った理由	63
(4) ステーションの維持管理負担が増えた理由	68
4. “戸別収集に対するニーズなど”について	69
(1) 戸別収集のメリット	69
(2) 戸別収集のデメリット	77
(3) 戸別収集の継続意向	85
(4) 戸別収集の継続を希望する理由	93
(5) 戸別収集の進め方	101
(6) 戸別収集の対象にすべき品目	109
(7) 戸別収集の継続を希望しない理由	119

(8) 本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般について気づいた点	129
III 事業者調査結果	130
1. 回答者の属性	130
(1) 業種	130
(2) 事業所所在地域	130
(3) 店舗等の建物形態	131
(4) 自治会加入状況	131
(5) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況	132
2. ”燃やせるごみのごみ出し”について	133
(1) ごみ出し負担の変化	133
(2) ごみ排出量の変化	134
(3) ごみ減量・分別意識の変化	135
(4) 鳥獣対策の方法	136
3. “集積場所（ステーション）の維持管理負担の変化”について	137
(1) ステーションを起因とする諸問題の認知	137
(2) ステーションの維持管理負担の変化	138
(3) ステーションの維持管理負担が減った理由	139
(4) ステーションの維持管理負担が増えた理由	140
4. “戸別収集に対するニーズなど”について	141
(1) 戸別収集のメリット	141
(2) 戸別収集のデメリット	142
(3) 戸別収集の継続意向	143
(4) 戸別収集の継続を希望する理由	144
(5) 戸別収集の進め方	145
(6) 戸別収集の対象にすべき品目	146
(7) 戸別収集の継続を希望しない理由	147
(8) 本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般について気づいた点	148
IV 調査票	149

I 調査の概要

1. 調査の目的

戸別収集による影響や効果を検証するため、排出者である市民及び事業者の意識の変化等を把握することを目的とする。

2. 調査設計

市民調査

- (1) 調査地域 戸別収集実験事業対象地域（幸町、芹沢、共恵一丁目、共恵二丁目、中海岸一丁目、浜竹四丁目、東海岸北一丁目、東海岸北二丁目の計8地区）
- (2) 調査対象 調査地域内に居住する全世帯
- (3) 対象者数 7,605世帯
- (4) 抽出方法 住民基本台帳に基づく調査地域内の全世帯に対する全数調査
- (5) 調査方法 調査票を発送し、郵送回答、または、インターネットによる回答
- (6) 調査期間 令和7年10月1日～10月15日

事業者調査

- (1) 調査地域 戸別収集実験事業対象地域（幸町、芹沢、共恵一丁目、共恵二丁目、中海岸一丁目、浜竹四丁目、東海岸北一丁目、東海岸北二丁目の計8地区）
- (2) 調査対象 調査地域内に事業所を構え、「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」を提出した事業者
- (3) 対象者数 256者
- (4) 抽出方法 「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」を提出した全事業者に対する全数調査
- (5) 調査方法 調査票を発送し、郵送回答、または、インターネットによる回答
- (6) 調査期間 令和7年10月1日～10月15日

3. 調査の内容

市民調査

- (1) 回答者の属性
- (2) “燃やせるごみのごみ出し” について
- (3) “集積場所（ステーション）の維持管理負担の変化” について
- (4) “戸別収集に対するニーズなど” について

事業者調査

- (1) 回答者の属性
- (2) “燃やせるごみのごみ出し” について
- (3) “集積場所（ステーション）の維持管理負担の変化” について
- (4) “戸別収集に対するニーズなど” について

4. 回収結果

市民調査

- (1) 標本数 7,605件
- (2) 有効回収数 4,266件 (郵送解答：2,565件、インターネット回答：1,701件)
- (3) 有効回収率 56.1%

事業者調査

- (1) 標本数 256件
- (2) 有効回収数 151件 (郵送解答：97件、インターネット回答：54件)
- (3) 有効回収率 59.0%

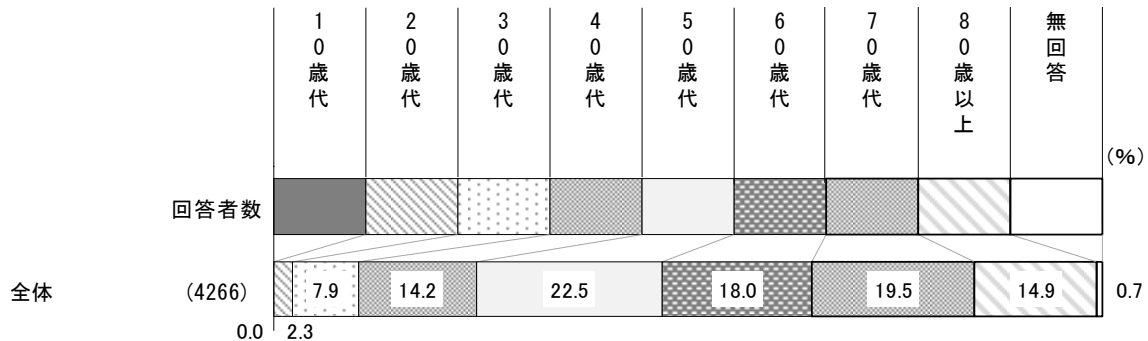
5. 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数は総数として掲載した。その比率は100.0%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100.0%を上回ることがある。
- (4) クロス集計では、分析軸の「無回答」を掲載していないため、分析軸における各項目の総数の合計値と全体の数値が合わない場合がある。
- (5) クロス集計時に、総数が小さい数字になる場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。また、総数が20に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない。

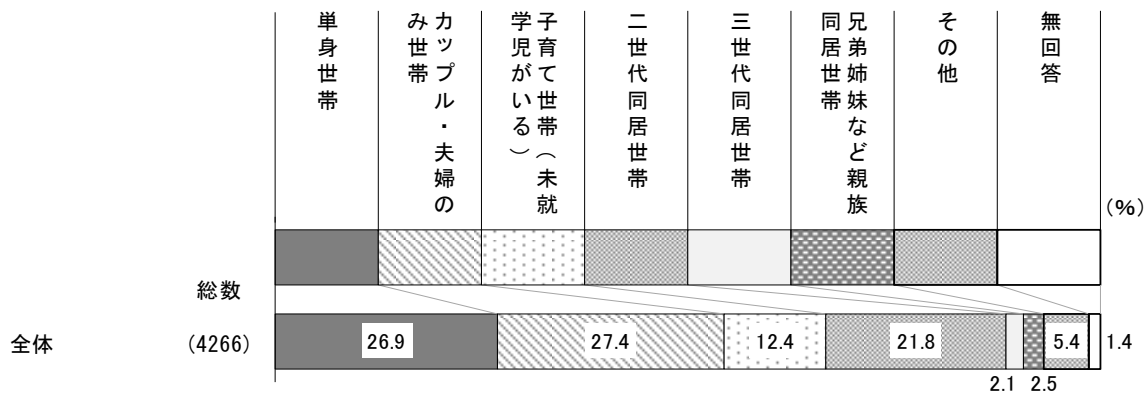
II 市民調査結果

1. 回答者の属性

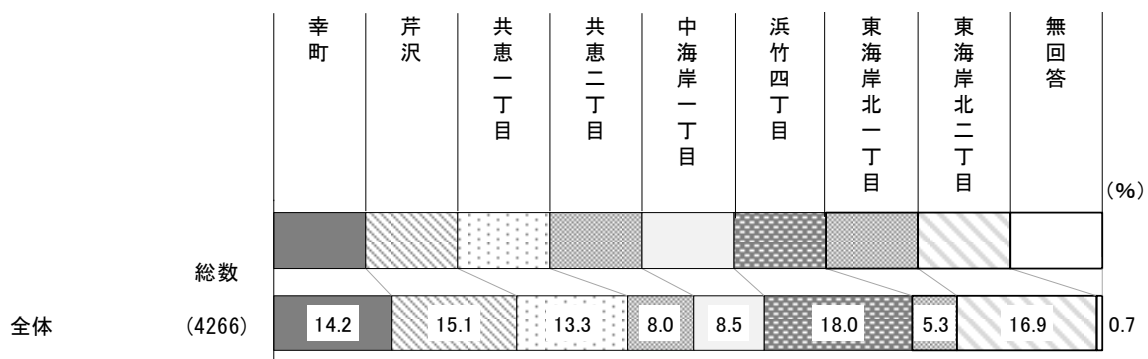
(1) 年齢



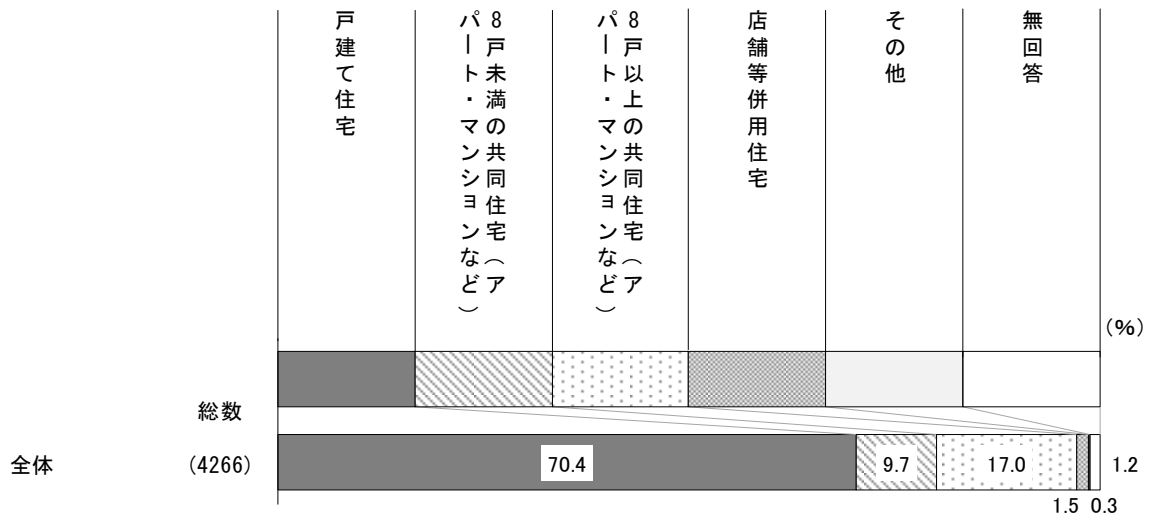
(2) 世帯構成



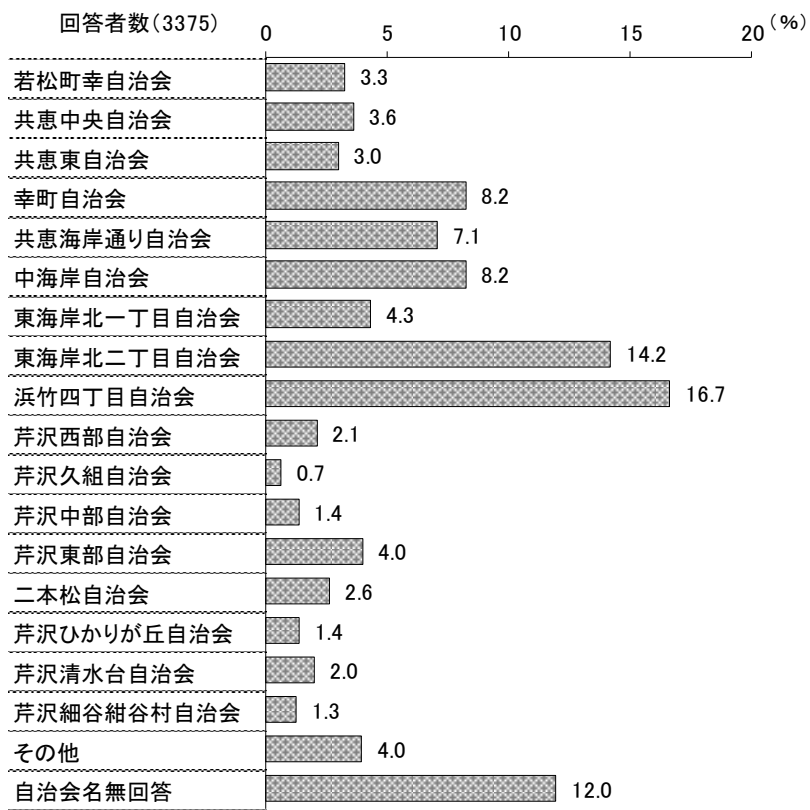
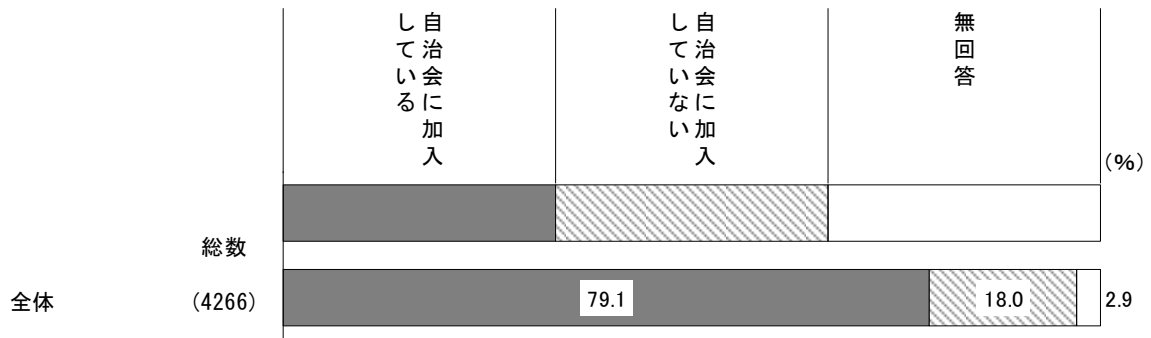
(3) 居住地域



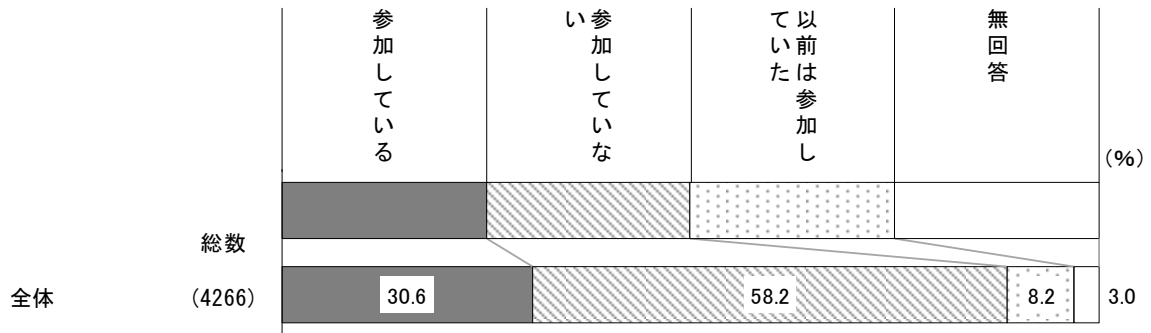
(4) 住居形態



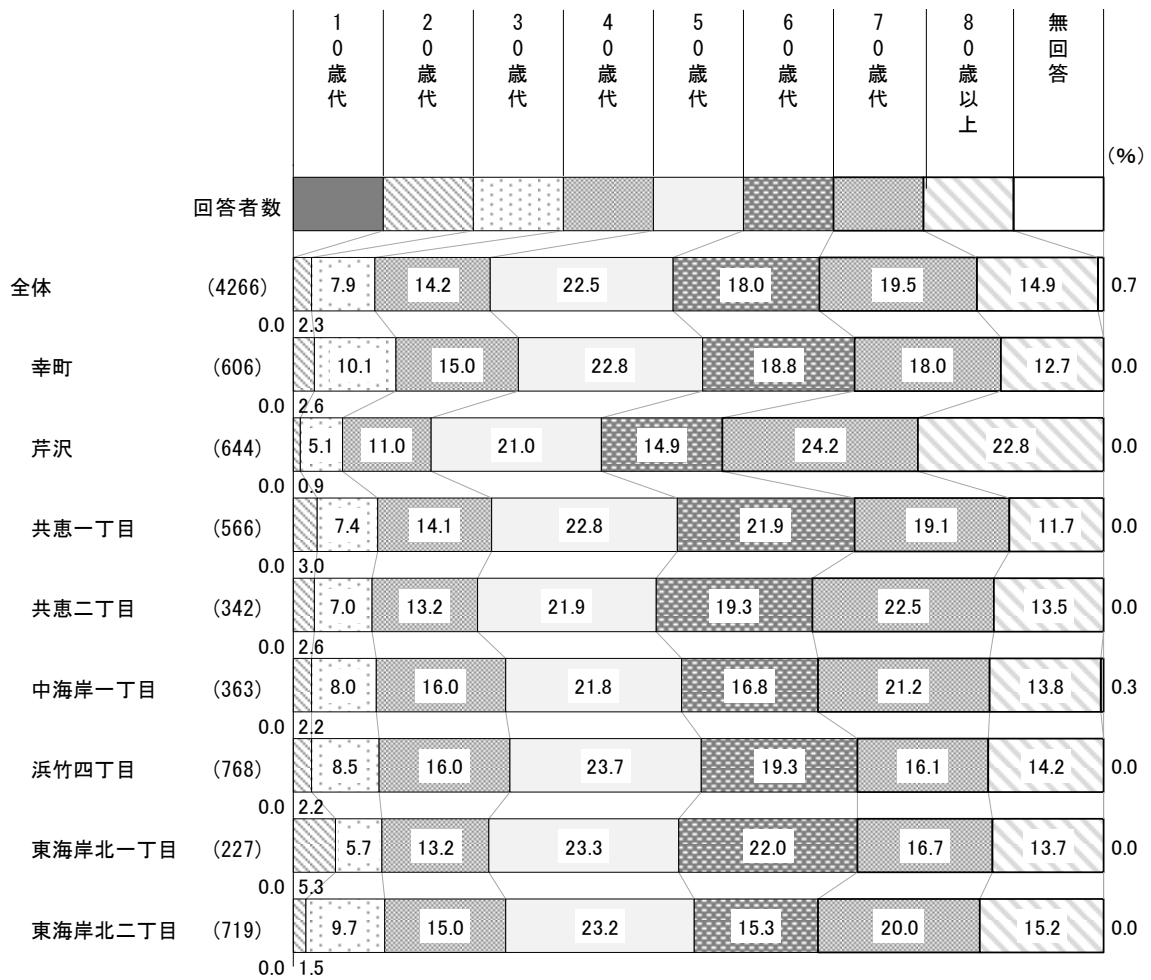
(5) 自治会加入状況



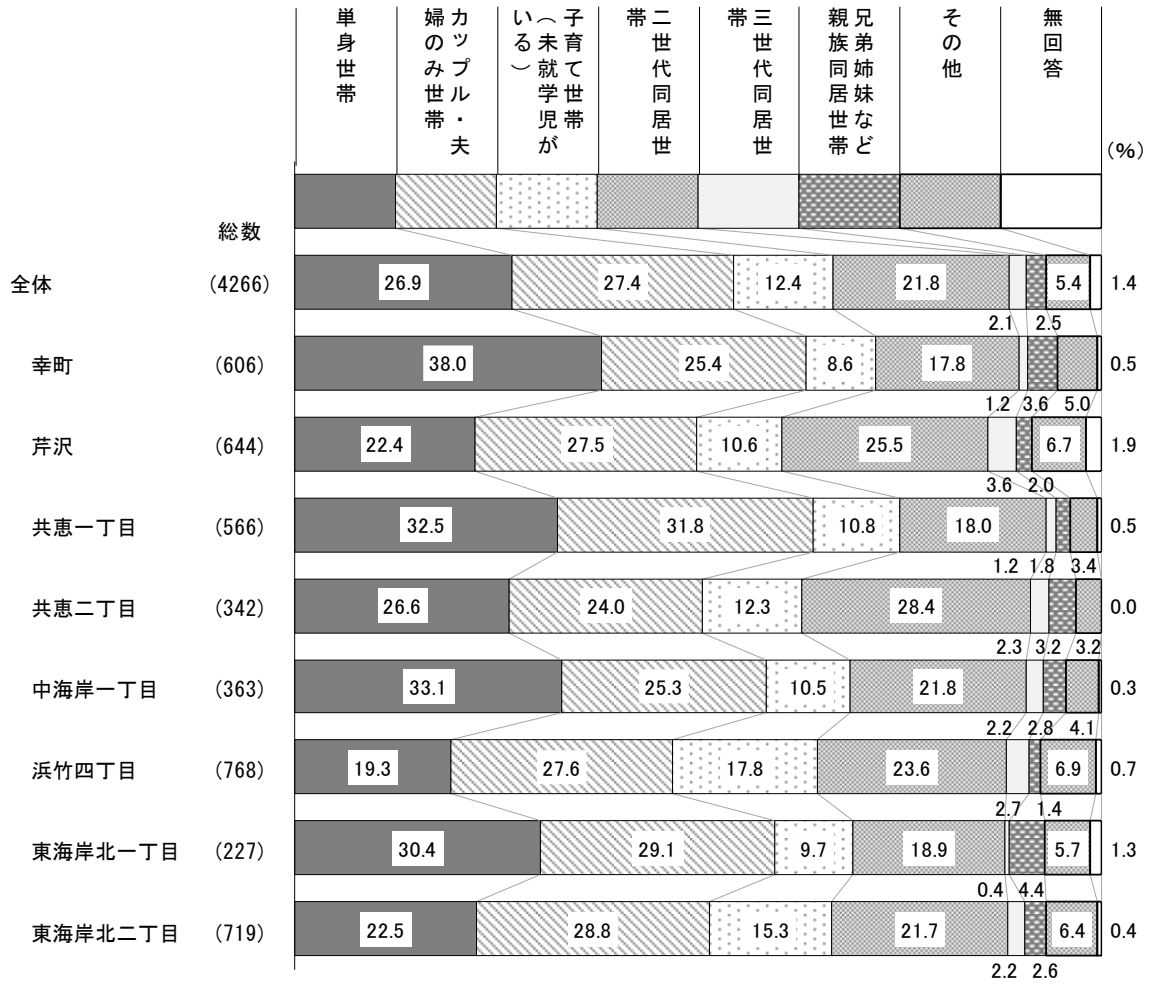
(6) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況



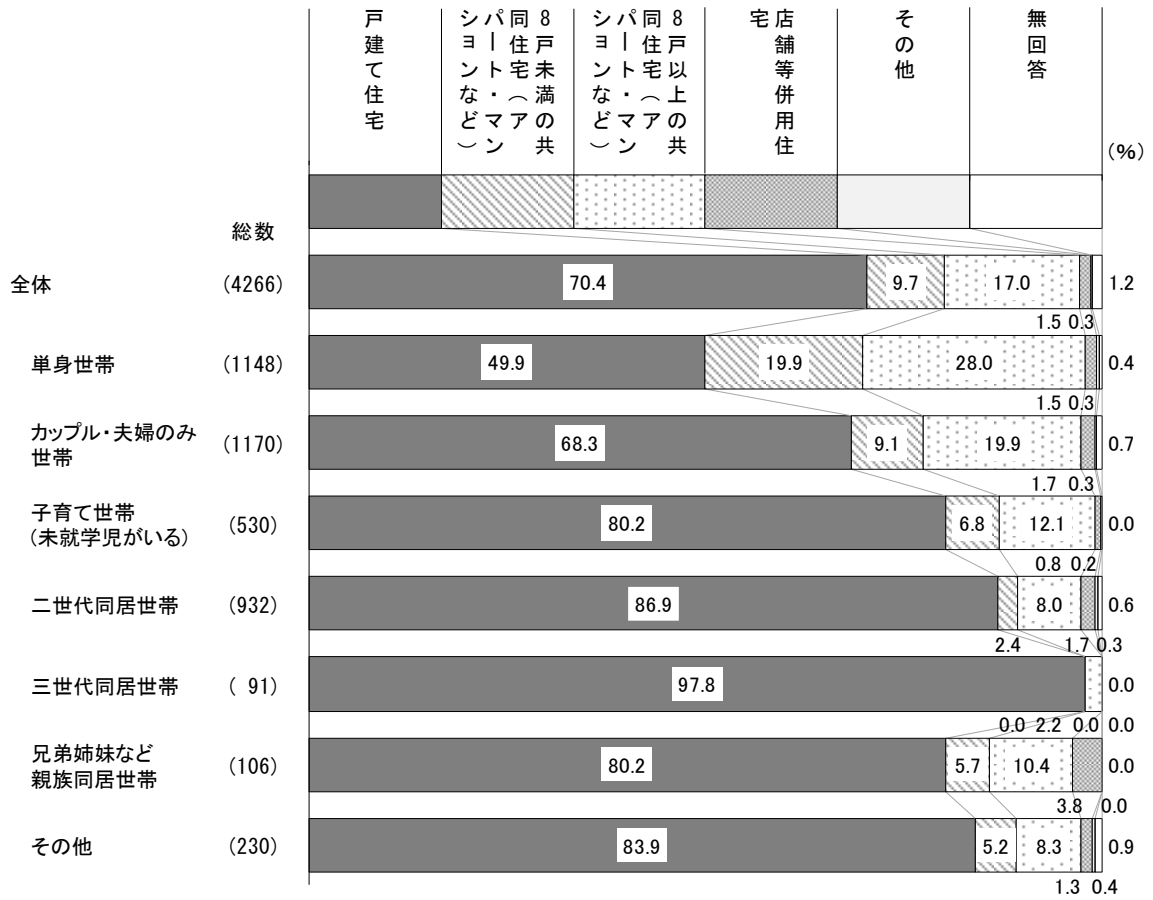
(7) 年齢×居住地域



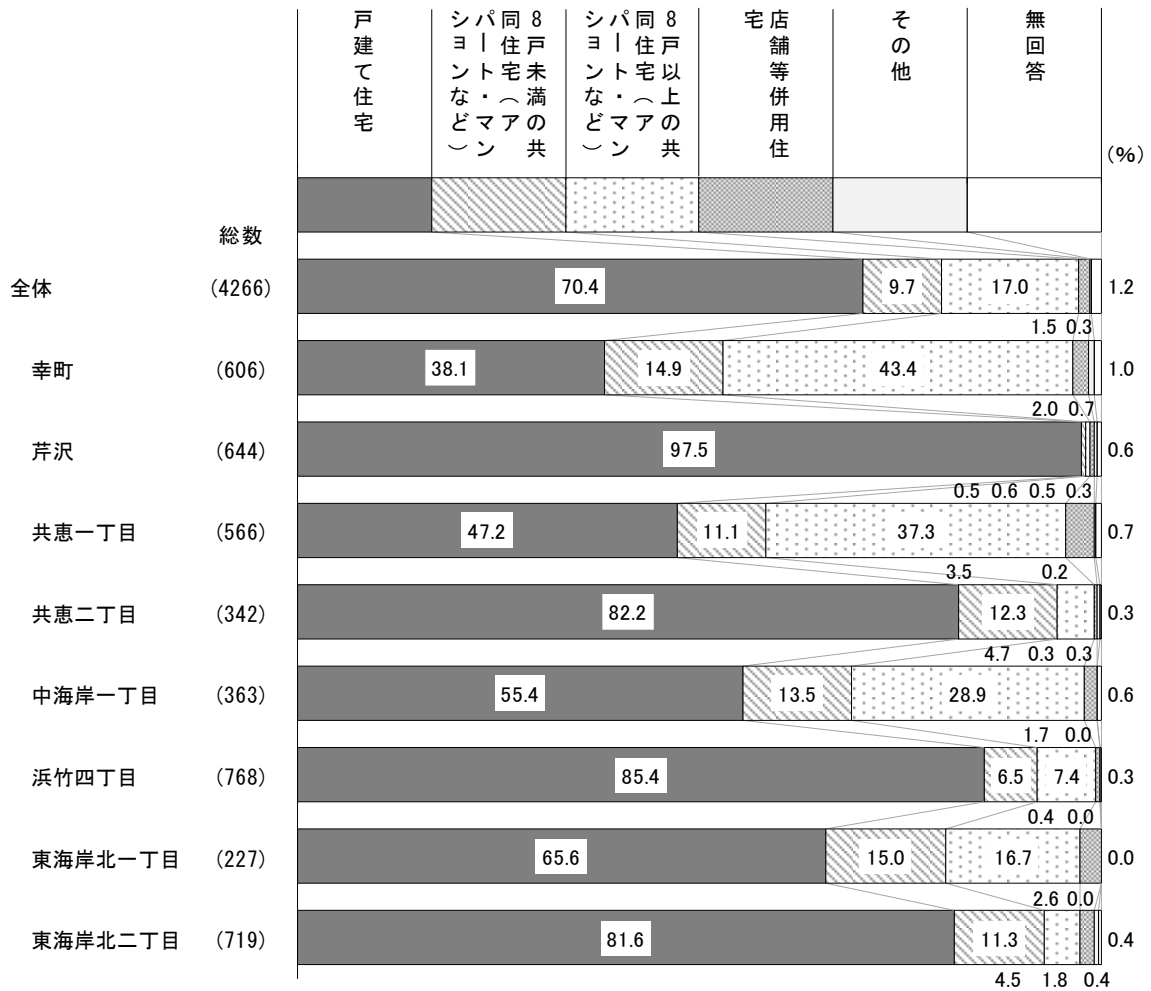
(8) 世帯構成×居住地域



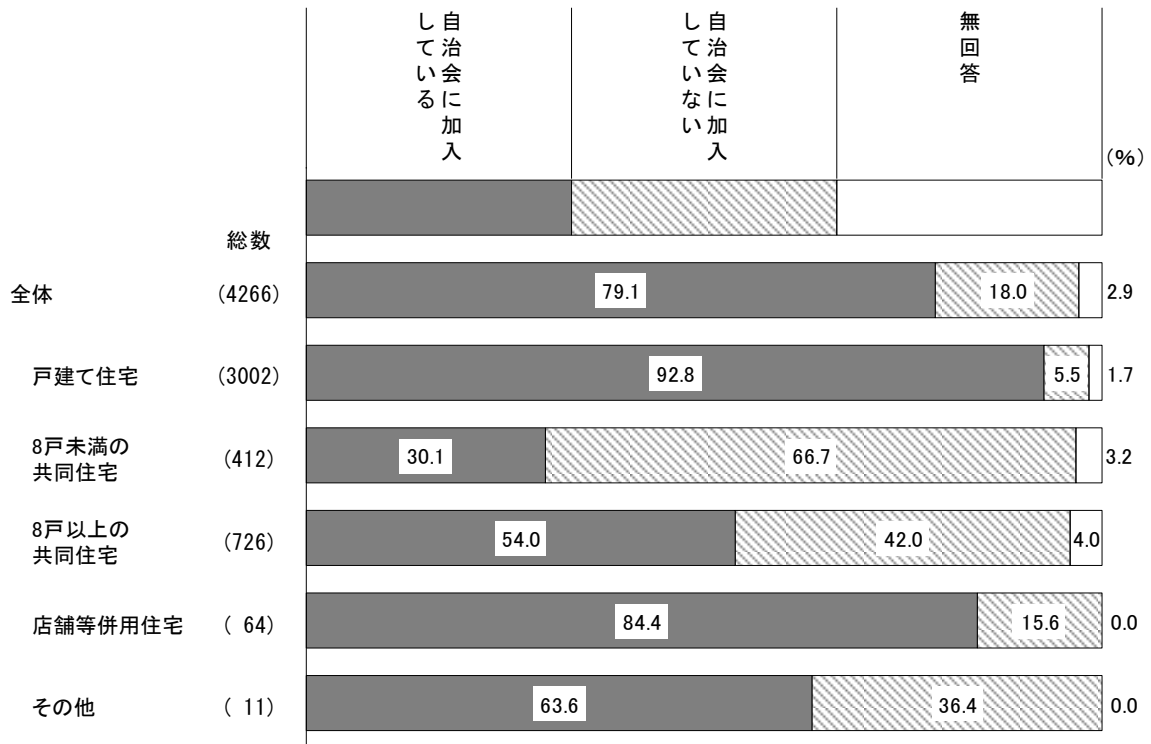
(9) 住居形態×世帯構成



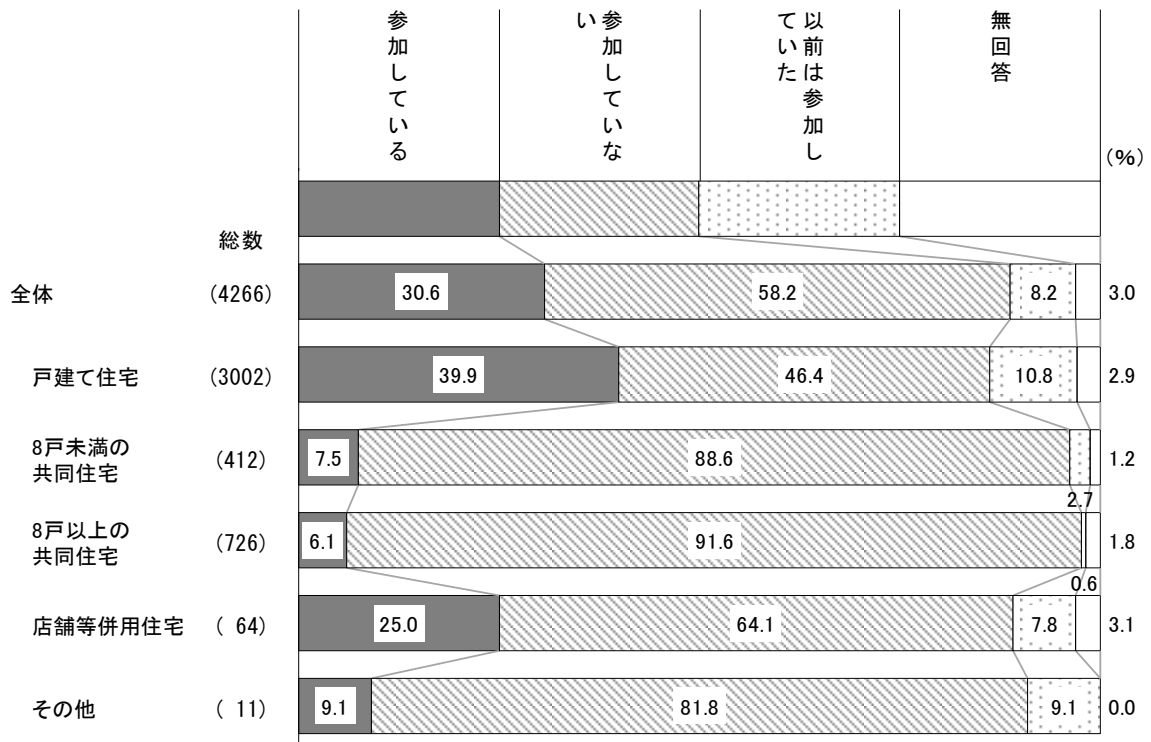
(10) 住居形態×居住地域



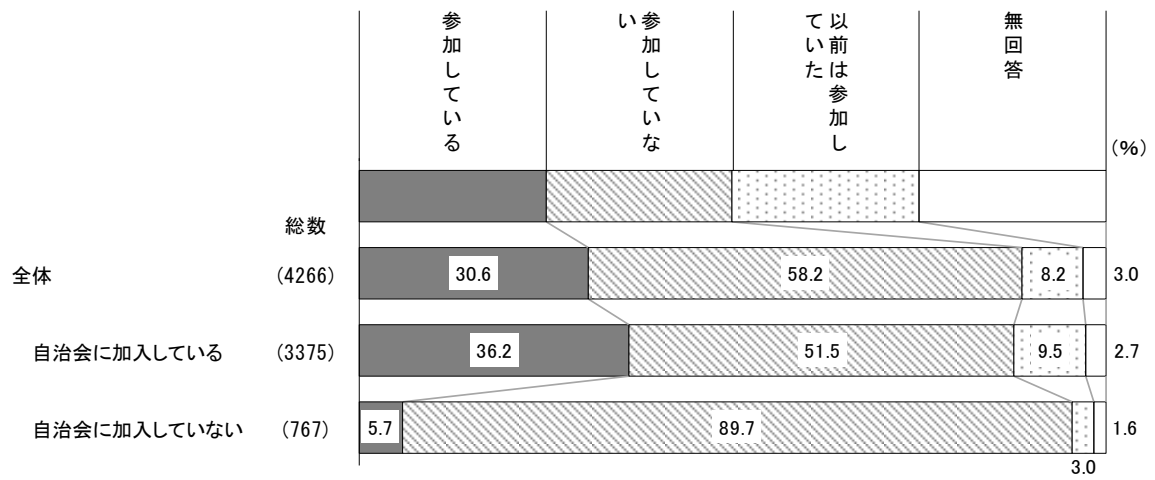
(1 1) 自治会加入状況×住居形態



(1 2) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況×住居形態

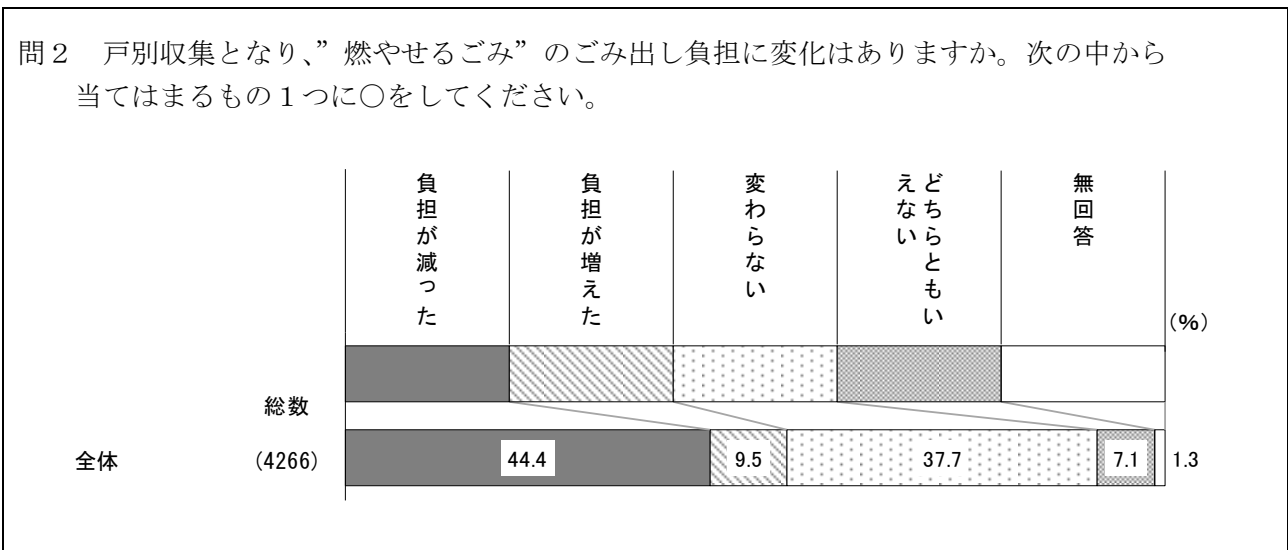


(13) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況×自治会加入状況



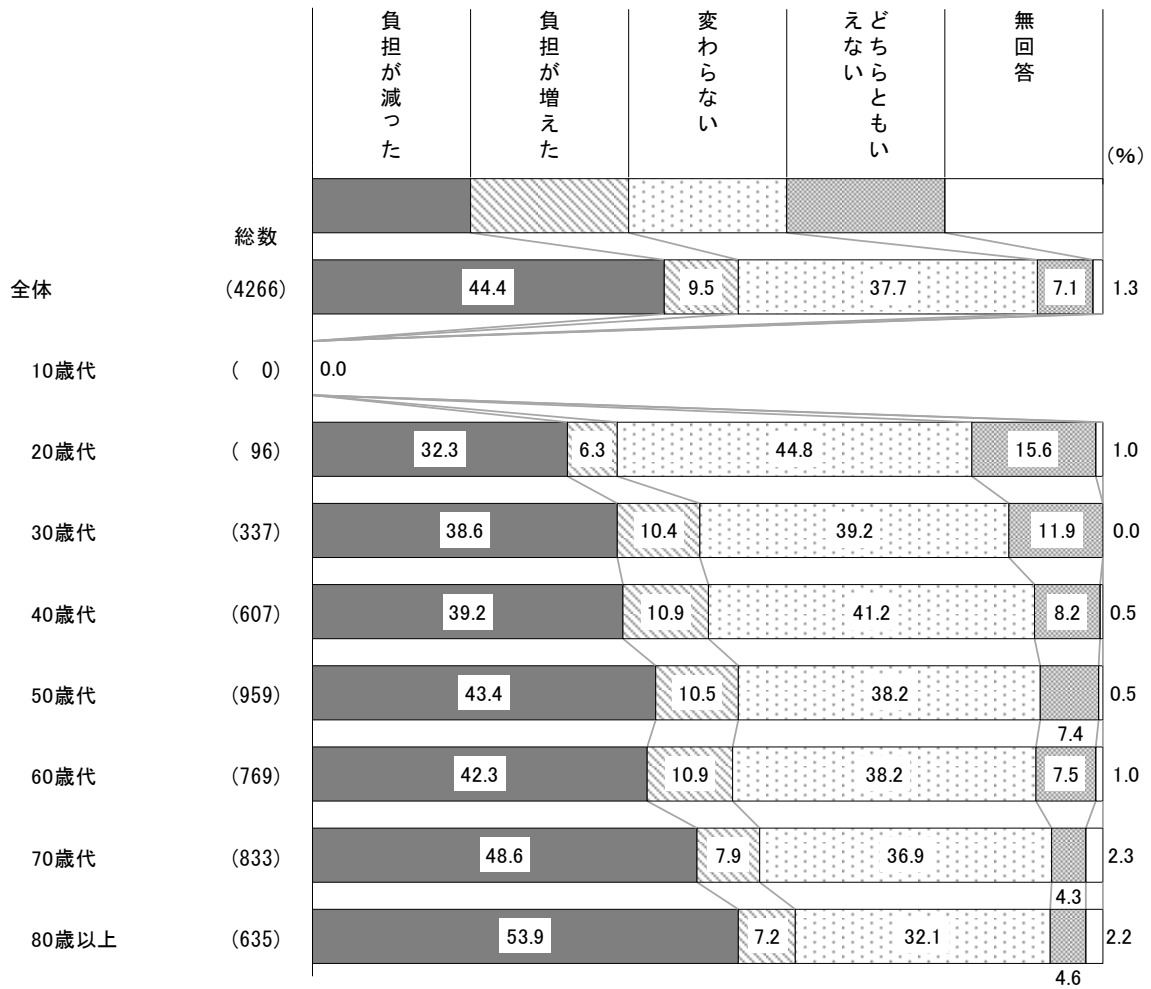
2.”燃やせるごみのごみ出し”について

(1) ごみ出し負担の変化



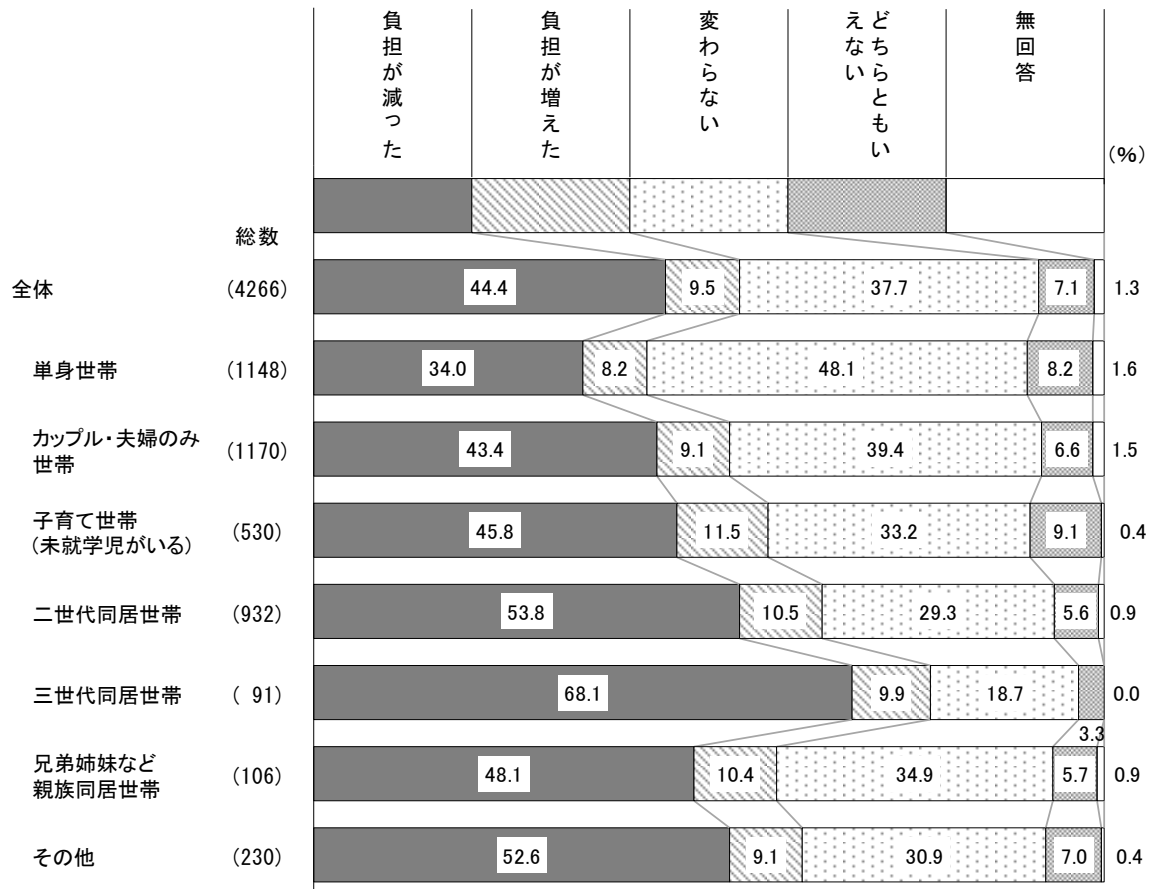
「燃やせるごみ」のごみ出し負担の変化について聞いたところ、「負担が減った」は44.4%、「変わらない」は37.7%、「負担が増えた」は9.5%となっている。

【年齢別】



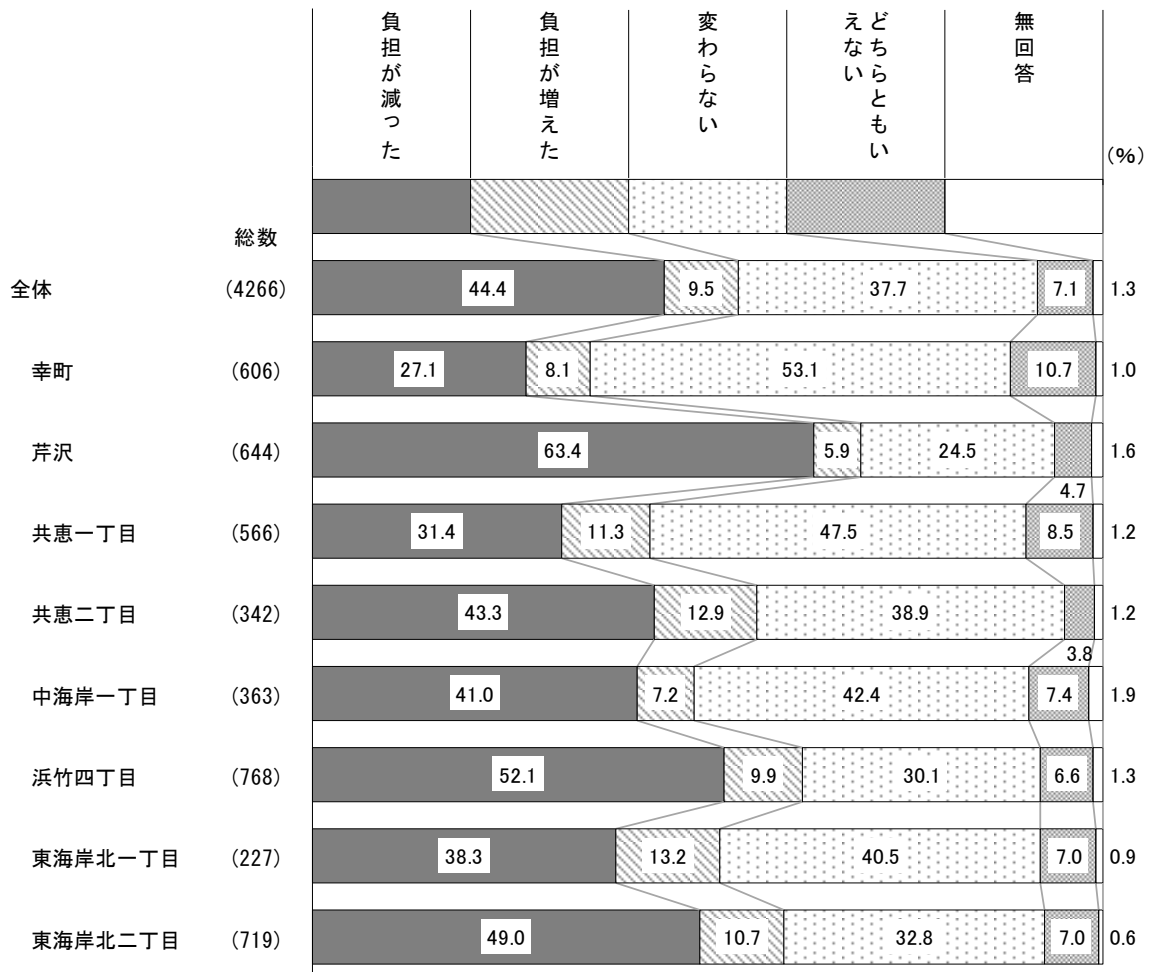
年齢別でみると、「負担が減った」は80歳以上で53.9%、「変わらない」は20歳代で44.8%となっている。

【世帯構成別】



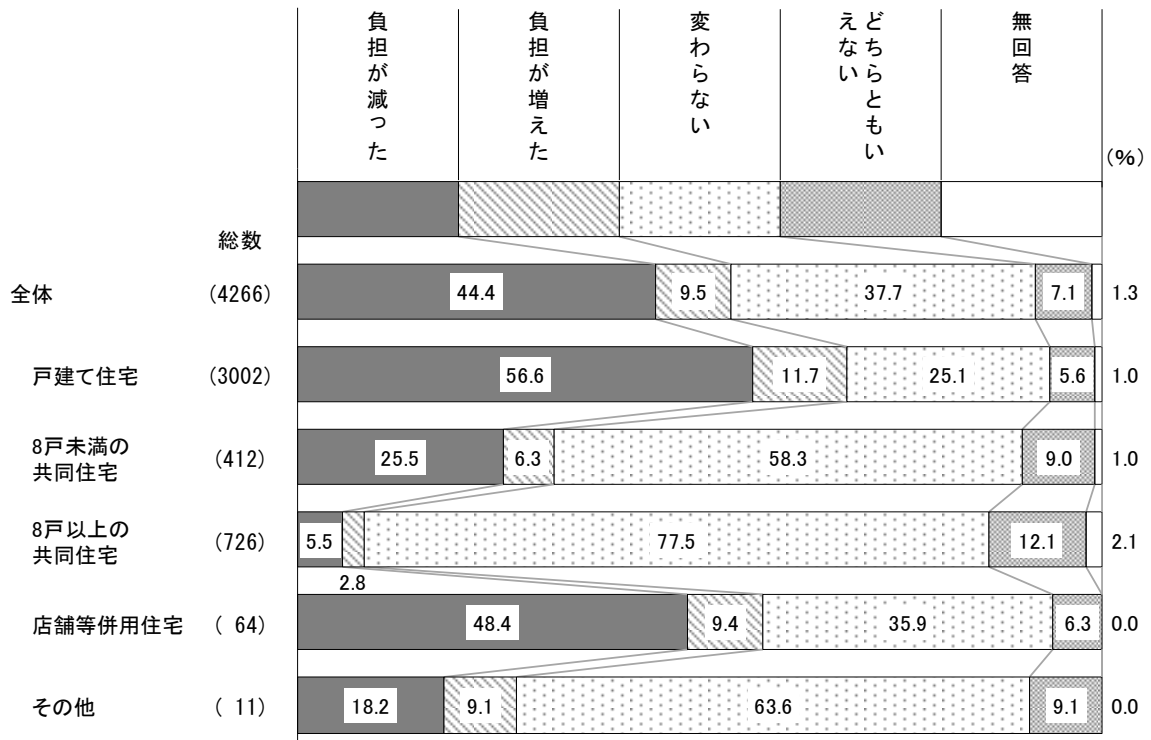
世帯構成別で見ると、「負担が減った」は三世帯同居世帯で68.1%、「変わらない」は単身世帯で48.1%となっている。

【居住地域別】



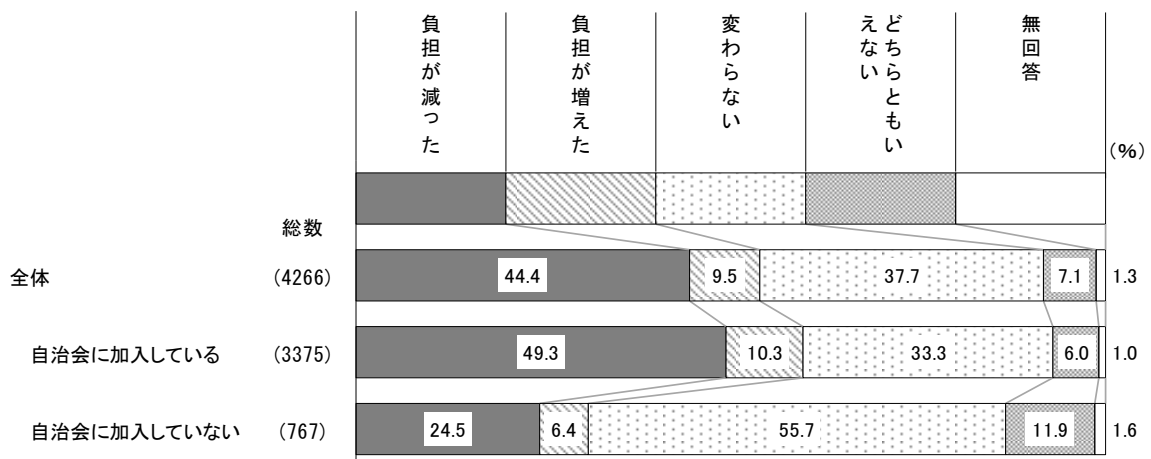
居住地域別で見ると、「負担が減った」は芹沢で63.4%、「変わらない」は幸町で53.1%となっている。

【住居形態別】



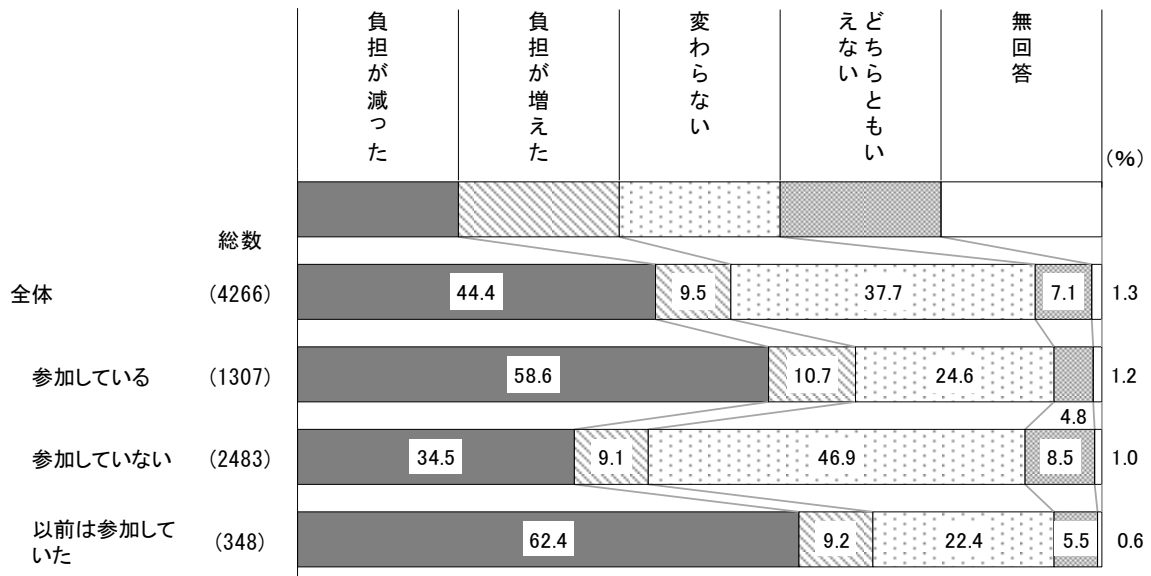
住居形態別でみると、「負担が減った」は戸建て住宅で56.6%、「変わらない」は8戸以上の共同住宅で77.5%となっている。

【自治会加入状況別】



自治会加入状況別でみると、「負担が減った」は自治会に加入しているで49.3%、「変わらない」は自治会に加入していないで55.7%となっている。

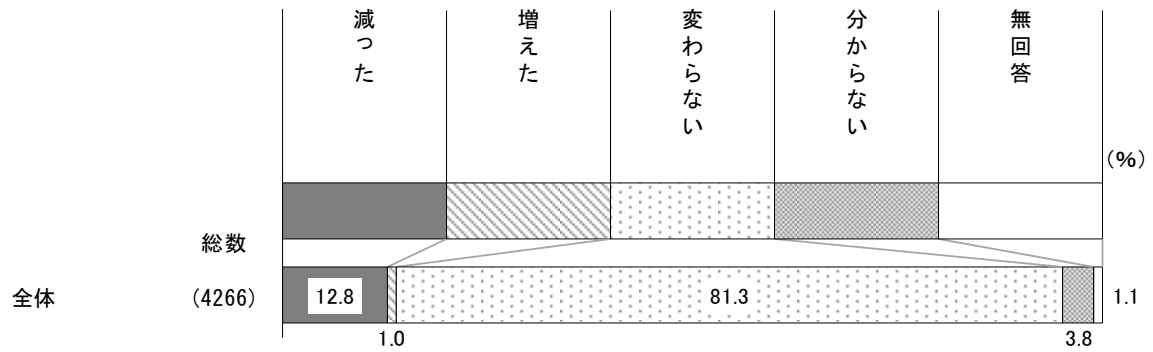
【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「負担が減った」は以前は参加していたで62.4%、「変わらない」は参加していないで46.9%となっている。

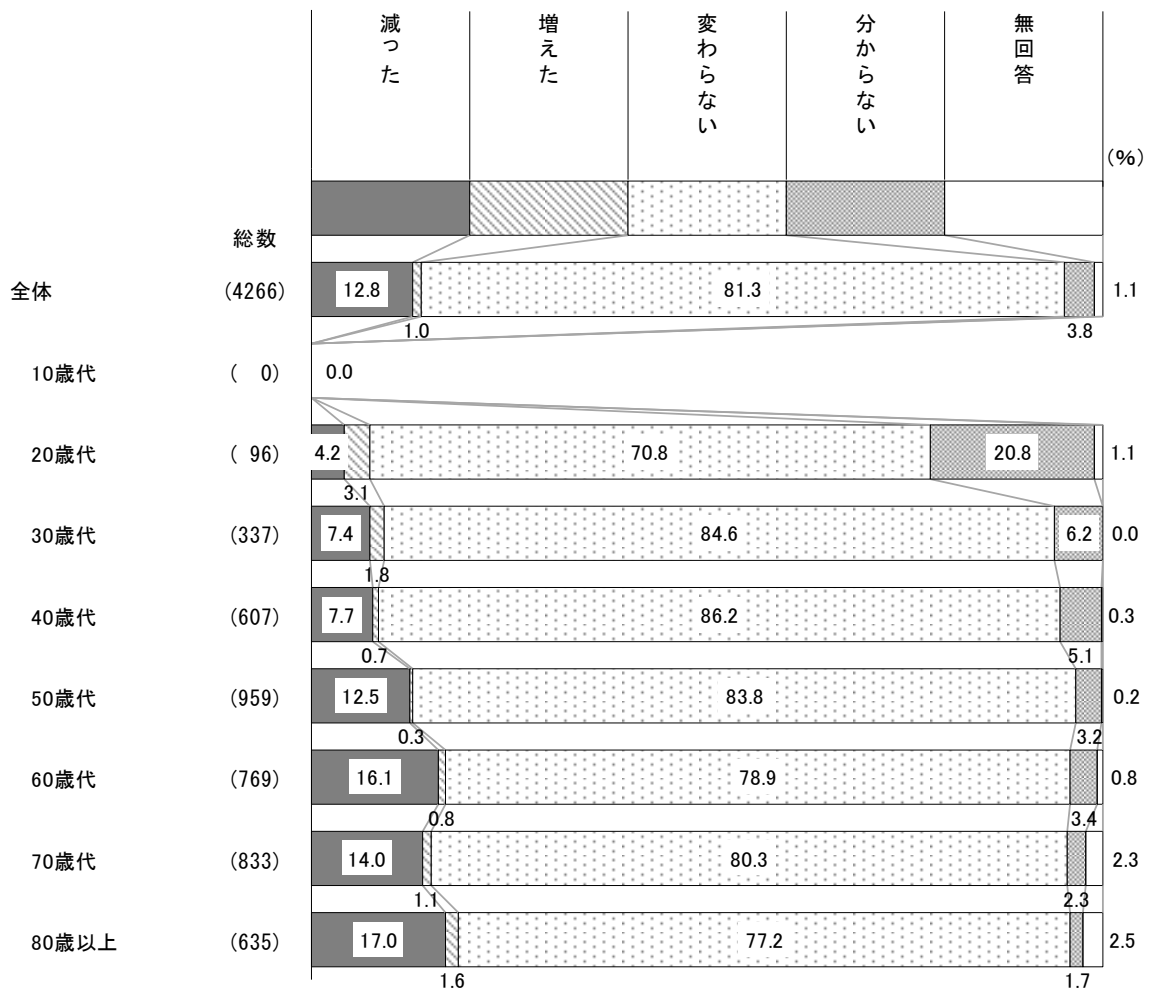
(2) ごみ排出量の変化

問3 戸別収集となり、「燃やせるごみ」の出す量に変化はありますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



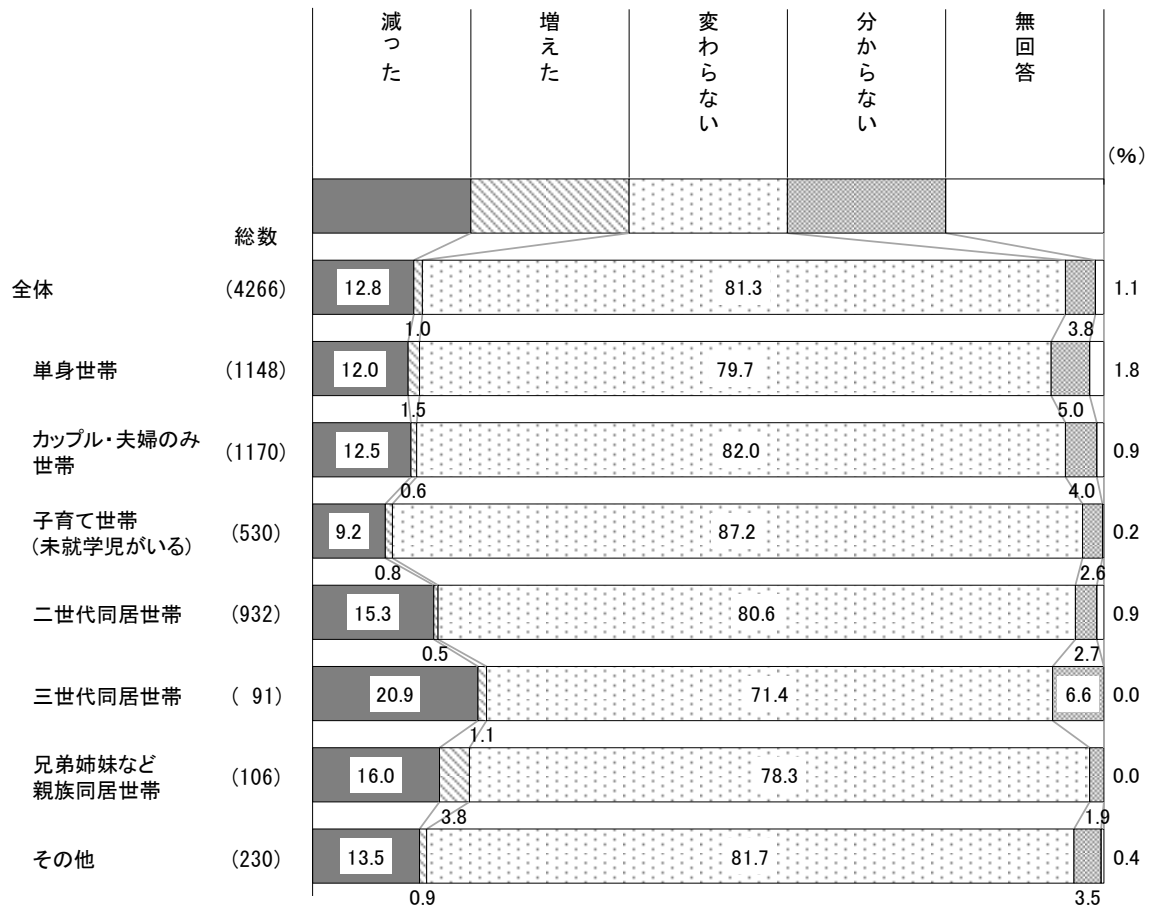
戸別収集となったことによる、「燃やせるごみ」の排出量の変化について聞いたところ、「変わらない」は81.3%、「減った」は12.8%、「増えた」は1.0%となっている。

【年齢別】



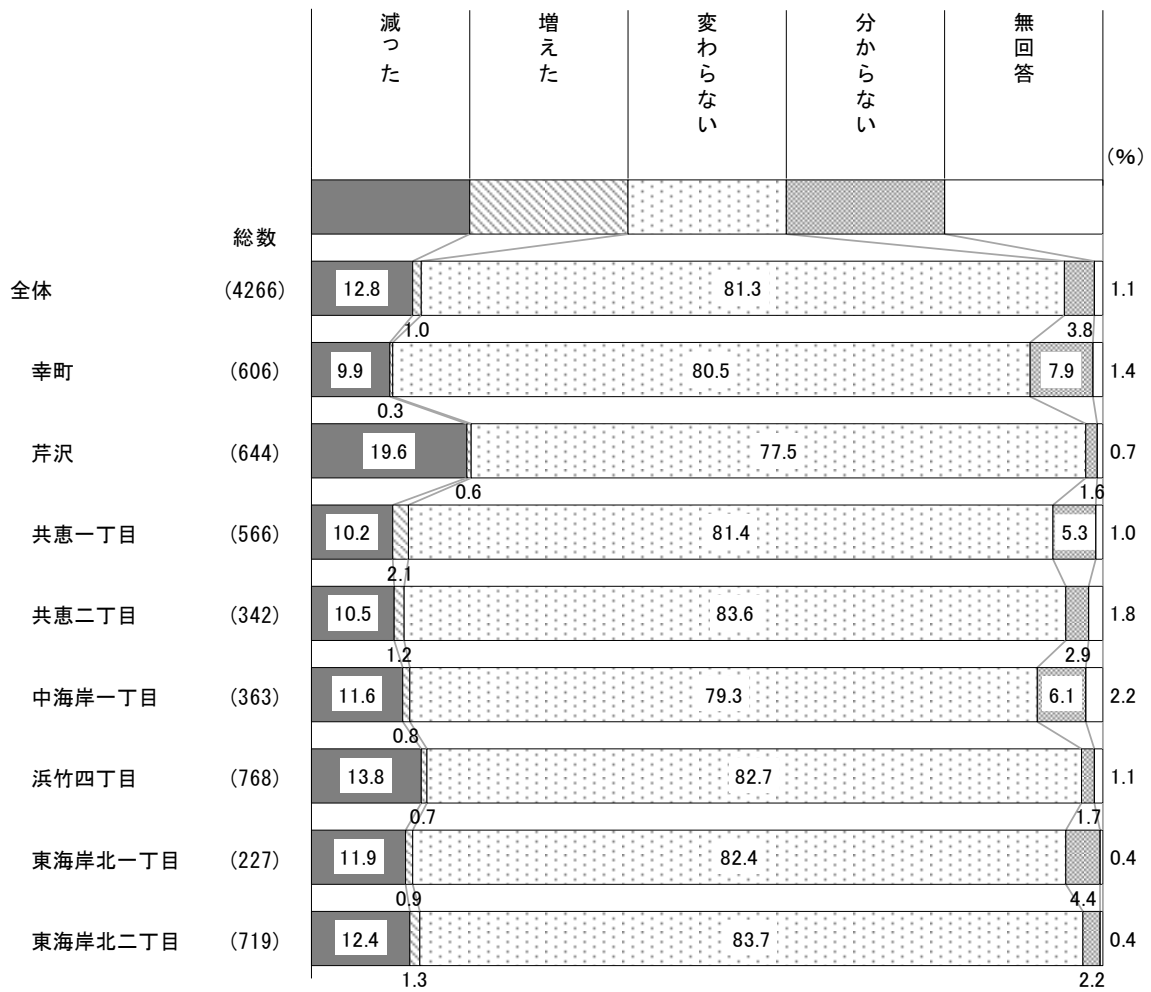
年齢別で見ると、「変わらない」は40歳代で86.2%、「減った」は80歳以上で17.0%となっている。

【世帯構成別】



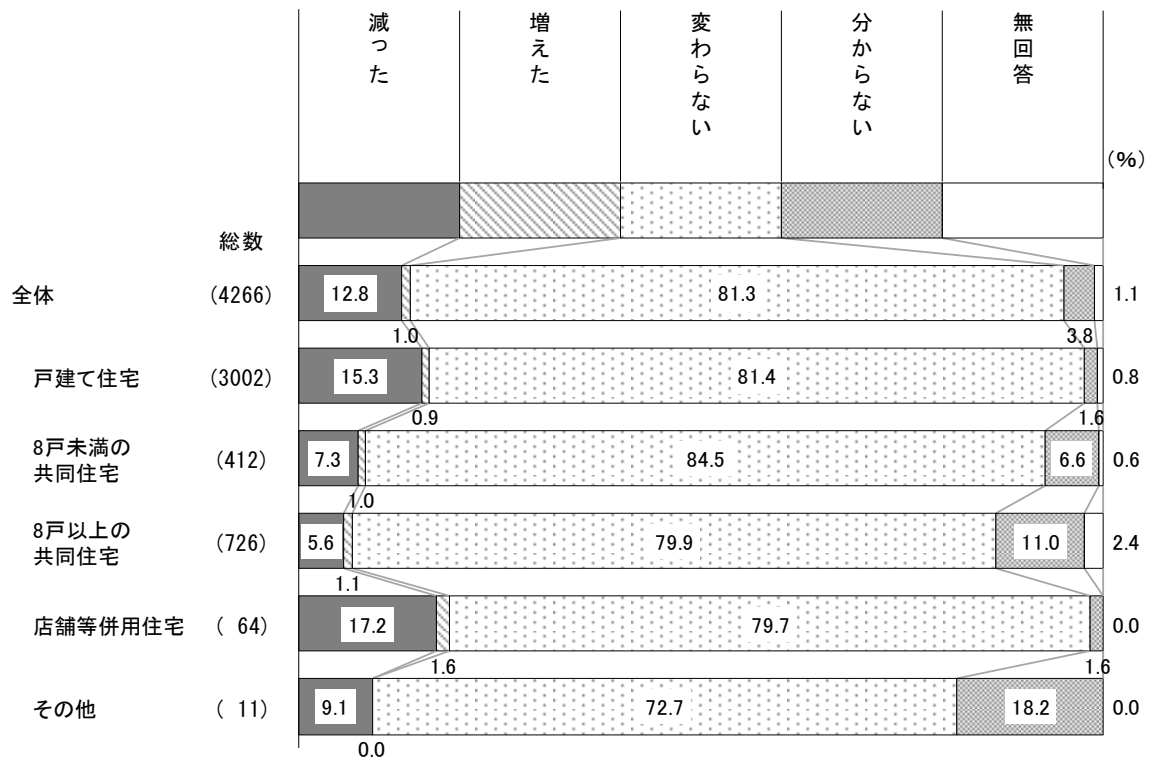
世帯構成別で見ると、「変わらない」は子育て世帯（未就学児がいる）で87.2%、「減った」は三世帯同居世帯で20.9%となっている。

【居住地域別】



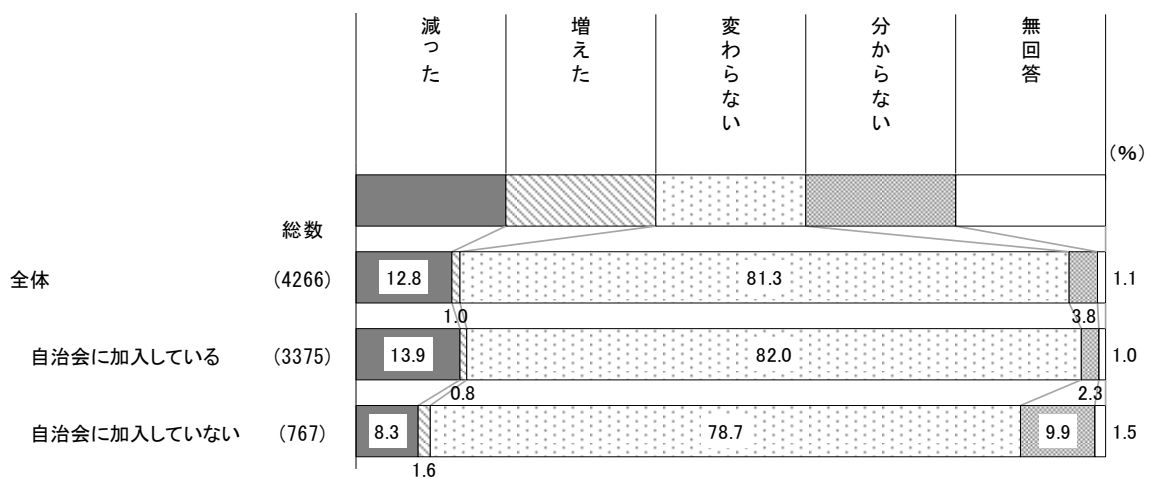
居住地域別で見ると、「変わらない」は東海岸北二丁目で83.7%、「減った」は芹沢で19.6%となっている。

【住居形態別】



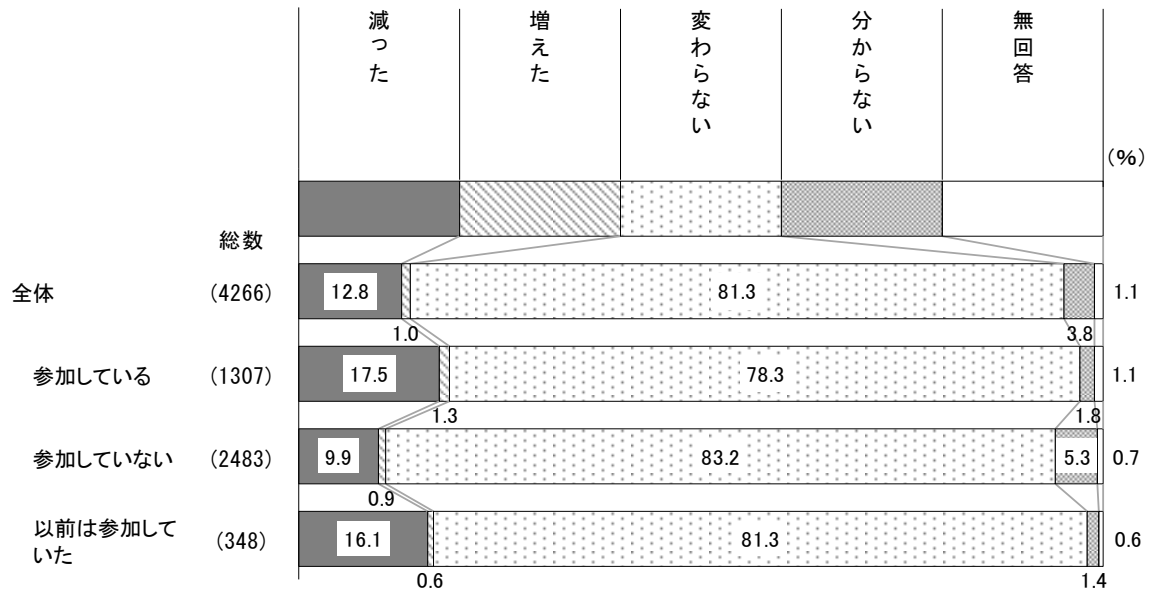
住居形態別で見ると、「変わらない」は8戸未満の共同住宅で84.5%、「減った」は店舗等併用住宅で17.2%となっている。

【自治会加入状況別】



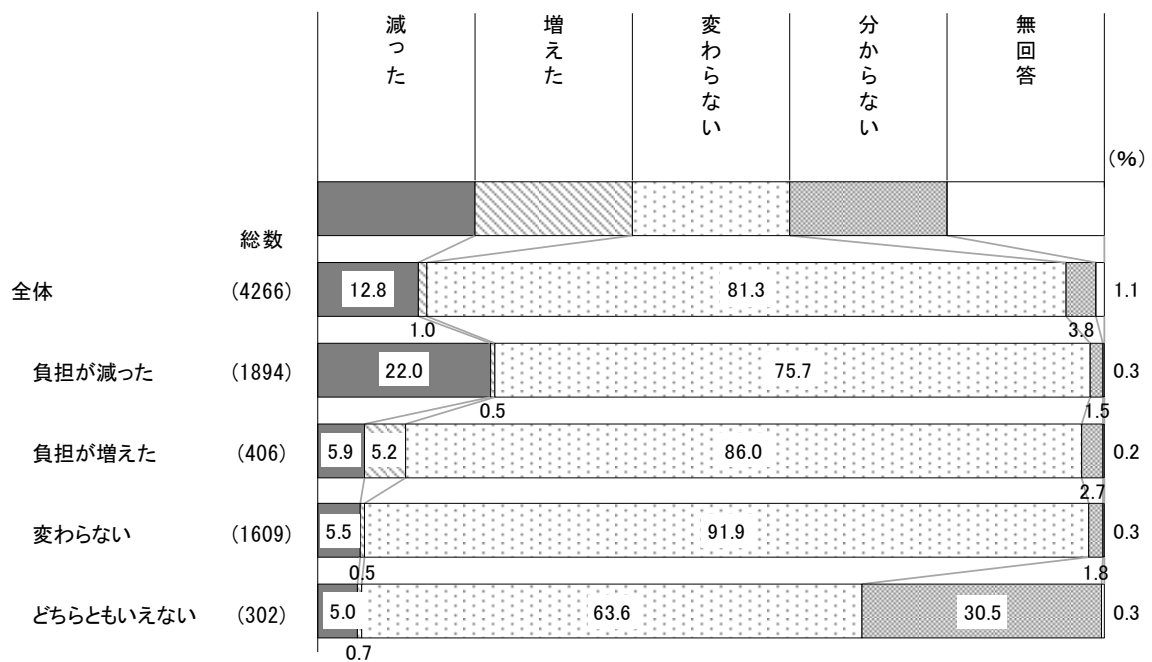
自治会加入状況別で見ると、「変わらない」は自治会に加入しているで82.0%、「減った」は自治会に加入しているで13.9%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「変わらない」は参加していないで83.2%、「減った」は参加しているで17.5%となっている。

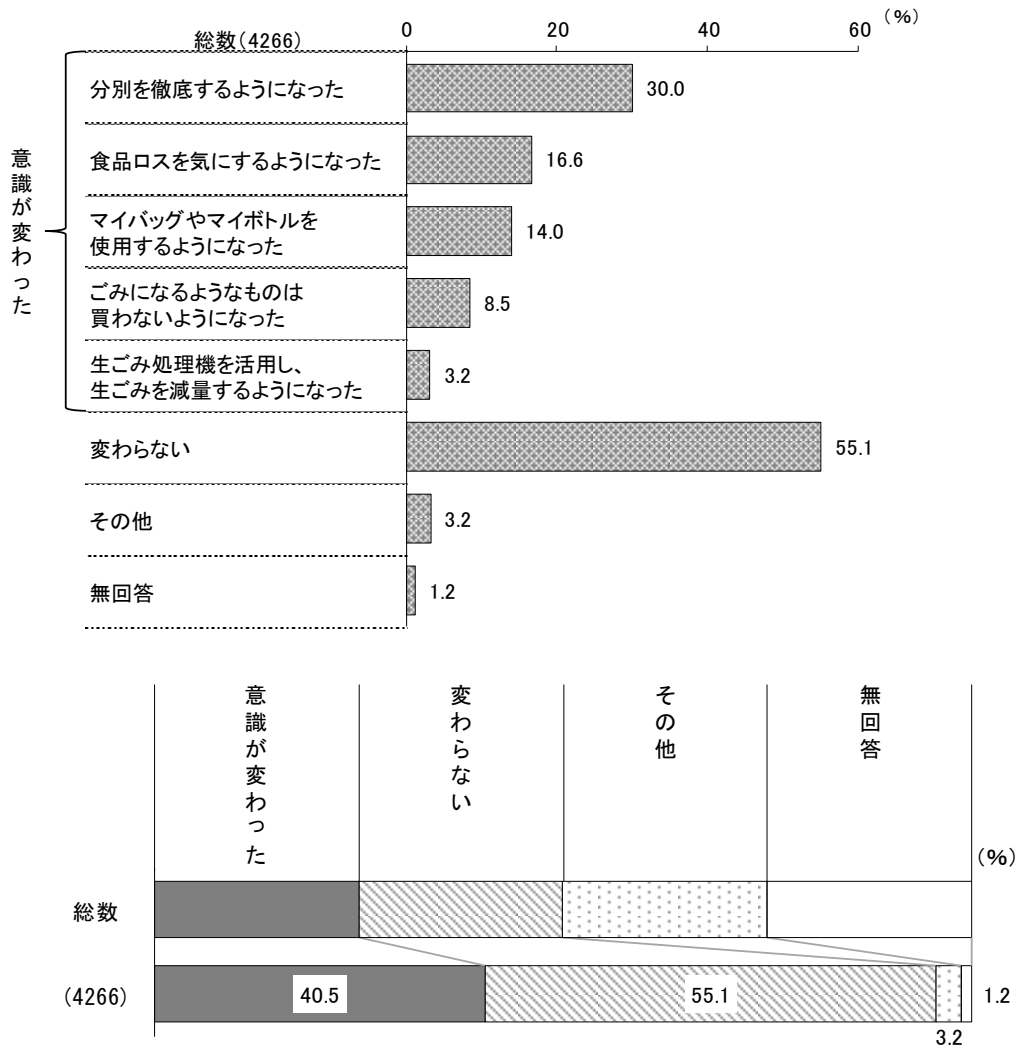
【ごみ出し負担の変化別】



ごみ出し負担の変化別でみると、「変わらない」は変わらないで91.9%、「減った」は負担が減ったで22.0%となっている。

(3) ごみ減量・分別意識の変化

問4 戸別収集となり、「燃やせるごみ」の分別や減量化などに関する意識にどのような変化がありますか。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

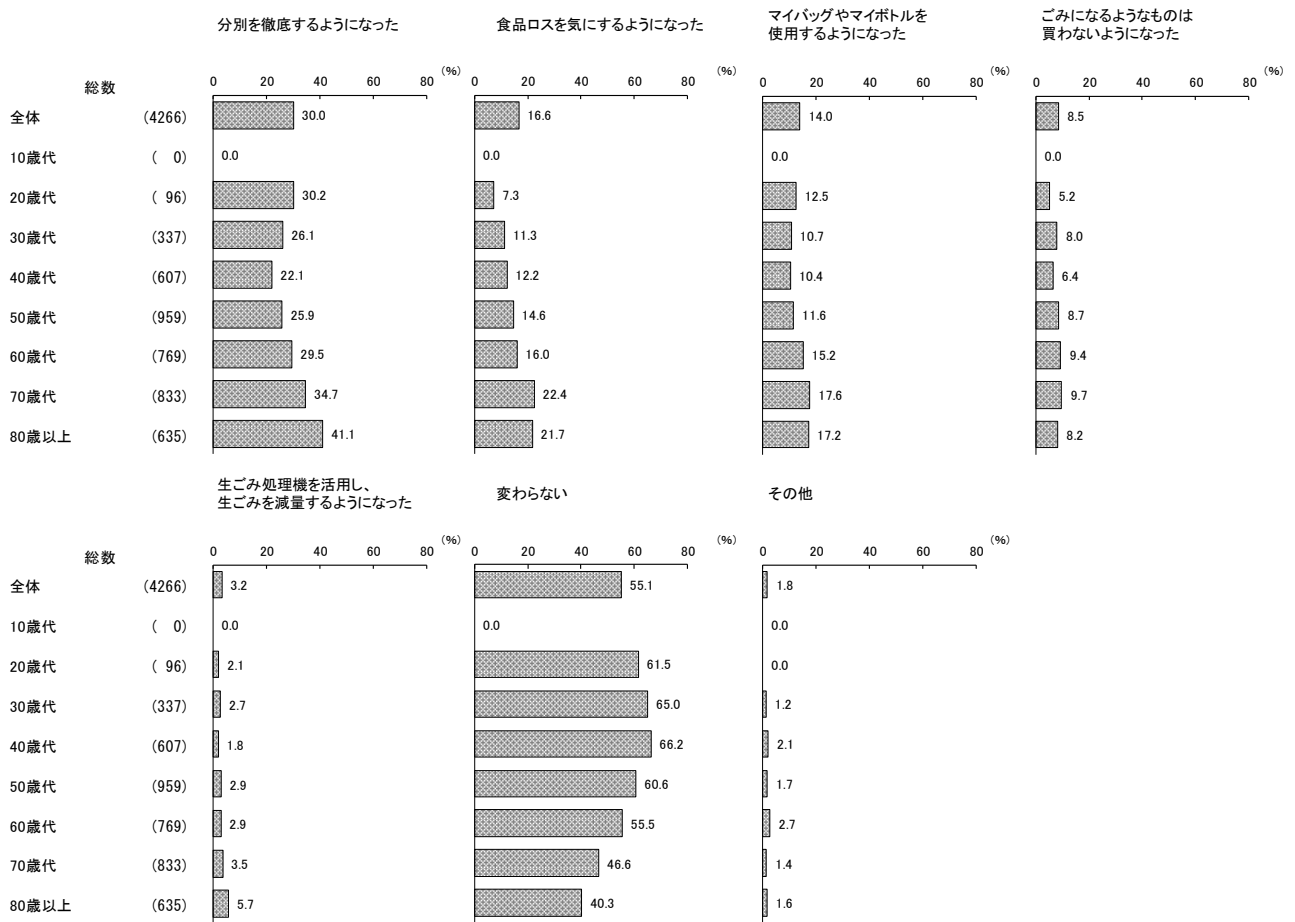


戸別収集となったことによる、ごみの分別や減量化に関する意識の変化について聞いたところ、「変わらない」は55.1%、「意識が変わった」は40.5%となっている。

意識が変わった内容としては、「分別を徹底するようになった」は30.0%、「食品ロスを気にするようになった」は16.6%となっている。

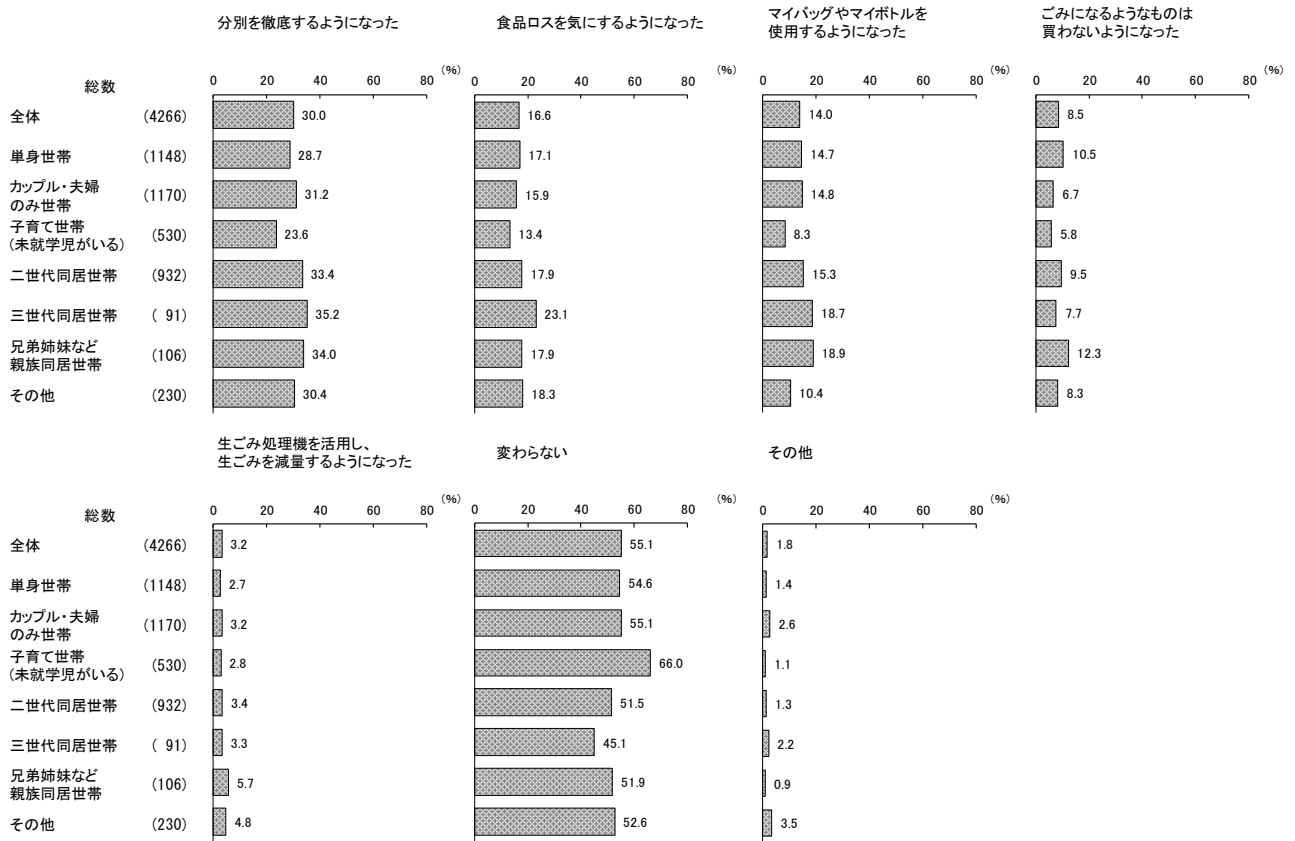
また、その他の意見として「肥料を作るので生ごみは出さない」、「マンションのクリーンボックスを使用」、「戸別収集されていません」などがあつた。

【年齢別】



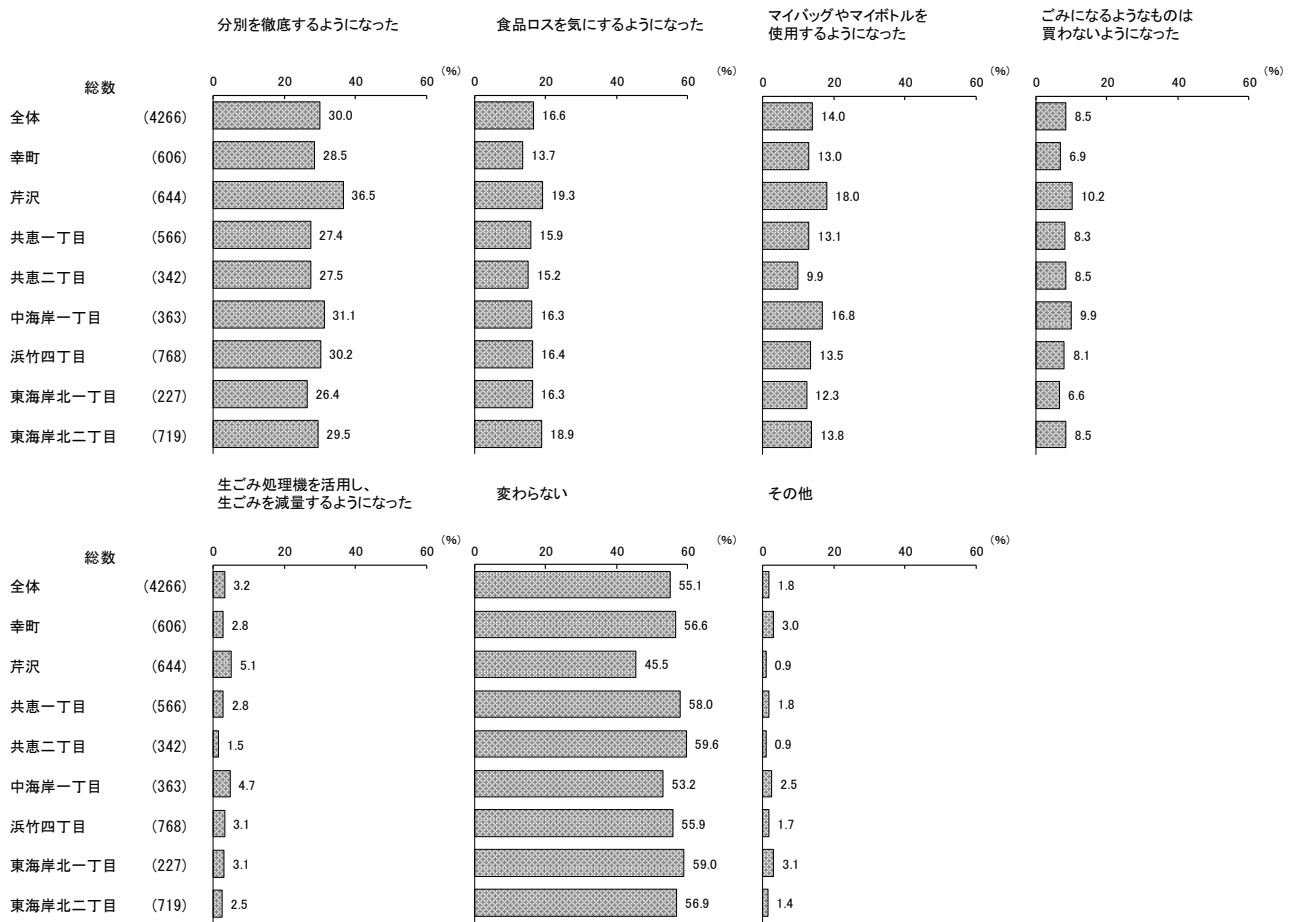
年齢別でみると、「変わらない」は40歳代で66.2%、「分別を徹底するようになった」は80歳以上で41.1%となっている。

【世帯構成別】



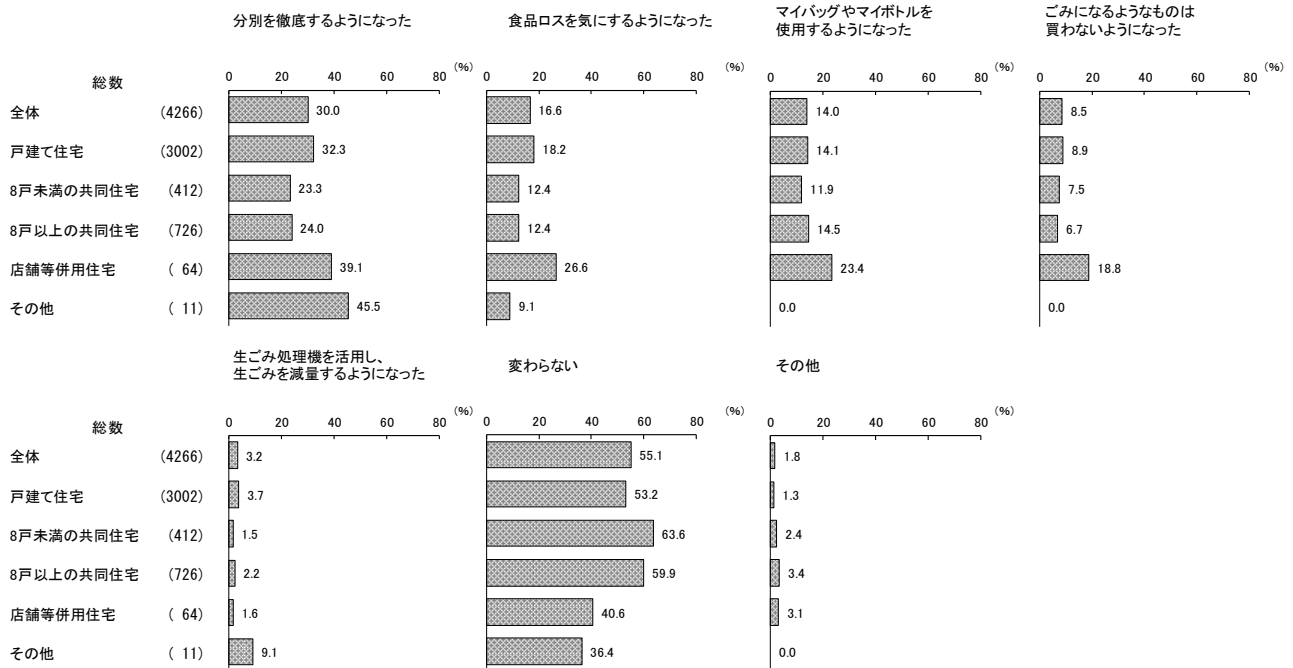
世帯構成別で見ると、「変わらない」は子育て世帯（未就学児がいる）で66.0%、「分別を徹底するようになった」は三世帯同居世帯で35.2%となっている。

【居住地域別】



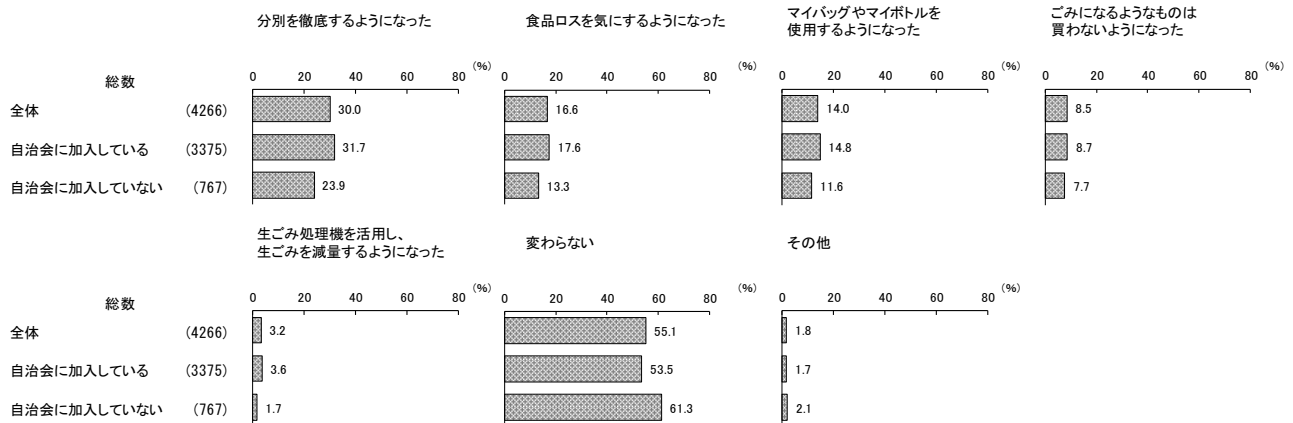
居住地域別でみると、「変わらない」は共恵二丁目で59.6%、「分別を徹底するようになった」は芹沢で36.5%となっている。

【住居形態別】



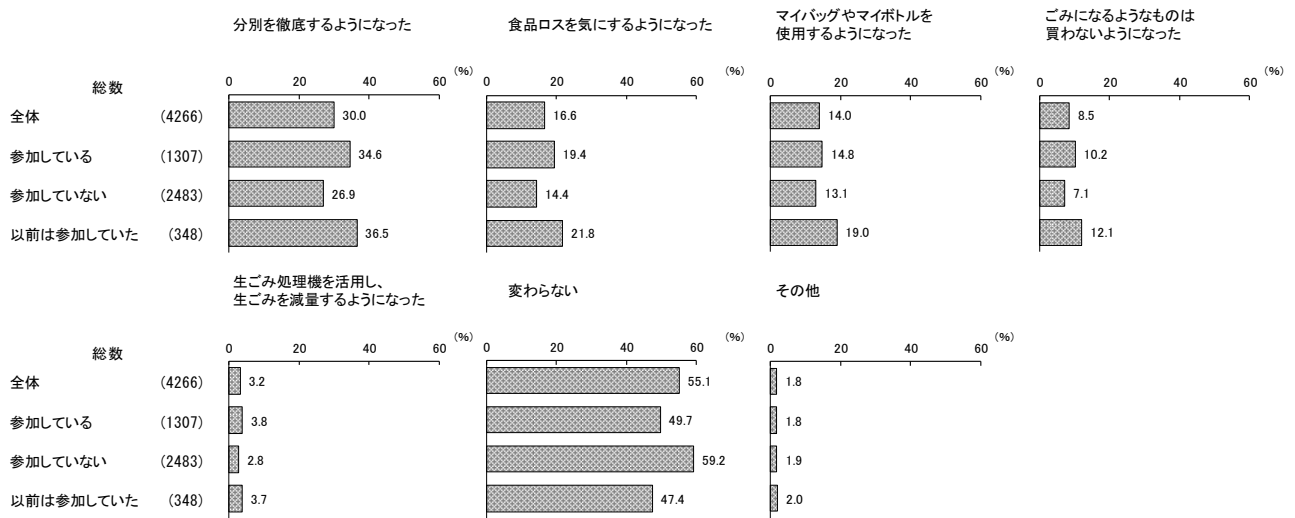
住居形態別で見ると、「変わらない」は8戸未満の共同住宅で63.6%、「分別を徹底するようになった」は店舗等併用住宅で39.1%となっている。

【自治会加入状況別】



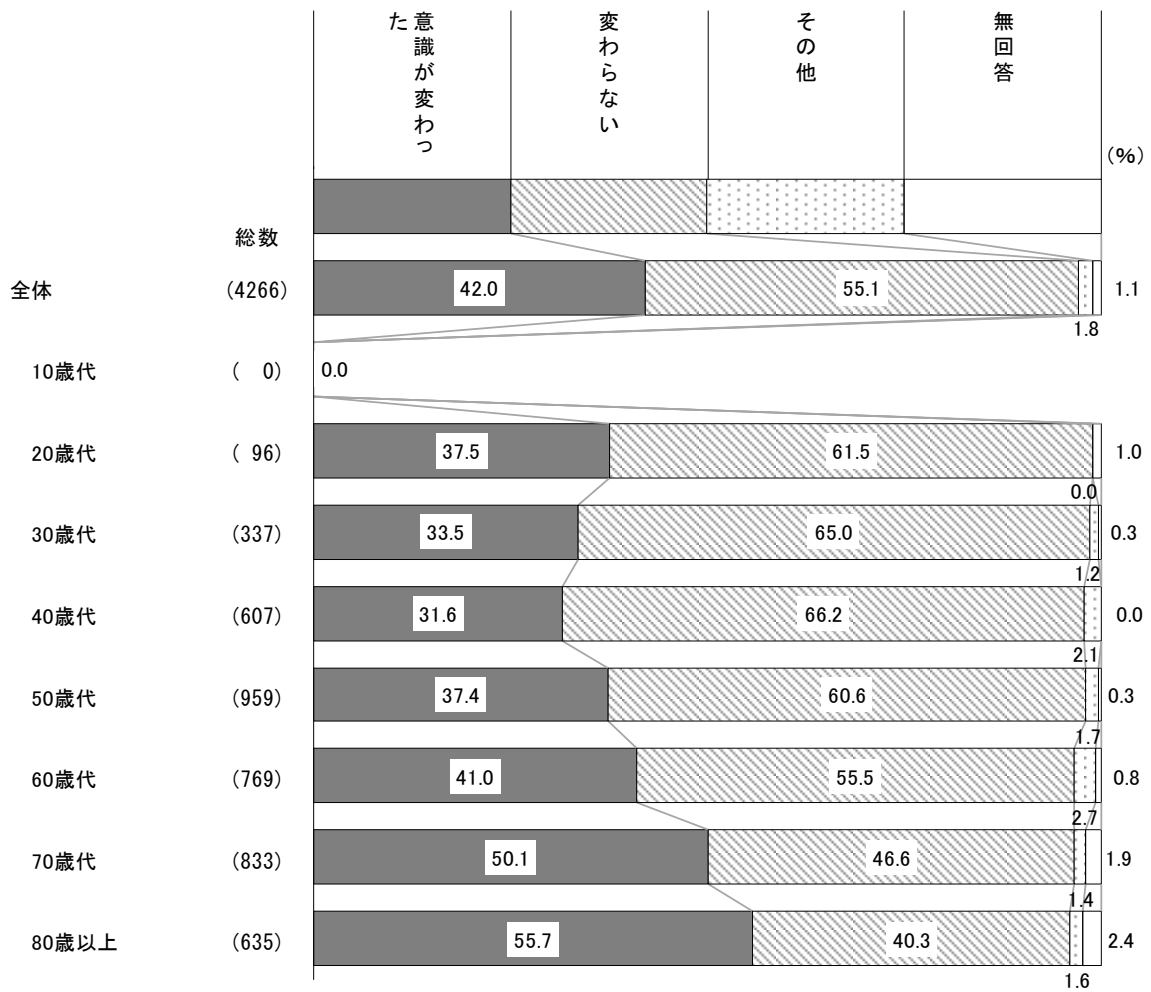
自治会加入状況別で見ると、「変わらない」は自治会に加入していないで61.3%、「分別を徹底するようになった」は自治会に加入しているで31.7%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



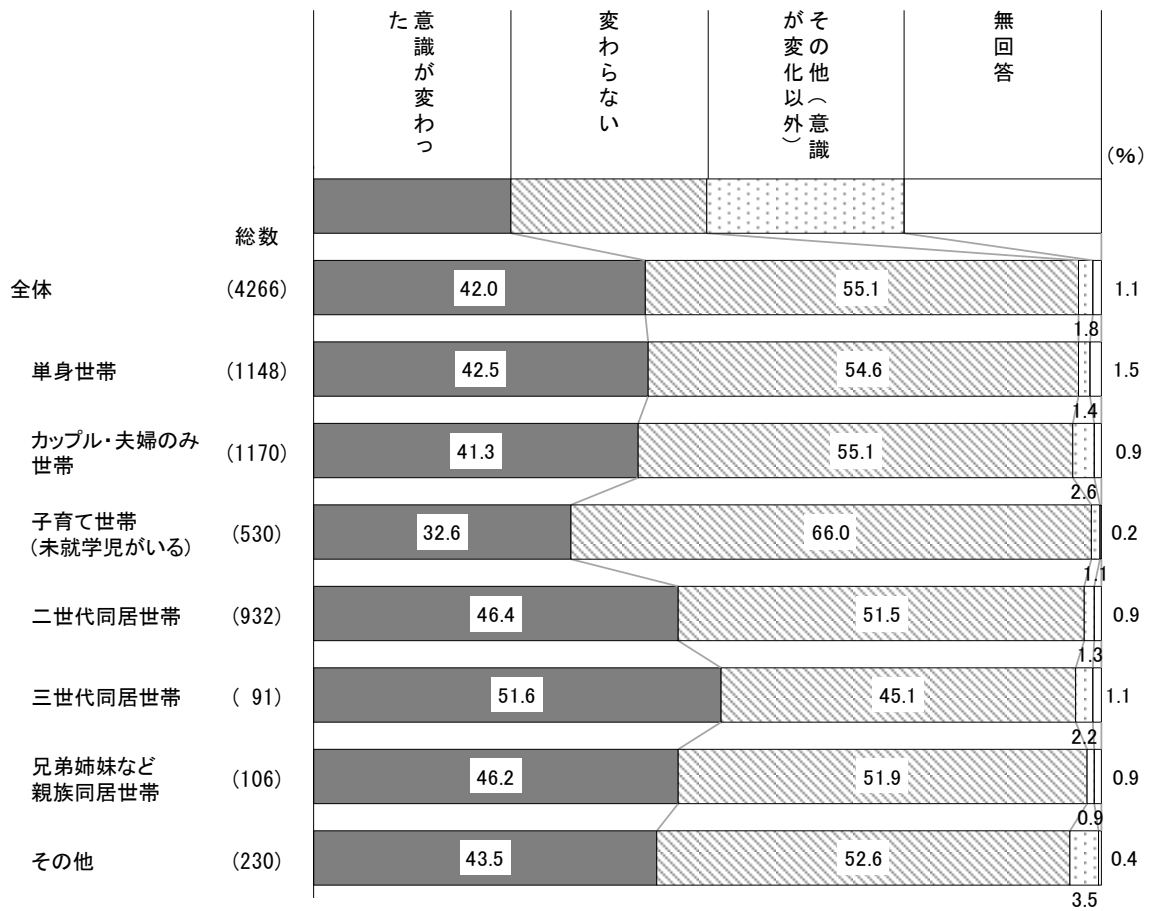
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「変わらない」は参加していないで59.2%、「分別を徹底するようになった」は以前は参加していたで36.5%となっている。

【年齢別】



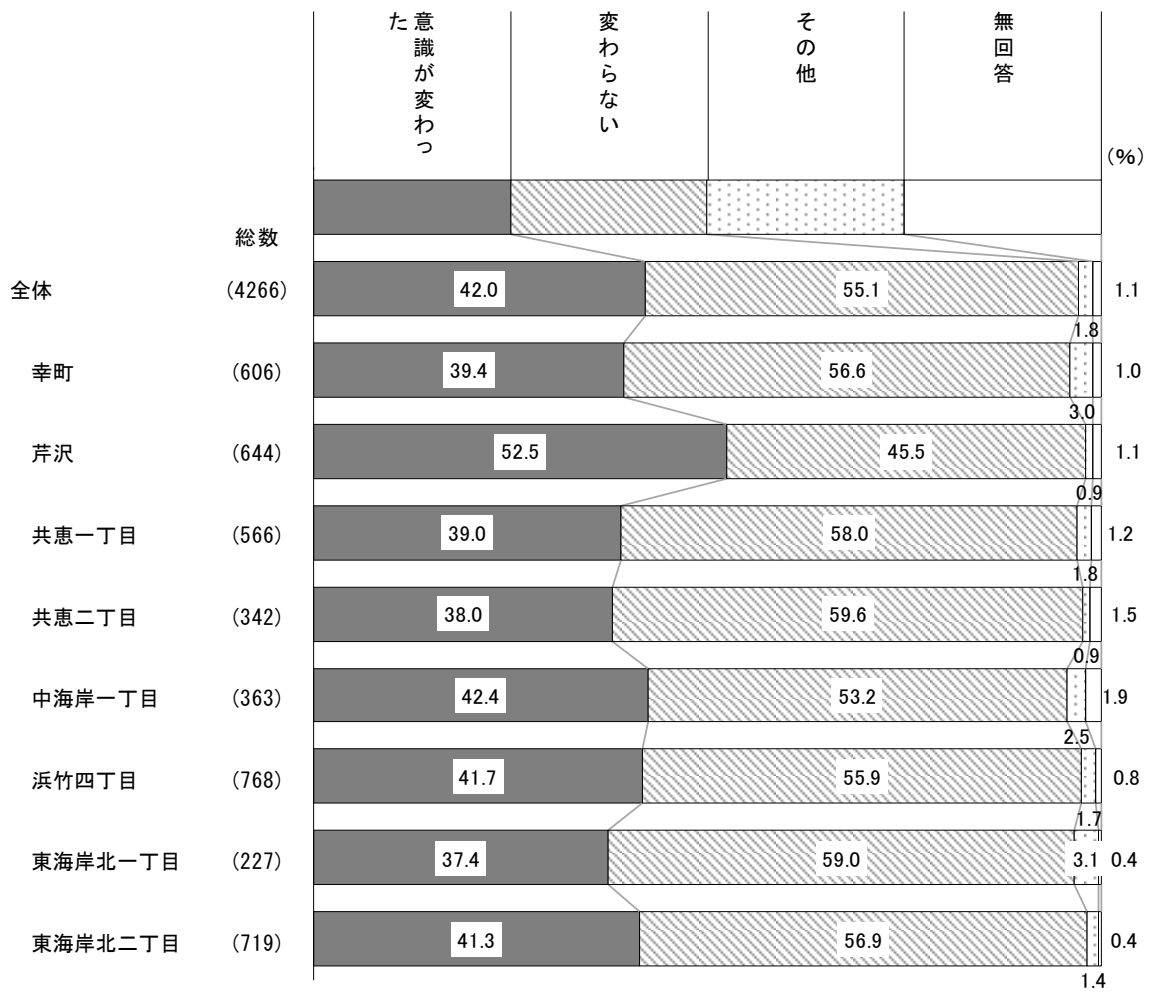
年齢別でみると、「変わらない」は40歳代で66.2%、「意識が変わった」は80歳以上で55.7%となっている。

【世帯構成別】



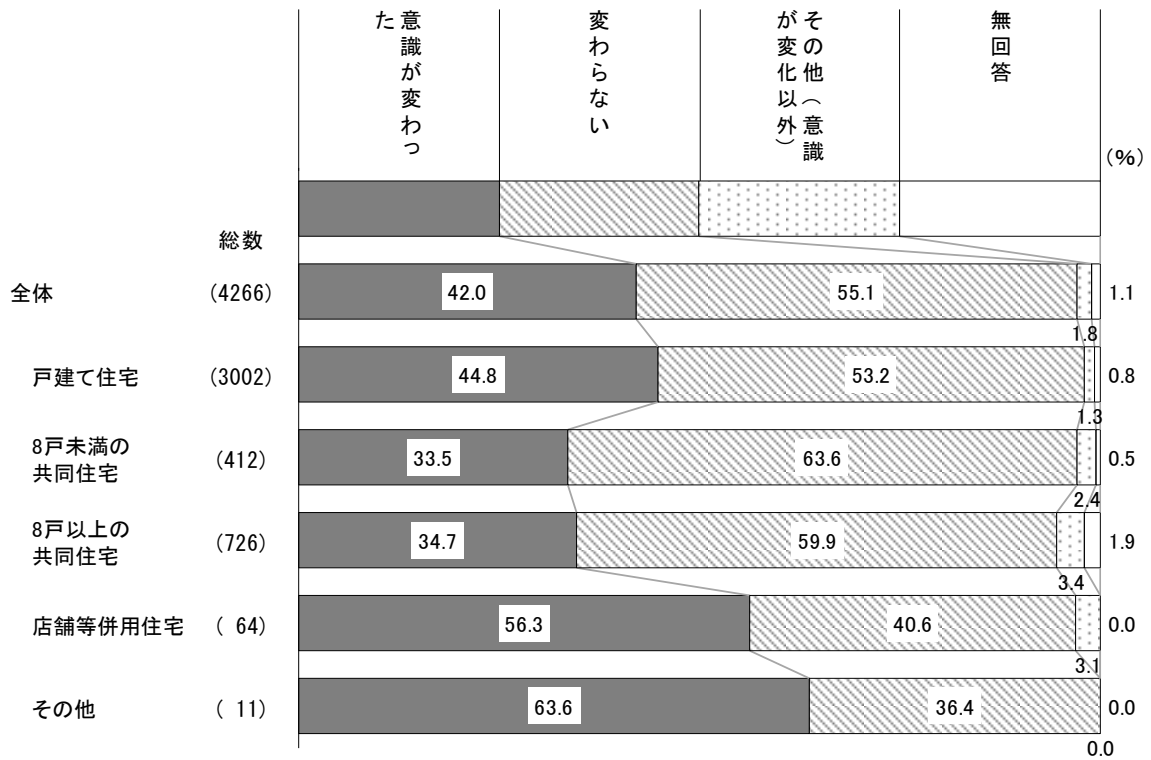
世帯構成別でみると、「変わらない」は子育て世帯（未就学児がいる）で66.0%、「意識が変わった」は三世帯同居世帯で51.6%となっている。

【居住地域別】



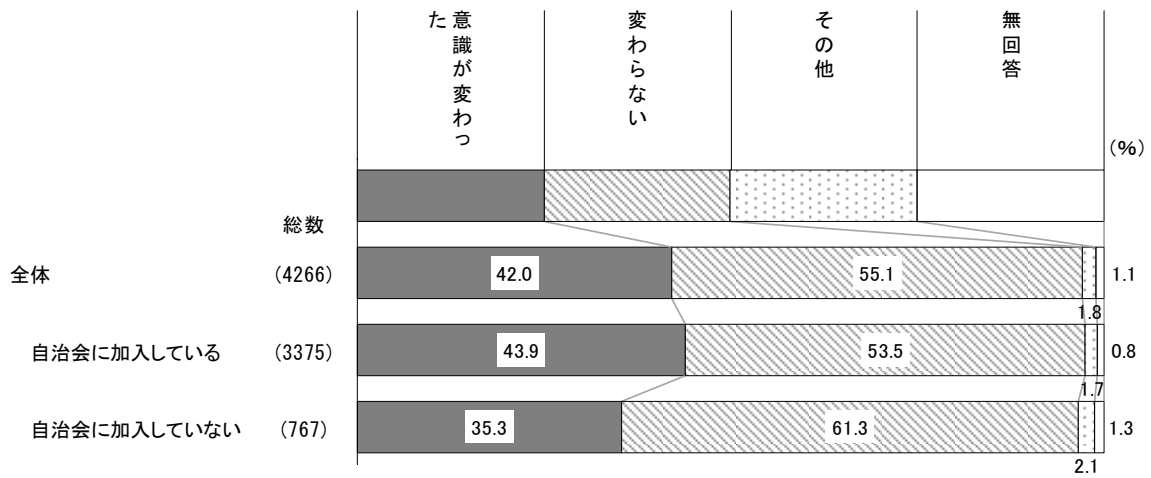
居住地域別で見ると、「変わらない」は共恵二丁目で59.6%、「意識が変わった」は芹沢で52.5%となっている。

【住居形態別】



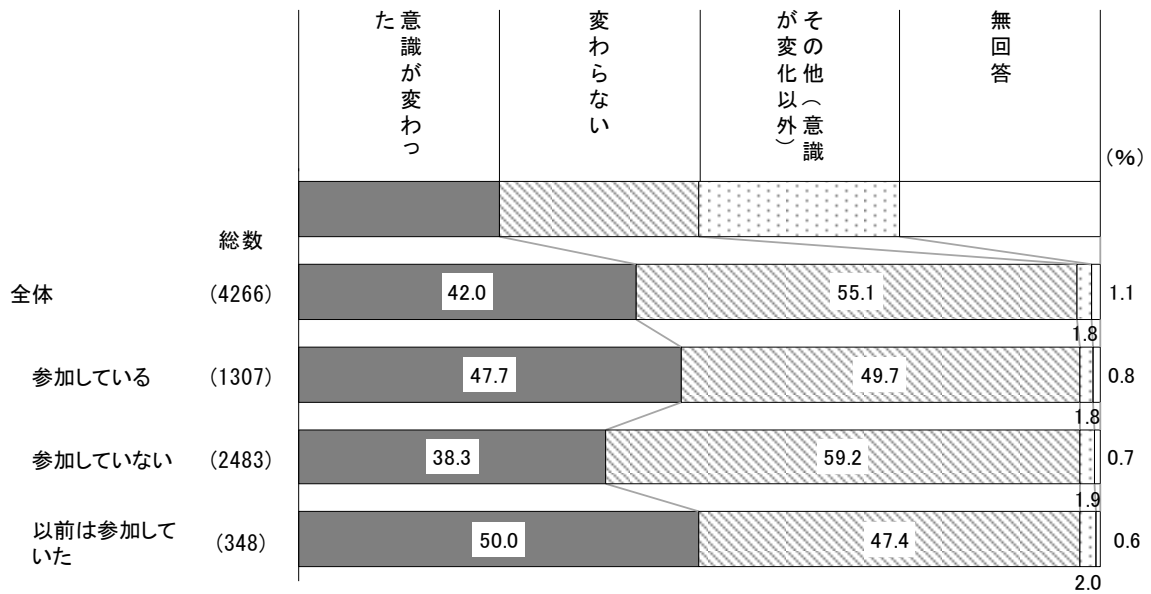
住居形態別で見ると、「変わらない」は8戸未満の共同住宅で63.6%、「意識が変わった」は店舗等併用住宅で56.3%となっている。

【自治会加入状況別】



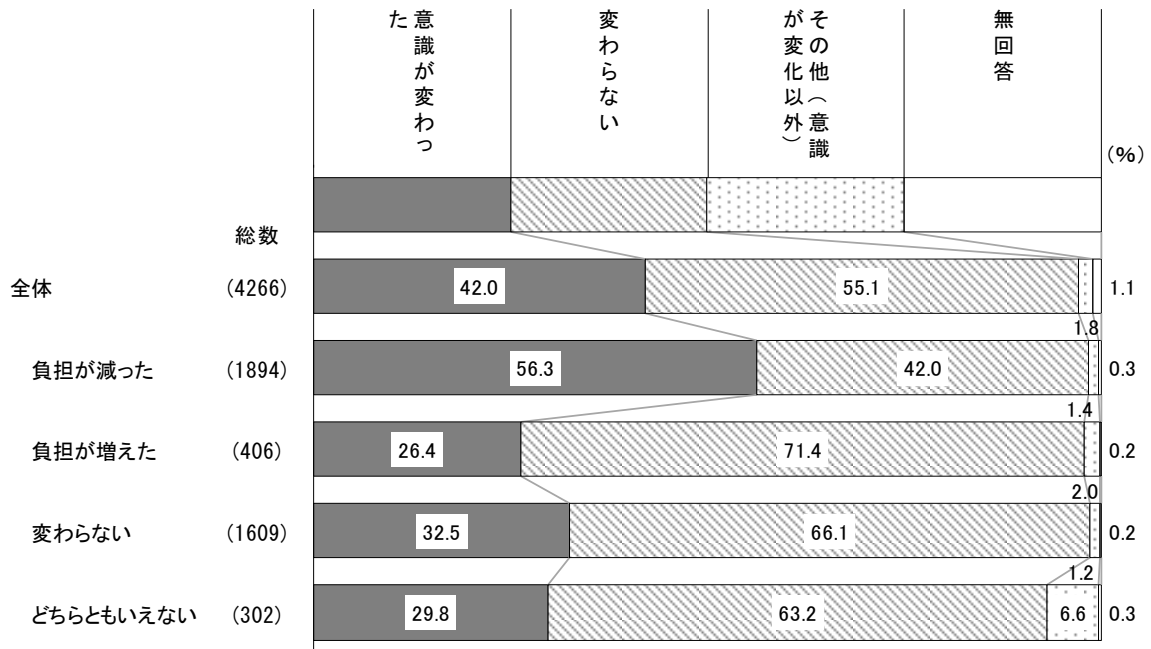
自治会加入状況別でみると、「変わらない」は自治会に加入していないで61.3%、「意識が変わった」は自治会に加入しているで43.9%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



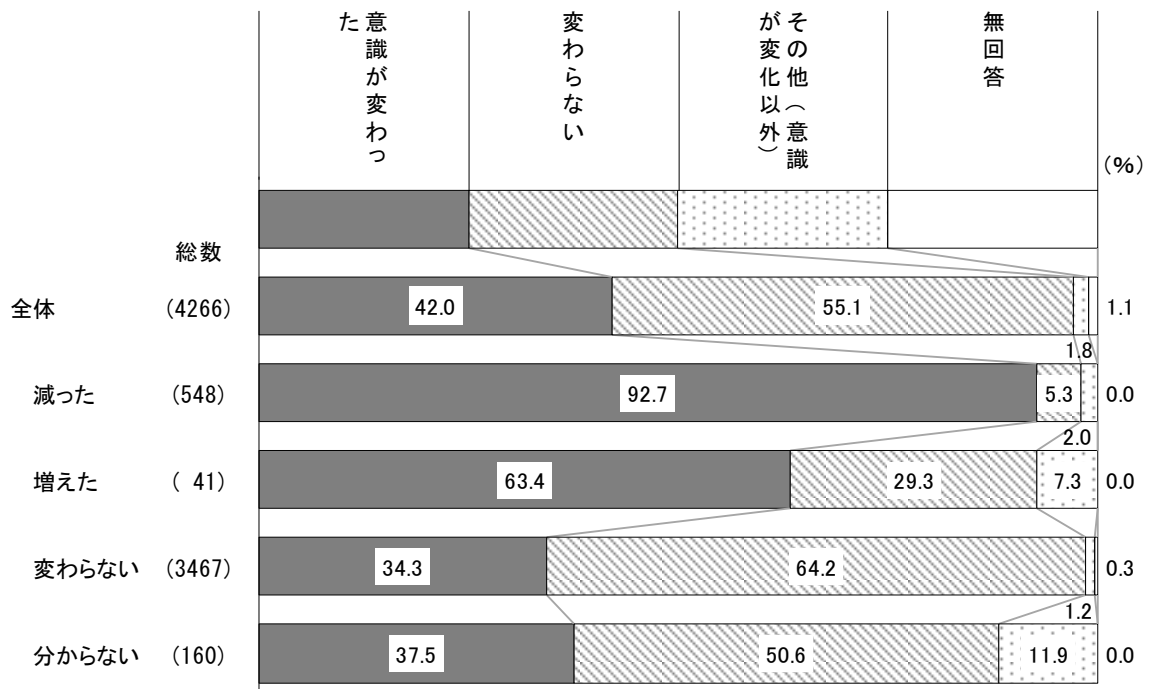
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「変わらない」は参加していないで59.2%、「意識が変わった」は以前は参加していたで50.0%となっている。

【ごみ出し負担の変化別】



ごみ出し負担の変化別で見ると、「変わらない」は負担が増えたで71.4%、「意識が変わった」は負担が減ったで56.3%となっている。

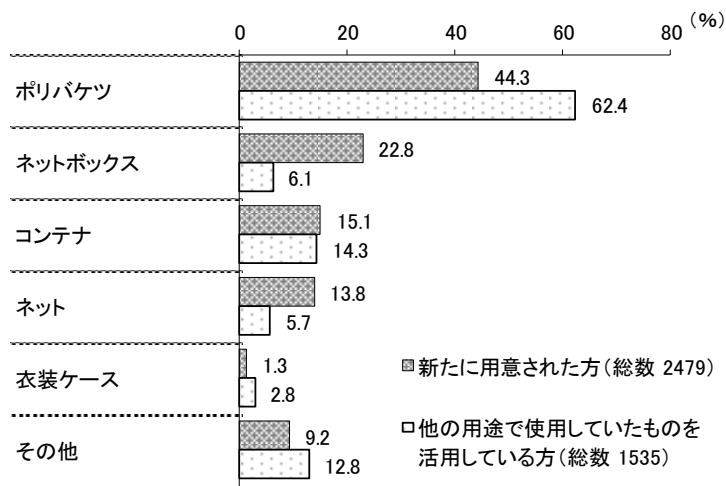
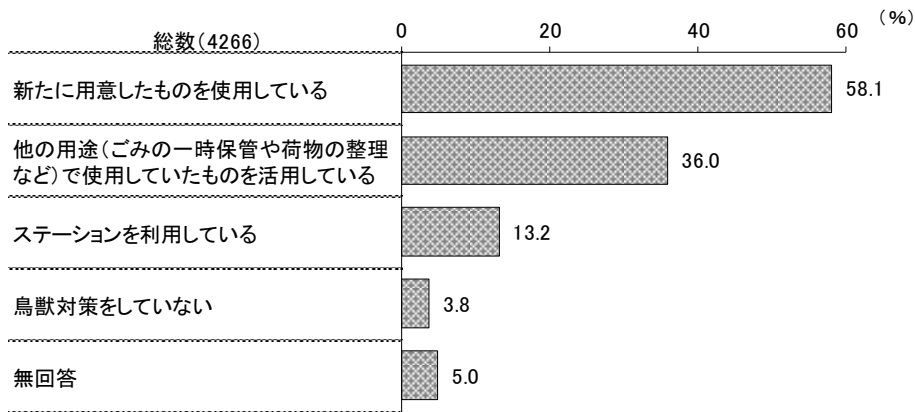
【ごみ排出量の変化別】



ごみ排出量の変化別で見ると、「変わらない」は変わらないで64.2%、「意識が変わった」は減ったで92.7%となっている。

(4) 鳥獣対策の方法

問5 ”燃やせるごみ”を出す際に取り組みられている鳥獣対策の方法を次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

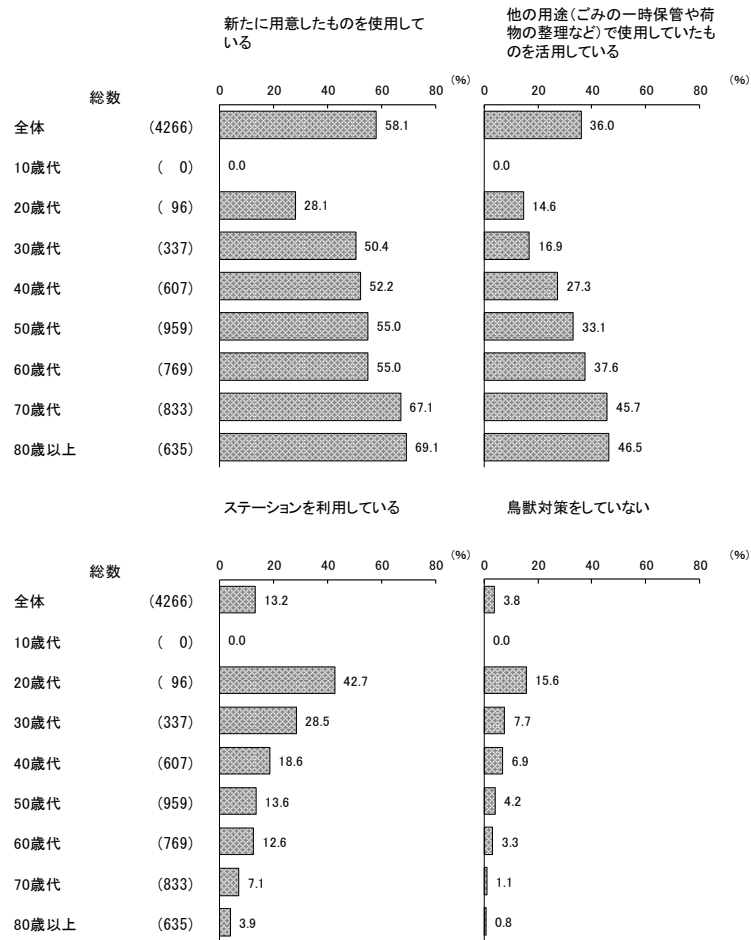


”燃やせるごみ”を出す際に取り組みられている鳥獣対策の方法について聞いたところ、「新たに用意したものを使用している」は58.1%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用していたものを活用している」は36.0%、となっている。

『新たに用意したものを使用している』と回答した方の具体的な方法としては「ポリバケツ」が44.3%、「ネットボックス」が22.8%となっている。また、その他の方法として「金属網を組み合わせた折り畳み簡易ボックス（自作）」、「足で踏んで開けるごみ箱」、「プランター」などがあつた。

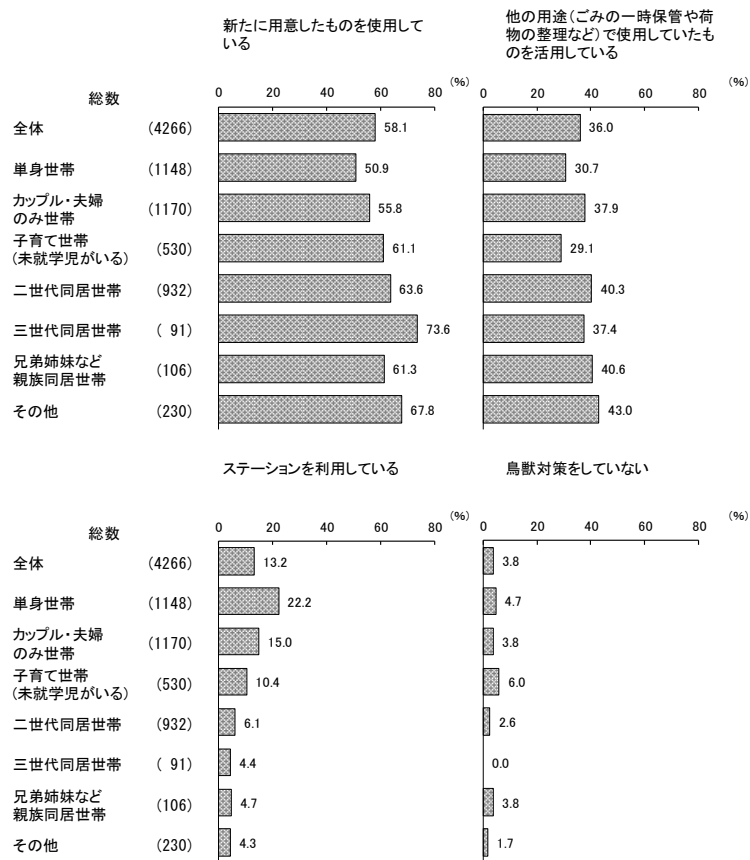
『他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用していたものを活用している』と回答した方の具体的な方法としては「ポリバケツ」が62.0%、「コンテナ」が14.3%となっている。また、その他の方法として「物置」、「小さめのドラム缶にごみネット」、「使わなくなった犬用ケージ」などがあつた。

【年齢別】



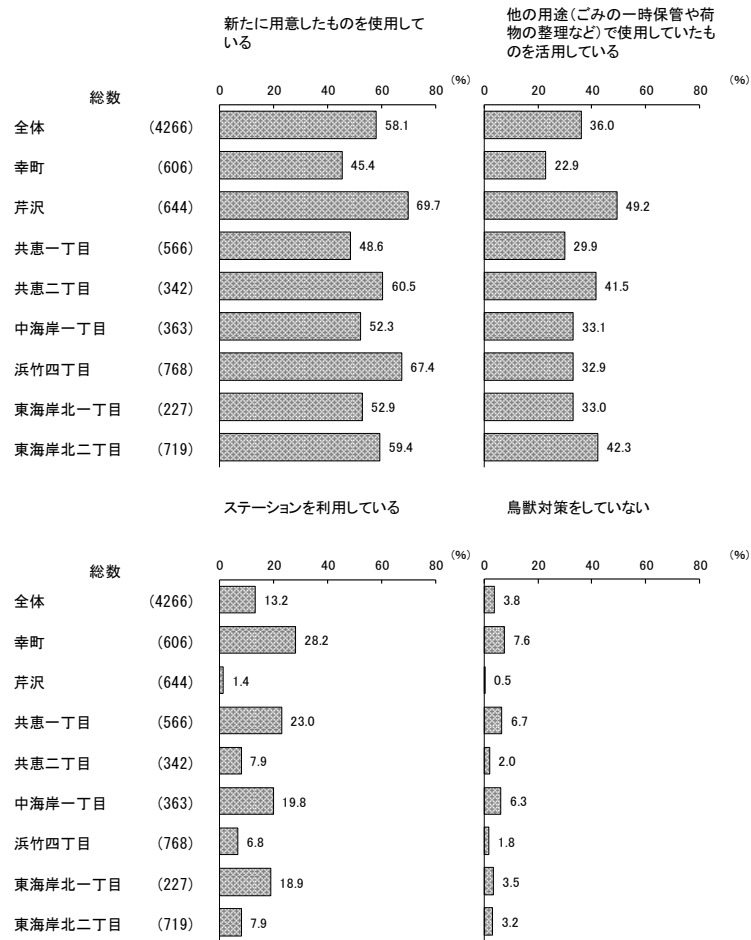
年齢別でみると、「新たに用意したものを使用している」は80歳以上で69.1%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用したものを活用している」は80歳以上で46.5%となっている。

【世帯構成別】



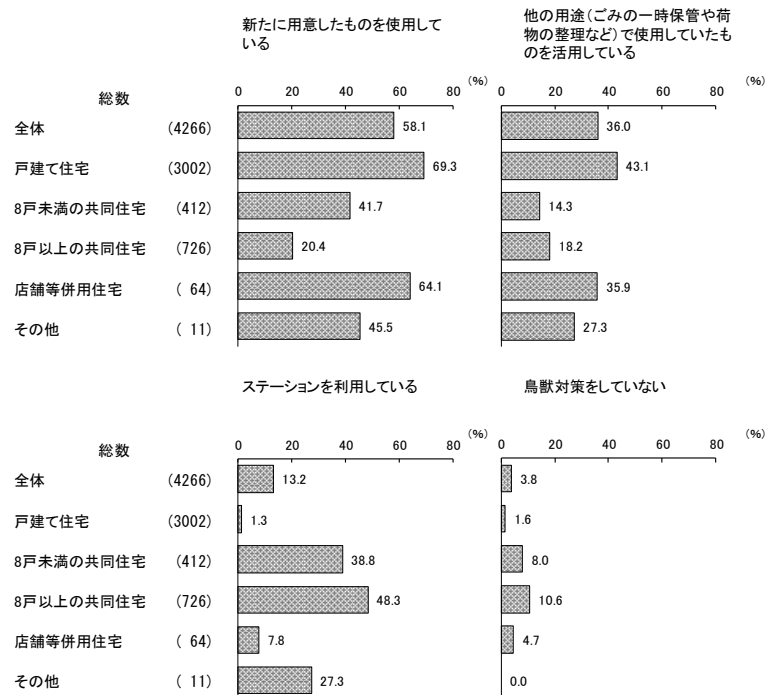
世帯構成別でみると、「新たに用意したものを使用している」は三世帯同居世帯で73.6%、「他の用途(ごみの一時保管や荷物の整理など)で使用したものを活用している」は兄弟姉妹など親族同居世帯で40.6%となっている。

【居住地域別】



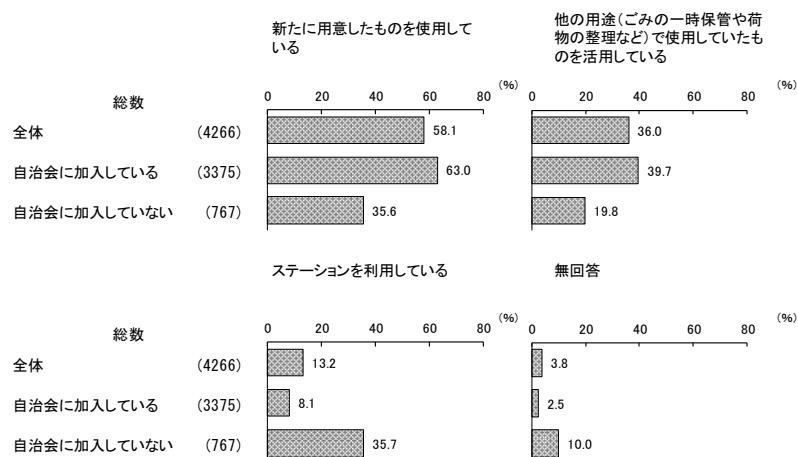
居住地域別で見ると、「新たに用意したものを使用している」は芹沢で69.7%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用したものを活用している」は芹沢で49.2%となっている。

【住居形態別】



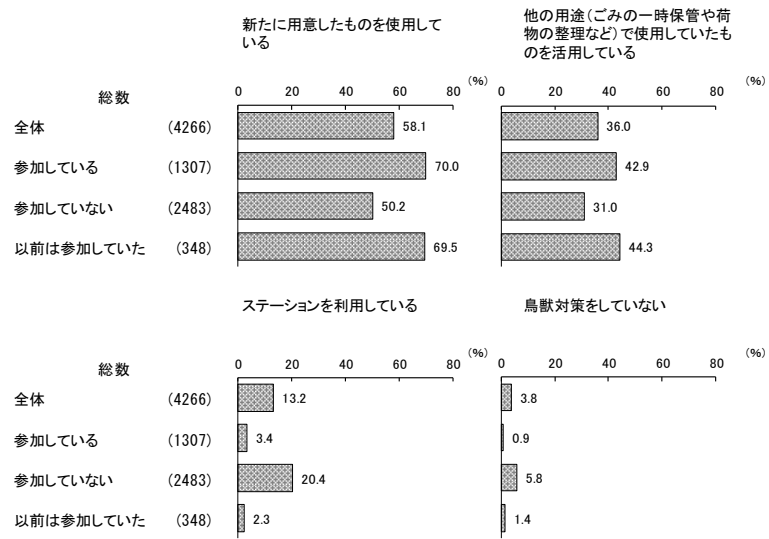
住居形態別で見ると、「新たに用意したものを使用している」は戸建て住宅で69.3%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用したものを活用している」は戸建て住宅で43.1%となっている。

【自治会加入状況別】



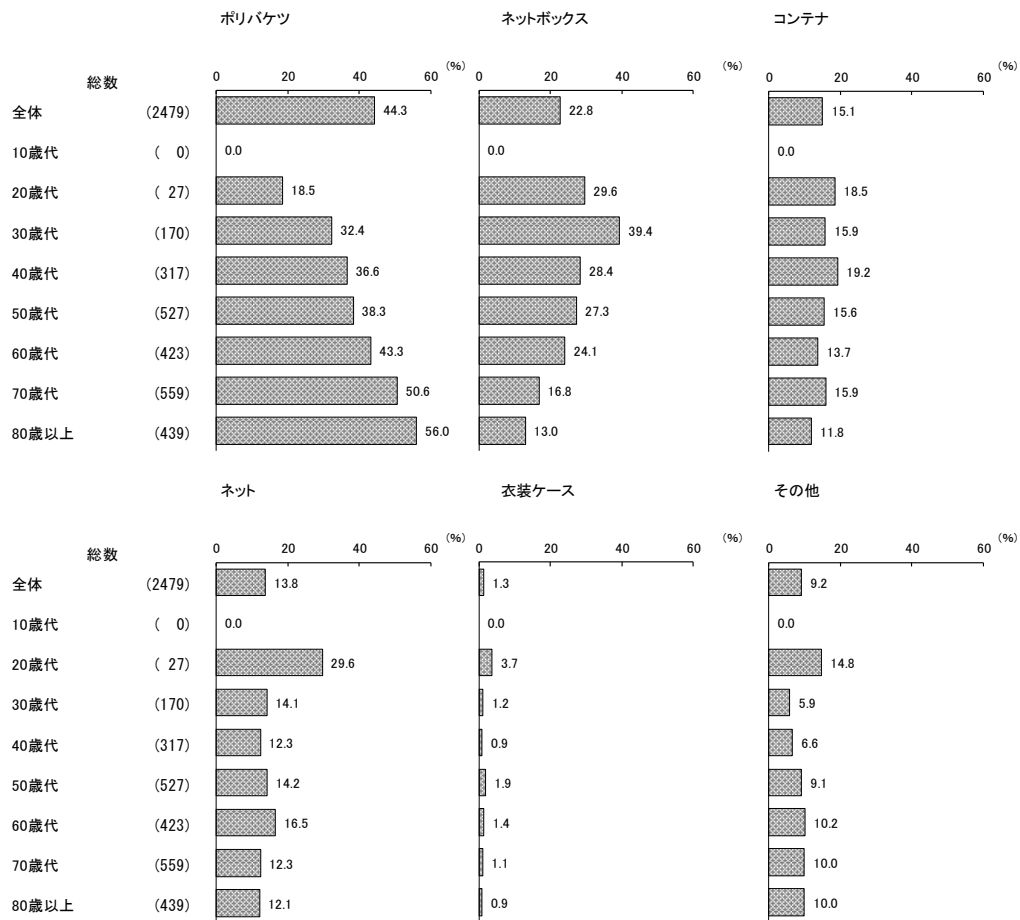
自治会加入状況別で見ると、「新たに用意したものを使用している」は自治会に加入しているで63.0%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用したものを活用している」は自治会に加入しているで39.7%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



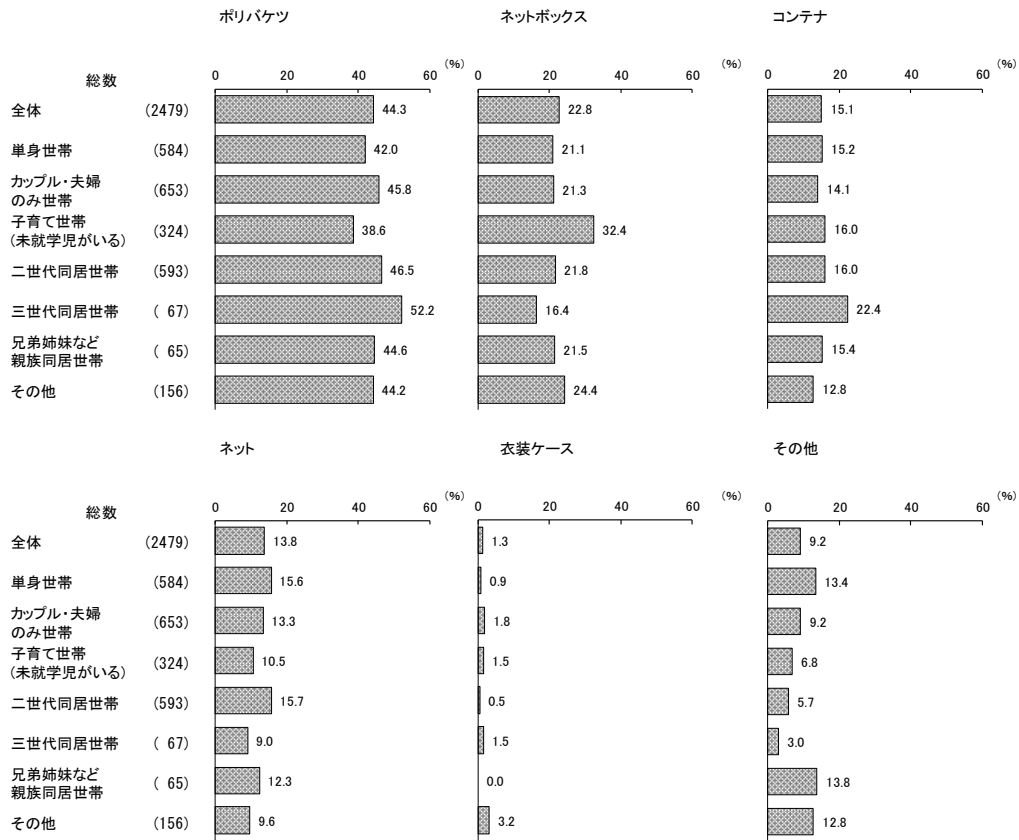
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「新たに用意したものを使用している」は参加しているで70.0%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用したものを活用している」は以前は参加していたで44.3%となっている。

○新たに用意したものを使用している方
【年齢別】



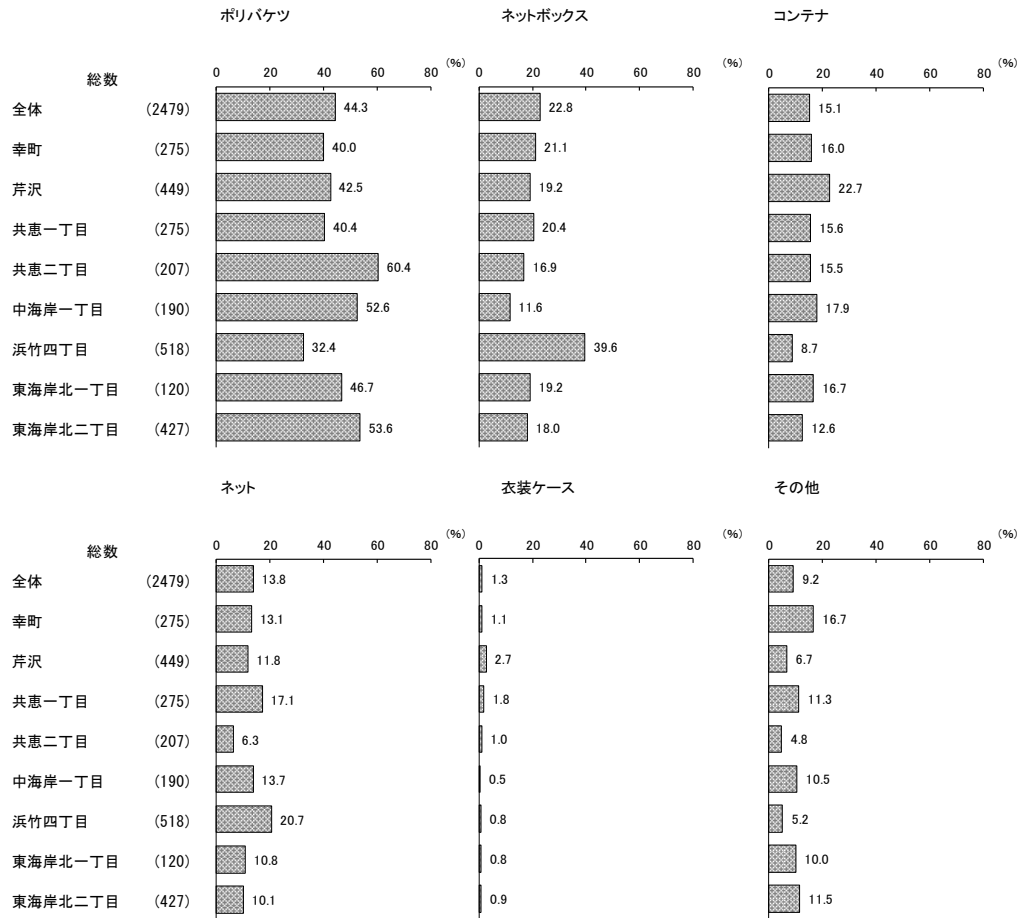
年齢別で見ると、「ポリバケツ」は80歳以上で56.0%、「ネットボックス」は30歳代で39.4%となっている。

【世帯構成別】



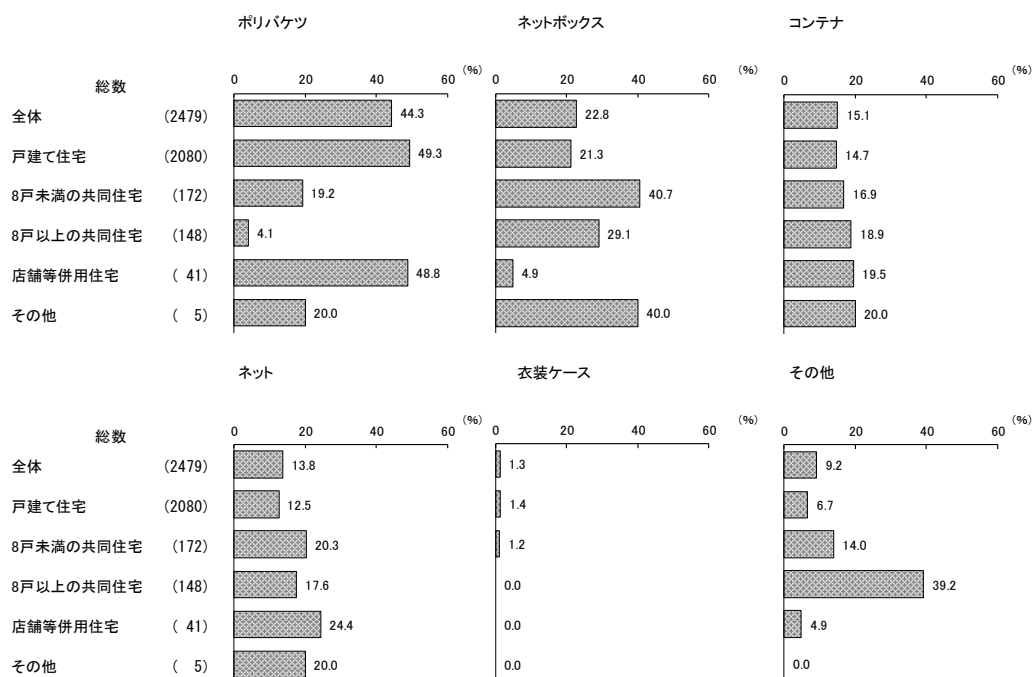
世帯構成別で見ると、「ポリバケツ」は三世帯同居世帯で52.2%、「ネットボックス」は子育て世代（未就学児がいる）で32.4%となっている。

【居住地域別】



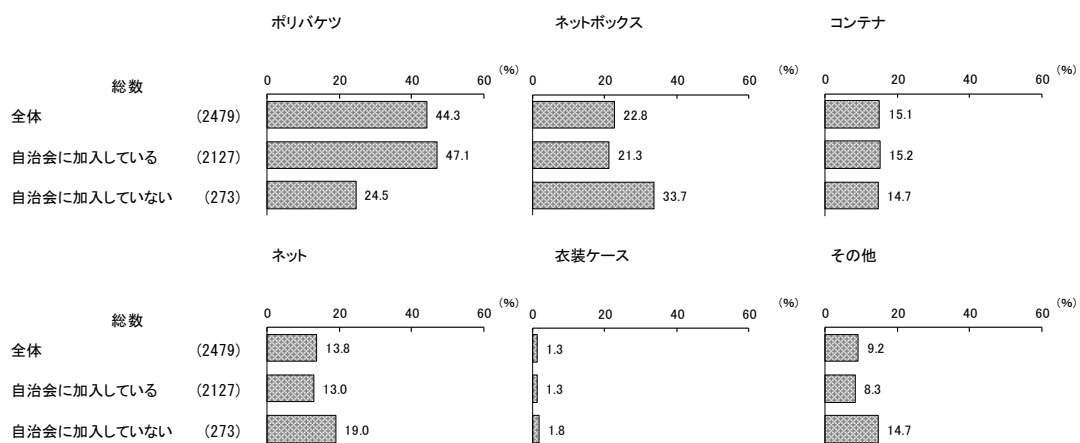
居住地域別で見ると、「ポリバケツ」は共恵二丁目で60.4%、「ネットボックス」は浜竹四丁目
39.6%となっている。

【住居形態別】



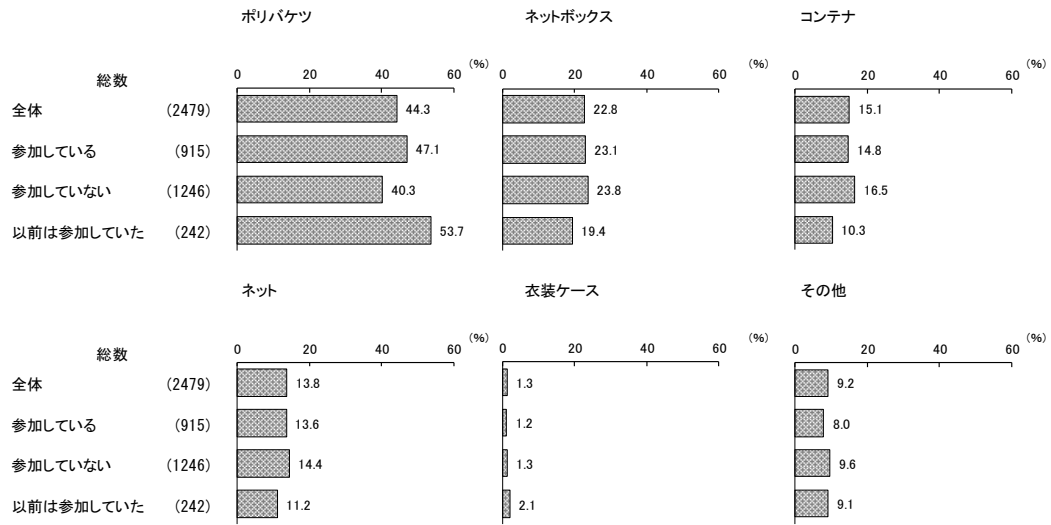
住居形態別で見ると、「ポリバケツ」は戸建て住宅で49.3%、「ネットボックス」は8戸未満の共同住宅で40.7%となっている。

【自治会加入状況別】



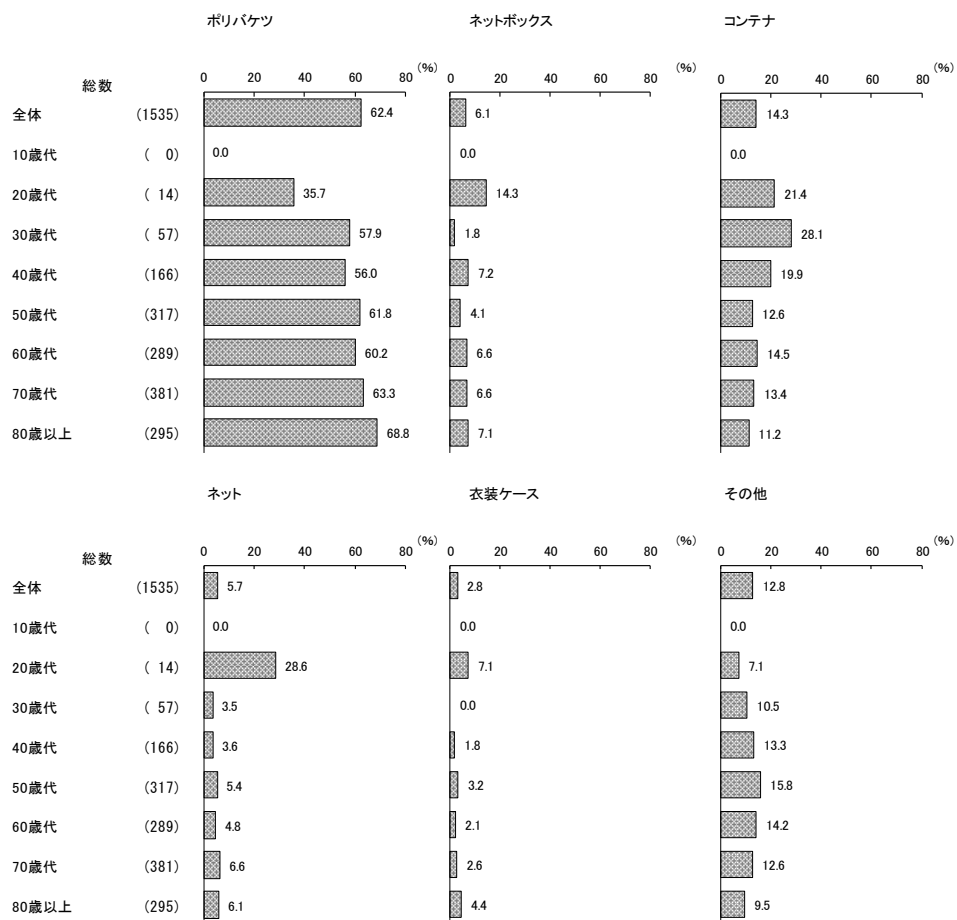
自治会加入状況別で見ると、「ポリバケツ」は自治会に加入しているで47.1%、「ネットボックス」は自治会に加入していないで33.7%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



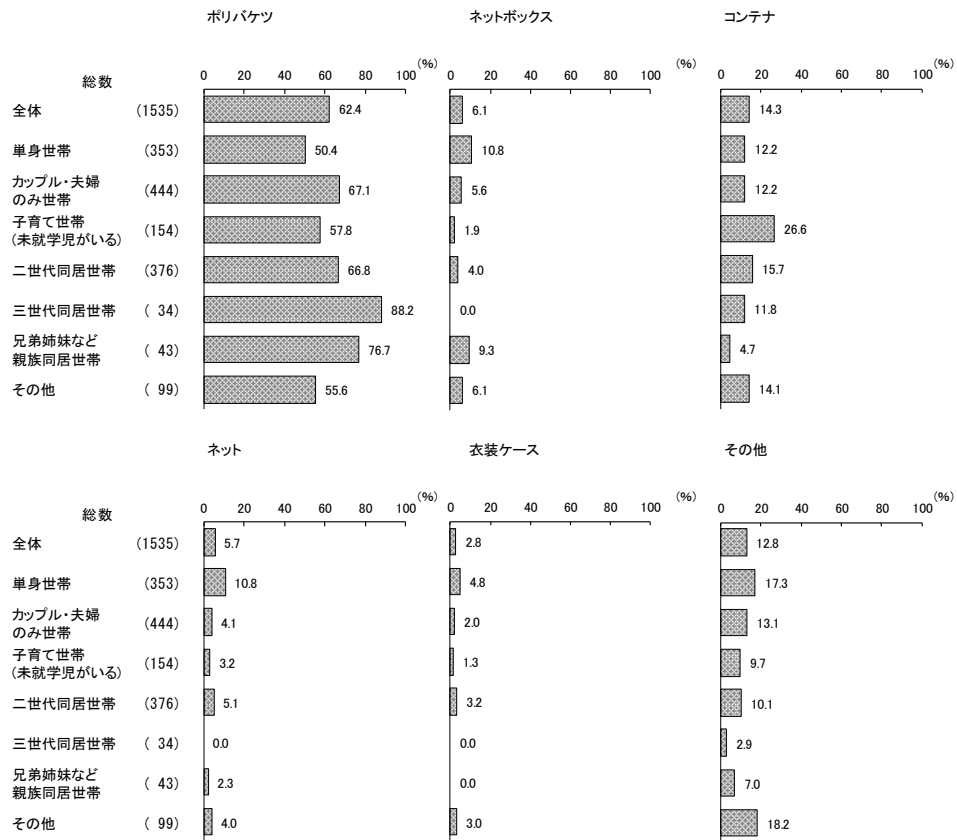
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「ポリバケツ」は以前は参加していたで53.7%、「ネットボックス」は参加していないで23.8%となっている。

○他の用途で使用していたものを活用している方
【年齢別】



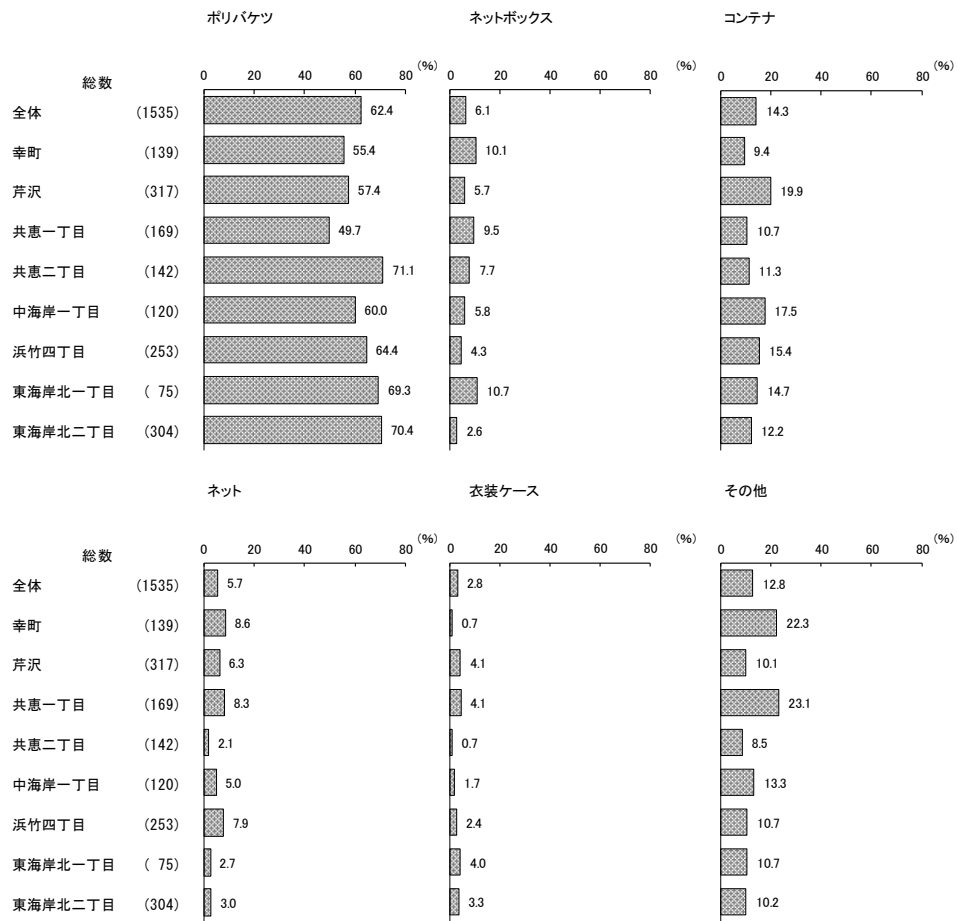
年齢別でみると、「ポリバケツ」は80歳以上で68.8%、「コンテナ」は30歳代で28.1%となっている。

【世帯構成別】



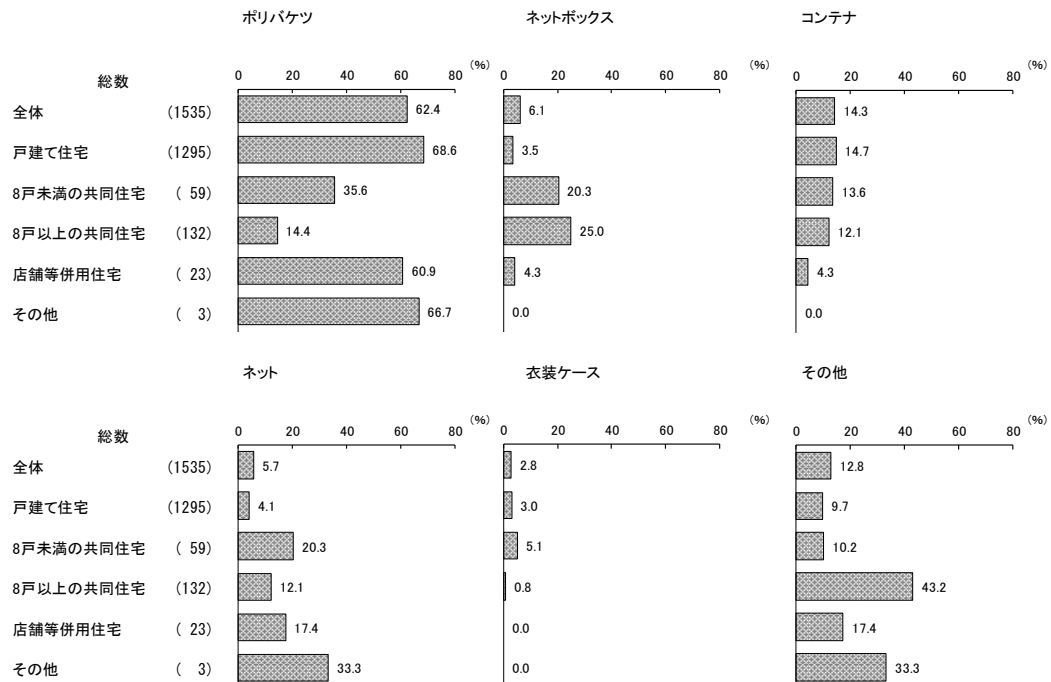
世帯構成別で見ると、「ポリバケツ」は三世代同居世帯で88.2%、「コンテナ」は子育て世帯（未就学児がいる）で26.6%となっている。

【居住地域別】



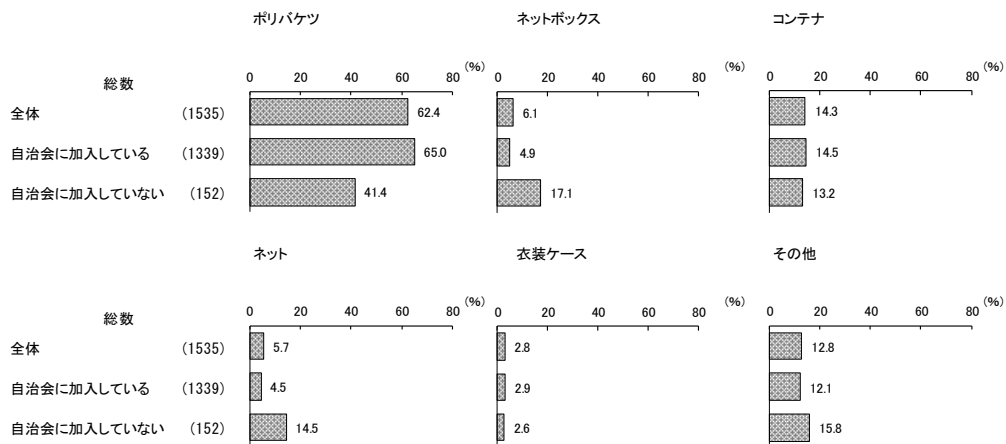
居住地域別で見ると、「ポリバケツ」は共恵二丁目で71.1%、「コンテナ」は芹沢で19.9%となっている。

【住居形態別】



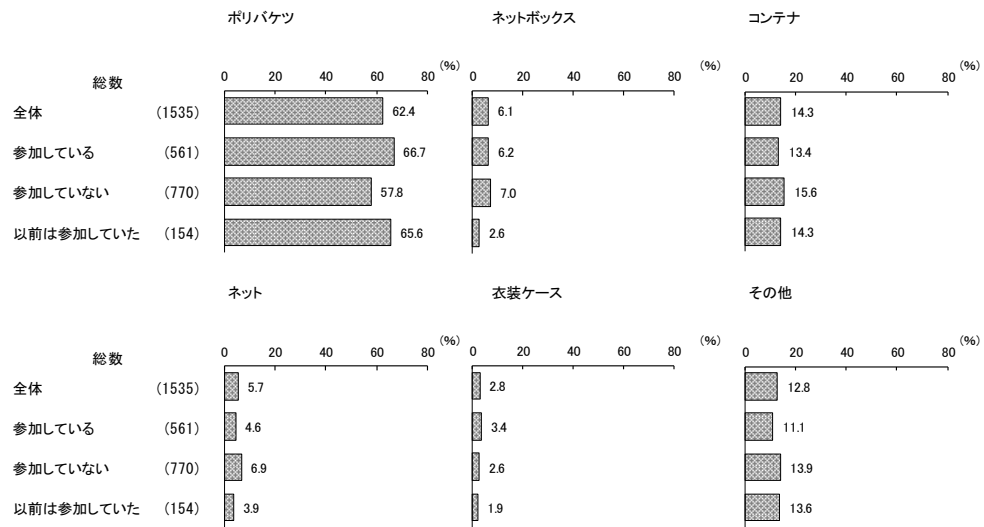
住居形態別で見ると、「ポリバケツ」は戸建て住宅で68.6%、「コンテナ」は戸建て住宅で14.7%となっている。

【自治会加入状況別】



自治会加入状況別で見ると、「ポリバケツ」は自治会に加入しているで65.0%、「コンテナ」は自治会に加入しているで14.5%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】

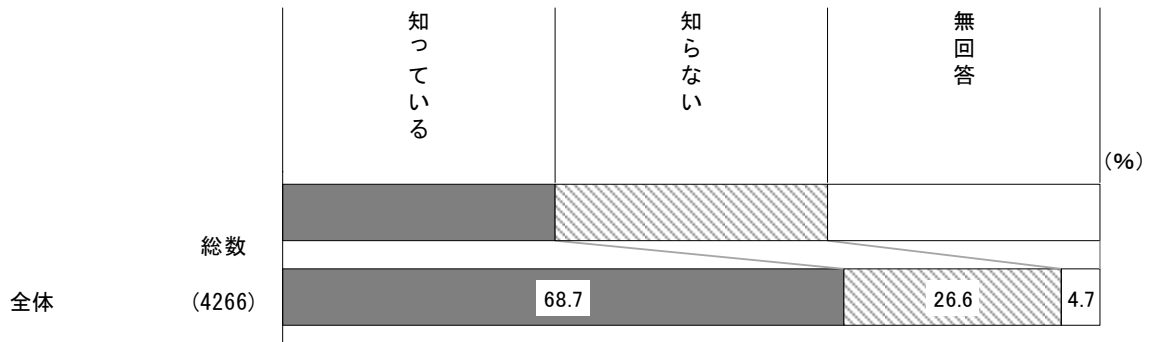


ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「ポリバケツ」は参加しているで66.7%、「コンテナ」は参加していないで15.6%となっている。

3. “集積場所（ステーション）の維持管理負担の変化” について

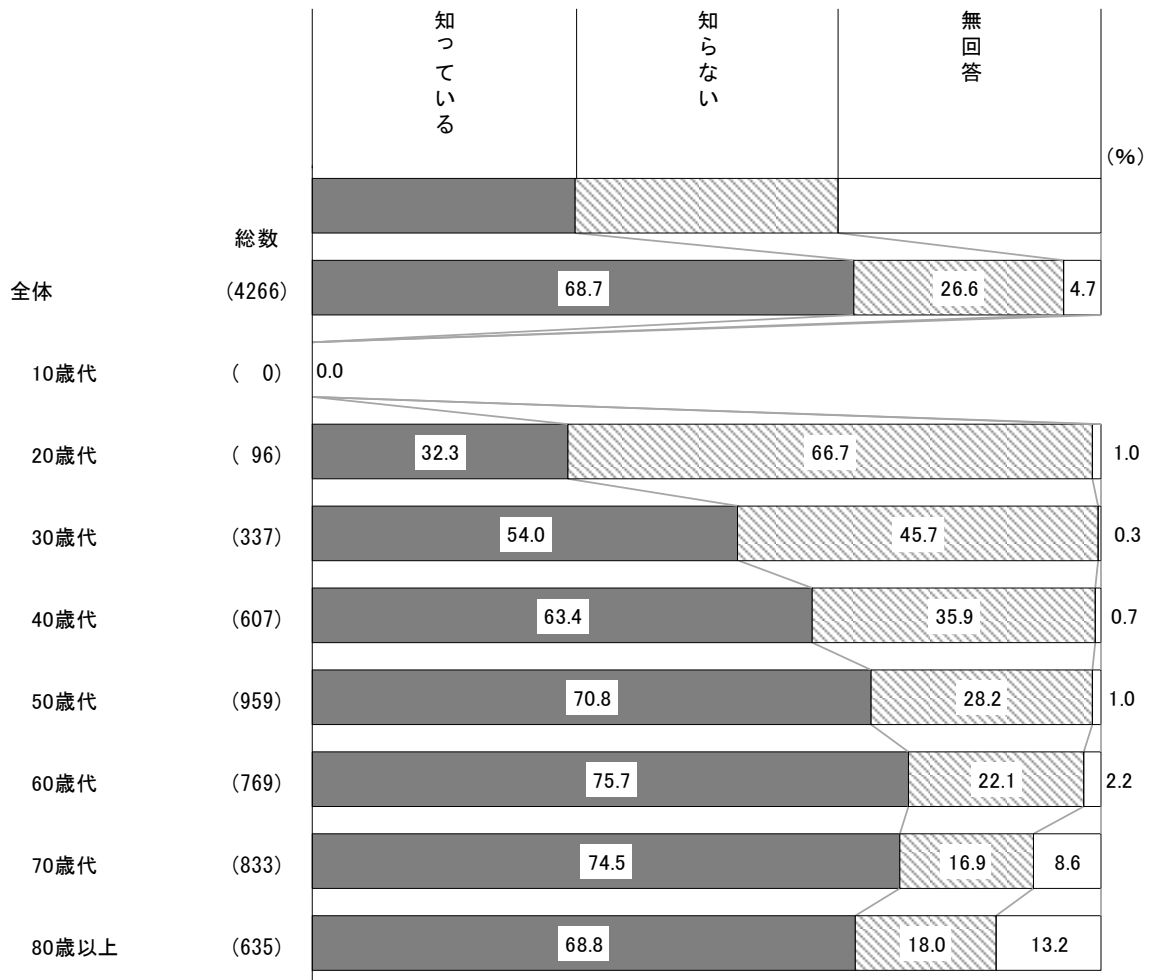
(1) ステーションを起因とする諸問題の認知

問6 本市は、ステーションを起因とする諸問題を解消していくため、戸別収集の導入を検討しています。現在、市内では次のようなステーションを起因とする諸問題が発生し、その多くが常態化しています。この現状をご存知ですか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



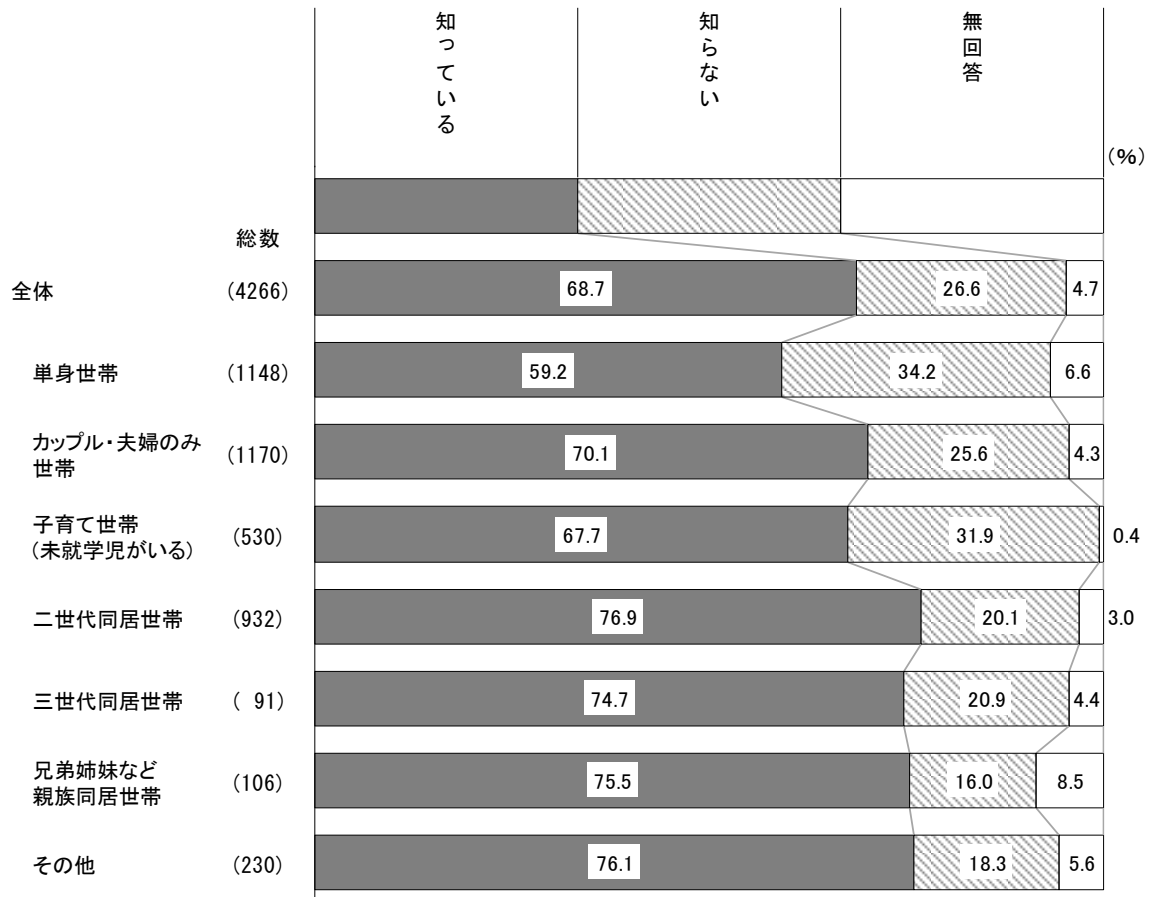
ステーションを起因とする諸問題の認知度について聞いたところ、「知っている」は68.7%、「知らない」は26.6%となっている。

【年齢別】



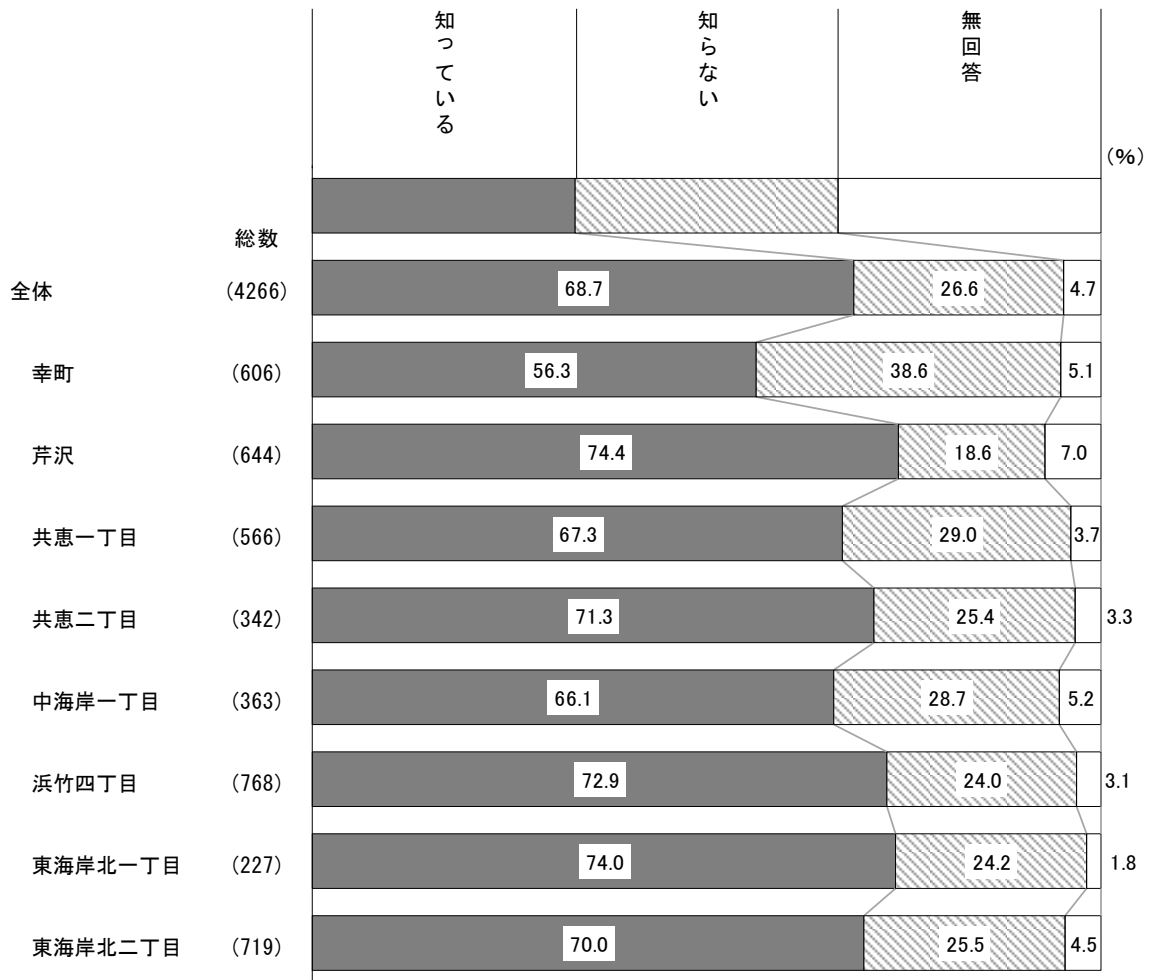
年齢別でみると、「知っている」は60歳代で75.7%、「知らない」は20歳代で66.7%となっている。

【世帯構成別】



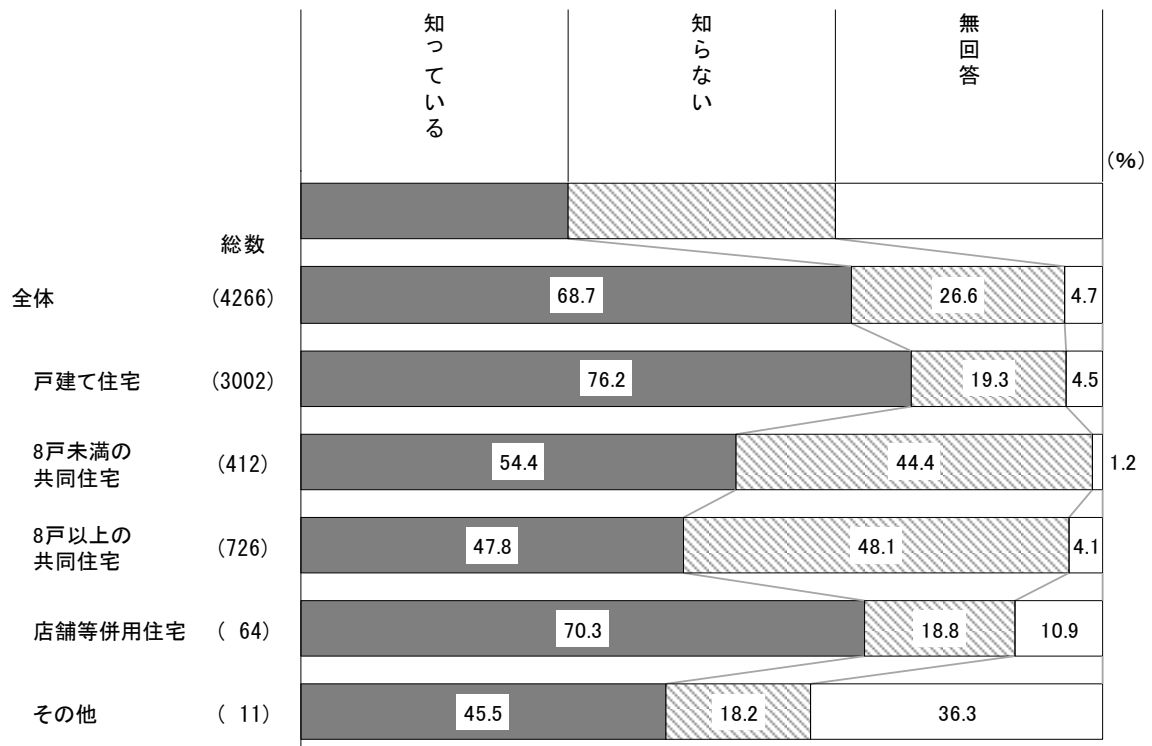
世帯構成別でみると、「知っている」は二世帯同居世帯で76.9%、「知らない」は単身世帯で34.2%となっている。

【居住地域別】



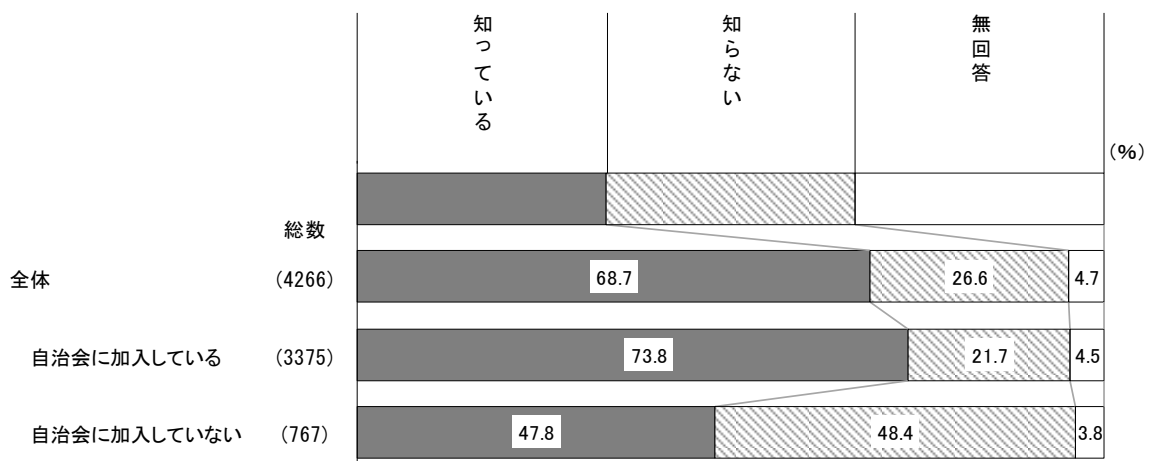
居住地域別で見ると、「知っている」は芹沢で74.4%、「知らない」は幸町で38.6%となっている。

【住居形態別】



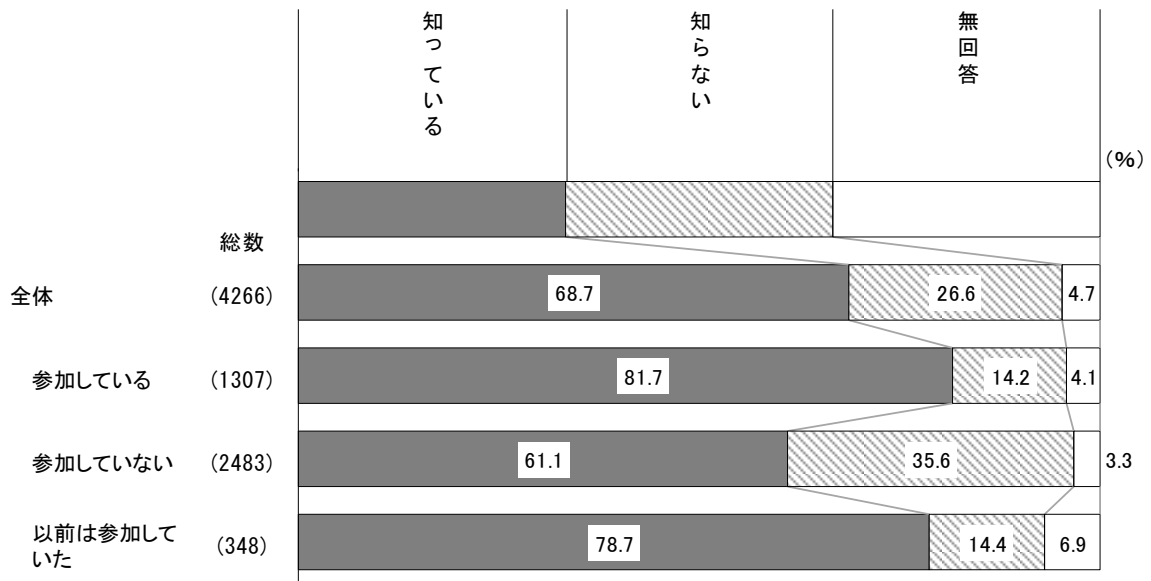
住居形態別でみると、「知っている」は戸建て住宅で76.2%、「知らない」は8戸以上の共同住宅で48.1%となっている。

【自治会加入状況別】



自治会加入状況別でみると、「知っている」は自治会に加入しているで73.8%、「知らない」は自治会に加入していないで48.4%となっている。

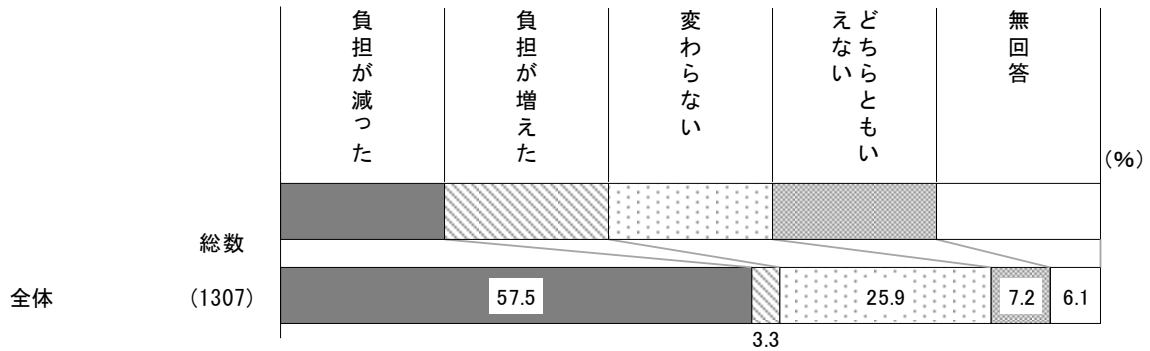
【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「知っている」は参加しているで81.7%、「知らない」は参加していないで35.6%となっている。

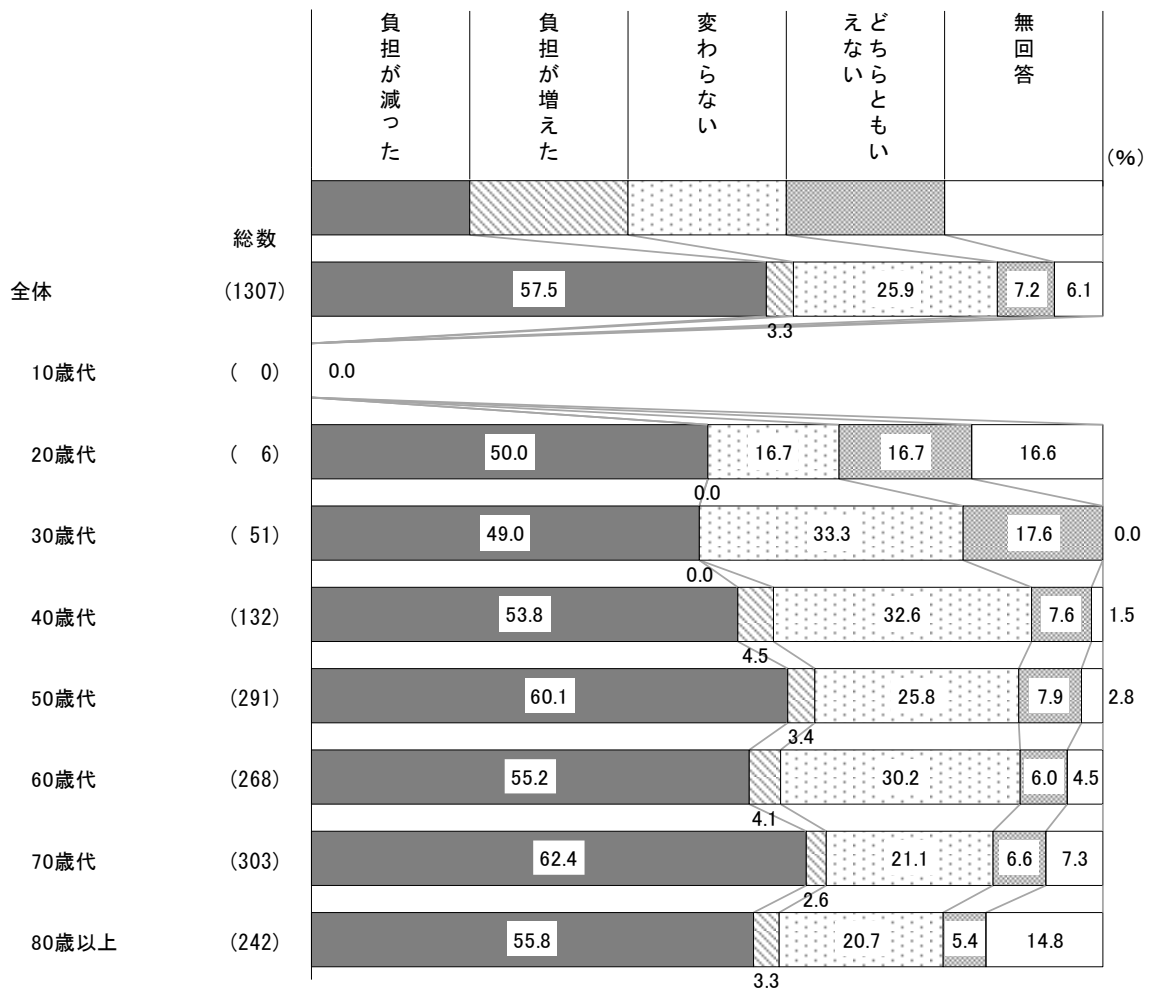
(2) ステーションの維持管理負担の変化

問7 ステーションは、利用者の皆さままで維持管理していただいています。問1で「① 集積場所（ステーション）の清掃当番等に参加している」を選んだ方のみ、燃やせるごみが戸別収集となり、ステーションの維持管理負担に変化はありますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



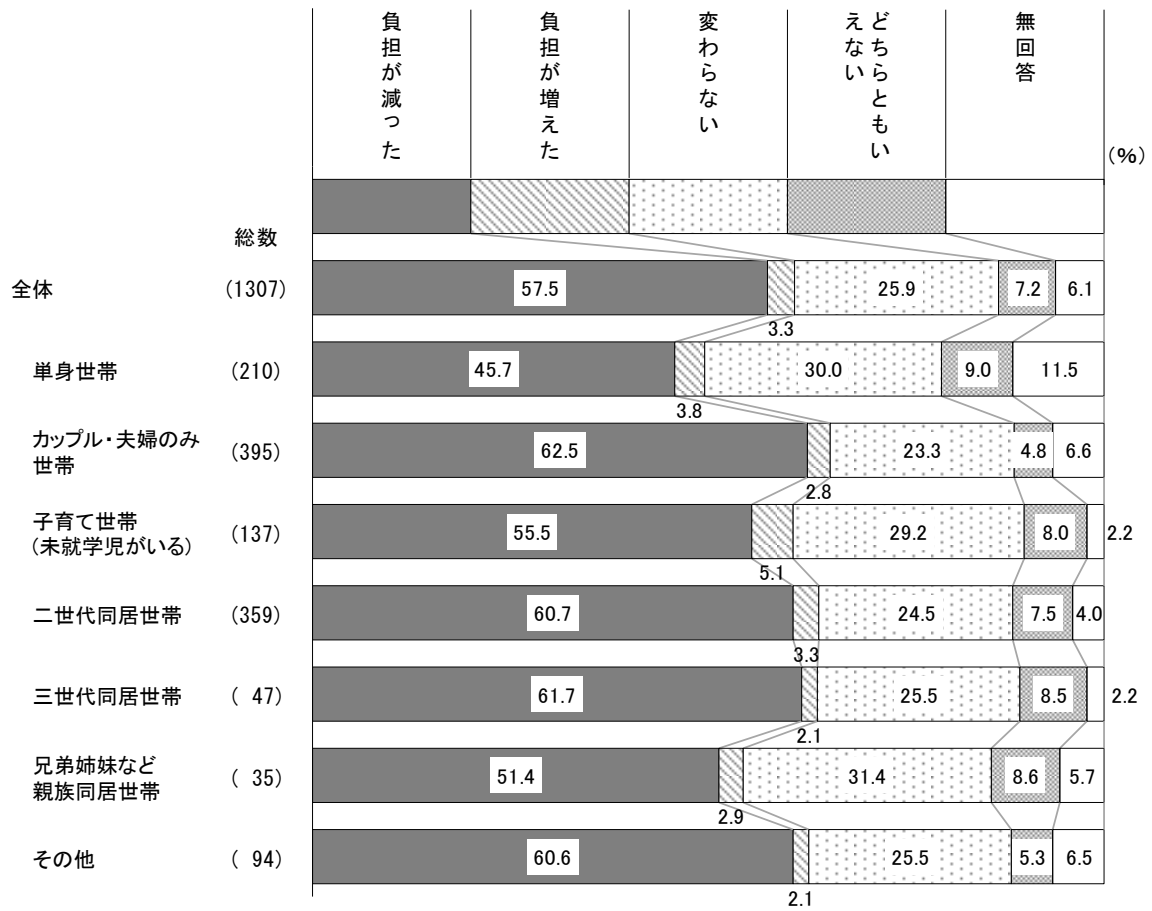
ステーションの清掃当番等に参加していると回答した方に、維持管理負担の変化について聞いたところ、「負担が減った」は57.5%、「変わらない」は25.9%、「負担が増えた」は3.3%となっている。

【年齢別】



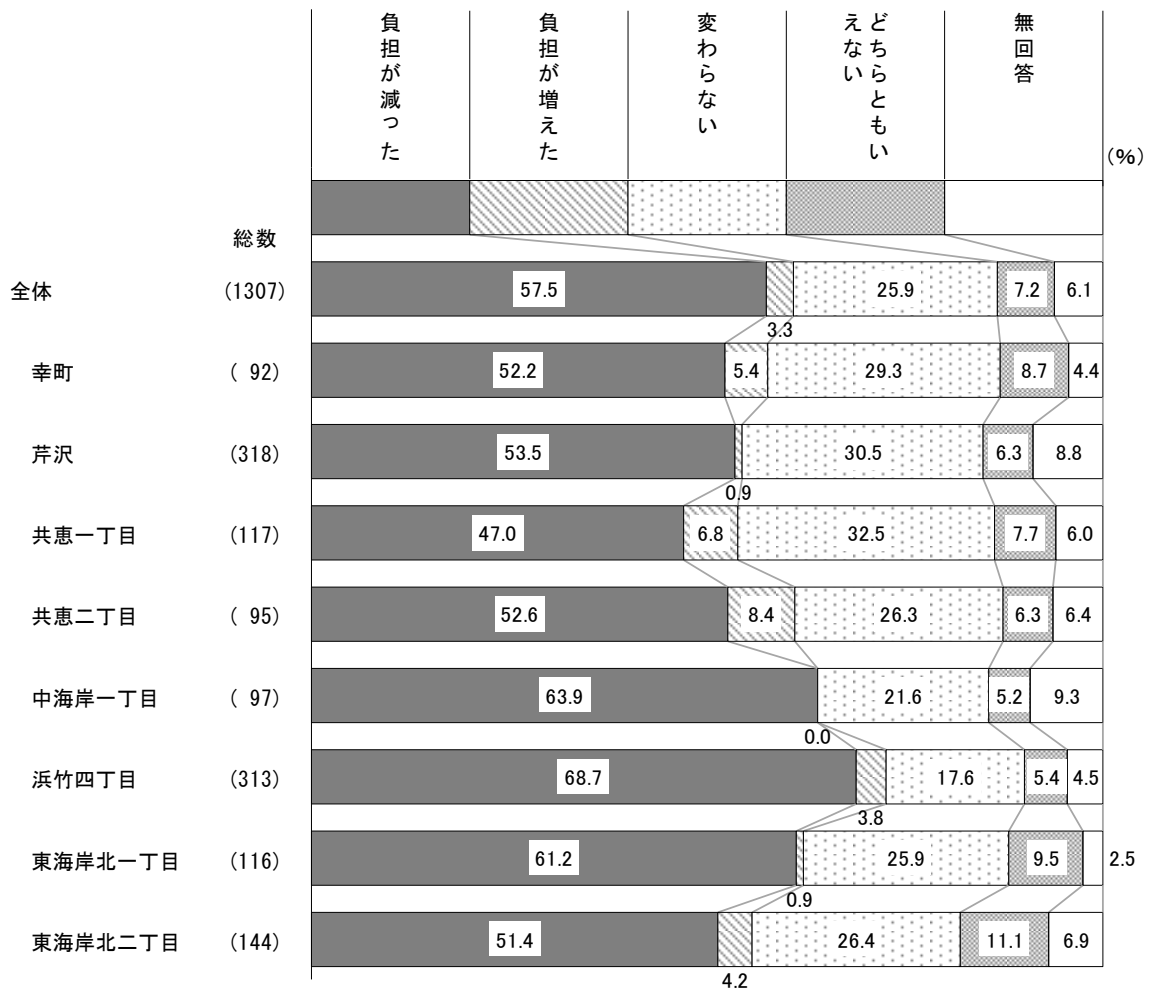
年齢別でみると、「負担が減った」は70歳代で62.4%、「変わらない」は30歳代で33.3%となっている。

【世帯構成別】



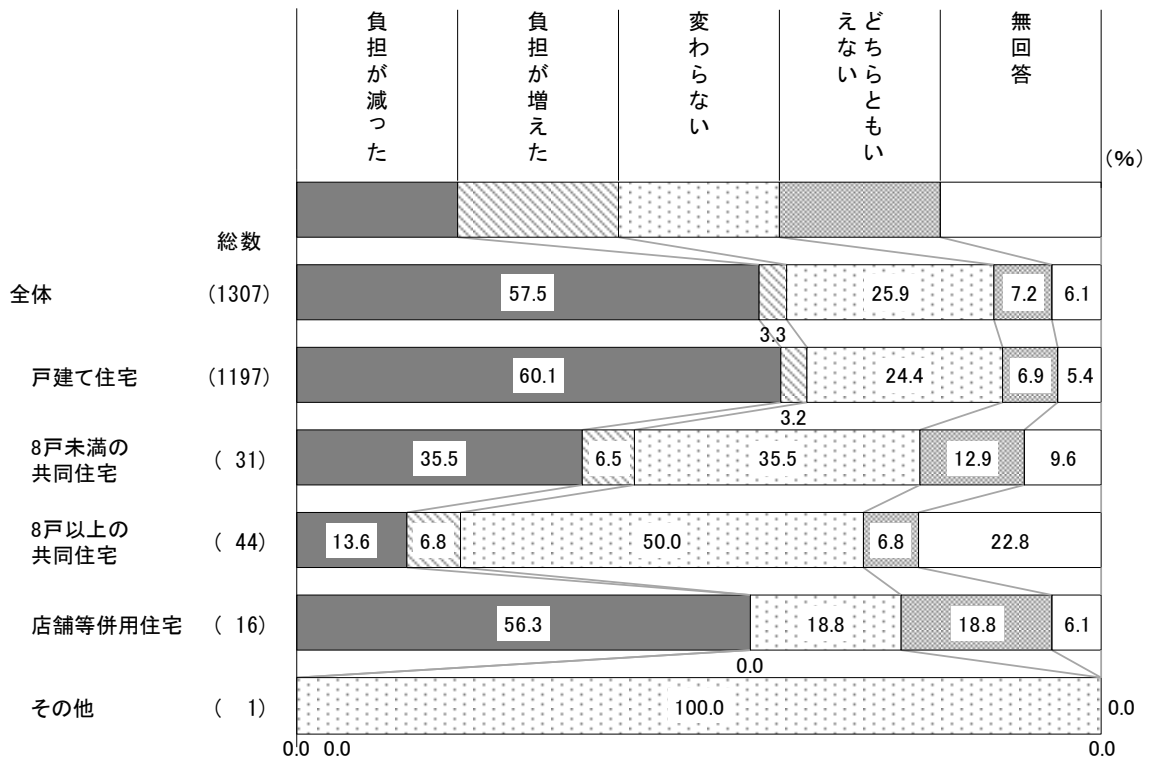
世帯構成別でみると、「負担が減った」はカップル・夫婦のみ世帯で62.5%、「変わらない」は兄弟姉妹など親族同居世帯で31.4%となっている。

【居住地域別】



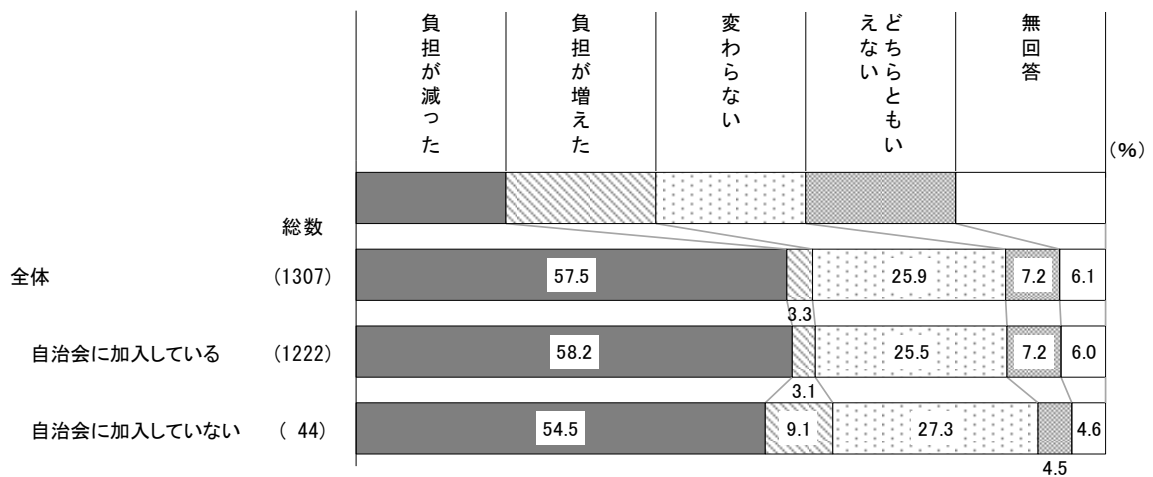
居住地域別で見ると、「負担が減った」は浜竹四丁目で68.7%、「変わらない」は共恵一丁目
32.5%となっている。

【住居形態別】



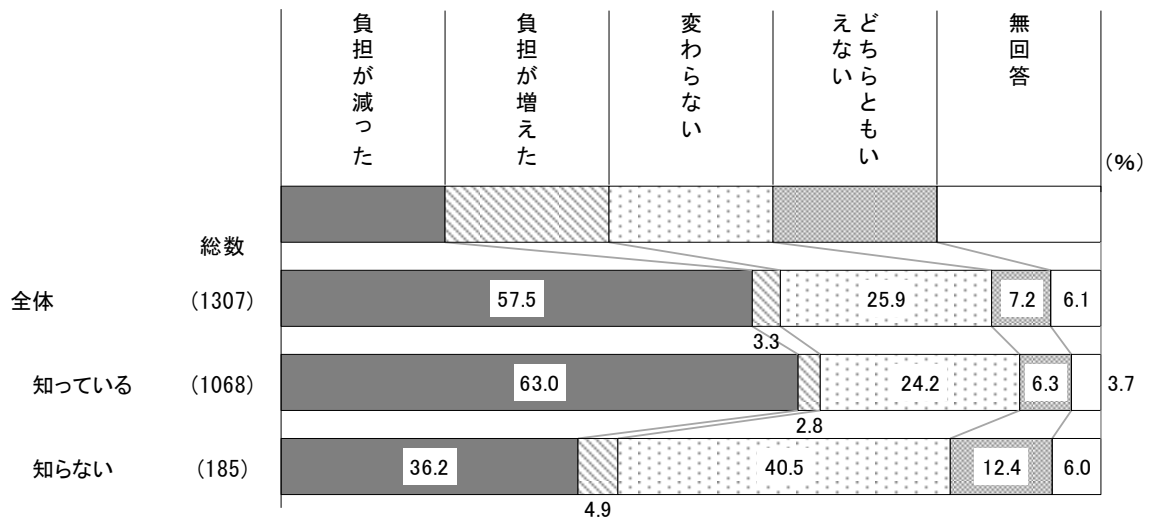
住居形態別で見ると、「負担が減った」は戸建て住宅で60.1%、「変わらない」は8戸以上の共同住宅で50.0%となっている。

【自治会加入状況別】



自治会加入状況別で見ると、「負担が減った」は自治会に加入しているで58.2%、「変わらない」は自治会に加入していないで27.3%となっている。

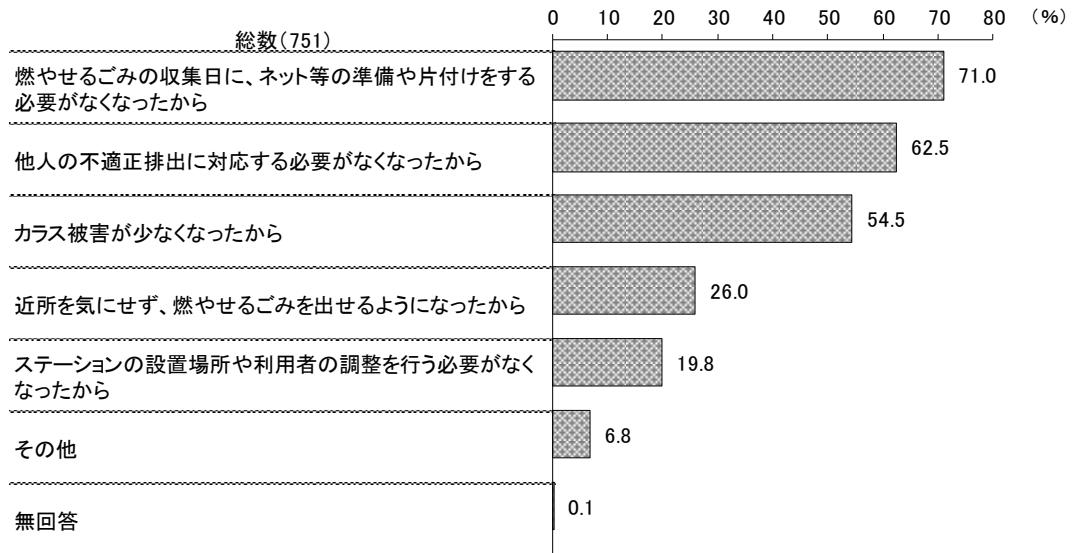
【ステーションを起因とする諸問題の認知別】



ステーションを起因とする諸問題の認知別でみると、「負担が減った」は知っているで63.0%、「変わらない」は知らないで40.5%となっている。

(3) ステーションの維持管理負担が減った理由

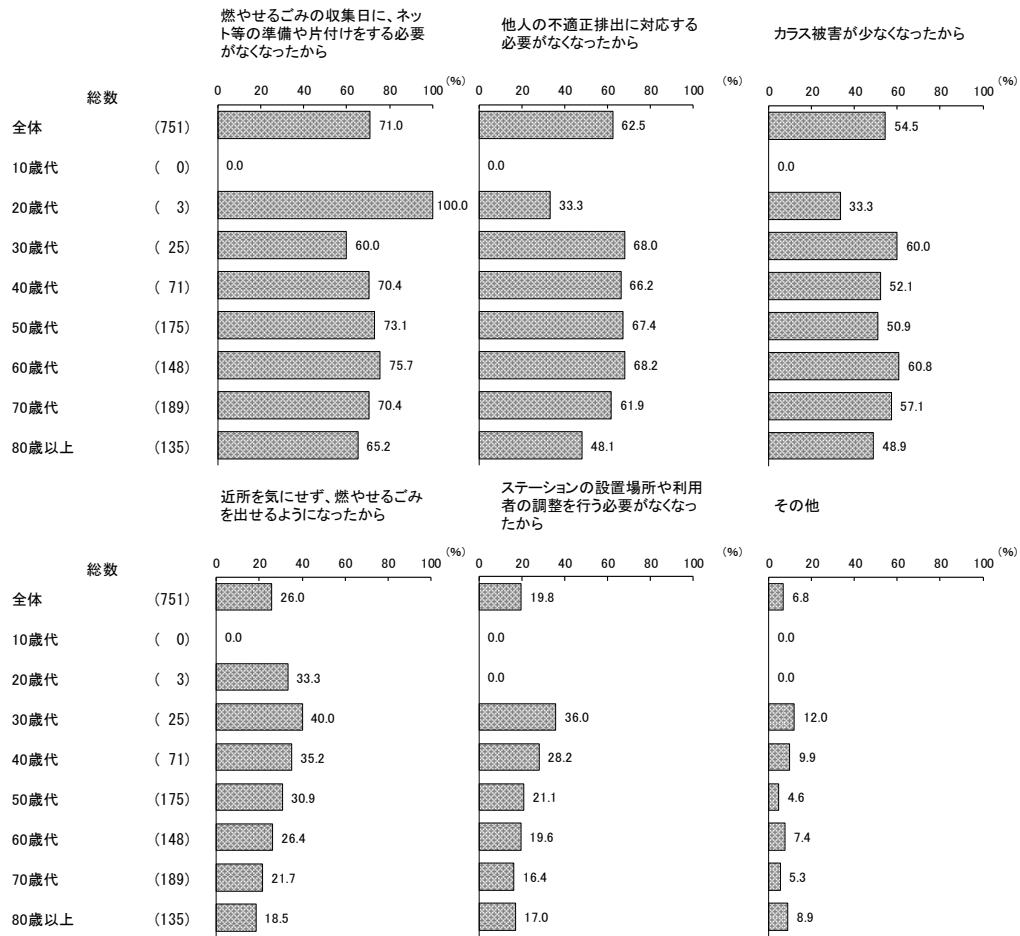
問8 問7で「① 負担が減った」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



ステーションの維持管理負担が減ったと回答した方にその理由について聞いたところ、「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなったから」は71.0%、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は62.5%となっている。

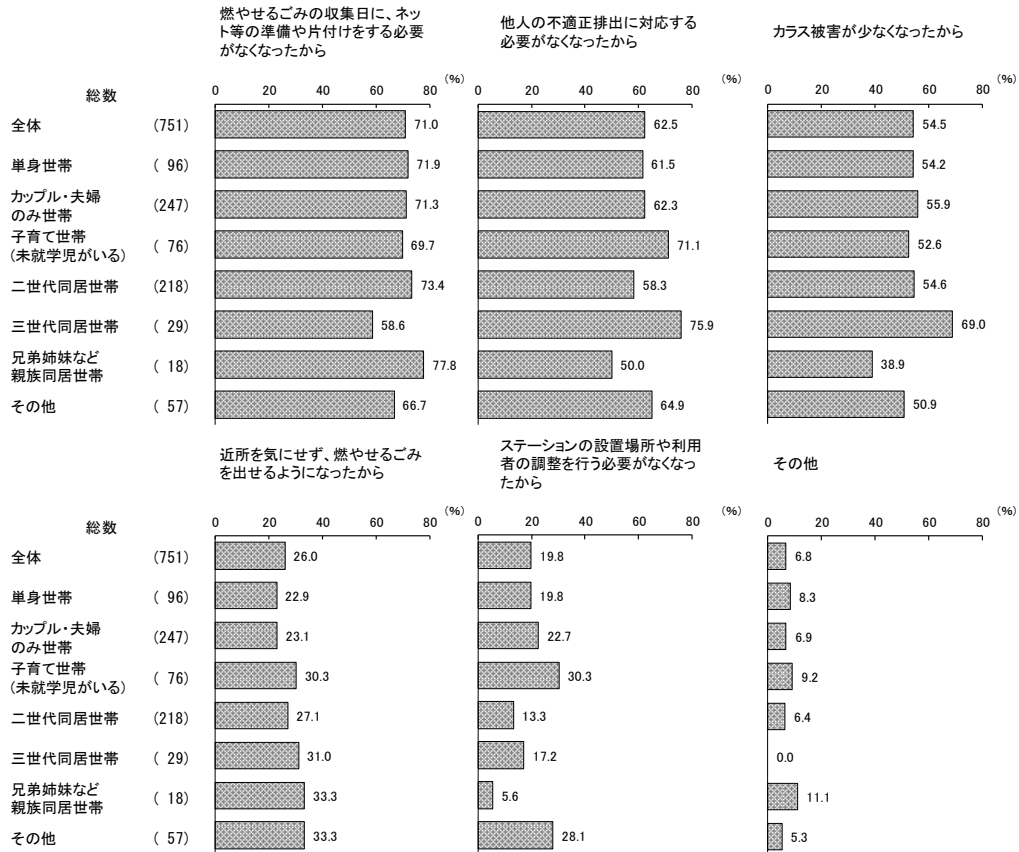
また、その他の意見として「収集時間帯が朝から午後になり時間に余裕が出来ました」、「用意しているコンテナがいつまでもごみステーションにある(一晩中)ことがなくなり通りがスッキリしている」、「コロナ禍の際、マスクなどの排出物に気をとられなくなった」などがあつた。

【年齢別】



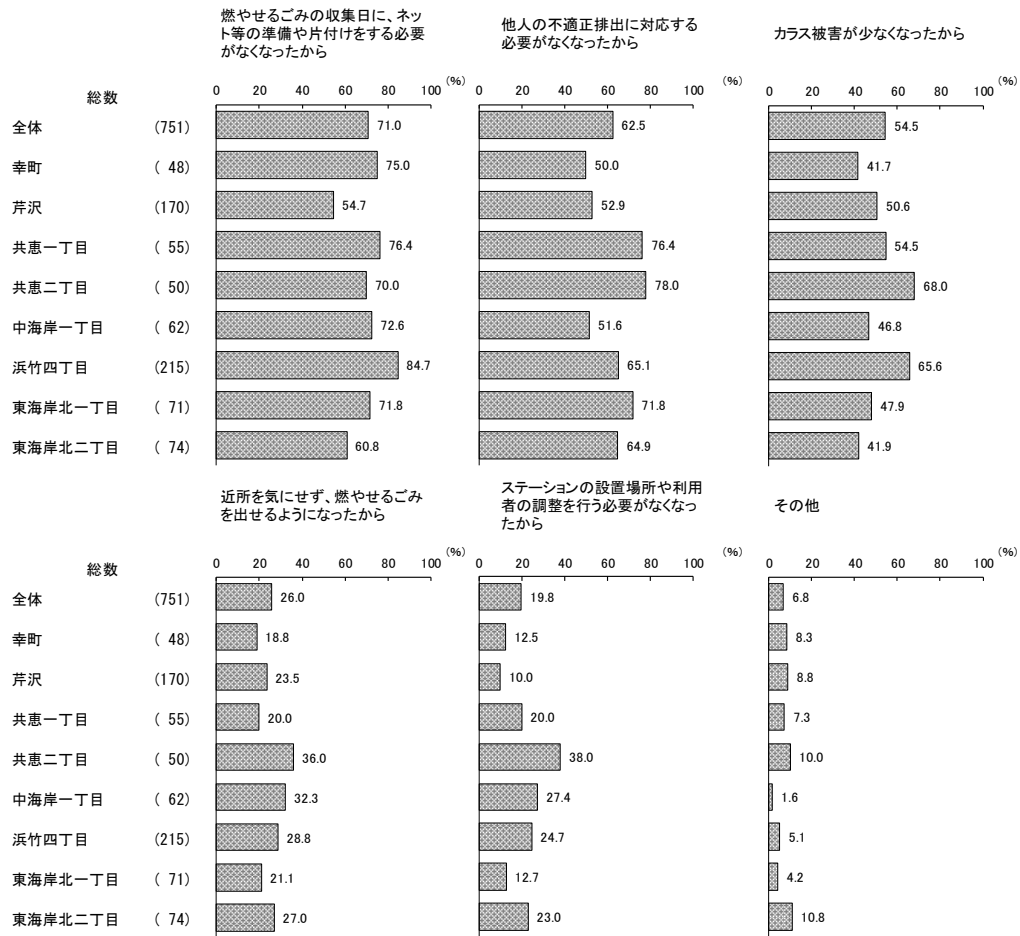
年齢別でみると、「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなったから」は60歳代で75.7%、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は60歳代で68.2%となっている。

【世帯構成別】



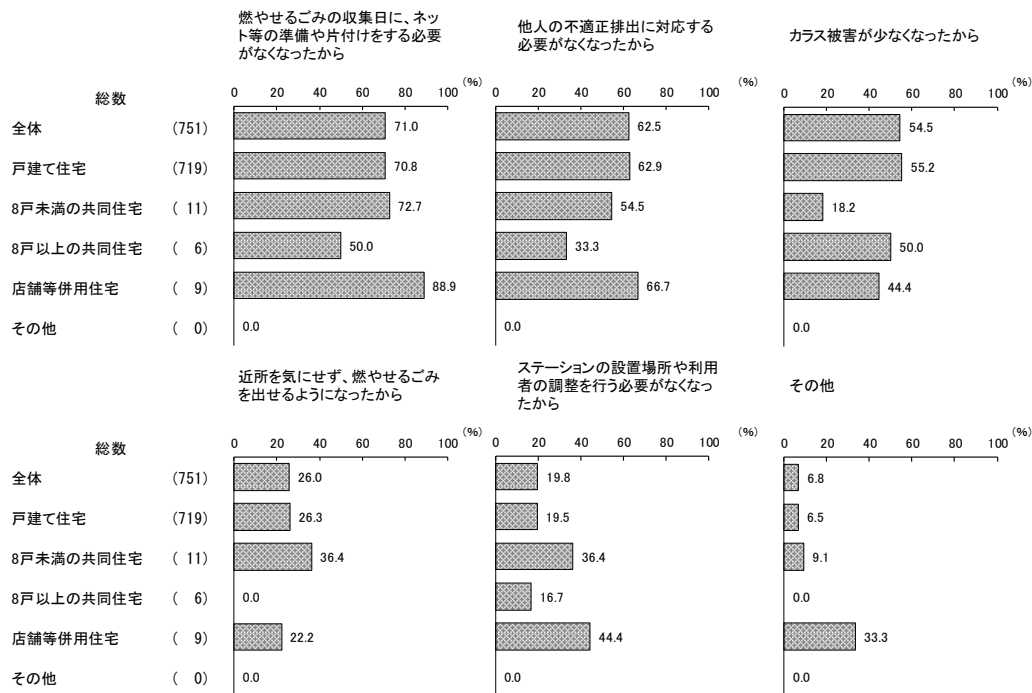
世帯構成別でみると、「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなったから」は二世帯同居世帯で73.4%、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は三世帯同居世帯で75.9%となっている。

【居住地域別】



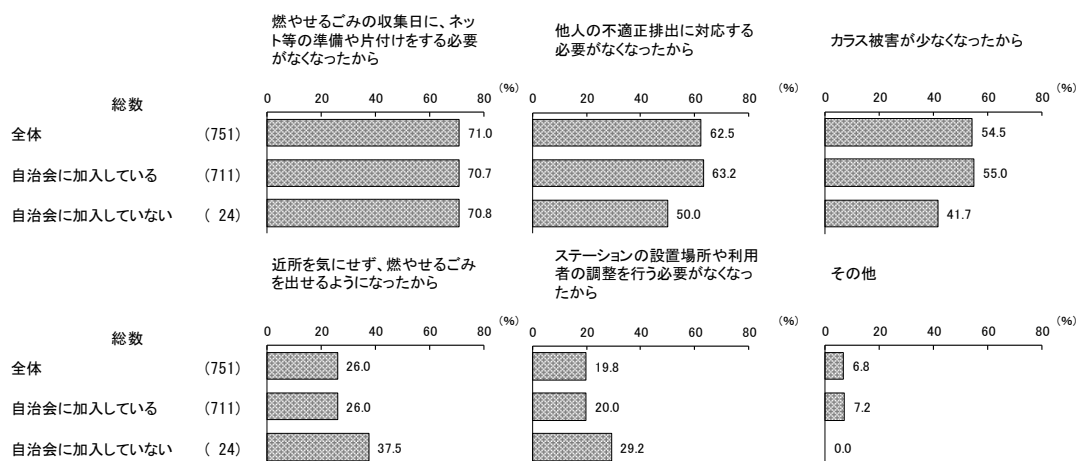
居住地域別で見ると、「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなったから」は浜竹四丁目で84.7%、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は共恵二丁目で78.0%となっている。

【住居形態別】



住居形態別でみると、「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなったから」は戸建て住宅で70.8%、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は戸建て住宅で62.9%となっている。

【自治会加入状況別】



自治会加入状況別でみると、「燃やせるごみの収集日に、ネット等の準備や片付けをする必要がなくなったから」は自治会に加入していないで70.8%、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は自治会に加入しているで63.2%となっている。

(4) ステーションの維持管理負担が増えた理由

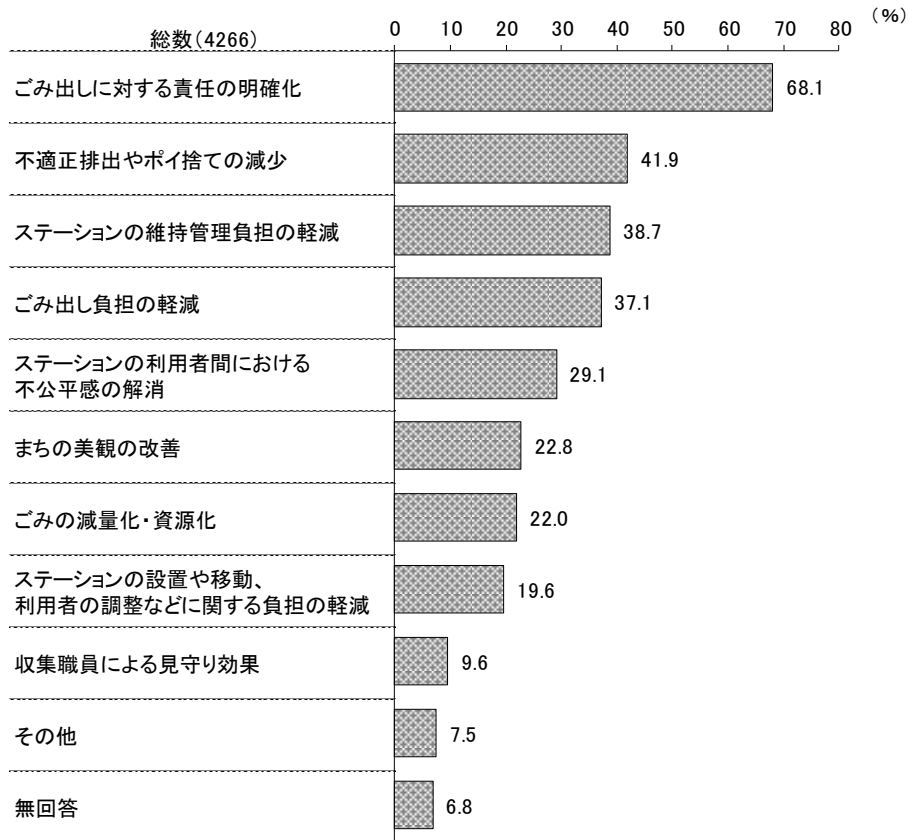
問9 問7で「② 負担が増えた」を選んだ方のみ、どのような時に負担を感じたかお聞かせください。(自由記述)

ステーションの維持管理負担が増えたと回答した方にその理由について聞いたところ、「収集日以外に誤ってステーションにごみを出す人がいる」「燃やせるごみの掃除当番はなくなったが、プラごみの掃除当番が増えた」などがあった。

4. “戸別収集に対するニーズなど” について

(1) 戸別収集のメリット

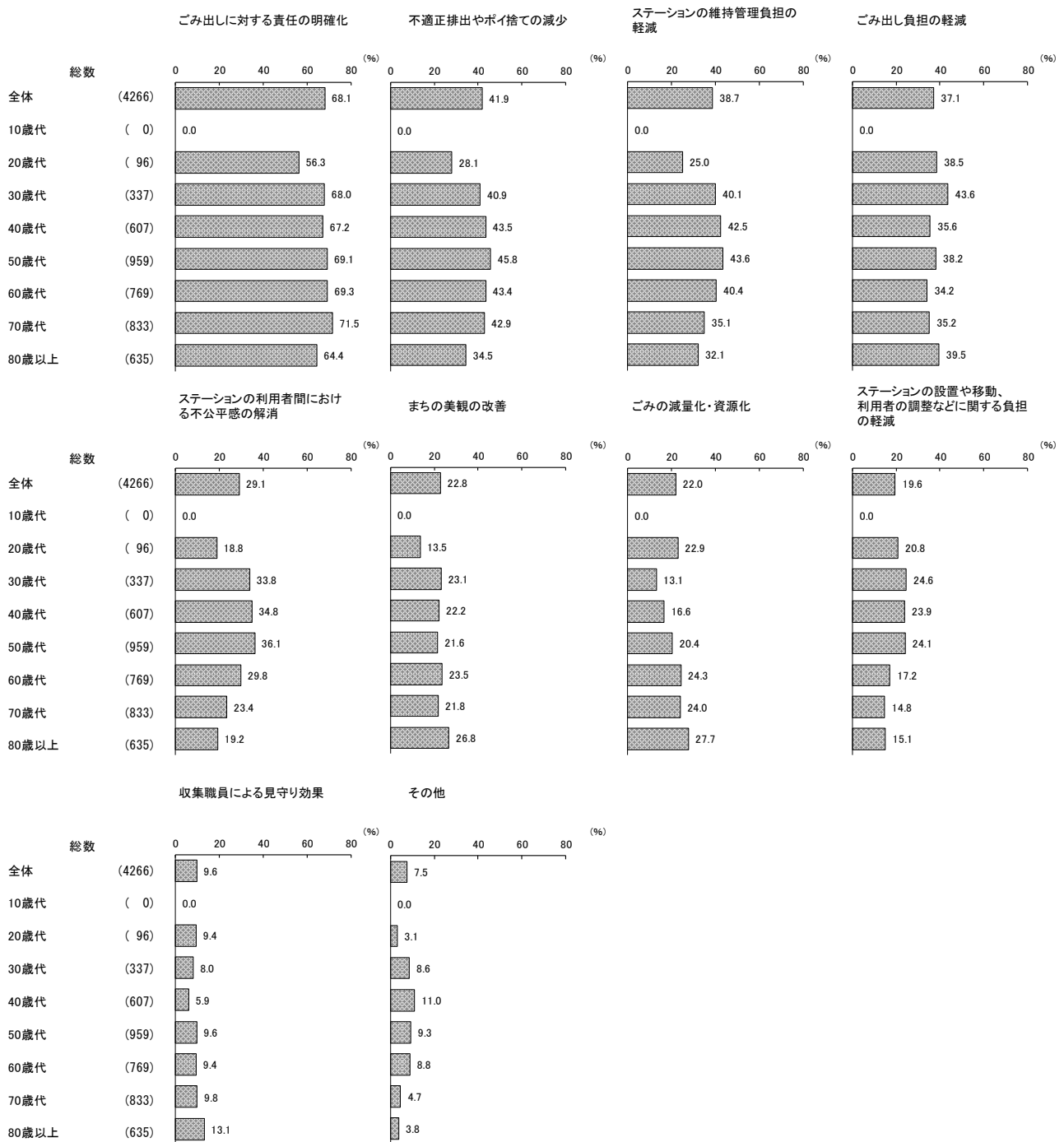
問10 戸別収集を体験し、戸別収集のメリットであると感じているもの全てに○をしてください。



戸別収集のメリットであると感じているものについて聞いたところ、「ごみ出しに対する責任の明確化」は68.1%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は41.9%となっている。

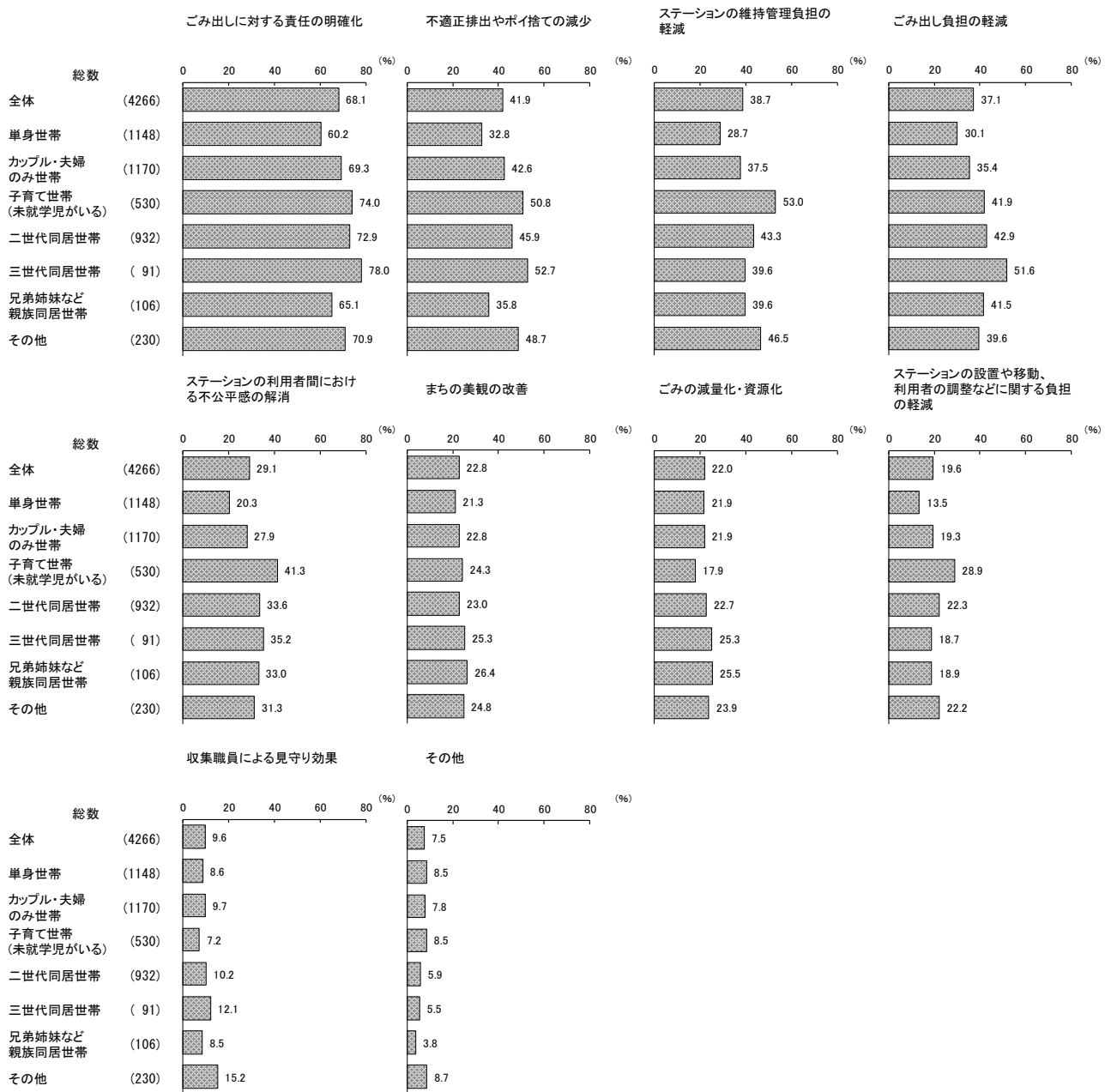
また、その他の意見として「高齢者の雇用機会が増加する」、「道路幅が確保された」、「カラスによるごみ散らかしの被害がなくなった」などがあつた。

【年齢別】



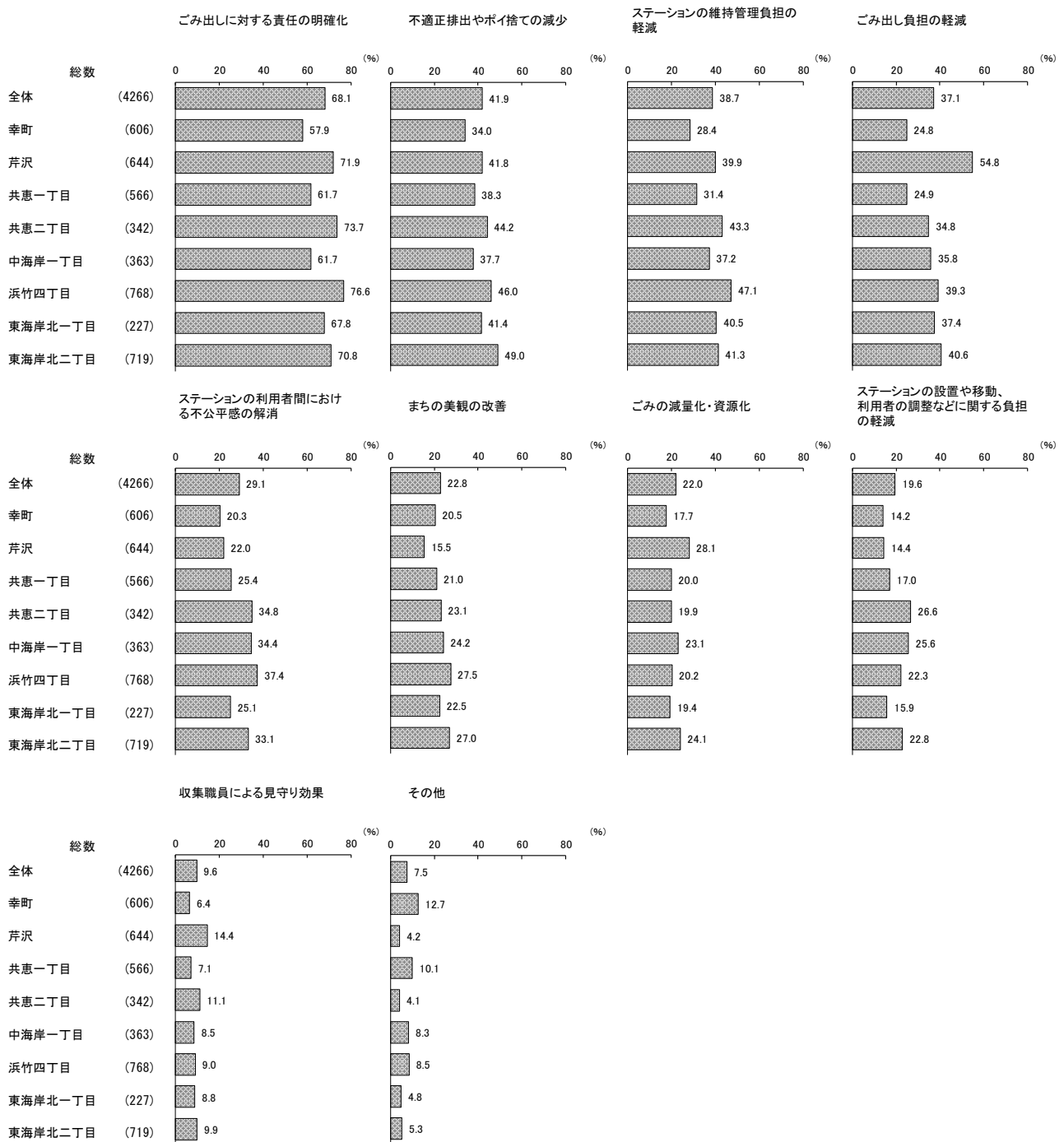
年齢別でみると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は70歳代で71.5%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は50歳代で45.8%となっている。

【世帯構成別】



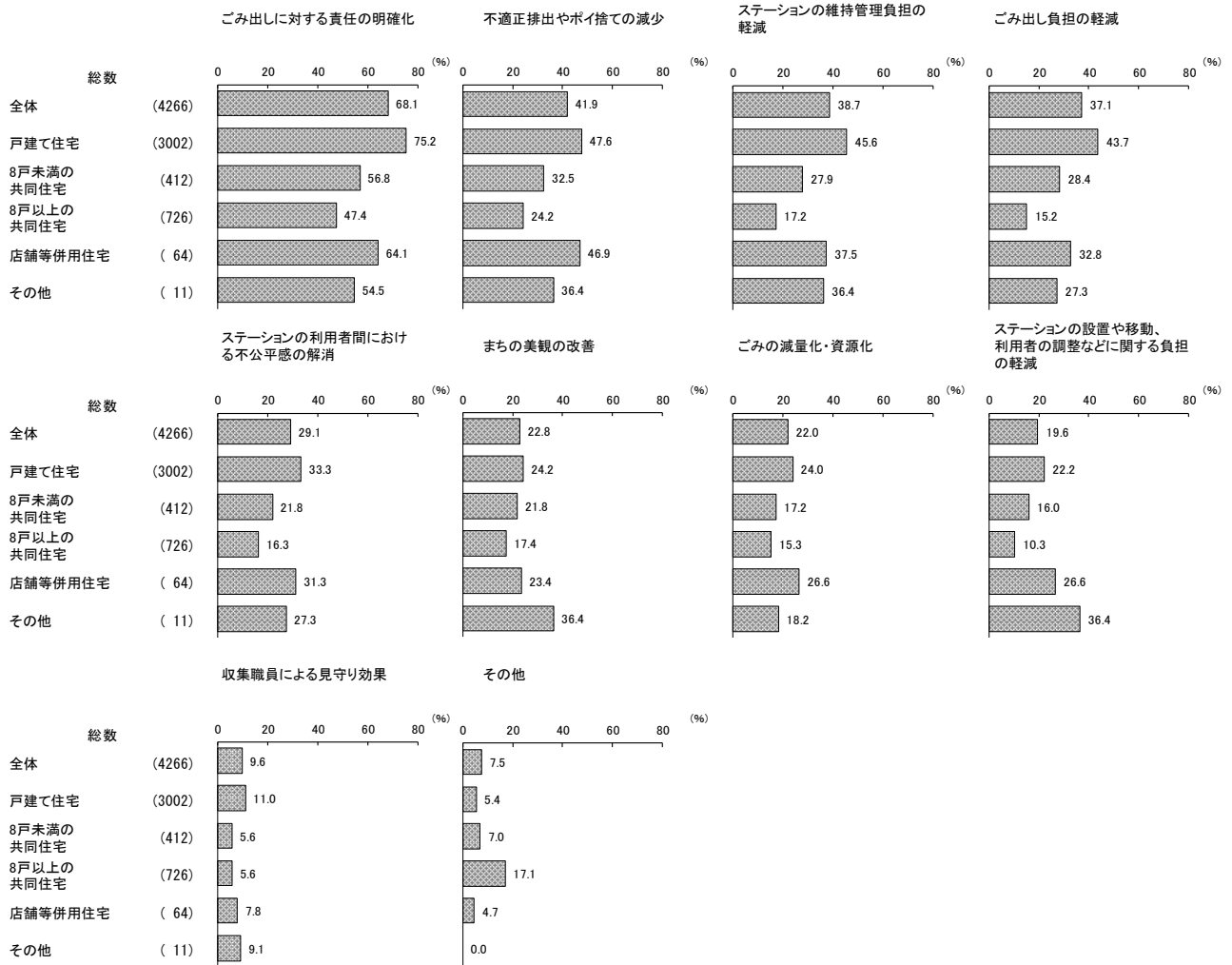
世帯構成別でみると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は三世帯同居世帯で78.0%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は52.7%となっている。

【居住地域別】



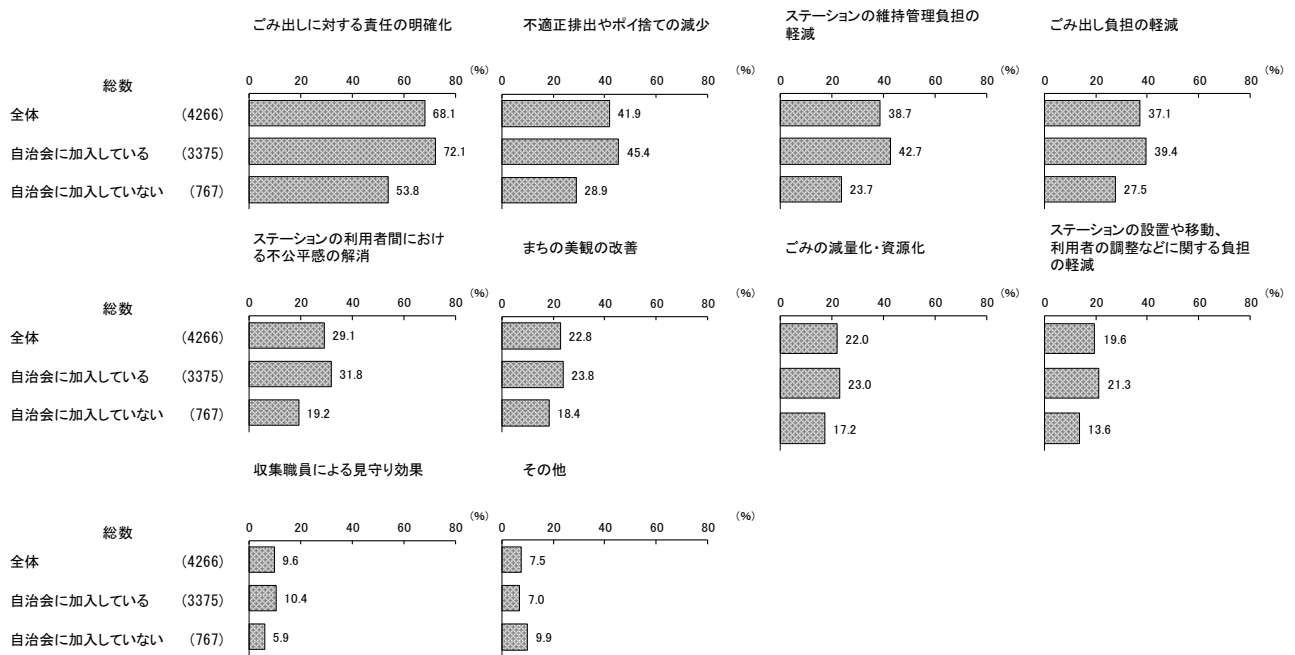
居住地域別でみると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は浜竹四丁目で76.6%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は東海岸北二丁目で49.0%となっている。

【住居形態別】



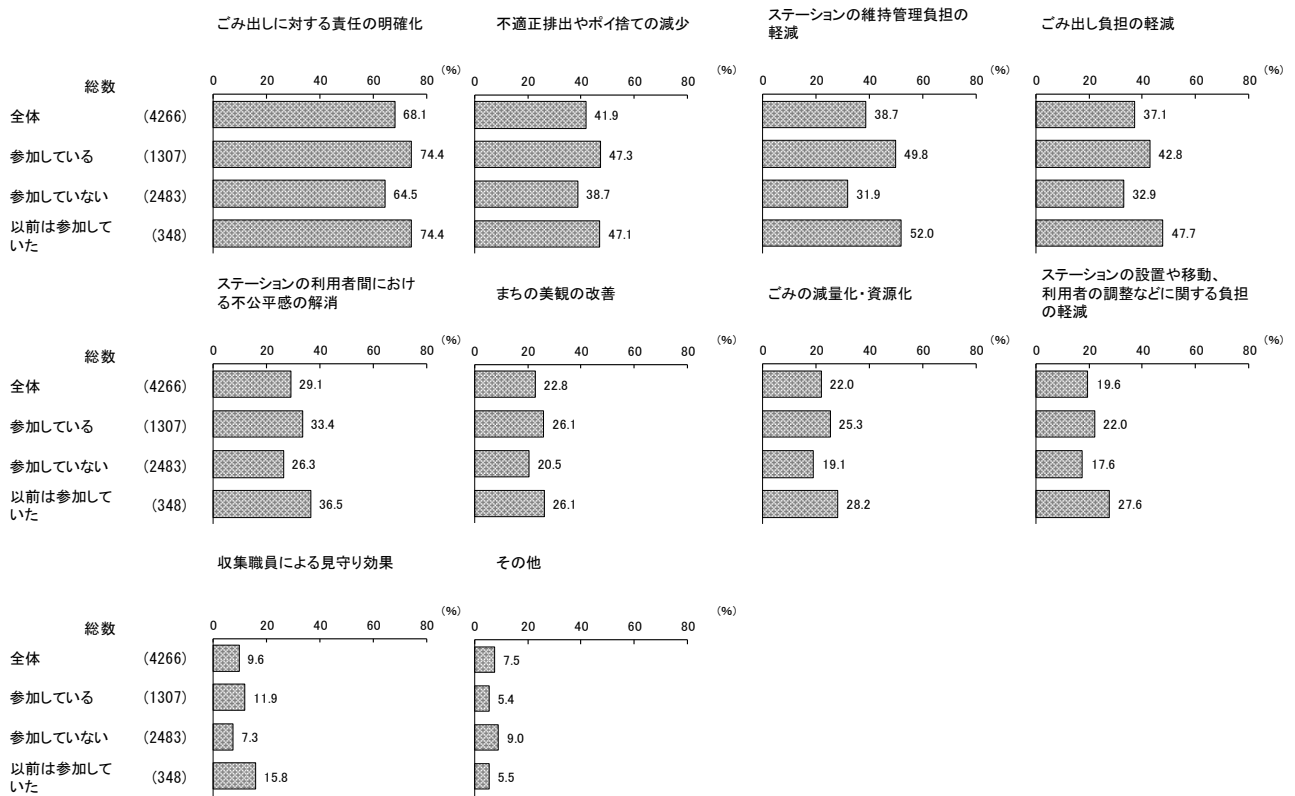
住居形態別でみると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は戸建て住宅で75.2%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は戸建て住宅が47.6%となっている。

【自治会加入状況別】



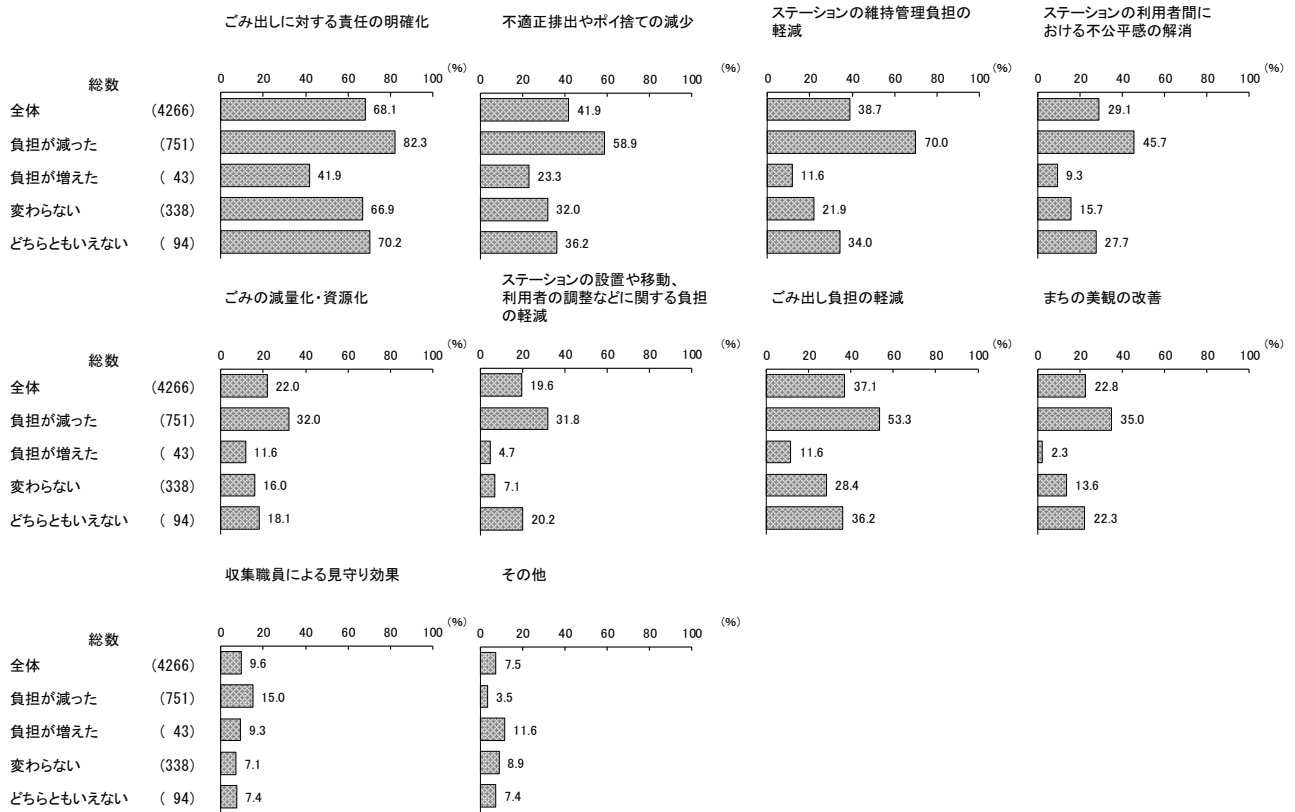
自治会加入状況別でみると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は自治会に加入しているで72.1%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は自治会に加入しているで45.4%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は参加していると以前は参加していたで74.4%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は参加しているで47.3%となっている。

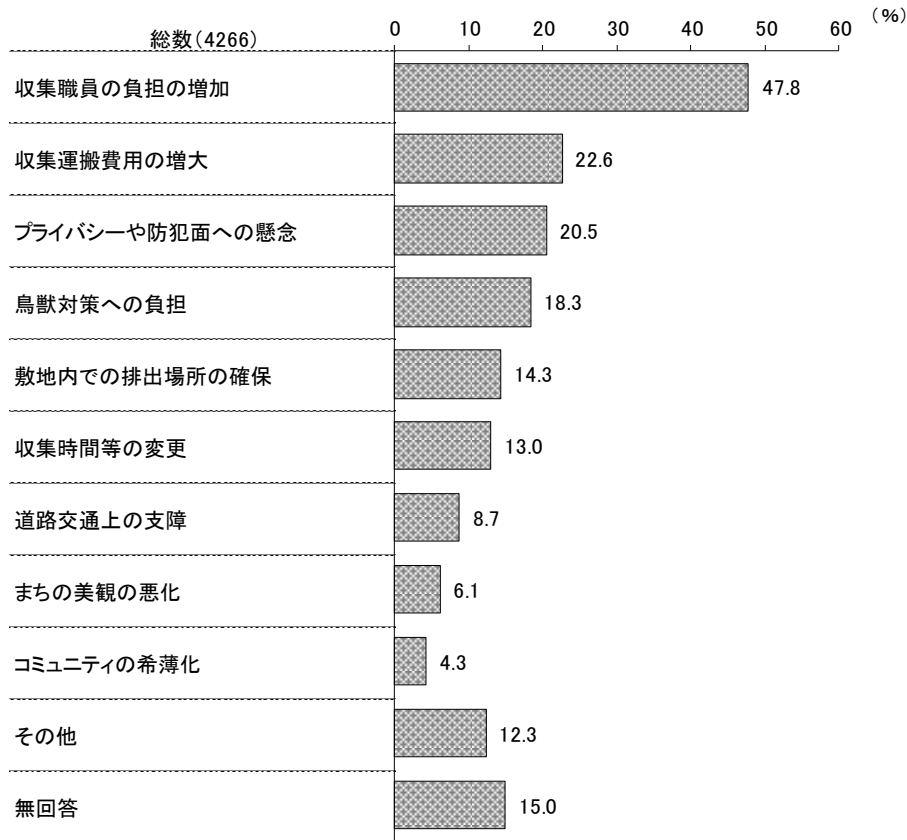
【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別で見ると、「ごみ出しに対する責任の明確化」は負担が減ったで82.3%、「不適正排出やポイ捨ての減少」は負担が減ったで58.9%となっている。

(2) 戸別収集のデメリット

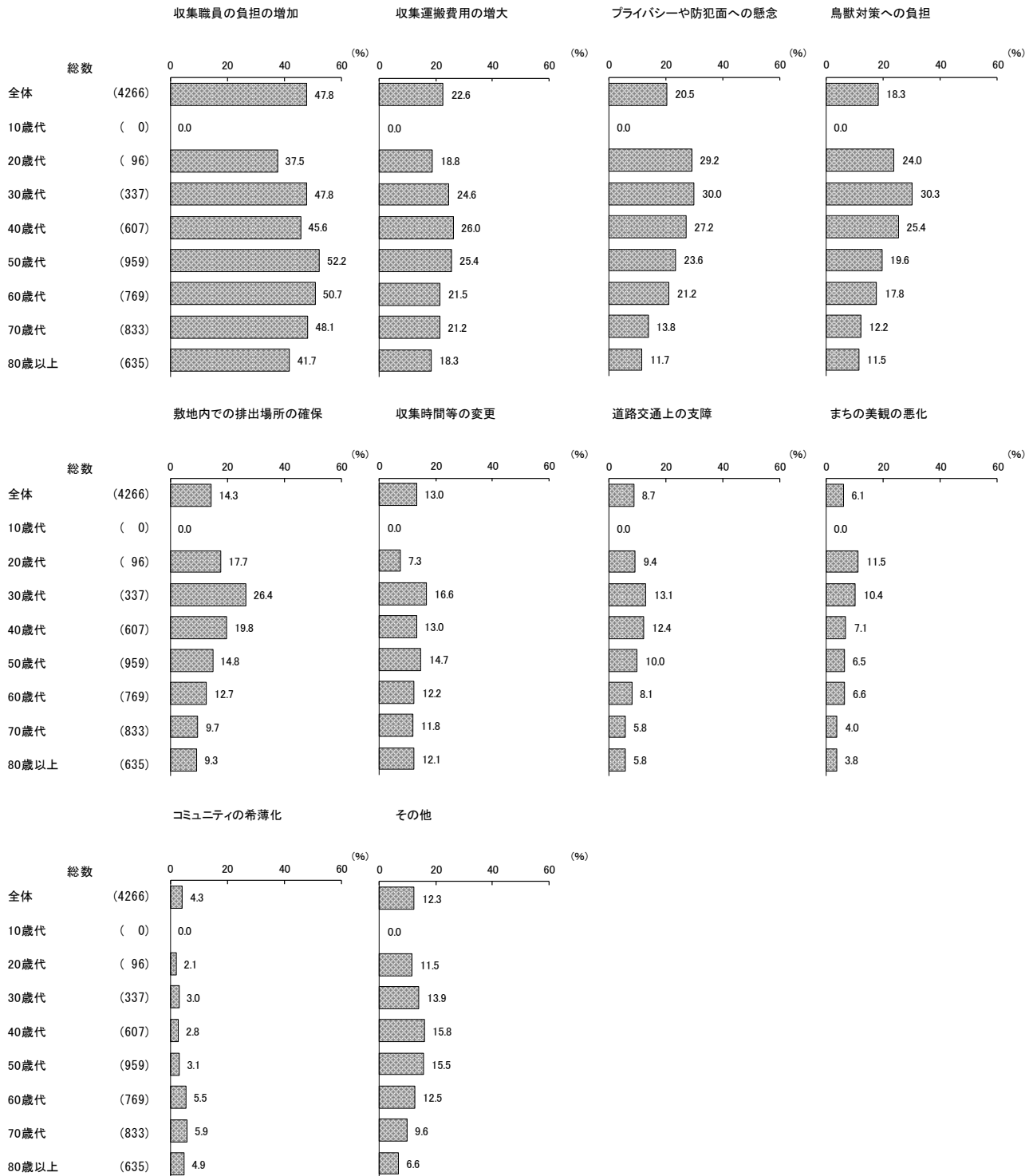
問11 戸別収集を体験し、戸別収集のデメリットであると感じているもの全てに○をしてください。



戸別収集のデメリットであると感じているものについて聞いたところ、「収集職員の負担の増加」は47.8%、「収集運搬費用の増大」は22.6%となっている。

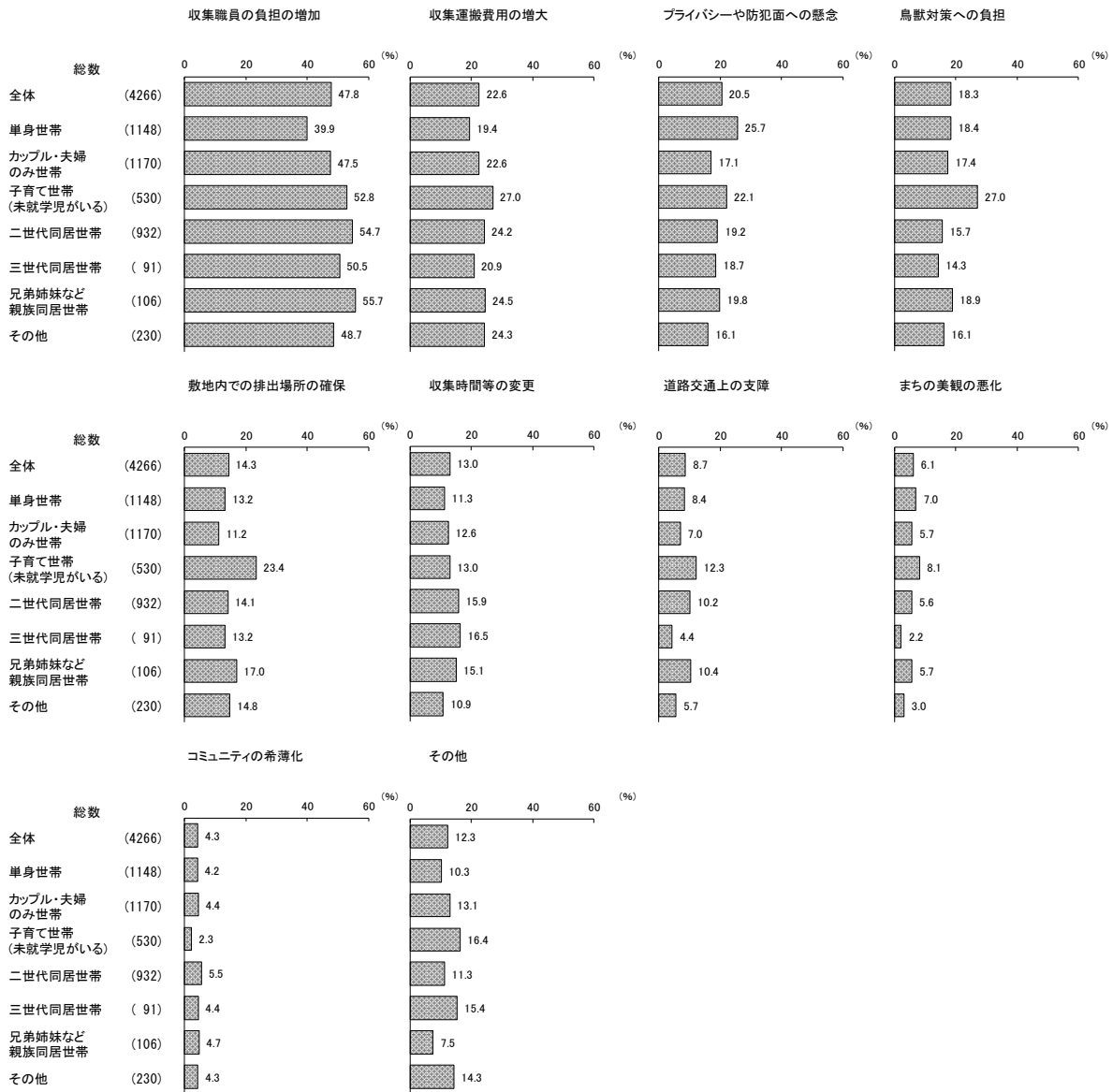
また、その他の意見として「市が案内するネットボックスは強度が弱そう」、「出しておいたにも関わらず、回収をとばされた」、「ポリバケツが風で飛ばされている家庭をよく見かける」などがあった。

【年齢別】



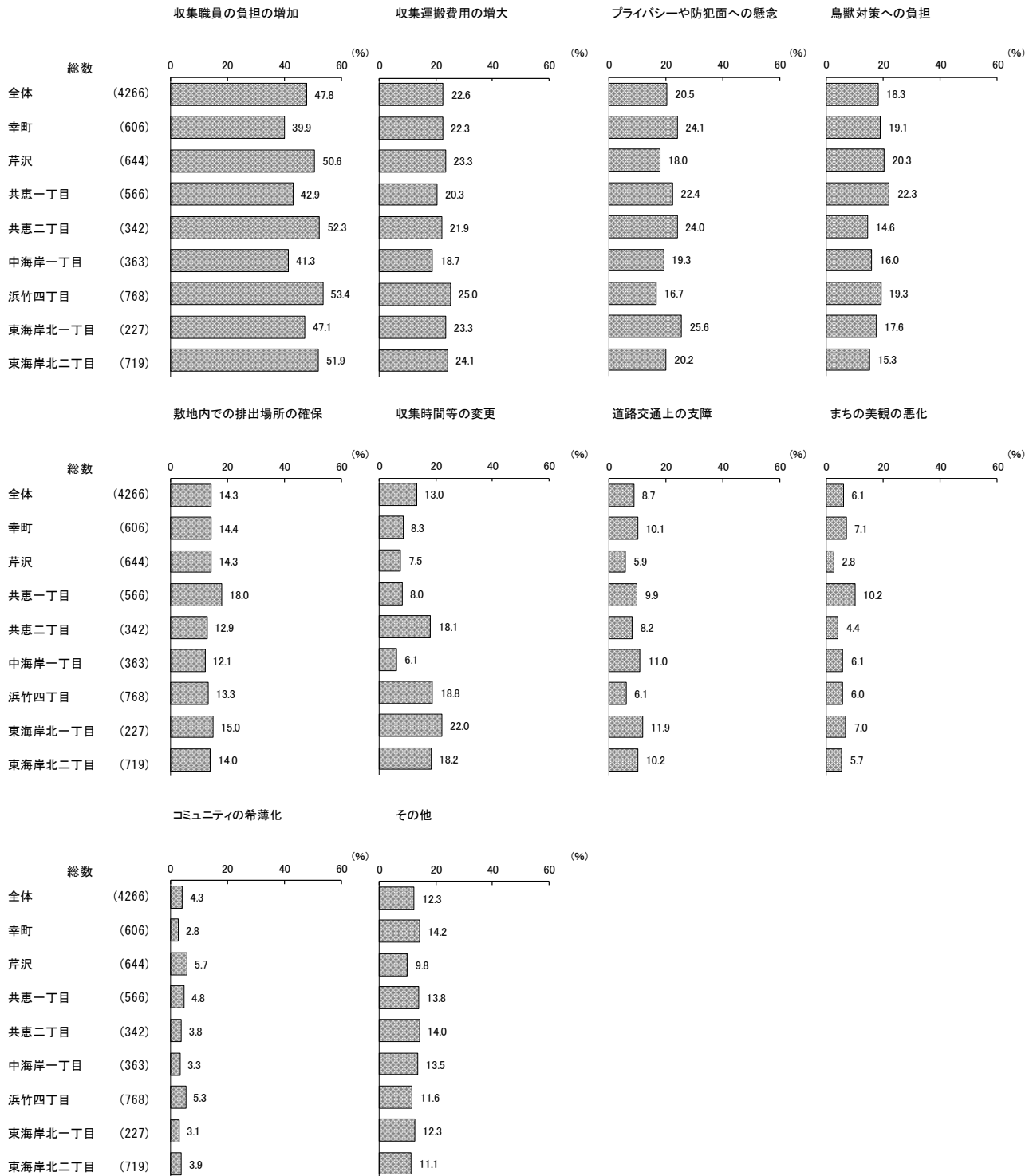
年齢別でみると、「収集職員の負担の増加」は50歳代で52.2%、「収集運搬費用の増大」は40歳代で26.0%となっている。

【世帯構成別】



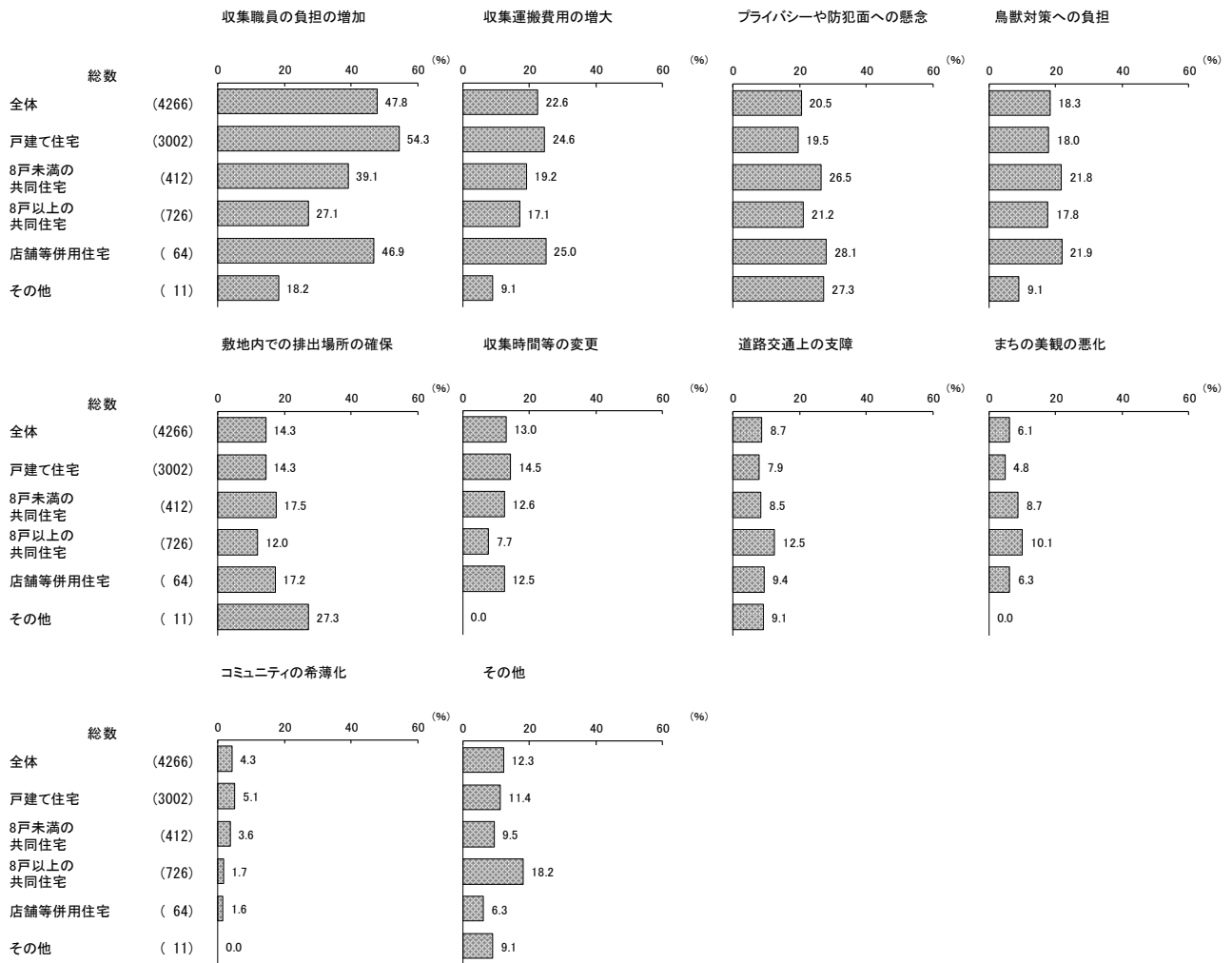
世帯構成別でみると、「収集職員の負担の増加」は兄弟姉妹など親族同居世帯で55.7%、「収集運搬費用の増大」は子育て世帯（未就学児がいる）で27.0%となっている。

【居住地域別】



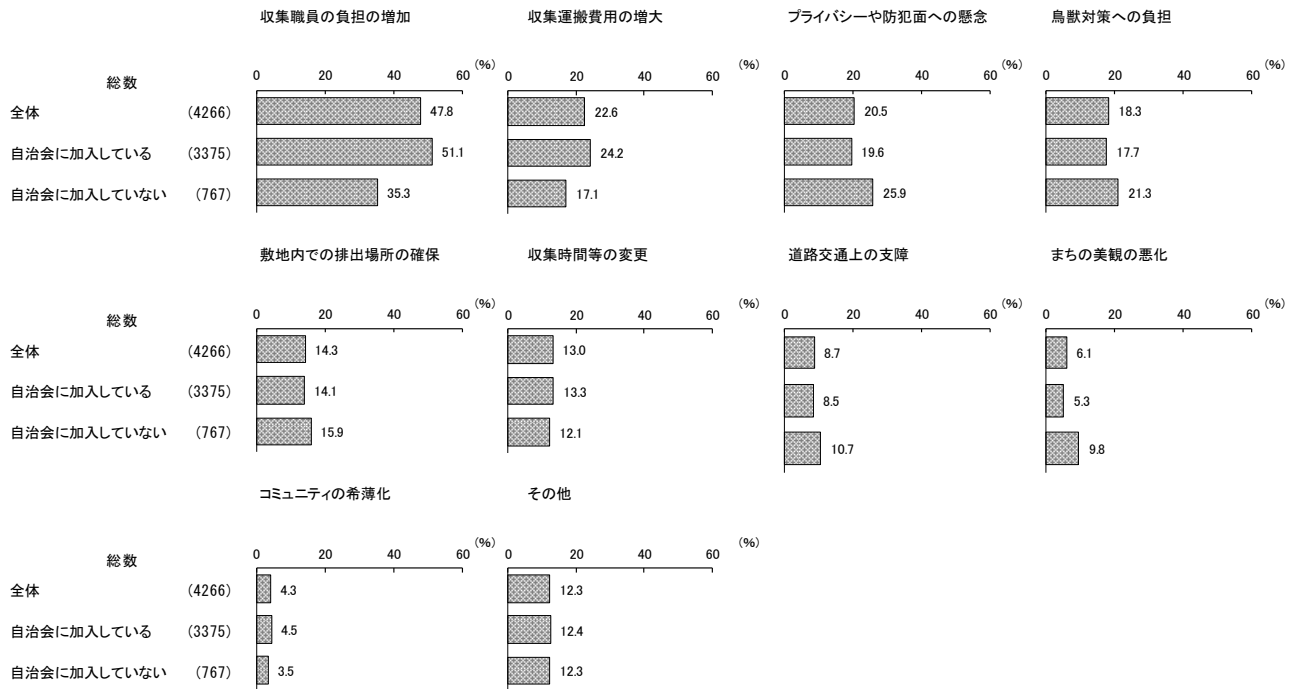
居住地域別でみると、「収集職員の負担の増加」は浜竹四丁目で53.4%、「収集運搬費用の増大」は浜竹四丁目で25.0%となっている。

【住居形態別】



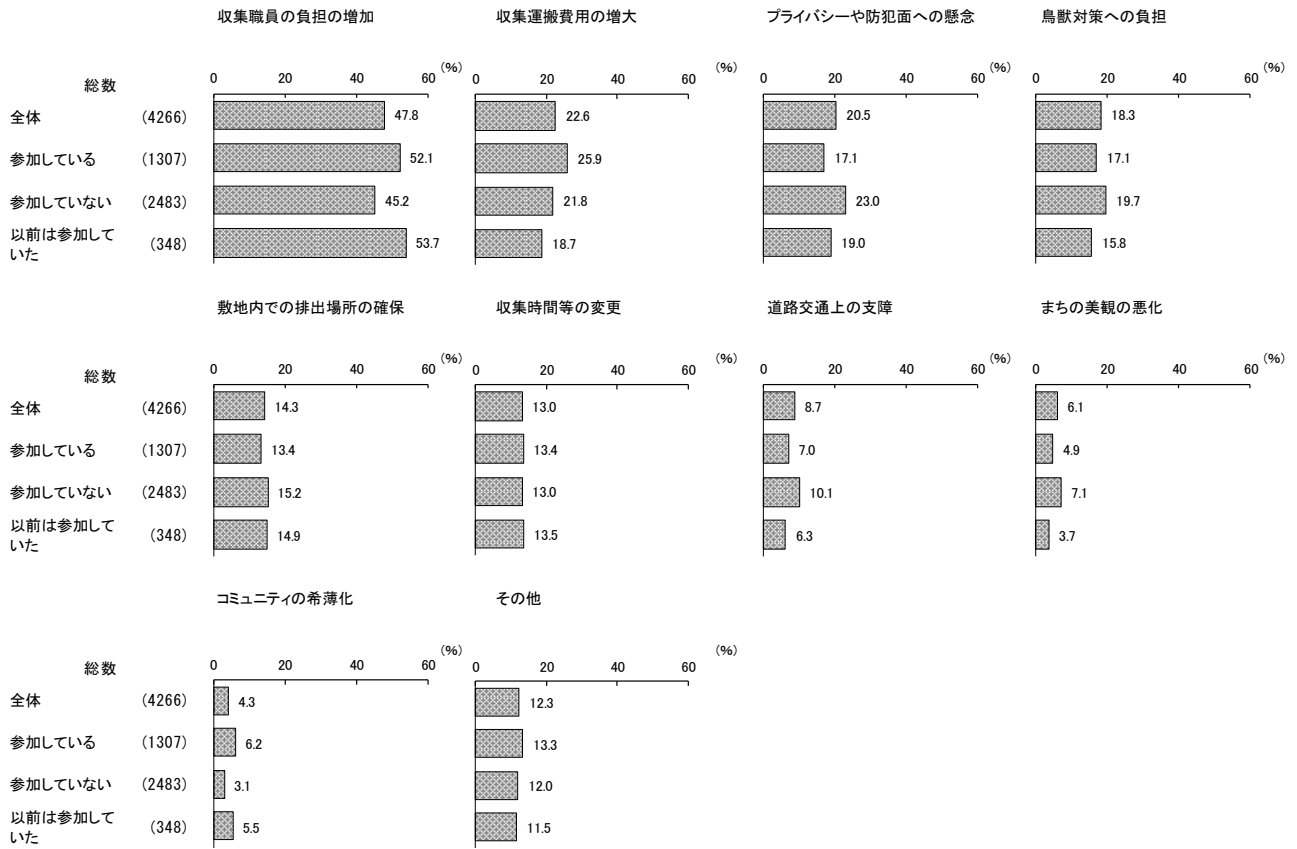
住居形態別でみると、「収集職員の負担の増加」は戸建て住宅で54.3%、「収集運搬費用の増大」は店舗併用住宅で25.0%となっている。

【自治会加入状況別】



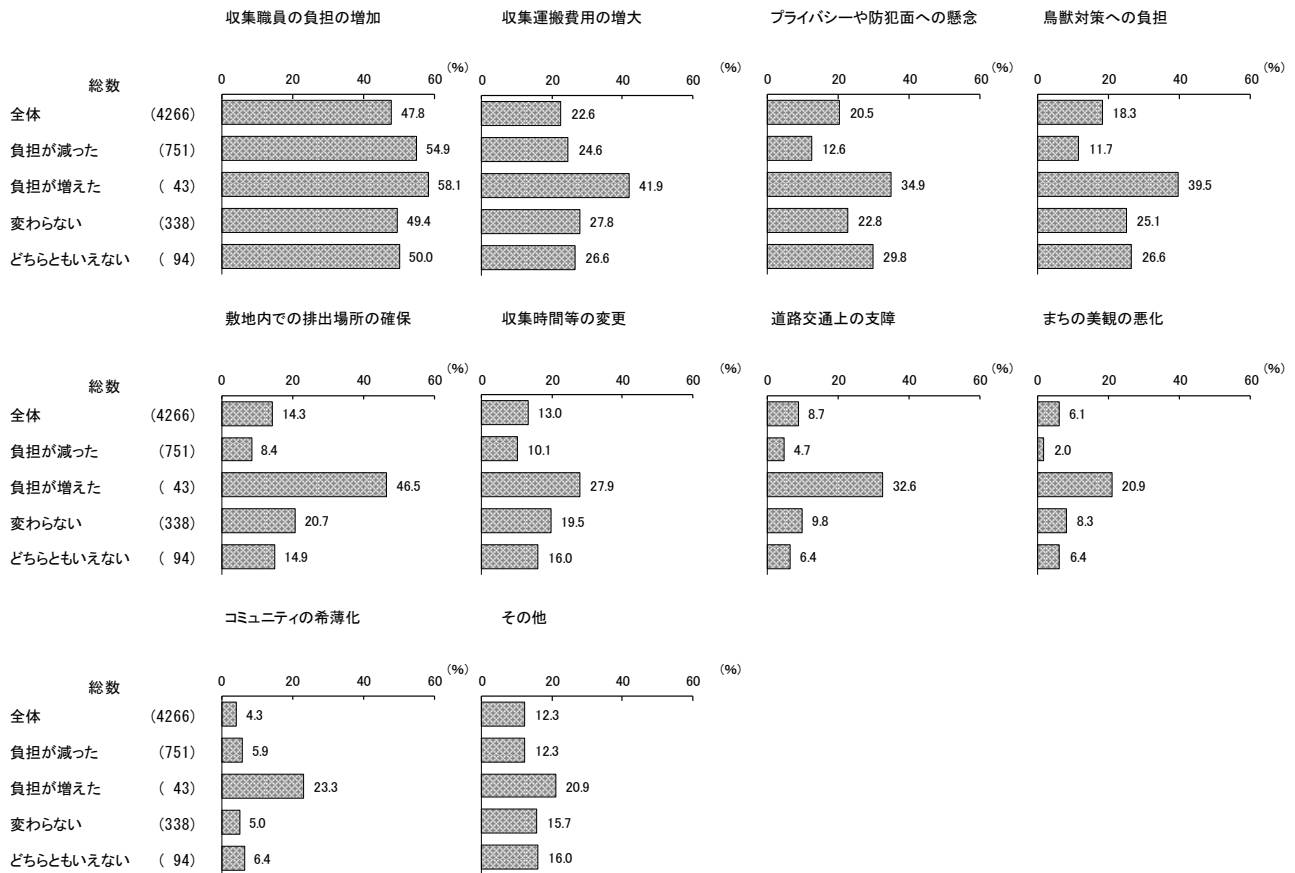
自治会加入状況別でみると、「収集職員の負担の増加」は自治会に加入しているで51.1%、「収集運搬費用の増大」は自治会に加入していないで24.2%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「収集職員の負担の増加」は以前は参加していたで53.7%、「収集運搬費用の増大」は参加しているで25.9%となっている。

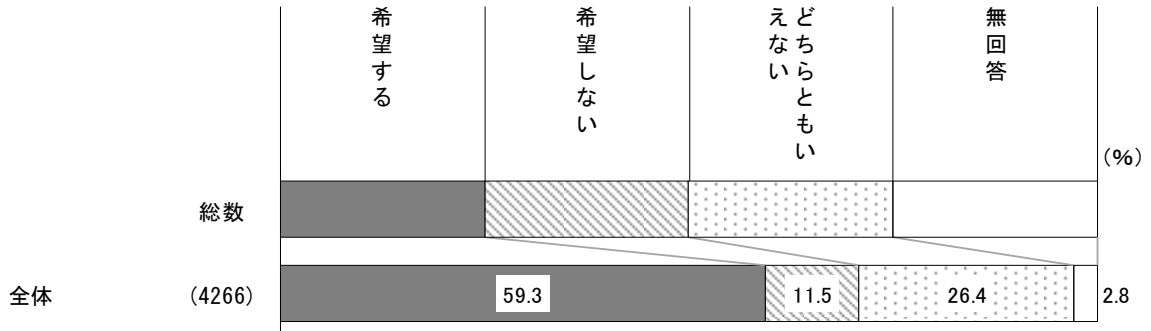
【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別でみると、「収集職員の負担の増加」は負担が増えたで58.1%、「収集運搬費用の増大」は負担が増えたで41.9%となっている。

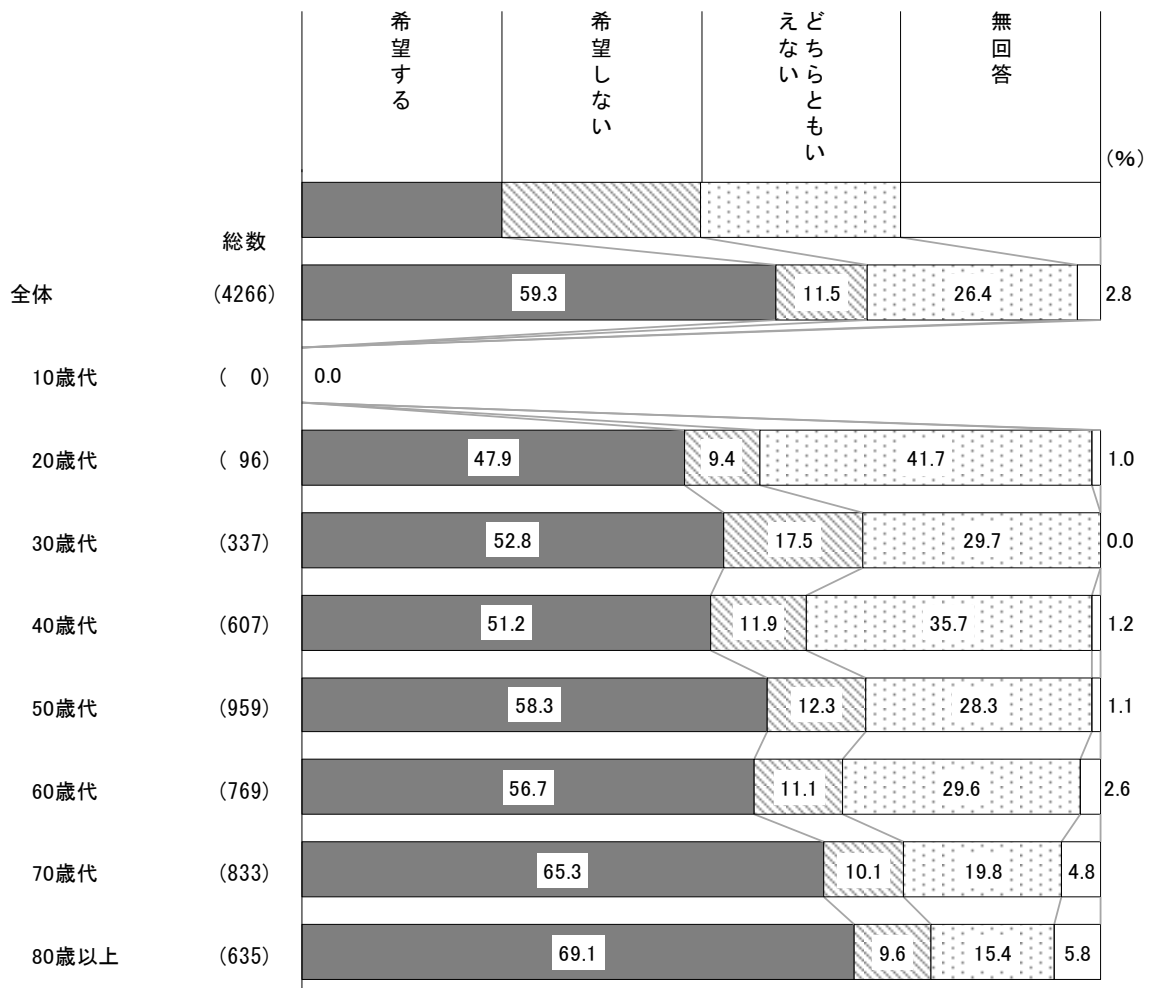
(3) 戸別収集の継続意向

問12 本市は戸別収集を実施し、ステーションを起因とする諸問題を解消させ、持続可能なごみ処理システムの構築を目指しています。本事業の実施期間後も戸別収集の継続を希望しますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



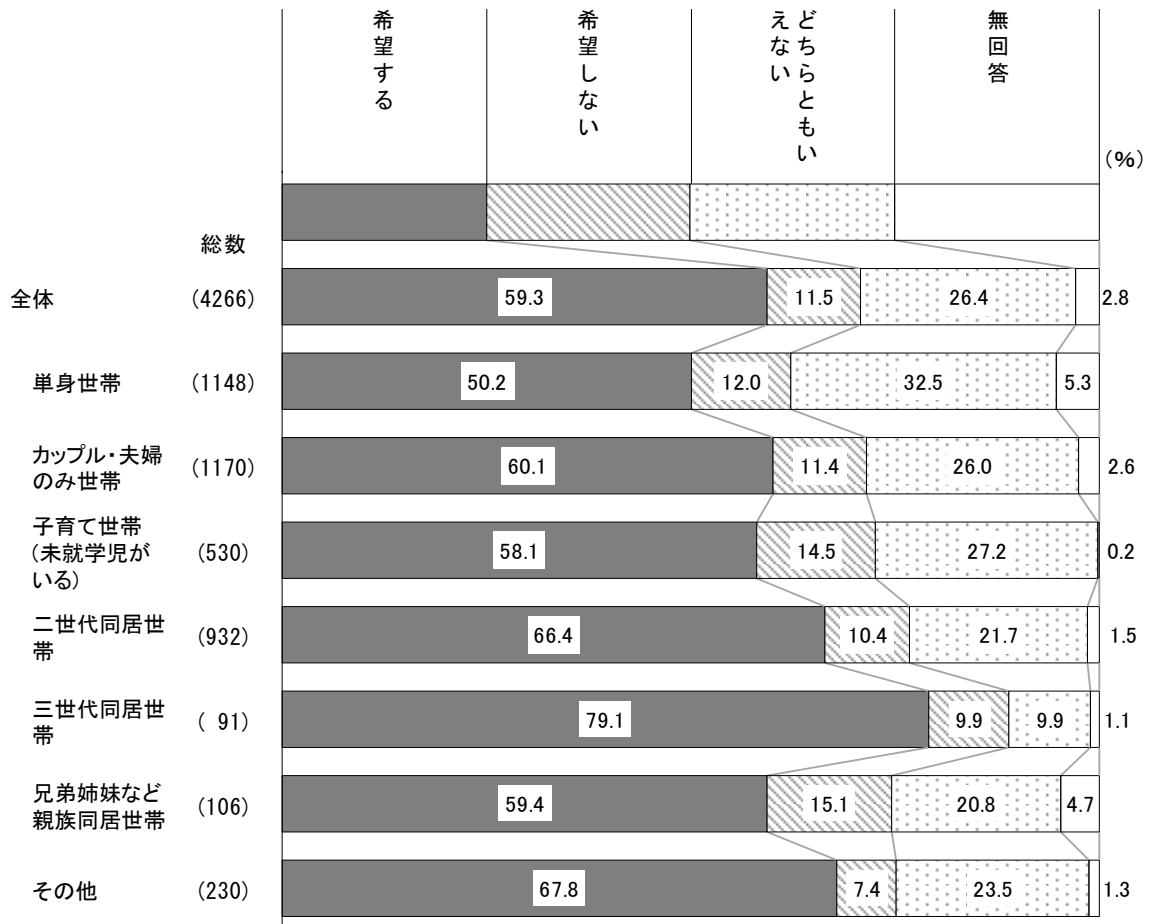
戸別収集の継続意向について聞いたところ、「希望する」は59.3%、「どちらともいえない」は26.4%、「希望しない」は11.5%となっている。

【年齢別】



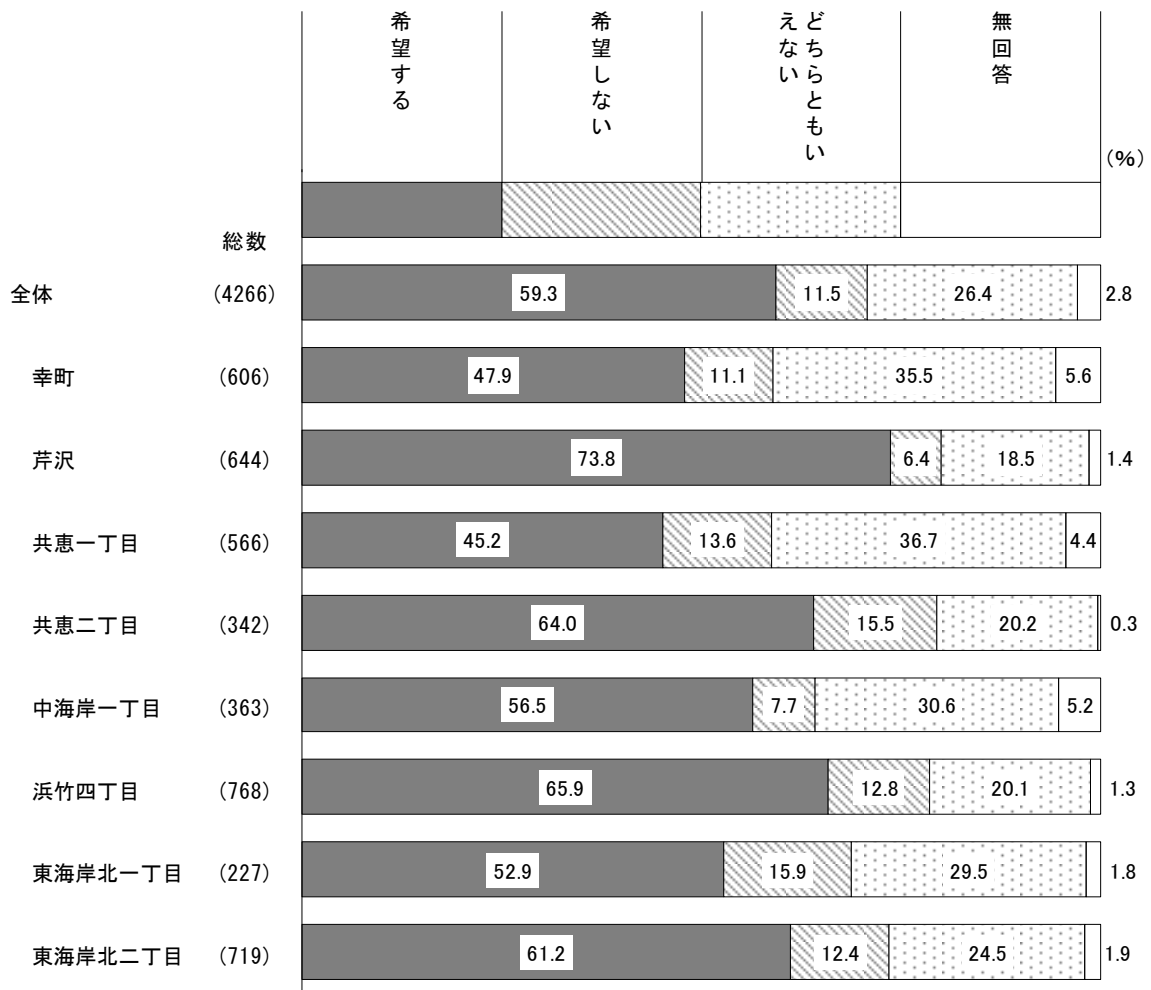
年齢別で見ると、「希望する」は80歳以上で69.1%、「どちらともいえない」は20歳代で41.7%となっている。

【世帯構成別】



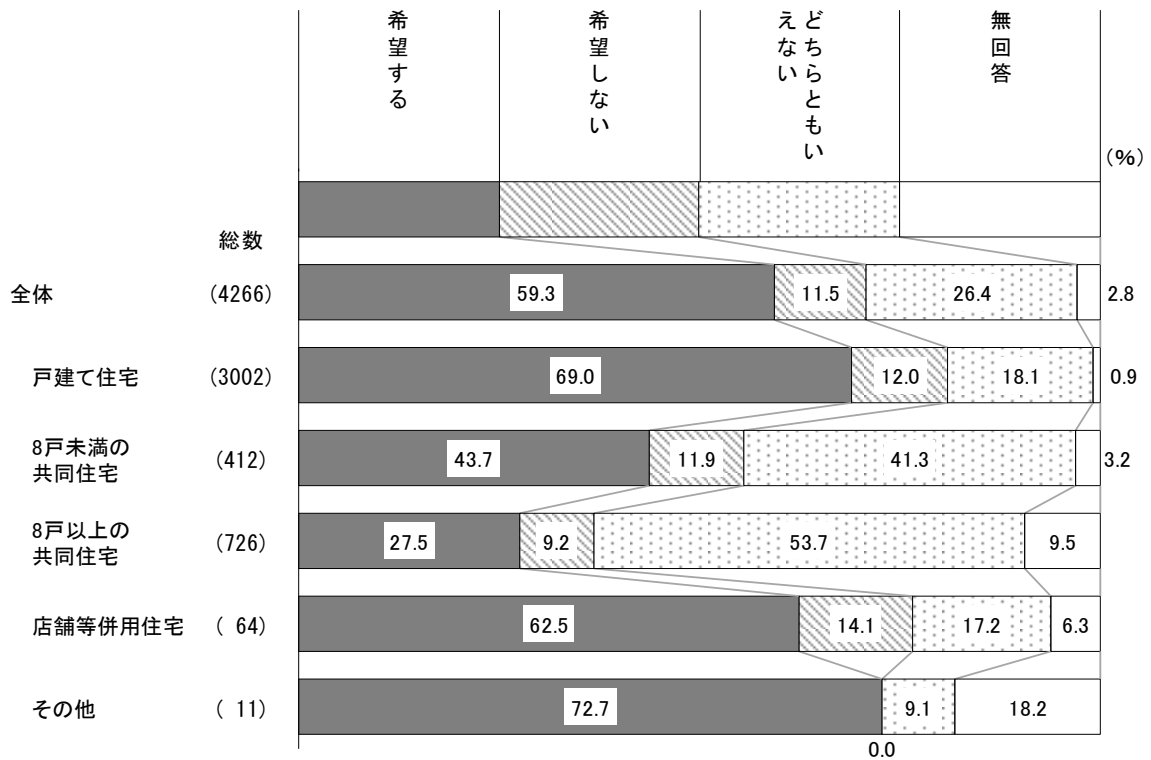
世帯構成別でみると、「希望する」は三世帯同居世帯で79.1%、「どちらともいえない」は単身世帯で32.5%となっている。

【居住地域別】



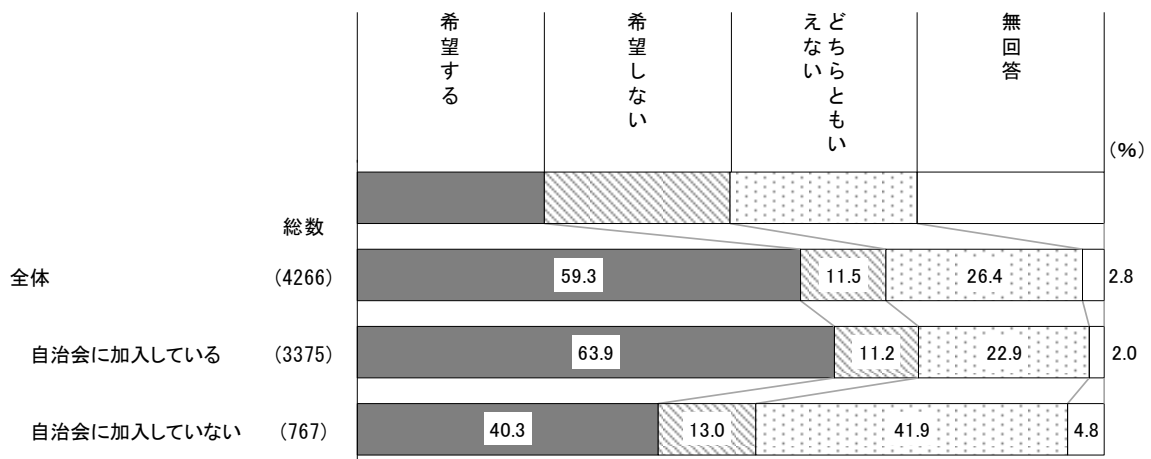
居住地域別で見ると、「希望する」は芹沢で73.8%、「どちらともいえない」は共恵一丁目で36.7%となっている。

【住居形態別】



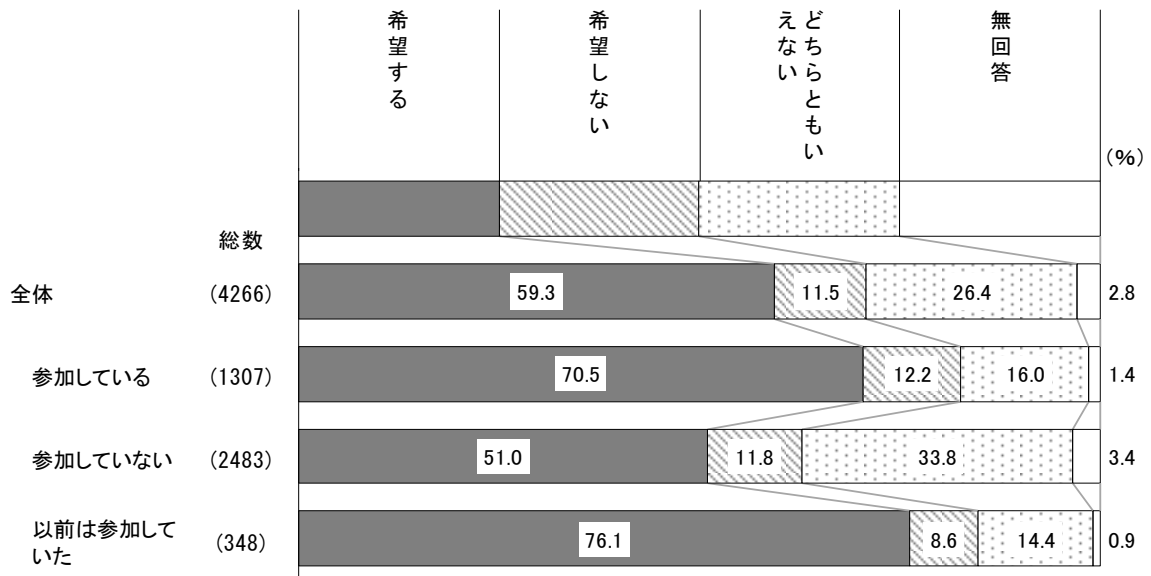
住居形態別で見ると、「希望する」は戸建て住宅で69.0%「どちらともいえない」は8戸以上の共同住宅で53.7%となっている。

【自治会加入状況別】



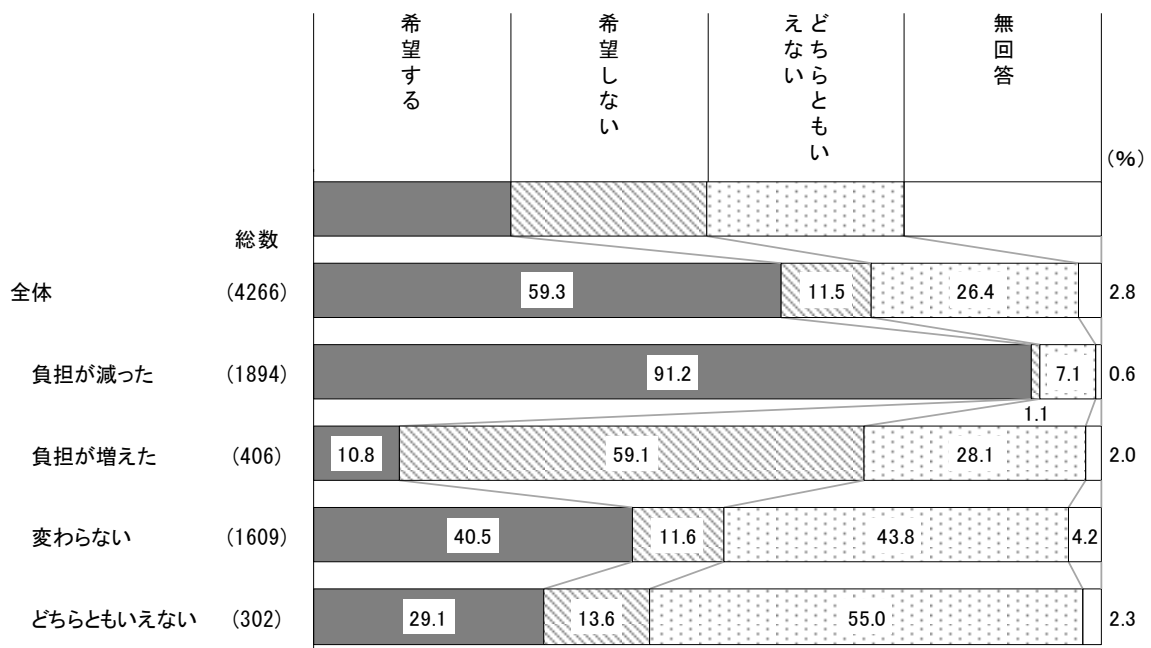
自治会加入状況別で見ると、「希望する」は自治会に加入しているで63.9%、「どちらともいえない」は自治会に加入していないで41.9%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



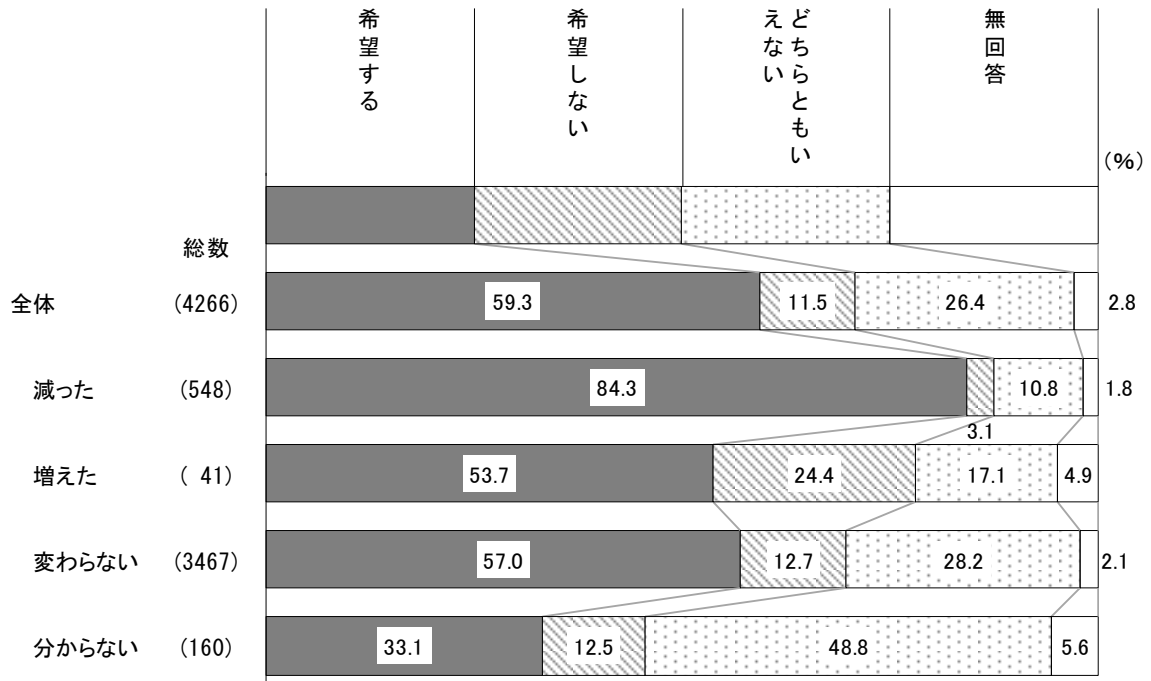
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「希望する」は以前は参加していたで76.1%、「どちらともいえない」は参加していないで33.8%となっている。

【ごみ出し負担の変化別】



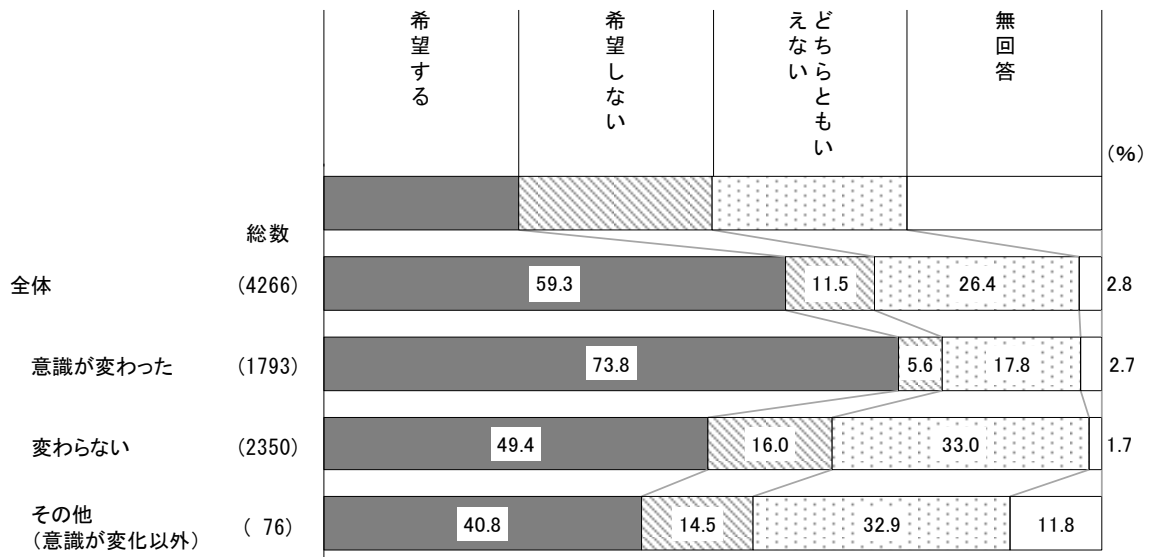
ごみ出し負担の変化別でみると、「希望する」は負担が減ったで91.2%、「どちらともいえない」は変わらないで55.0%となっている。

【ごみ排出量の変化別】



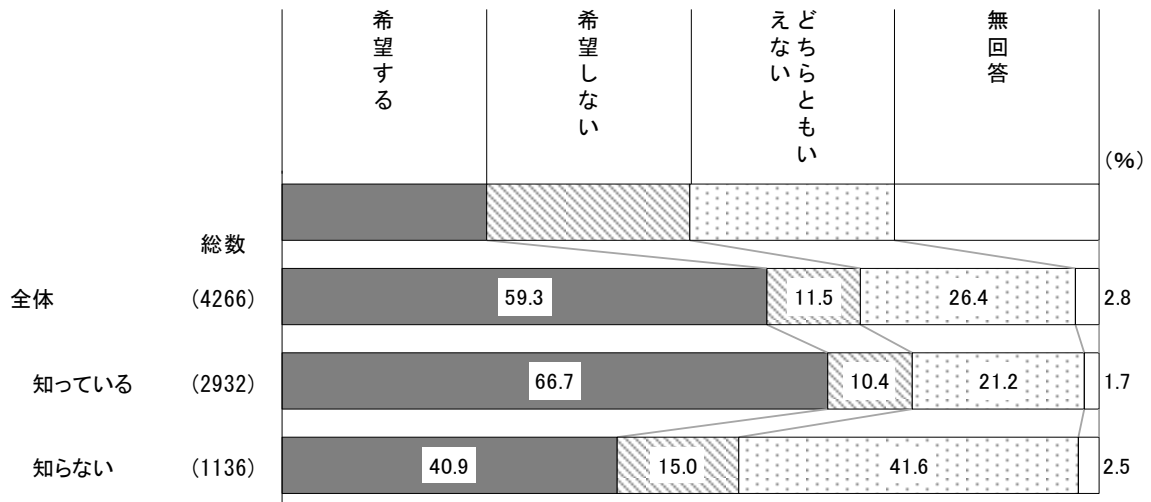
ごみ排出量の変化別でみると、「希望する」は減ったで84.3%、「どちらともいえない」は分からないで48.8%となっている。

【ごみ減量・分別意識の変化別】



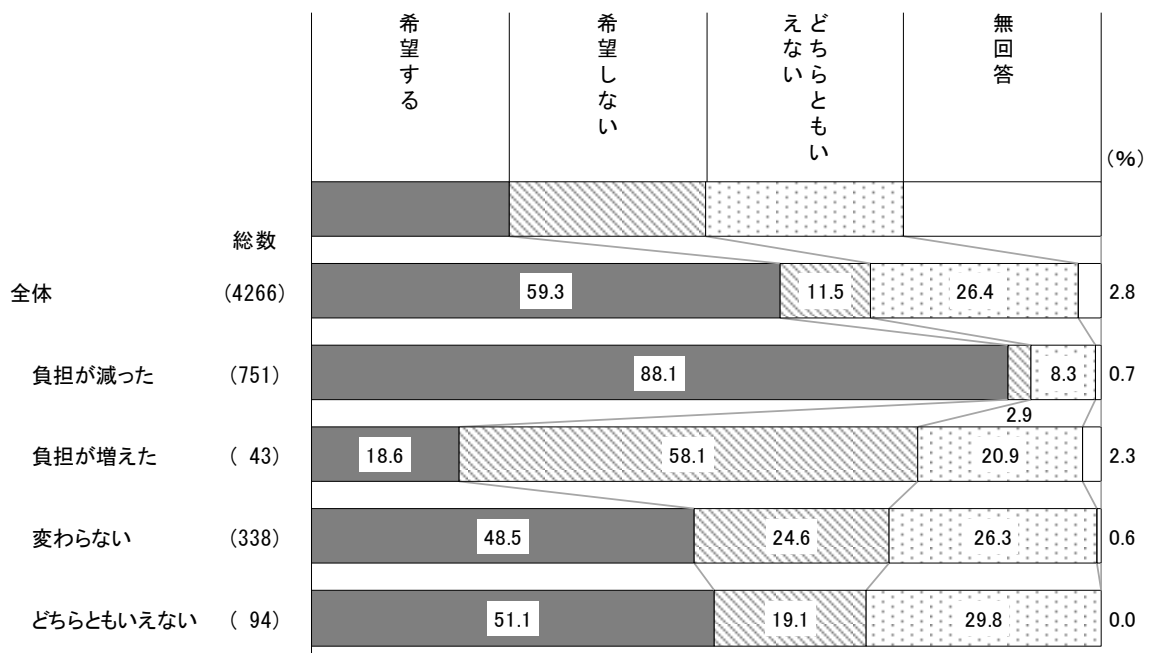
ごみ減量・分別意識の変化別でみると、「希望する」は意識が変わったで73.8%、「どちらともいえない」は変わらないで33.0%となっている。

【ステーションを起因とする諸問題の認知別】



ステーションを起因とする諸問題の認知別でみると、「希望する」は知っているで66.7%、「どちらともいえない」は知らないで41.6%となっている。

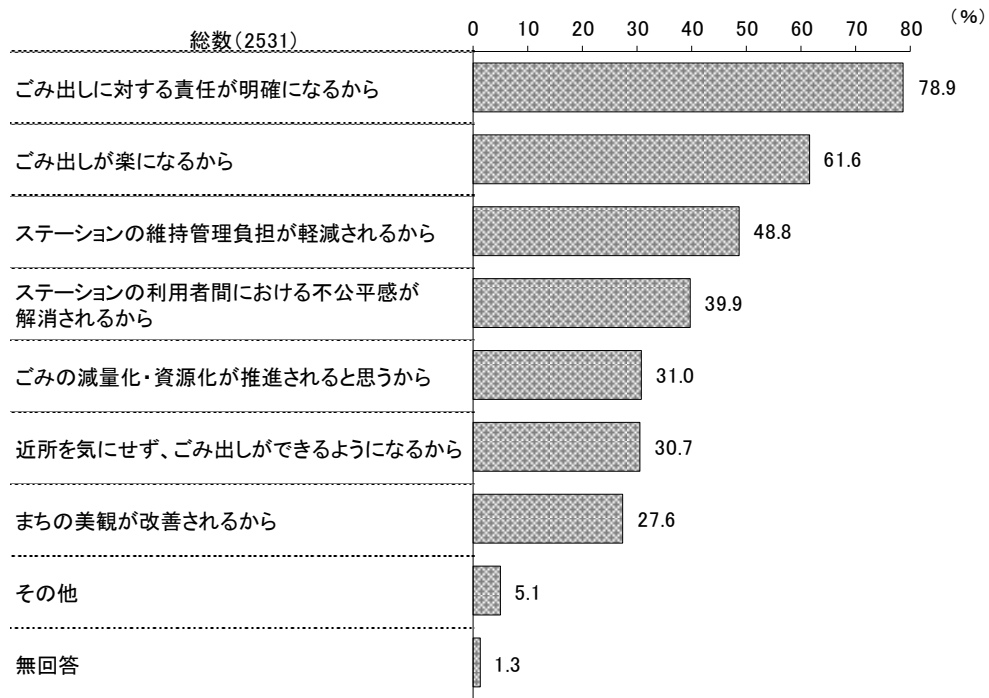
【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別でみると、「希望する」は負担が減ったで88.1%、「どちらともいえない」はどちらともいえないで29.8%、「希望しない」は負担が増えたで58.1%となっている。

(4) 戸別収集の継続を希望する理由

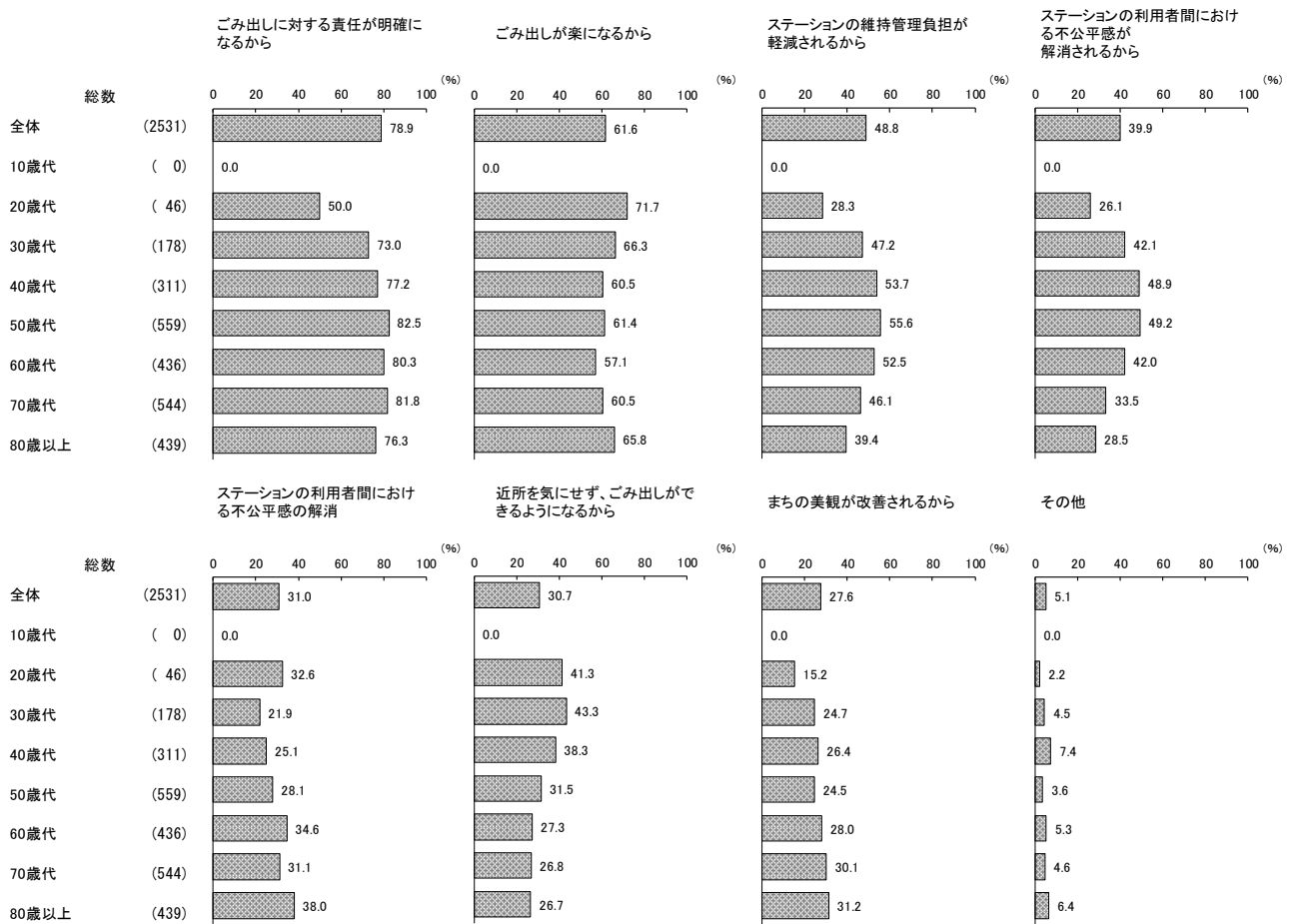
問13 問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



戸別収集の継続意向で希望すると回答した方にその理由について聞いたところ、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は78.9%、「ごみ出しが楽になるから」は61.6%となっている。

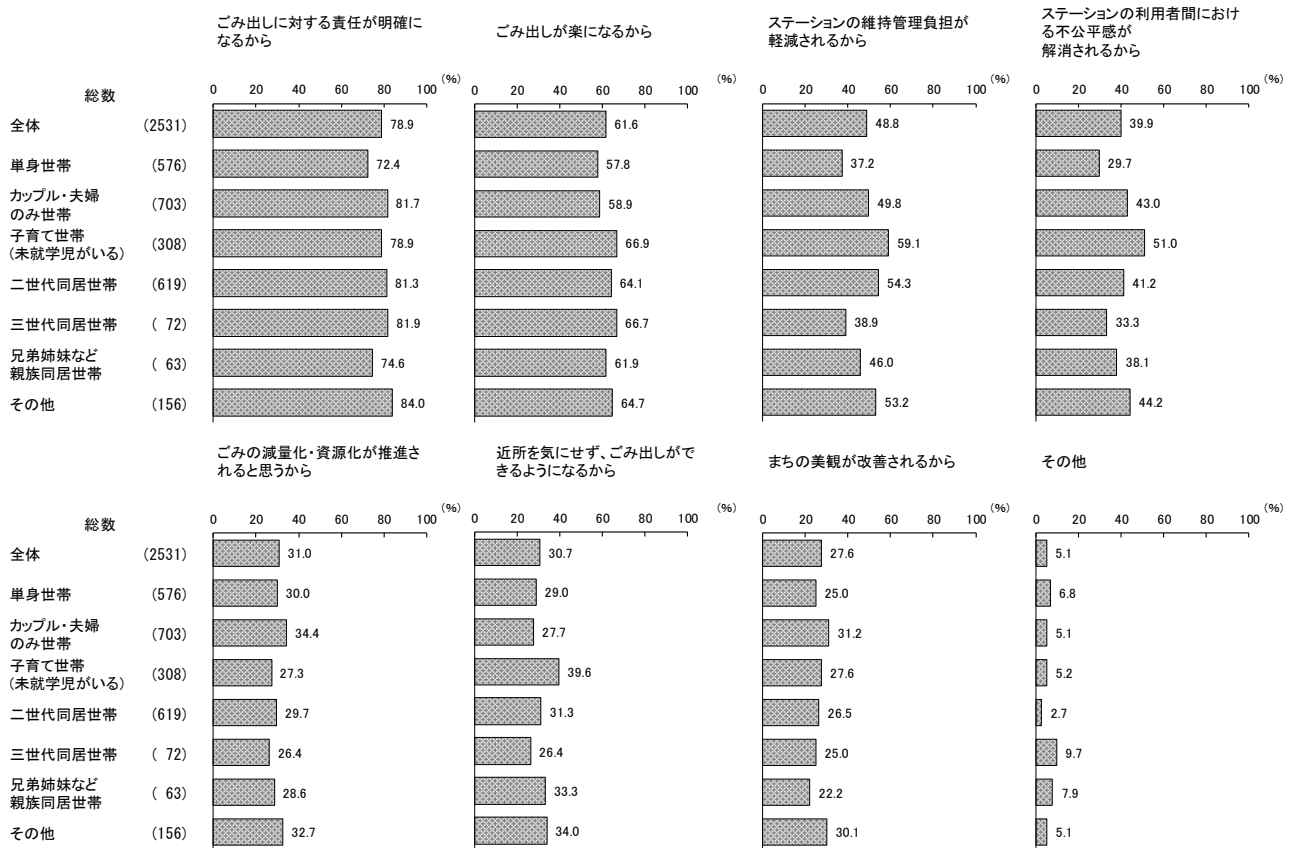
また、その他の意見として「生存確認になるから」、「高齢者のステーションまでのごみ出しがなくなるから」、「深夜早朝にも鳥獣を気にせずごみ出しできるから」などがあつた。

【年齢別】



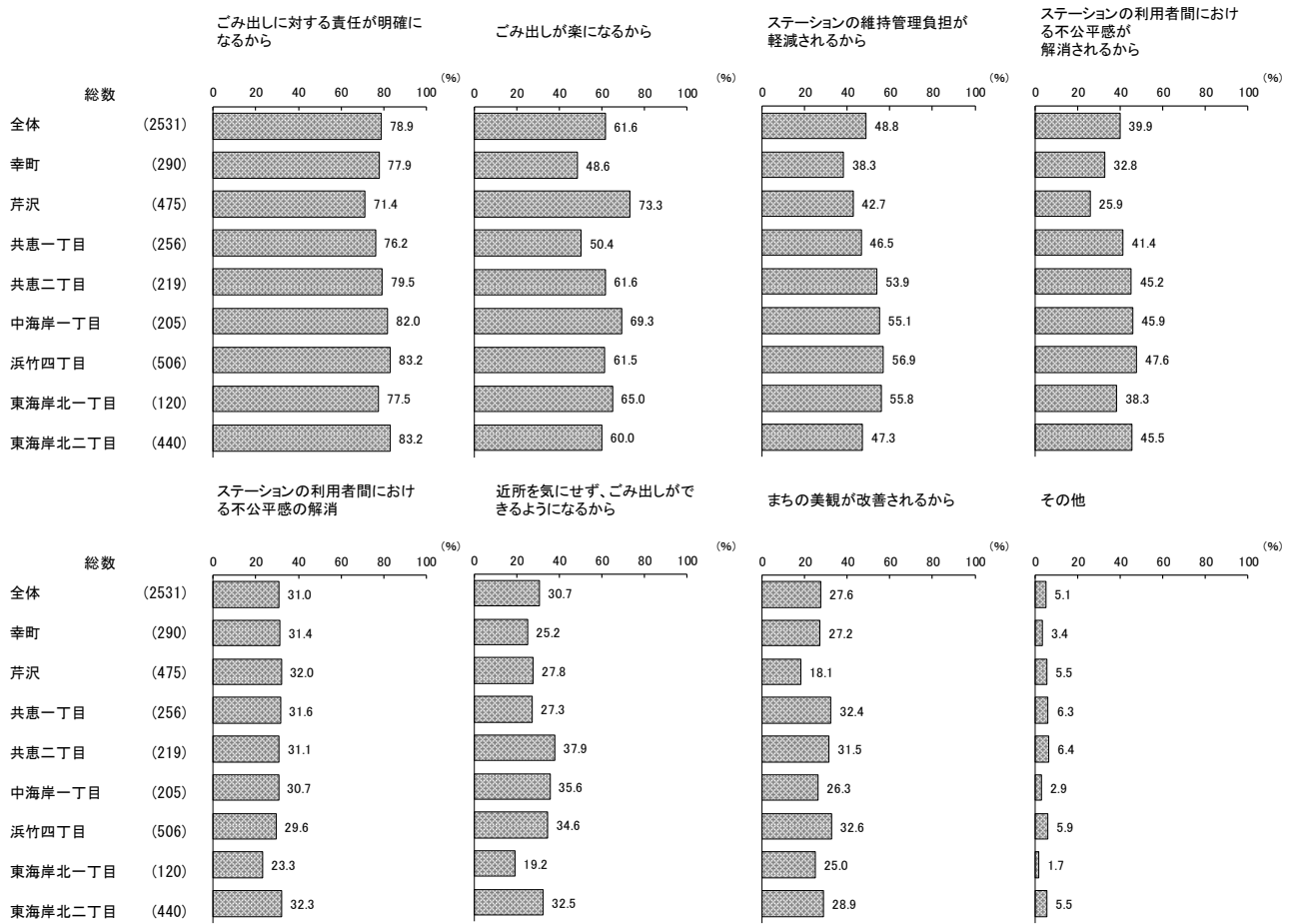
年齢別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は50歳代で82.5%、「ごみ出しが楽になるから」は20歳代で71.7%となっている。

【世帯構成別】



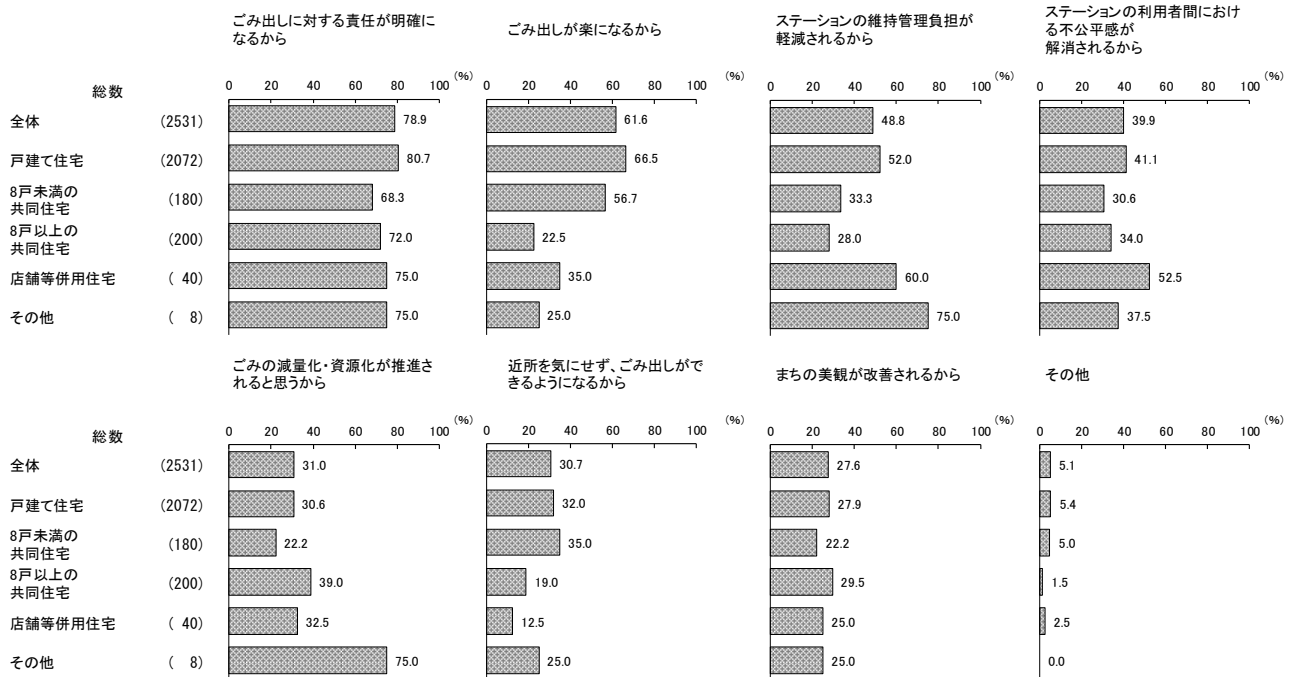
世帯構成別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は三世帯同居世帯で81.9%、「ごみ出しが楽になるから」は子育て世帯(未就学児がいる)で66.9%となっている。

【居住地域別】



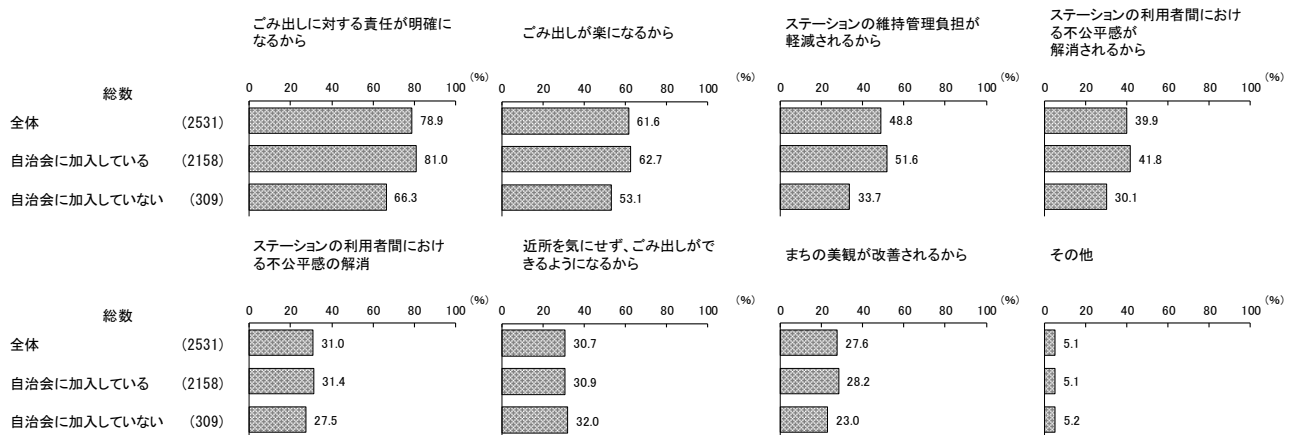
居住地域別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は浜竹四丁目と東海岸北二丁目
で83.2%、「ごみ出しが楽になるから」は芹沢で73.3%となっている。

【住居形態別】



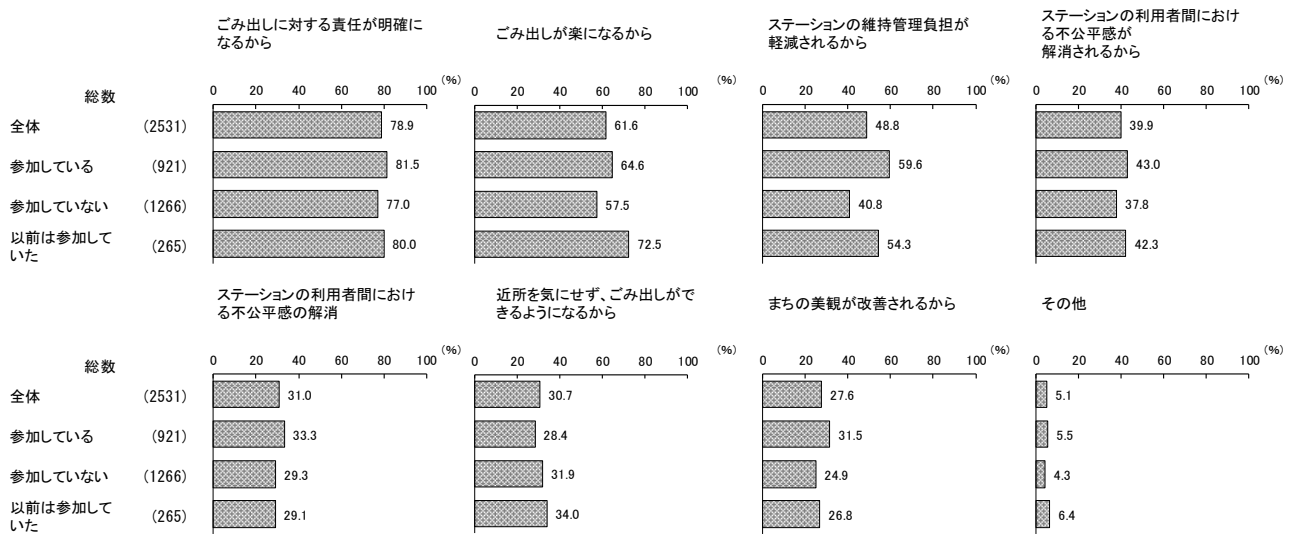
住居形態別で見ると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は戸建て住宅で80.7%、「ごみ出しが楽になるから」は戸建て住宅で66.5%となっている。

【自治会加入状況別】



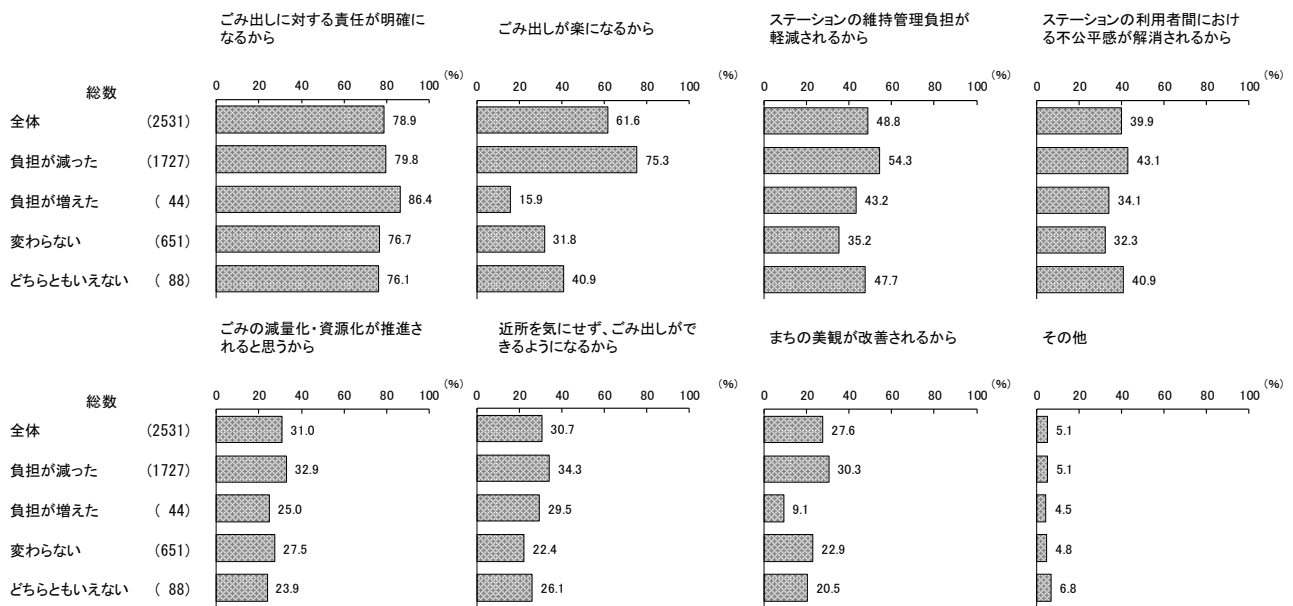
自治会加入状況別で見ると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は自治会に加入しているで81.0%、「ごみ出しが楽になるから」は自治会に加入しているで62.7%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



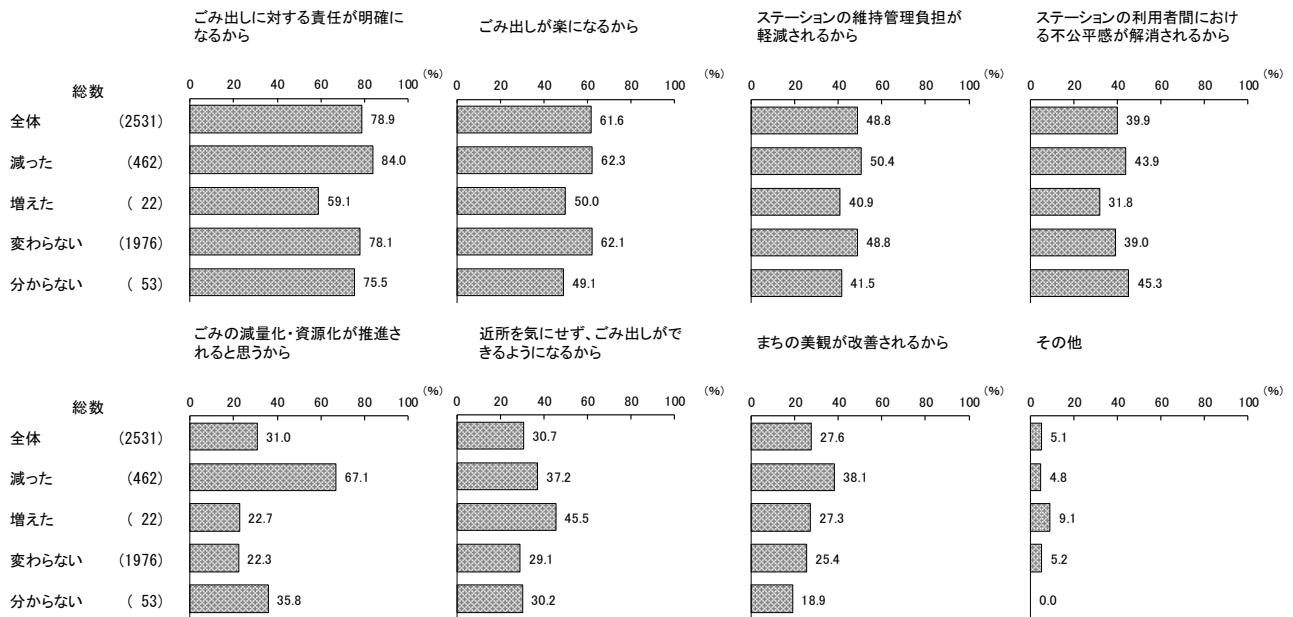
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は参加しているで81.5%、「ごみ出しが楽になるから」は以前は参加していたで72.5%となっている。

【ごみ出し負担の変化別】



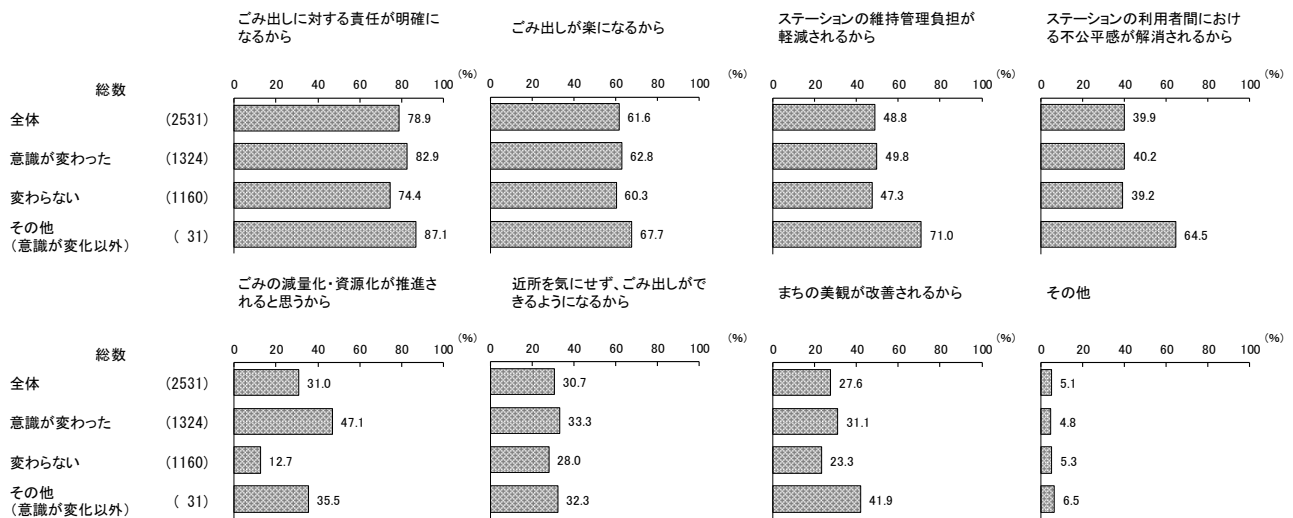
ごみ出し負担の変化別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は負担が増えたで86.4%、「ごみ出しが楽になるから」は負担が減ったで75.3%となっている。

【ごみ排出量の変化別】



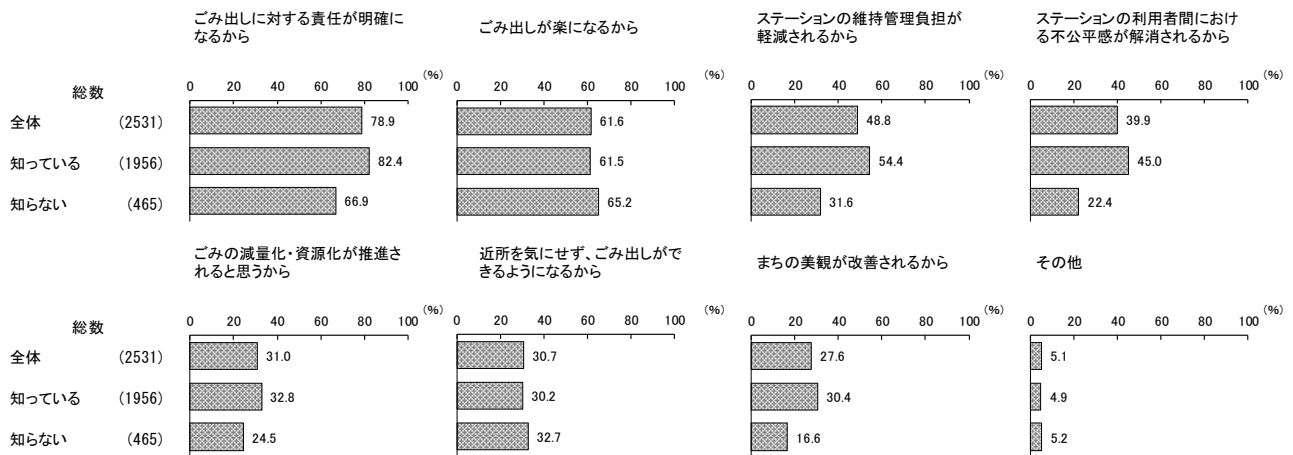
ごみ排出量の変化別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は減ったで84.0%、「ごみ出しが楽になるから」は減ったで62.3%となっている。

【ごみ減量・分別意識の変化別】



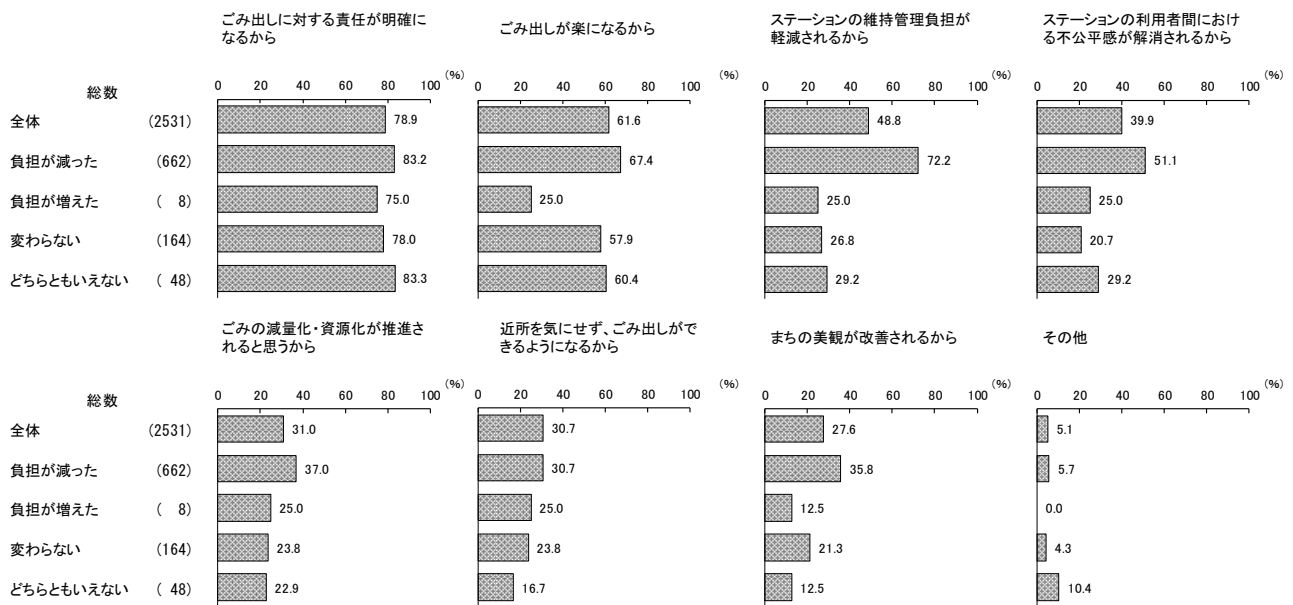
ごみ減量・分別意識の変化別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は意識が変わったで82.9%、「ごみ出しが楽になるから」は変わらないで62.8%となっている。

【ステーションを起因とする諸問題の認知別】



ステーションを起因とする諸問題の認知別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は知っているで82.4%、「ごみ出しが楽になるから」は知らないで65.2%となっている。

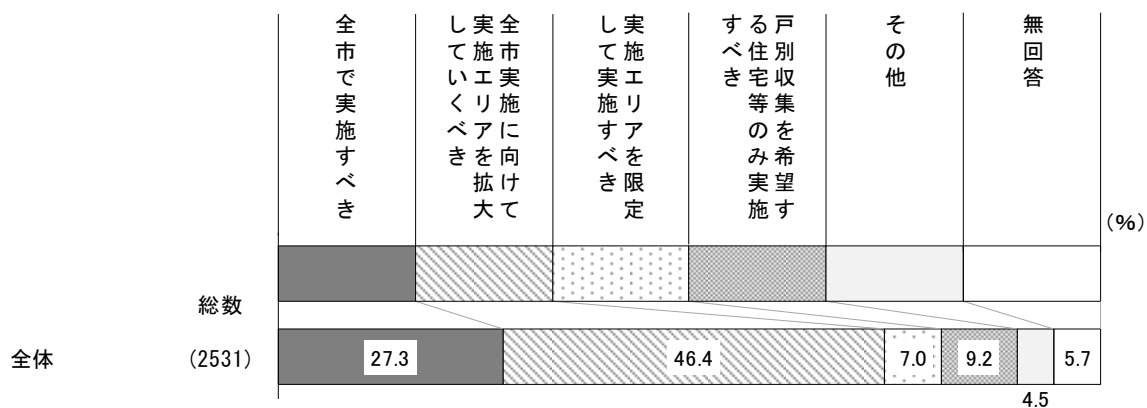
【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別でみると、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」はどちらともいえないで83.3%、「ごみ出しが楽になるから」は負担が減ったで67.4%となっている。

(5) 戸別収集の進め方

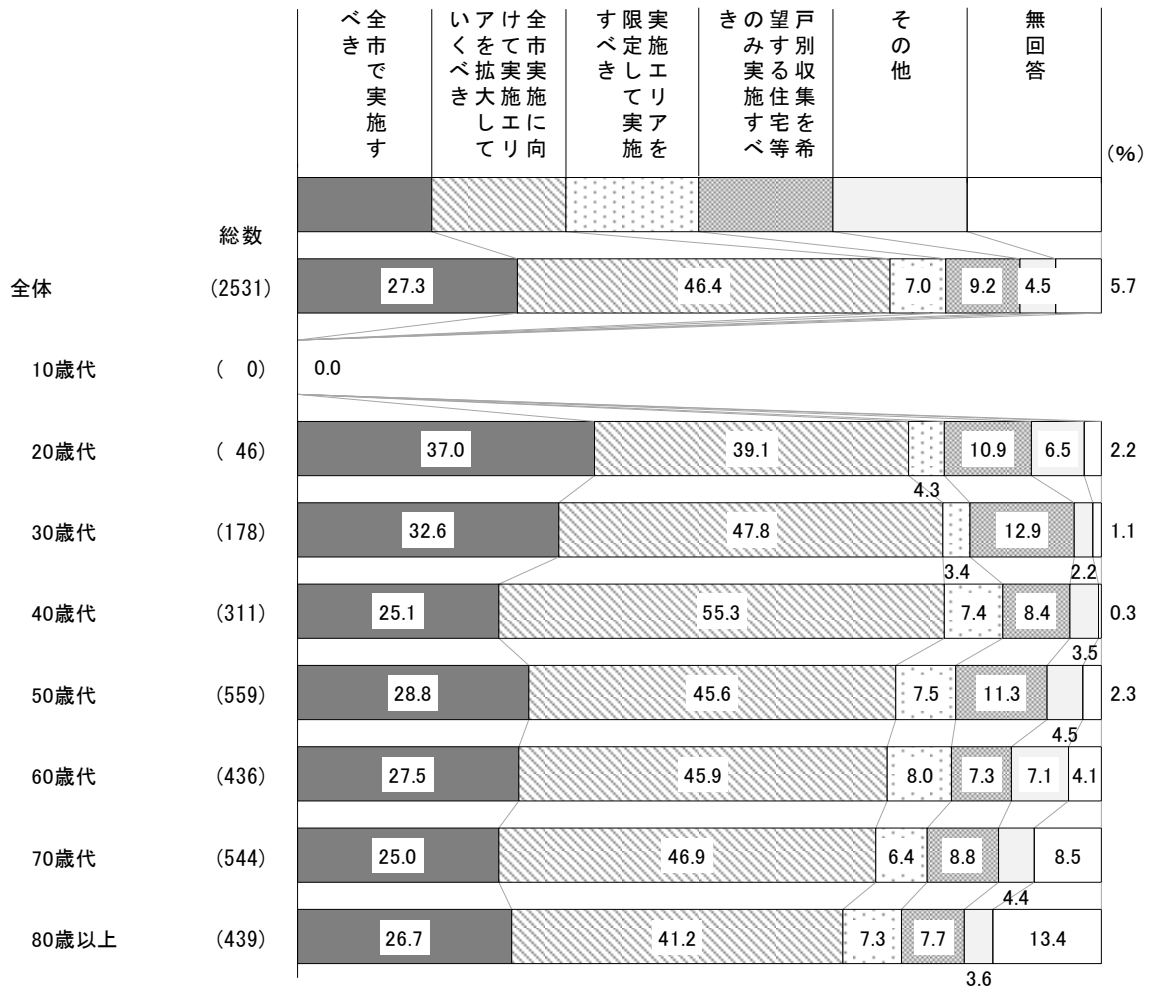
問14 問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集の今後の進め方について、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



戸別収集の継続意向で希望すると回答した方に今後の戸別収集の進め方について聞いたところ、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は46.4%、「全市で実施すべき」は27.3%となっている。

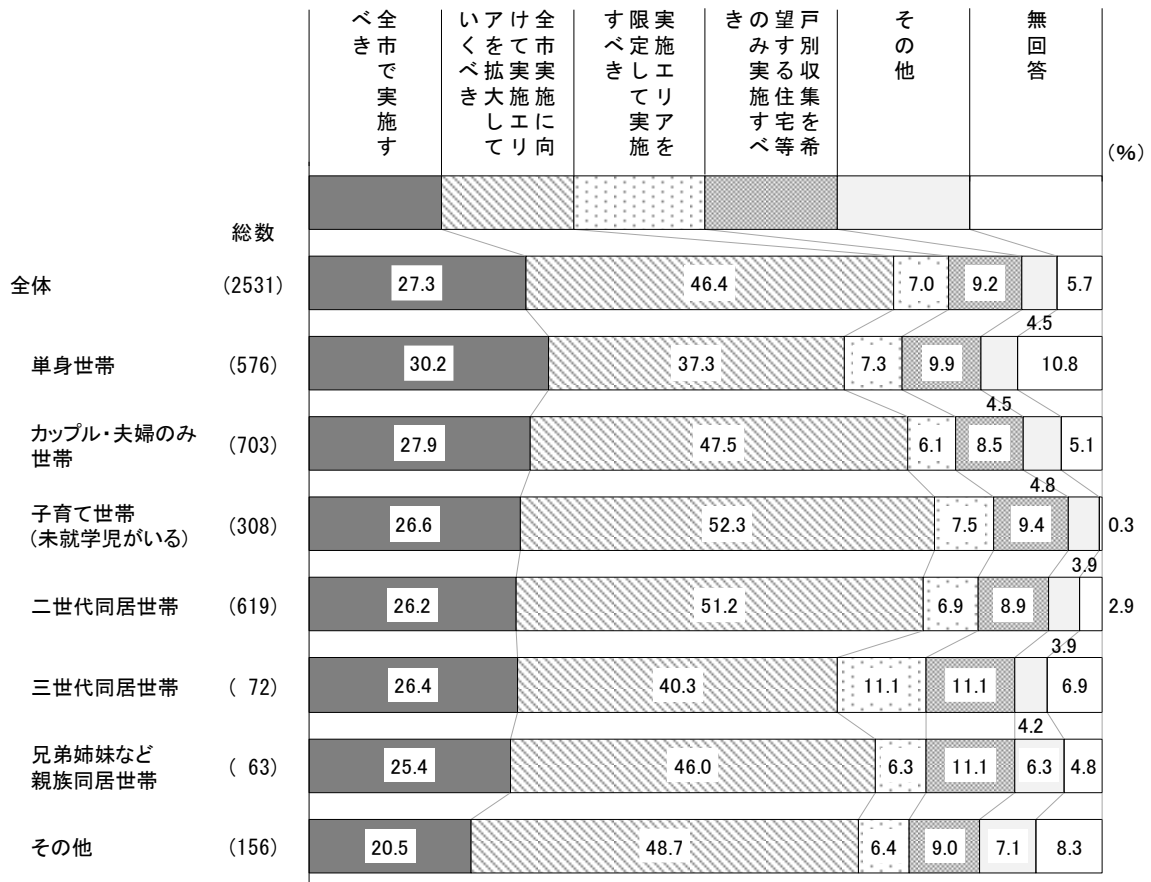
また、その他の意見として「希望する自治会単位で実施」、「地区による費用対効果を確認し検討」、「市民の希望の多いエリアで実施」などがあつた。

【年齢別】



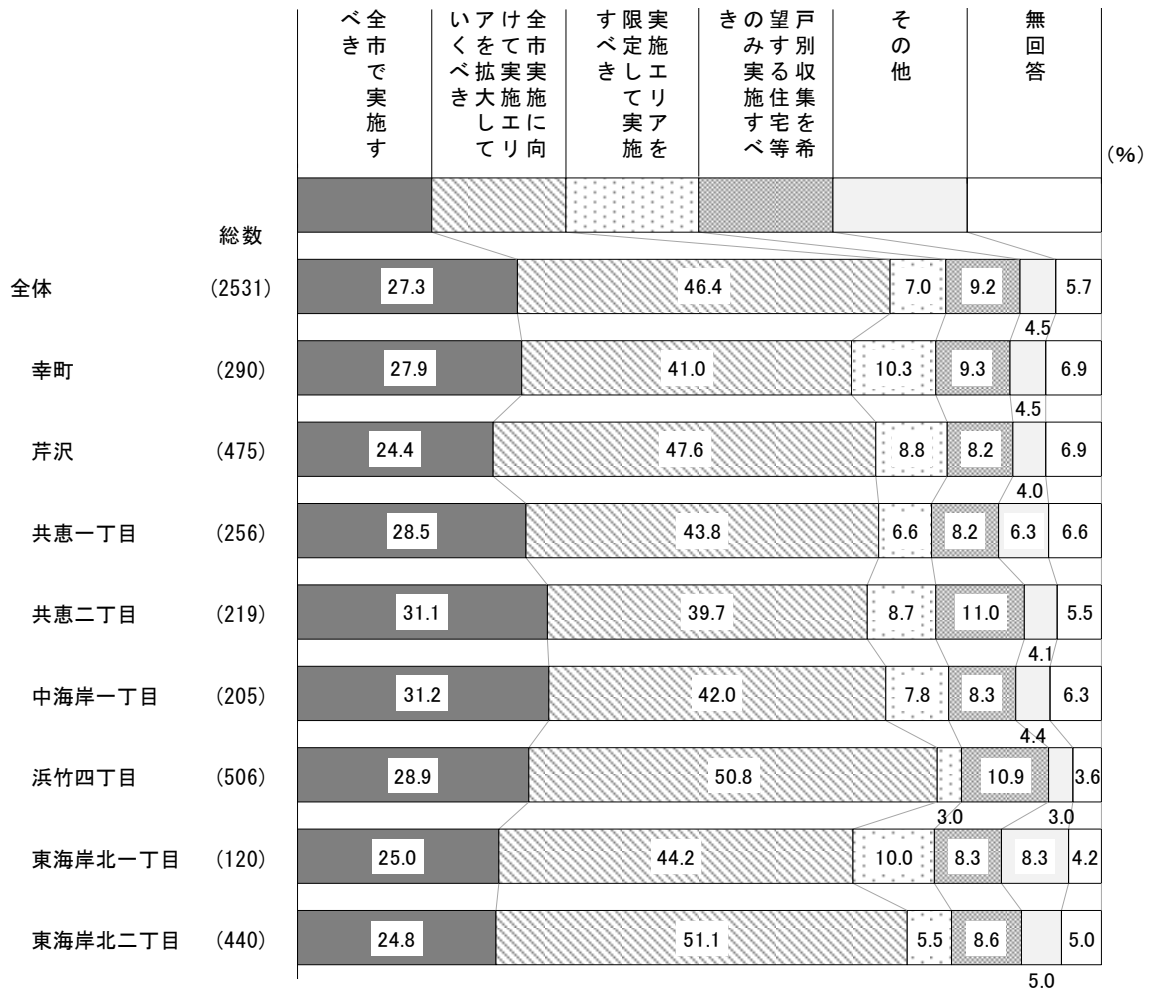
年齢別で見ると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は40歳代で55.3%、「全市で実施すべき」は20歳代で37.0%となっている。

【世帯構成別】



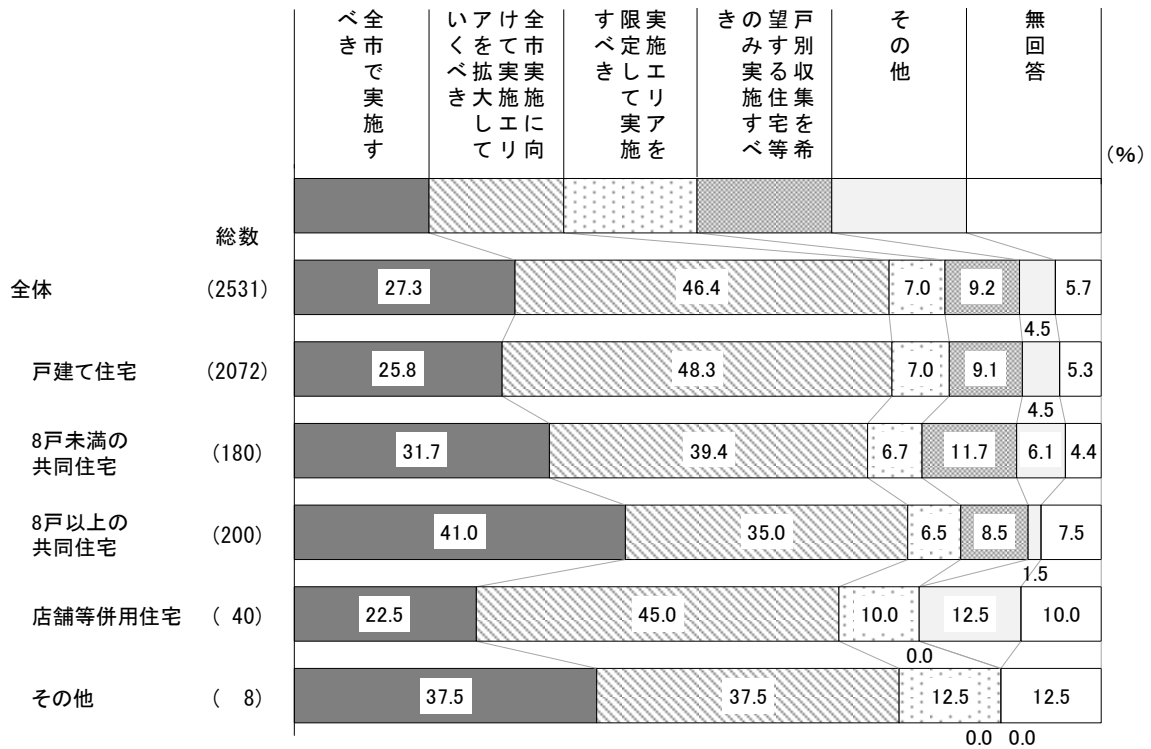
世帯構成別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は子育て世帯（未就学児がいる）で52.3%、「全市で実施すべき」は単身世帯で30.2%となっている。

【居住地域別】



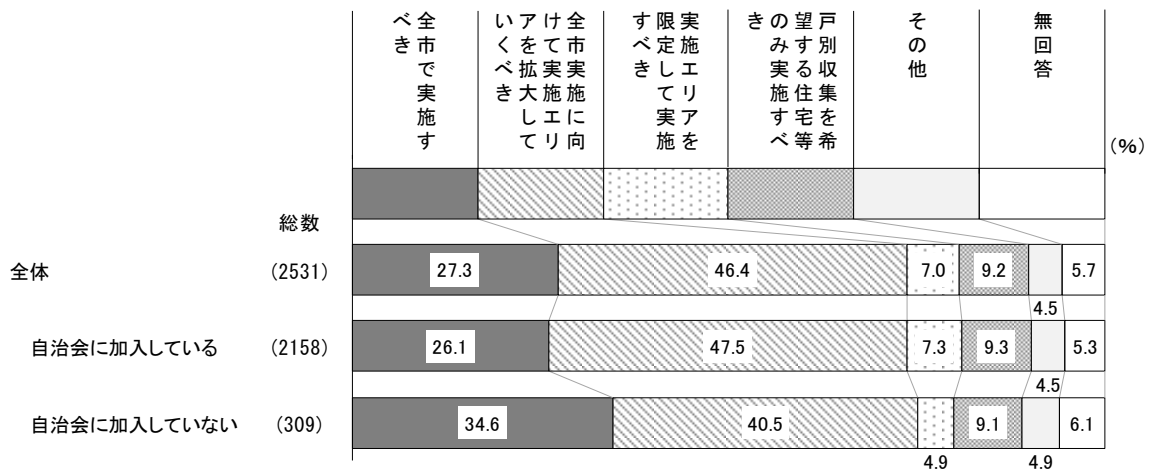
居住地域別で見ると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は東海岸北二丁目
51.1%、「全市で実施すべき」は中海岸一丁目で31.2%となっている。

【住居形態別】



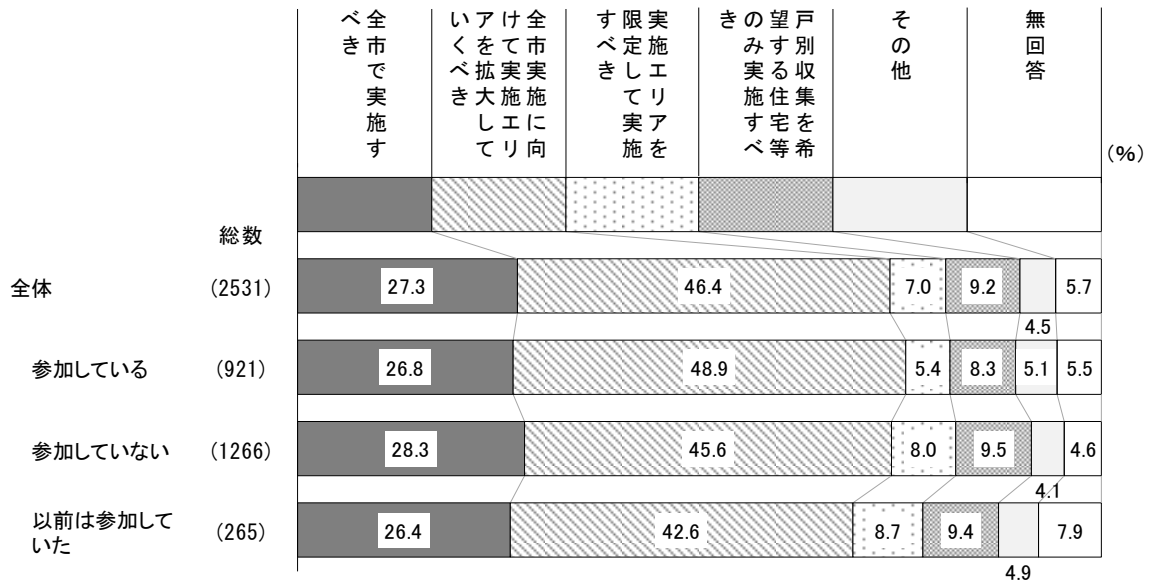
住居形態別で見ると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は戸建て住宅で48.3%、「全市で実施すべき」は8戸以上の共同住宅で41.0%となっている。

【自治会加入状況別】



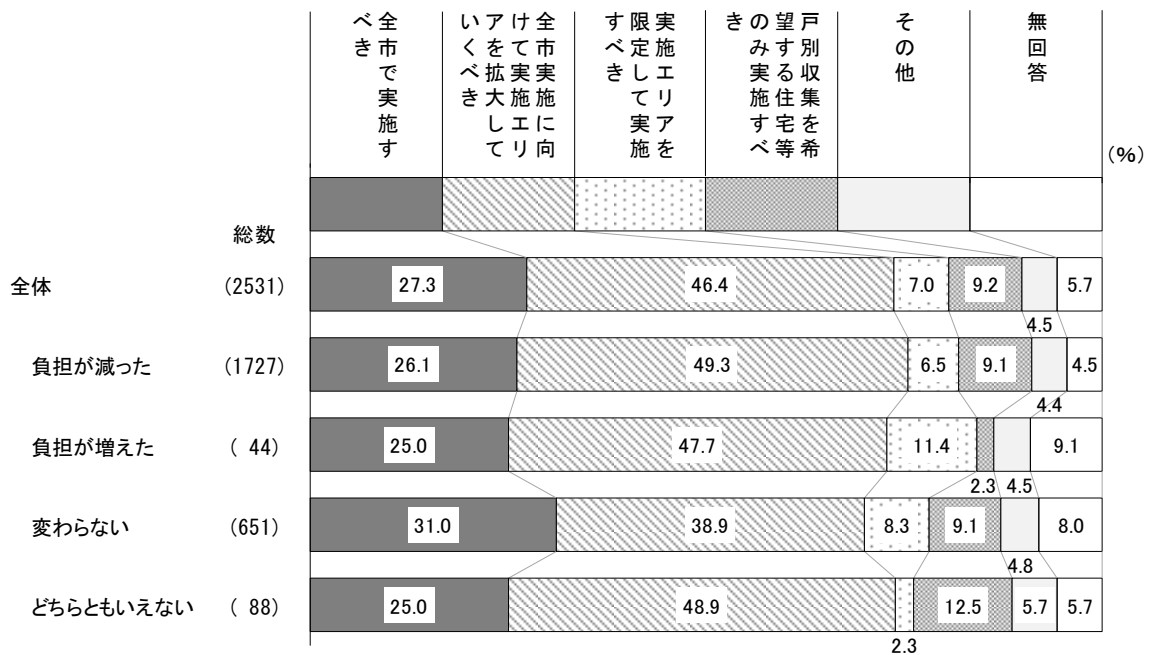
自治会加入状況別で見ると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は自治会に加入しているで47.5%、「全市で実施すべき」は自治会に加入していないで34.6%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



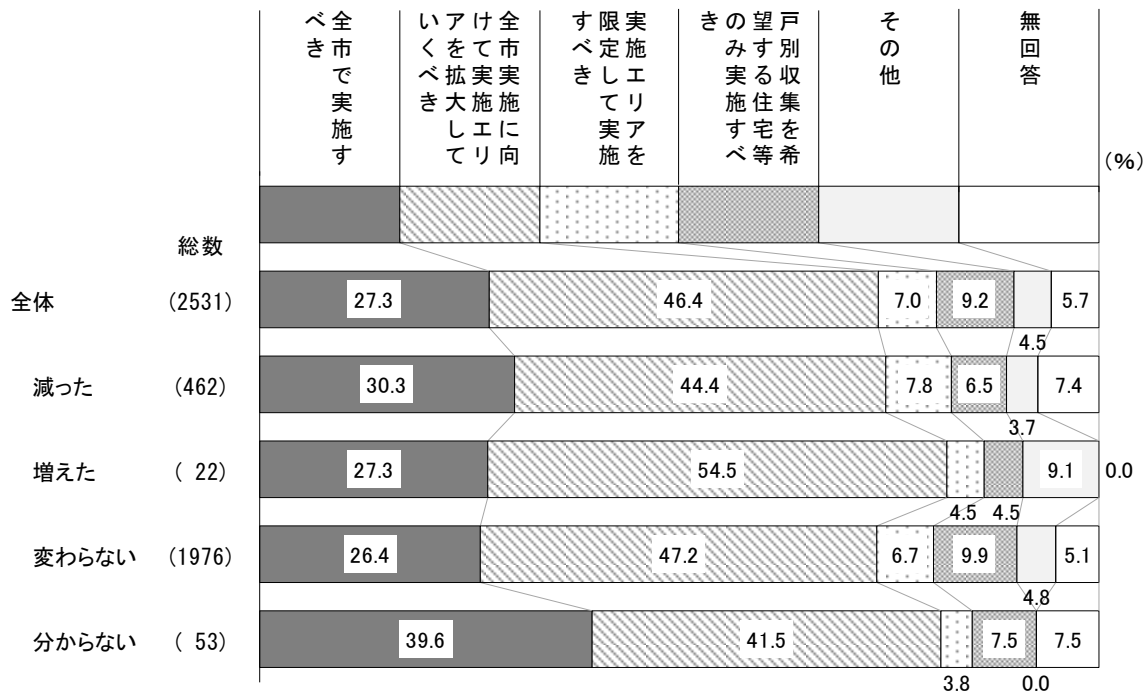
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は参加しているで48.9%、「全市で実施すべき」は参加していないで28.3%となっている。

【ごみ出し負担の変化別】



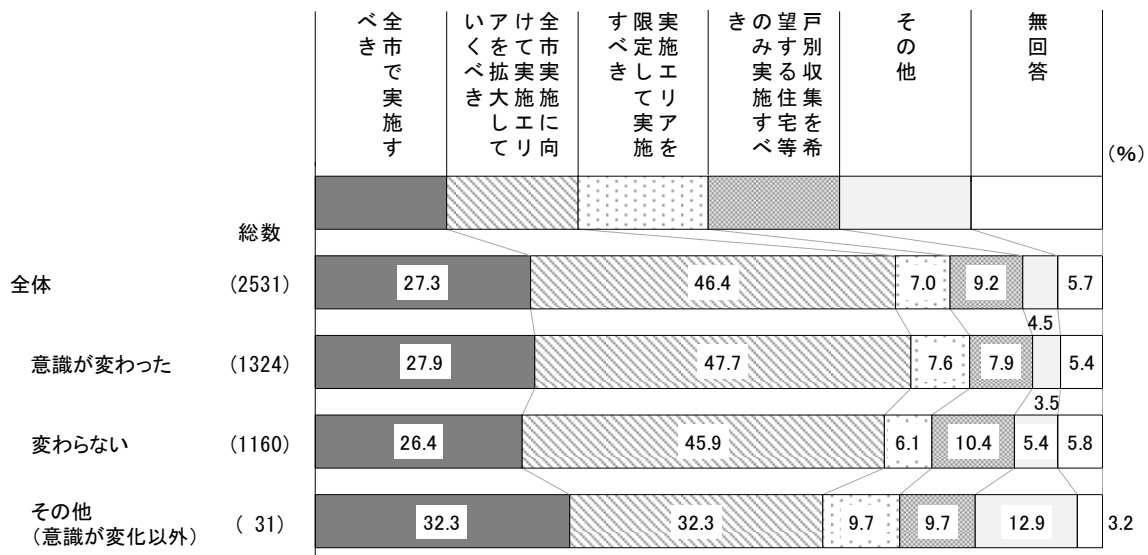
ごみ出し負担の変化別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は負担が減ったで49.3%、「全市で実施すべき」は変わらないで31.0%となっている。

【ごみ排出量の変化別】



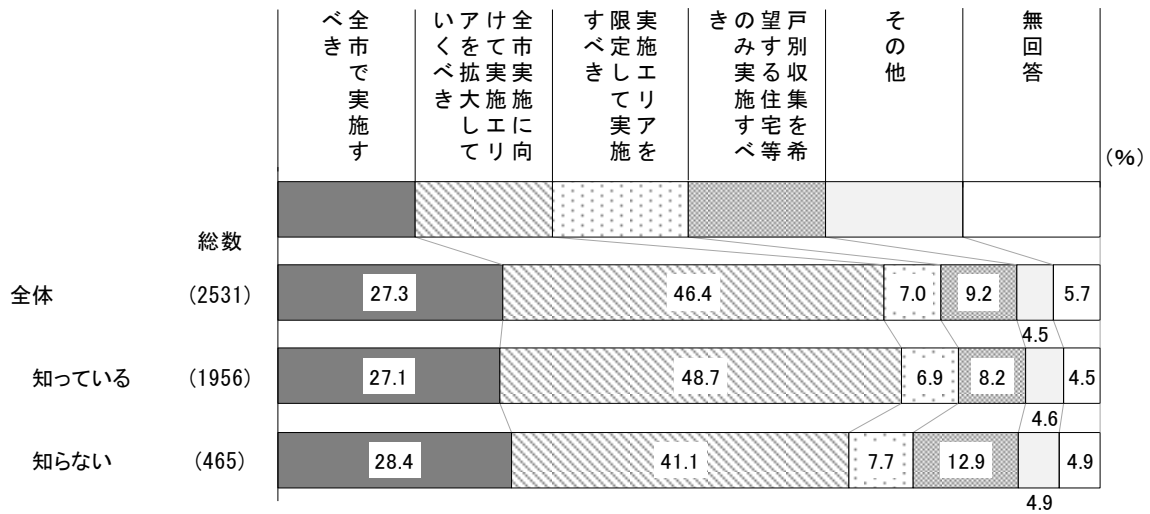
ごみ排出量の変化別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は増えたで54.5%、「全市で実施すべき」は減ったで30.3%となっている。

【ごみ減量・分別意識の変化別】



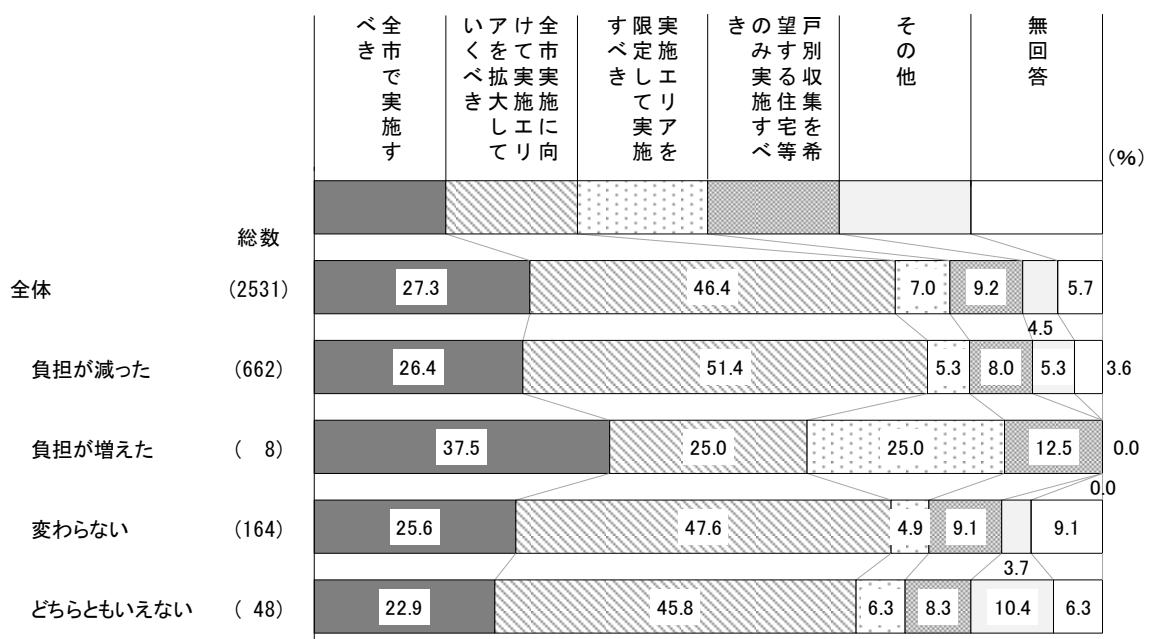
ごみ減量・分別意識の変化別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は意識が変わったで47.7%、「全市で実施すべき」は意識が変わったで27.9%となっている。

【ステーションを起因とする諸問題の認知別】



ステーションを起因とする諸問題の認知別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は知っているで48.7%、「全市で実施すべき」は知らないで28.4%となっている。

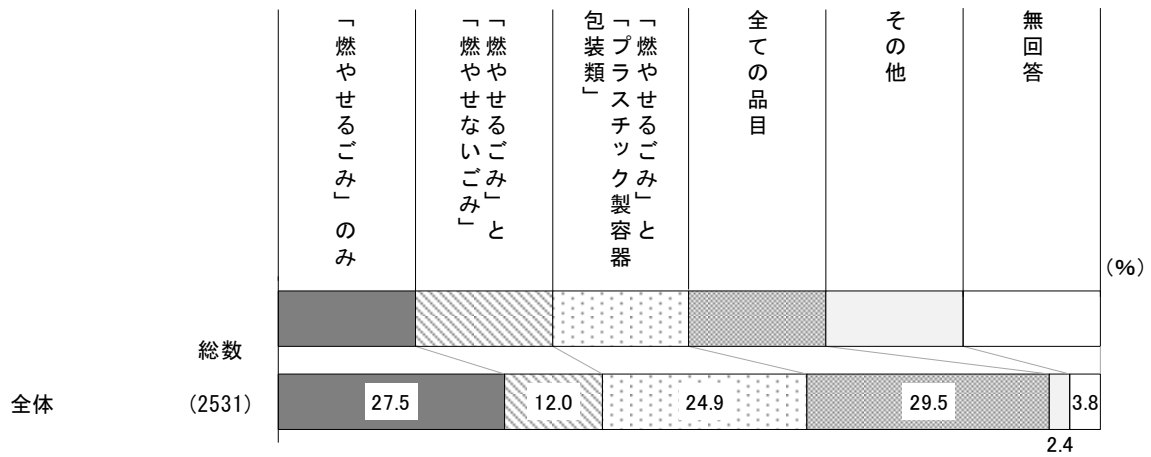
【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別でみると、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は負担が減ったで51.4%、「全市で実施すべき」は負担が減ったで26.4%となっている。

(6) 戸別収集の対象にすべき品目

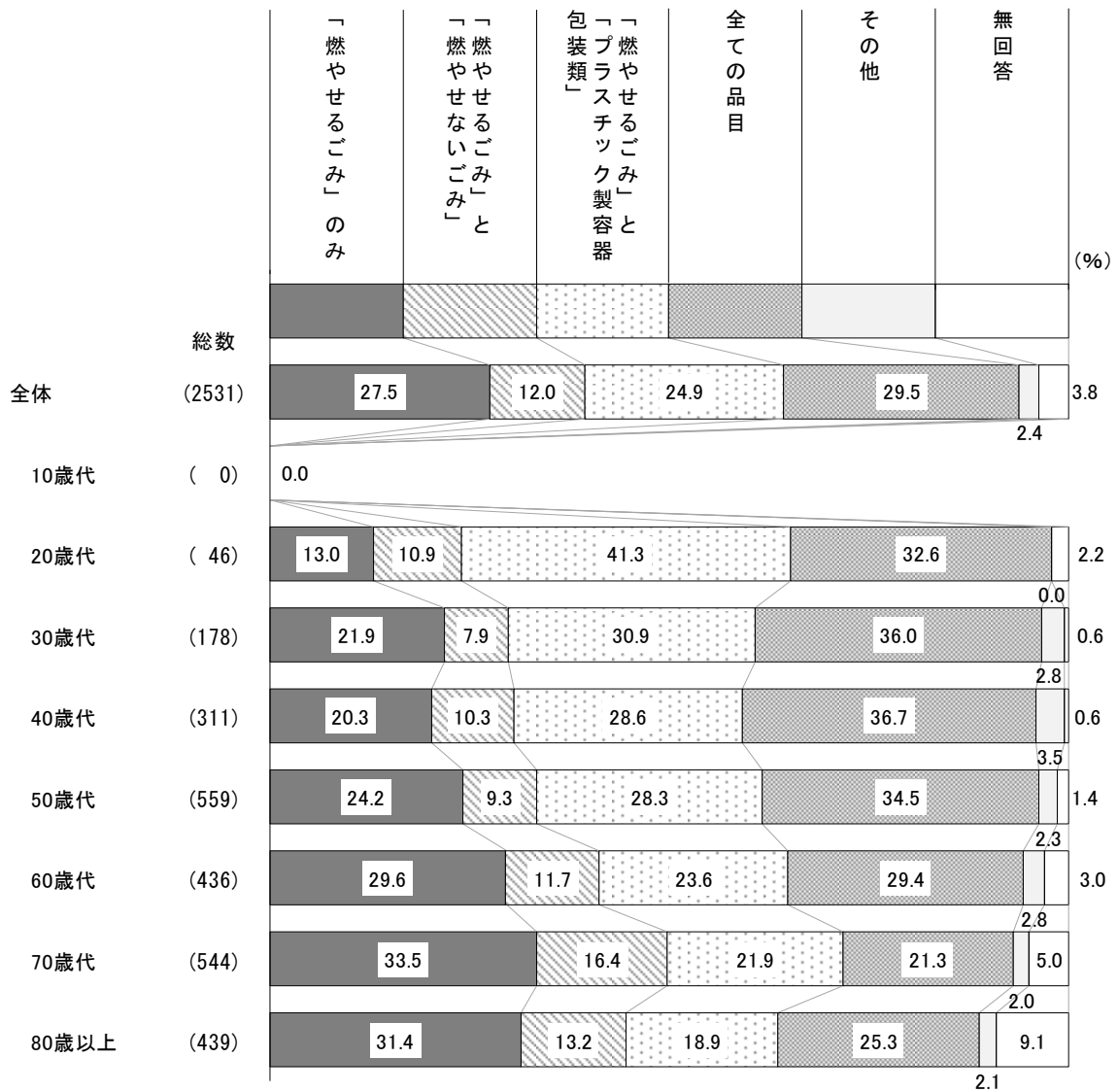
問15 問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集をどの品目を対象に実施すべきか、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



戸別収集の継続意向で希望すると回答した方に戸別収集の対象にすべき品目について聞いたところ、「全ての品目」は29.5%、「燃やせるごみ」のみは27.5%となっている。

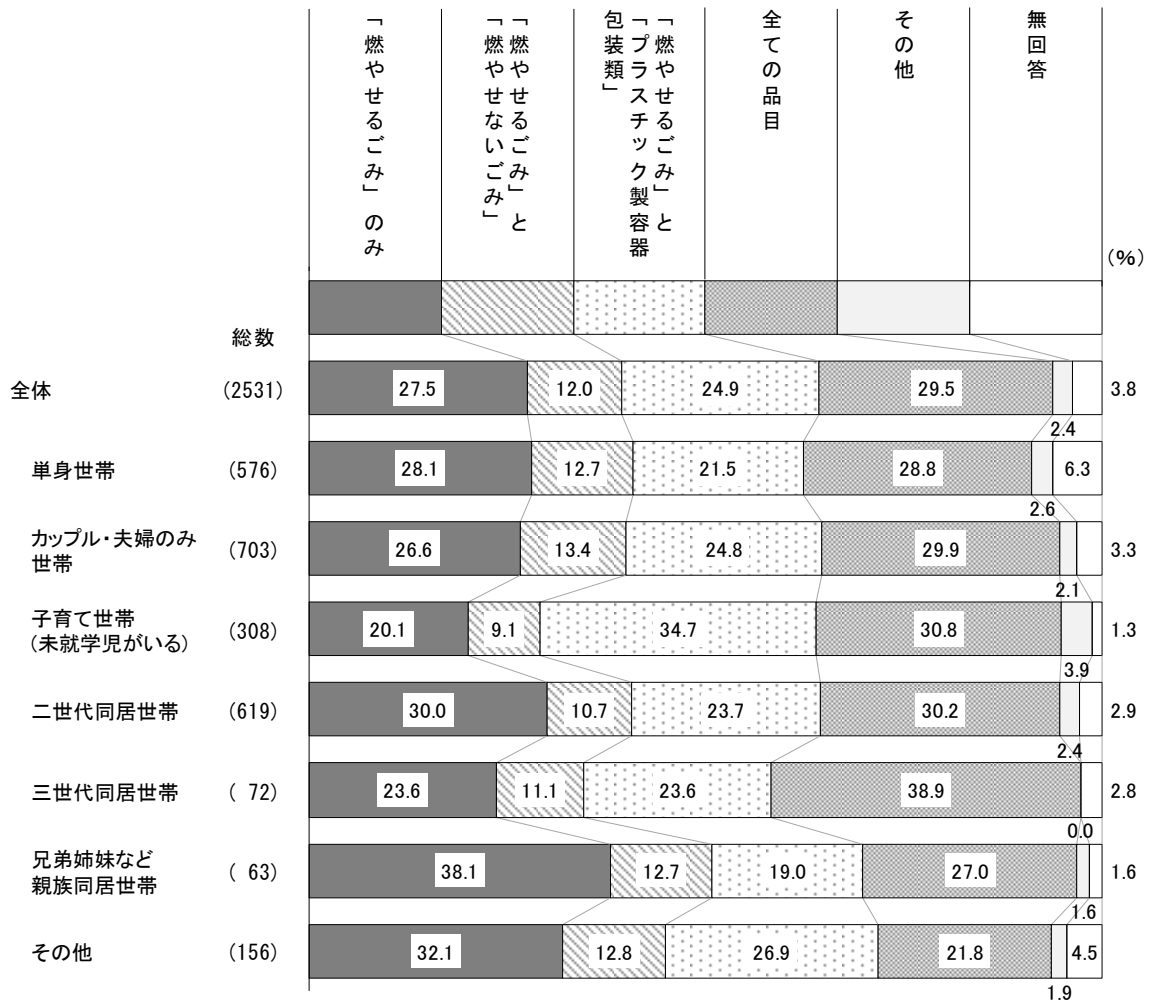
また、その他の意見として「資源ごみ以外のもの」、「枝・葉」、「かん」などがあつた。

【年齢別】



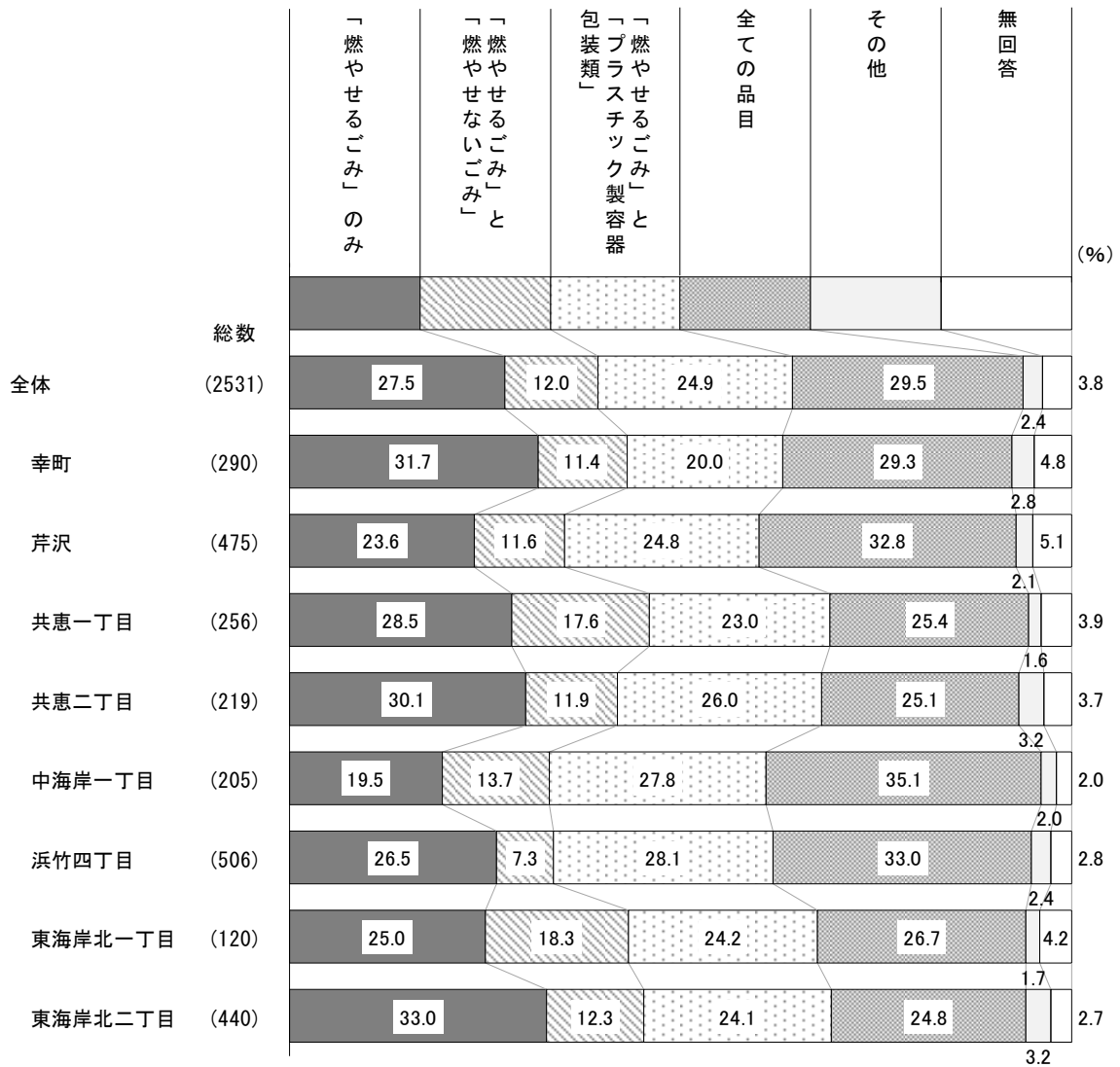
年齢別で見ると、「全ての品目」は40歳代で36.7%、「燃やせるごみ」のみは70歳代で33.5%となっている。

【世帯構成別】



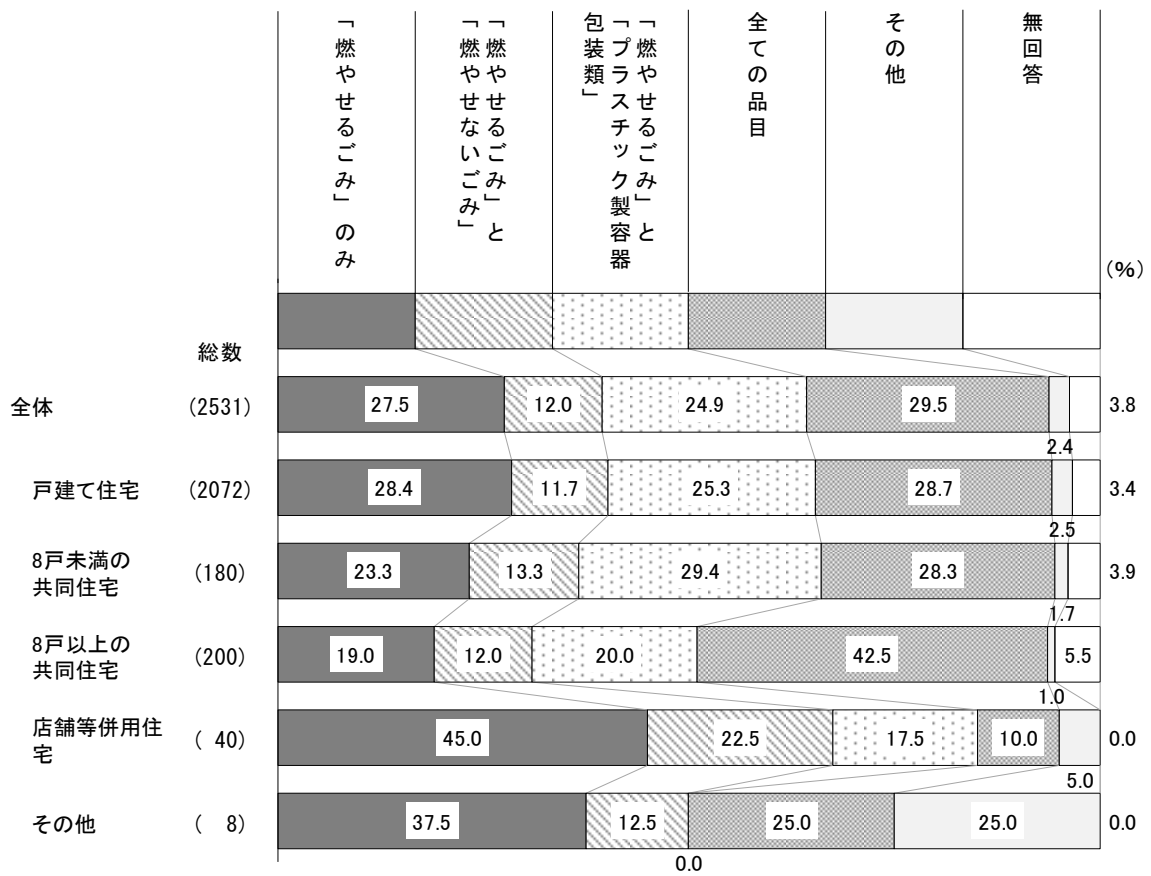
世帯構成別で見ると、「全ての品目」は三世帯同居世帯で38.9%、「燃やせるごみ」のみは兄弟姉妹など親族同居世帯で38.1%となっている。

【居住地域別】



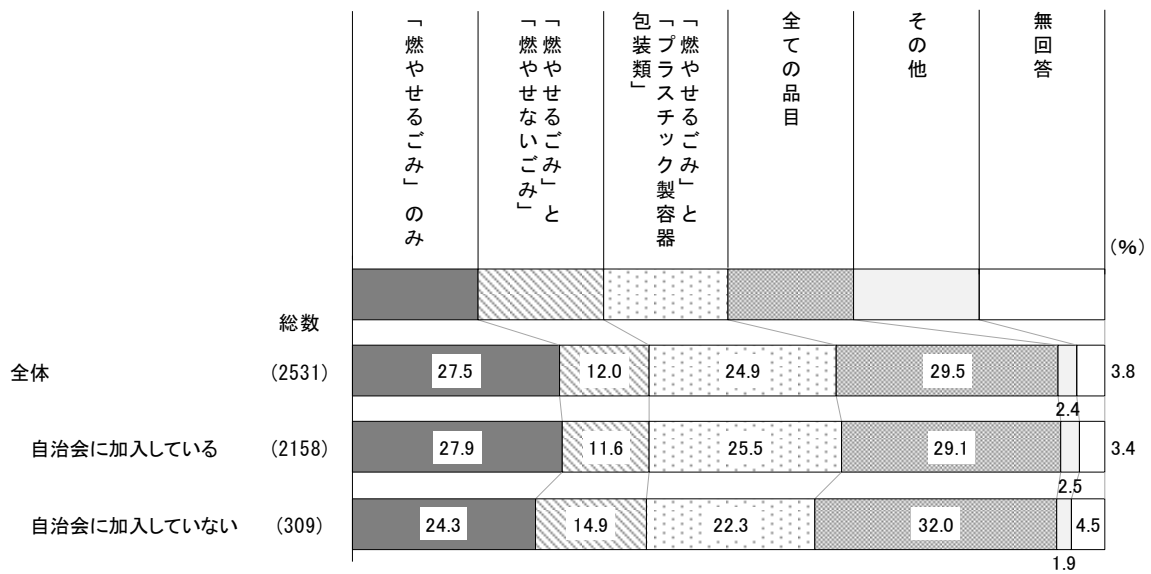
居住地域別で見ると、「全ての品目」は中海岸一丁目で35.1%、「燃やせるごみ」のみは東海岸北二丁目で33.0%となっている。

【住居形態別】



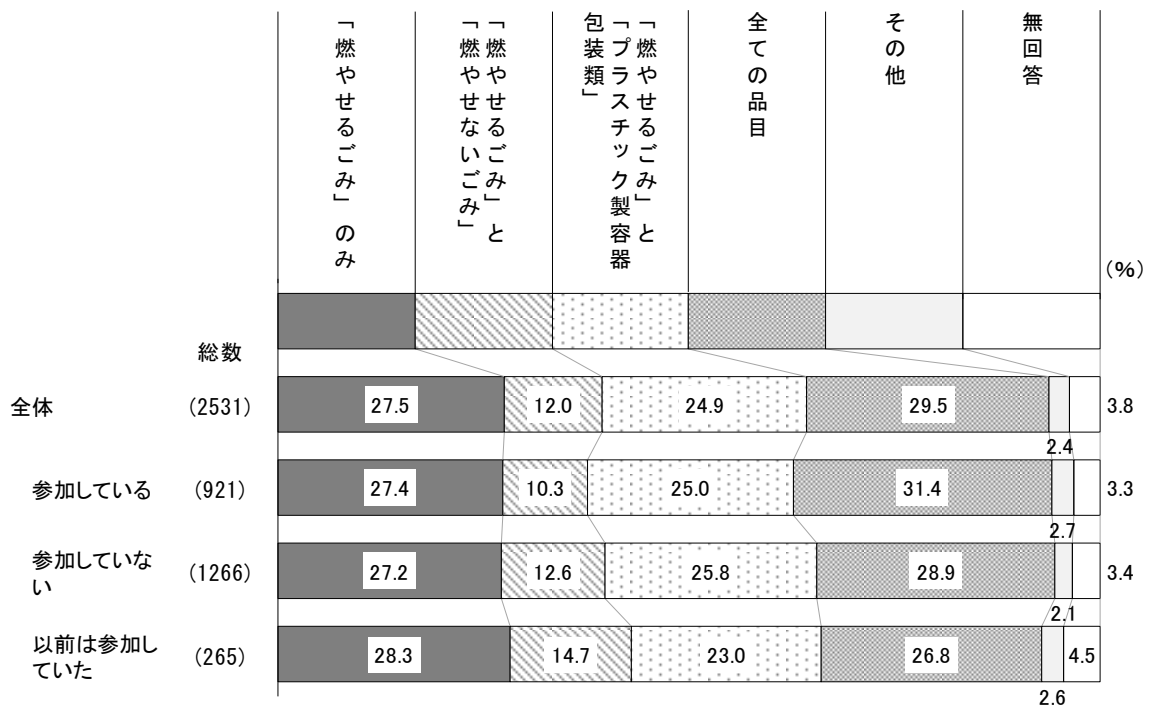
住居形態別で見ると、「全ての品目」は8戸以上の共同住宅で42.5%、「燃やせるごみ」のみは店舗等併用住宅で45.0%となっている。

【自治会加入状況別】



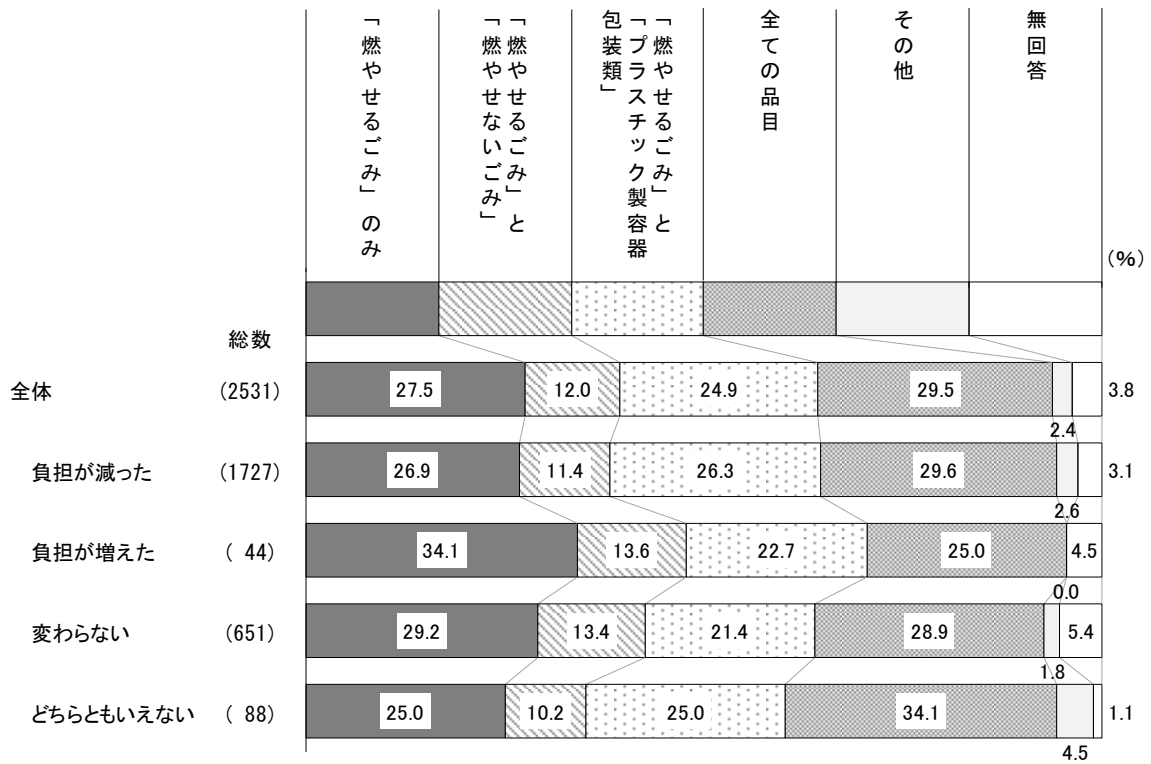
自治会加入状況別で見ると、「全ての品目」は自治会に加入していないで32.0%、「燃やせるごみ」のみ」は自治会に加入しているで27.9%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



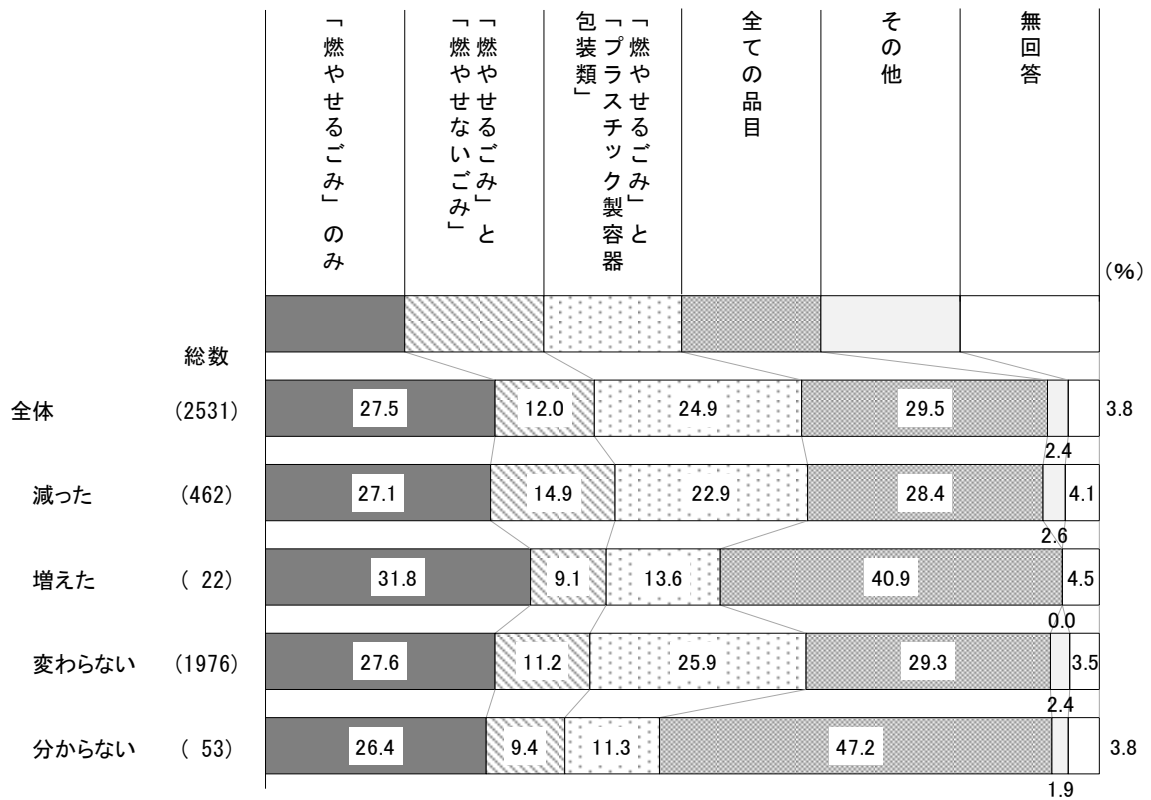
ステーションの清掃当番等の参加状況別で見ると、「全ての品目」は参加しているで31.4%、「燃やせるごみ」のみ」は以前は参加していたで28.3%となっている。

【ごみ出し負担の変化別】



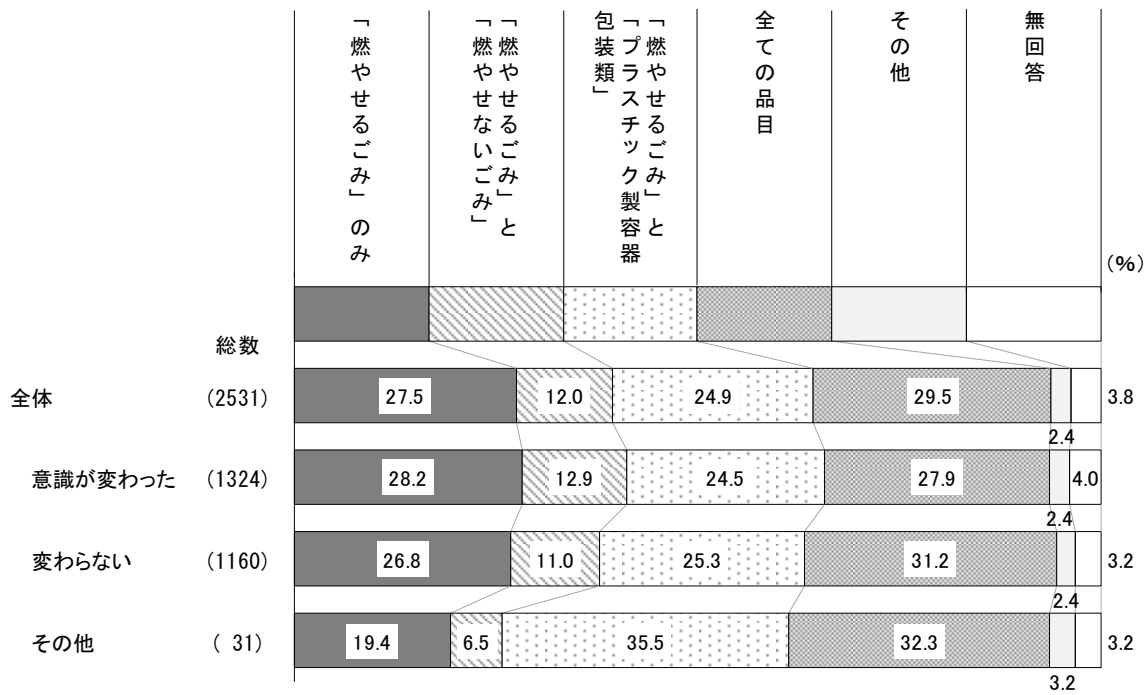
ごみ出し負担の変化別で見ると、「全ての品目」はどちらともいえないで34.1%、「燃やせるごみ」のみは負担が増えたで34.1%となっている。

【ごみ排出量の変化別】



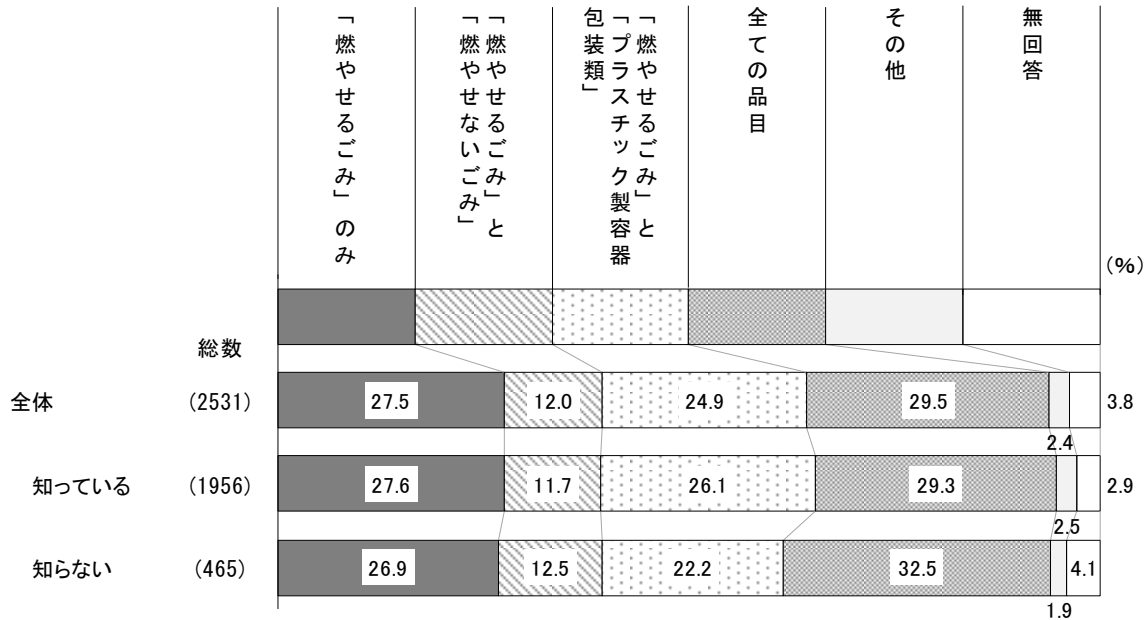
ごみ排出量の変化別で見ると、「全ての品目」は分からないで47.2%、「燃やせるごみ」のみは増えたで31.8%となっている。

【ごみ減量・分別意識の変化別】



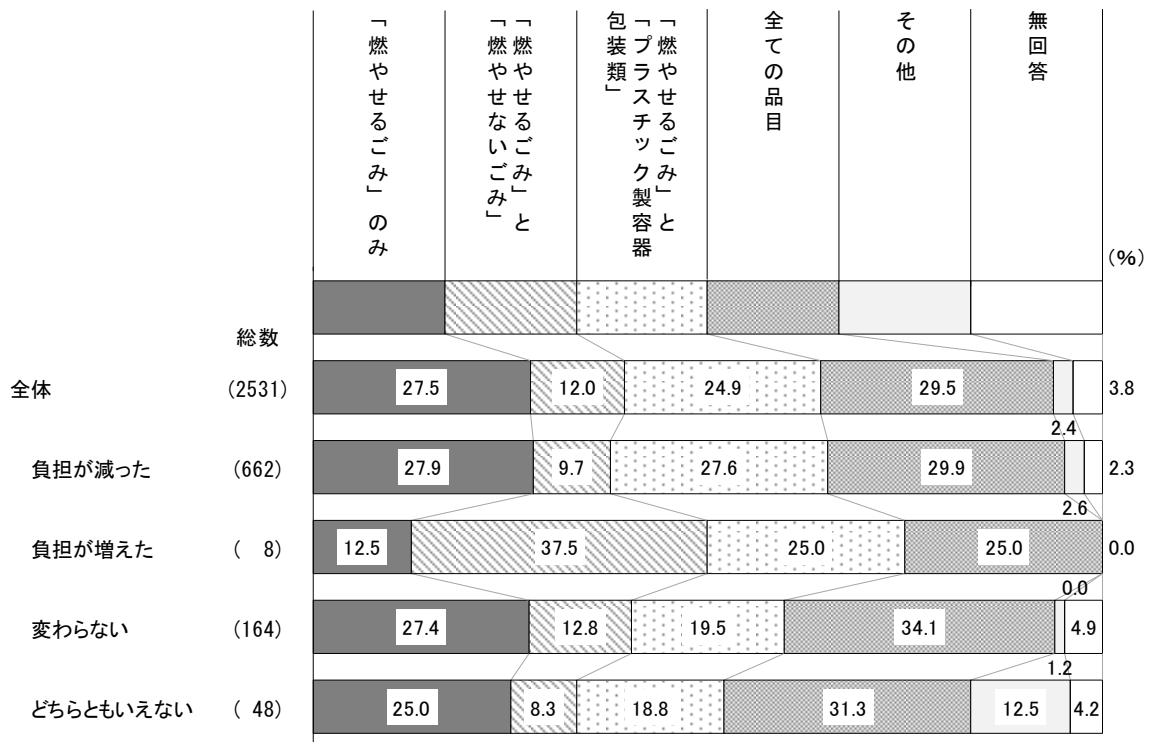
ごみ減量・分別意識の変化別でみると、「全ての品目」は変わらないで31.2%、「燃やせるごみ」のみ」は意識が変わったで28.2%となっている。

【ステーションを起因とする諸問題の認知別】



ステーションを起因とする諸問題の認知別でみると、「全ての品目」は知らないで32.5%、「燃やせるごみ」のみ」は知っているで27.6%となっている。

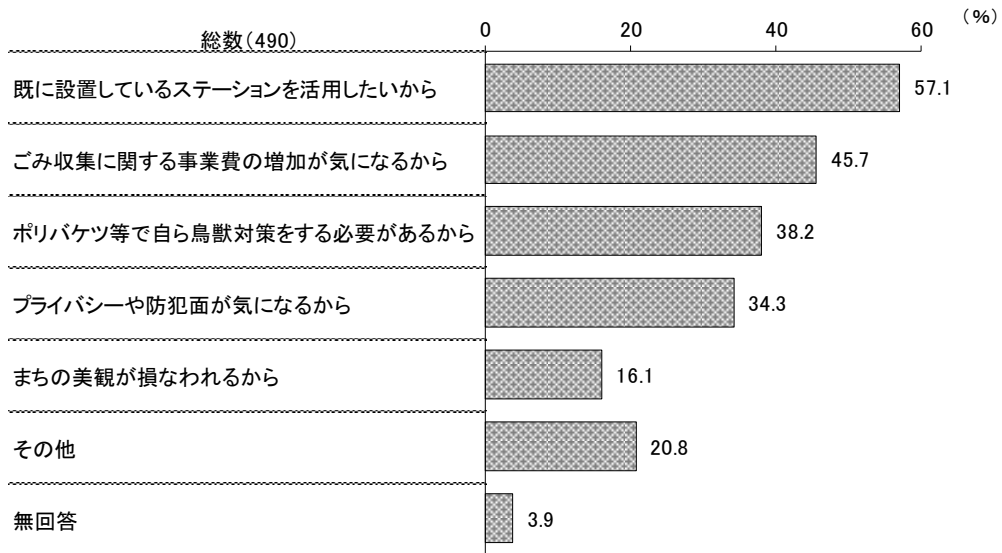
【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別で見ると、「全ての品目」は変わらないで34.1%、「燃やせるごみ」のみは負担が減ったで27.9%となっている。

(7) 戸別収集の継続を希望しない理由

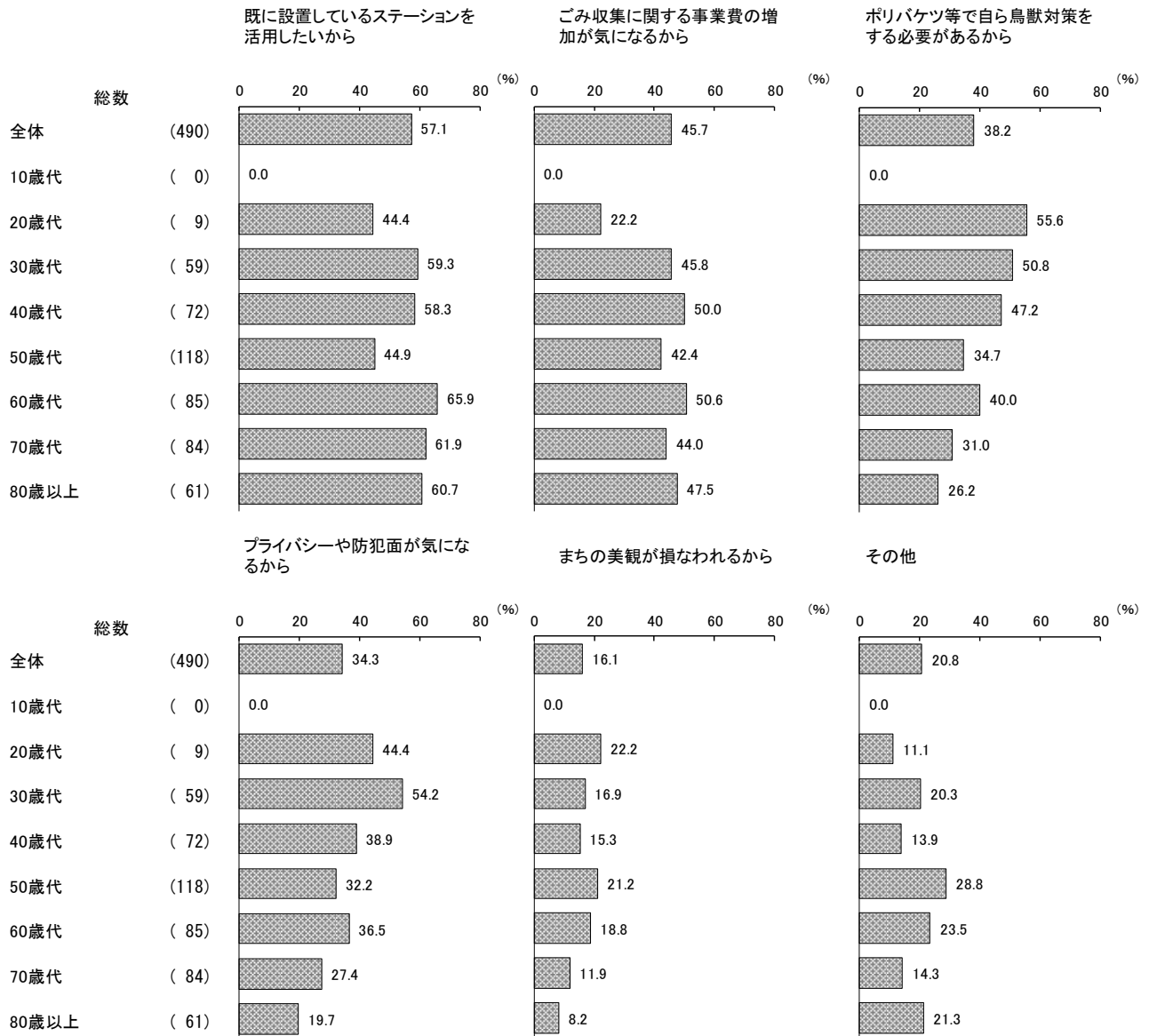
問16 問12で「② 希望しない」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



戸別収集の継続意向で希望しないと回答した方にその理由について聞いたところ、「既に設置しているステーションを活用したいから」は57.1%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は45.7%となっている。

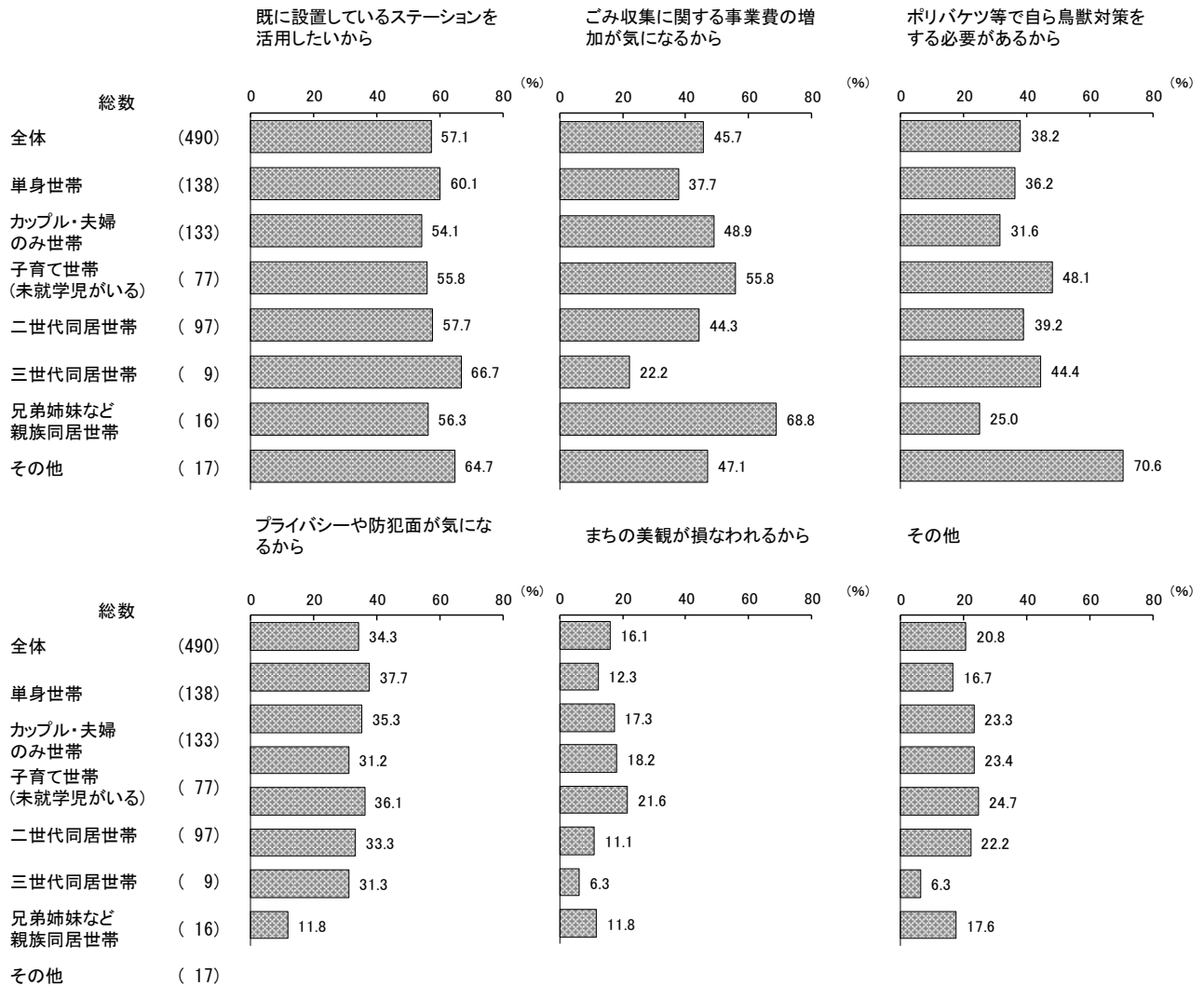
また、その他の意見として「弱者の考慮に欠けるから」、「長時間のごみ放置となるから」、「収集車が各家の前に停車して収集を行うので安全性が懸念され、排気ガスや燃料の不経済感を感じるから」などがあつた。

【年齢別】



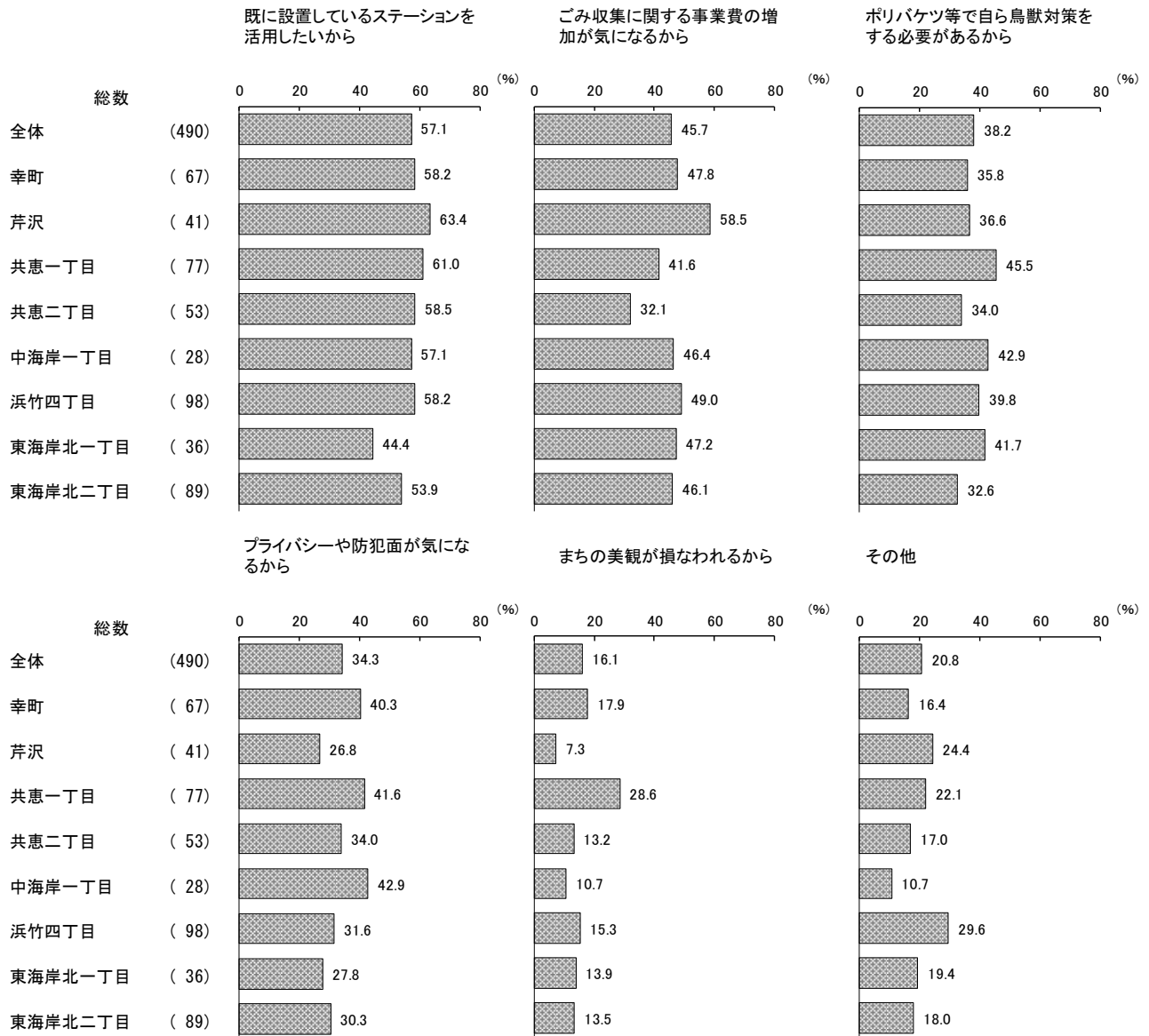
年齢別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は60歳代で65.9%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は60歳代で50.6%となっている。

【世帯構成別】



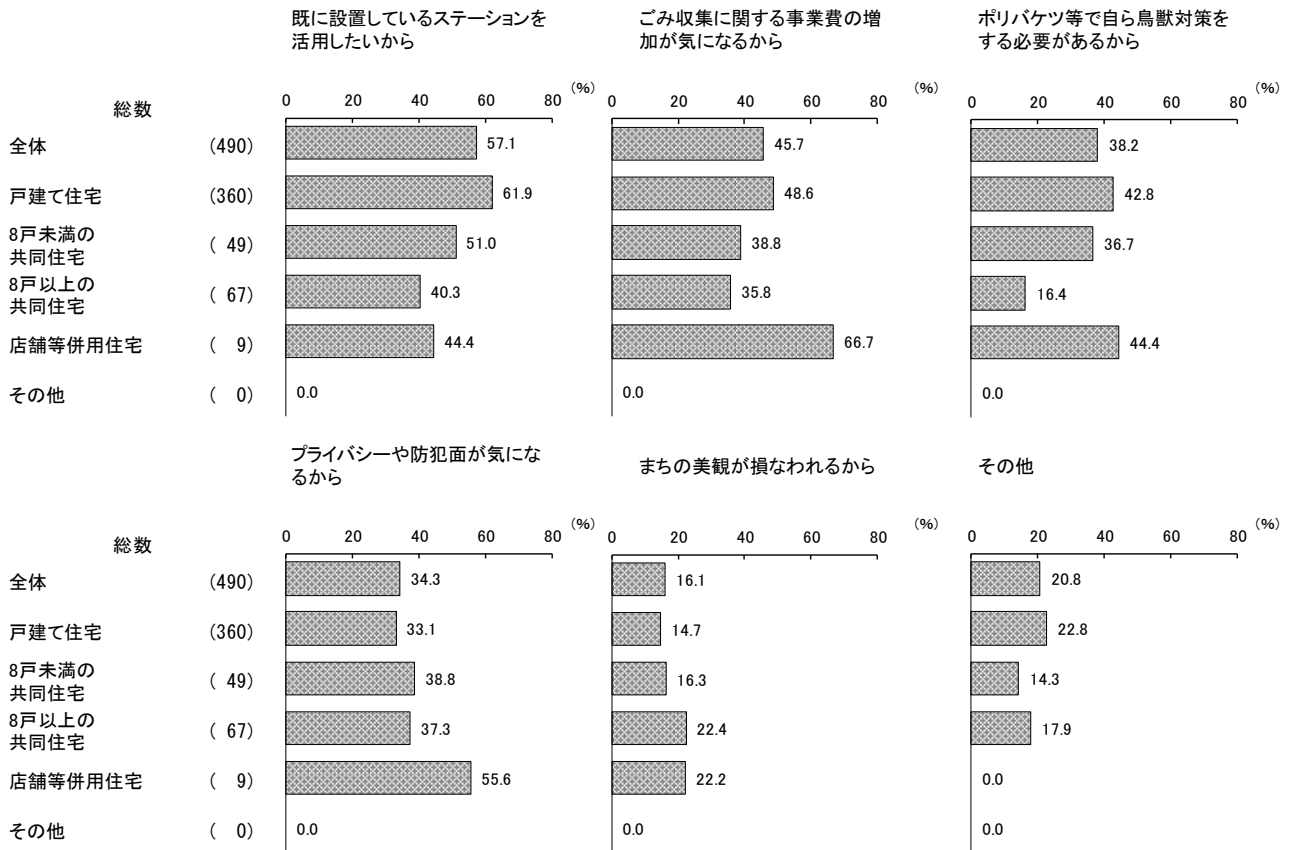
世帯構成別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は単身世帯で60.1%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は子育て世帯(未就学児がいる)で55.8%となっている。

【居住地域別】



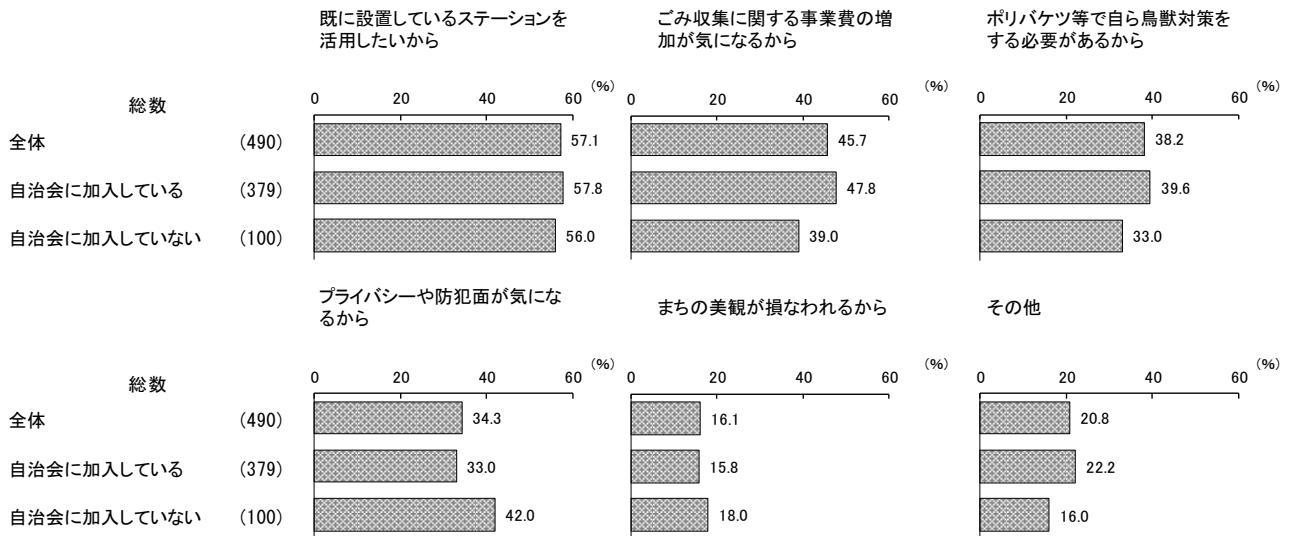
居住地域別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は芹沢で63.4%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は芹沢で58.5%となっている。

【住居形態別】



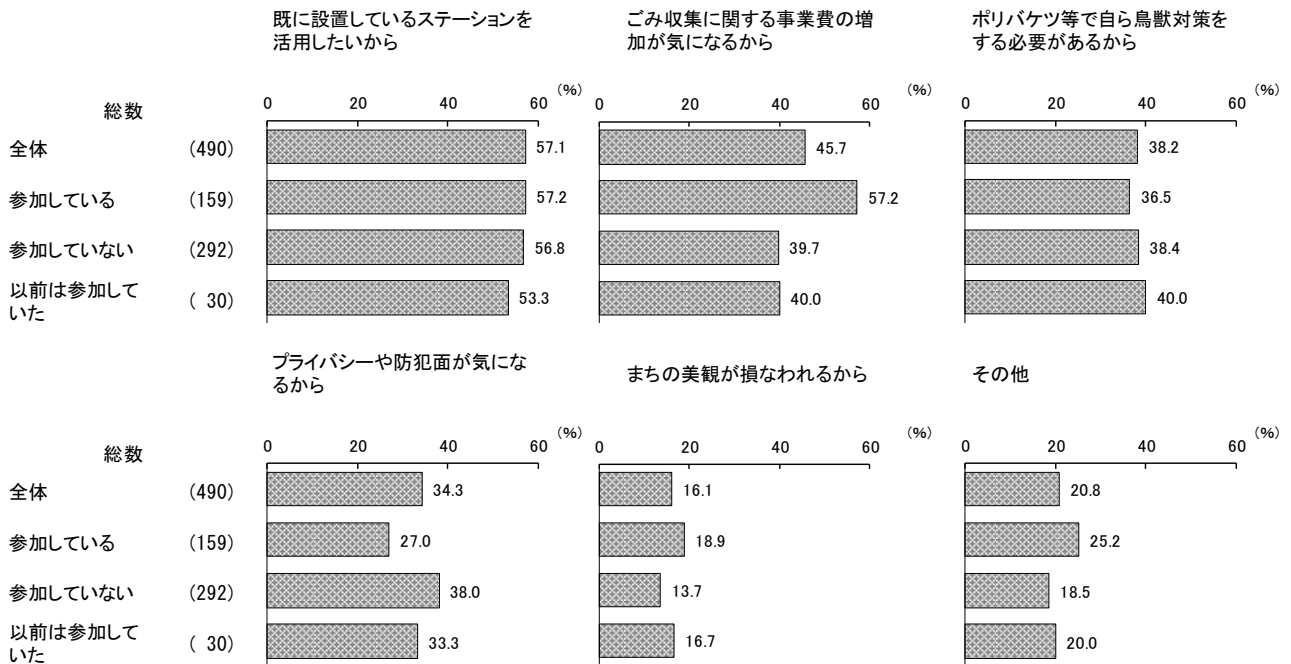
住居形態別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は戸建て住宅で61.9%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は戸建て住宅で48.6%となっている。

【自治会加入状況別】



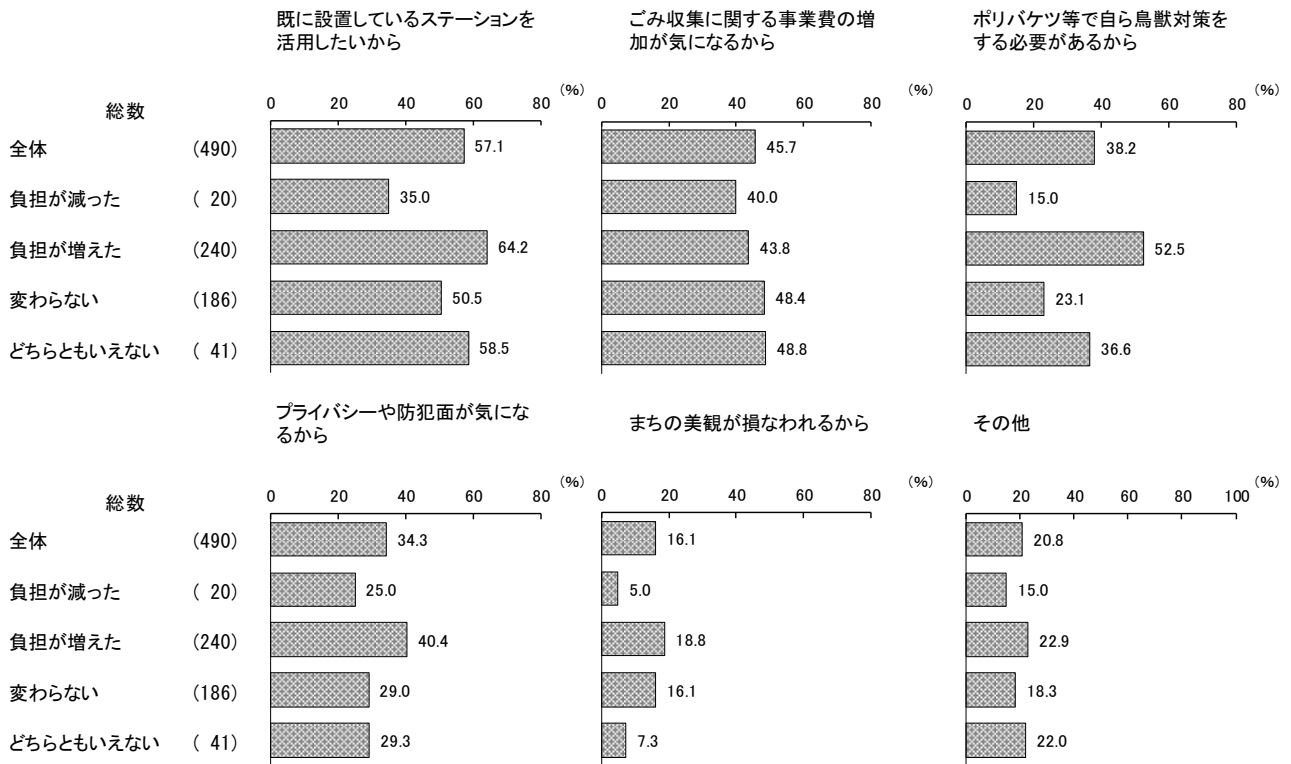
自治会加入状況別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は自治会に加入しているで57.8%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は自治会に加入しているで47.8%となっている。

【ステーションの清掃当番等の参加状況別】



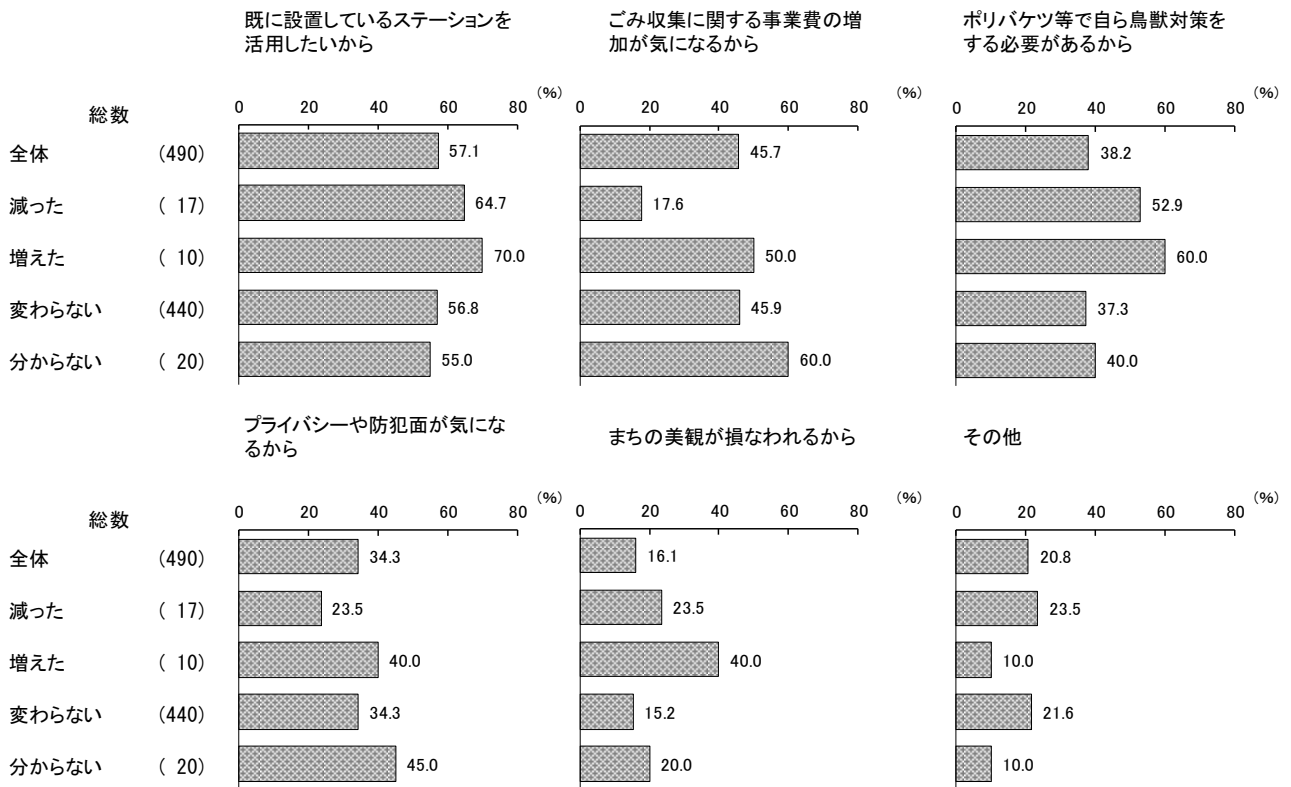
ステーションの清掃当番等の参加状況別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は参加しているで57.2%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は参加しているで57.2%となっている。

【ごみ出し負担の変化別】



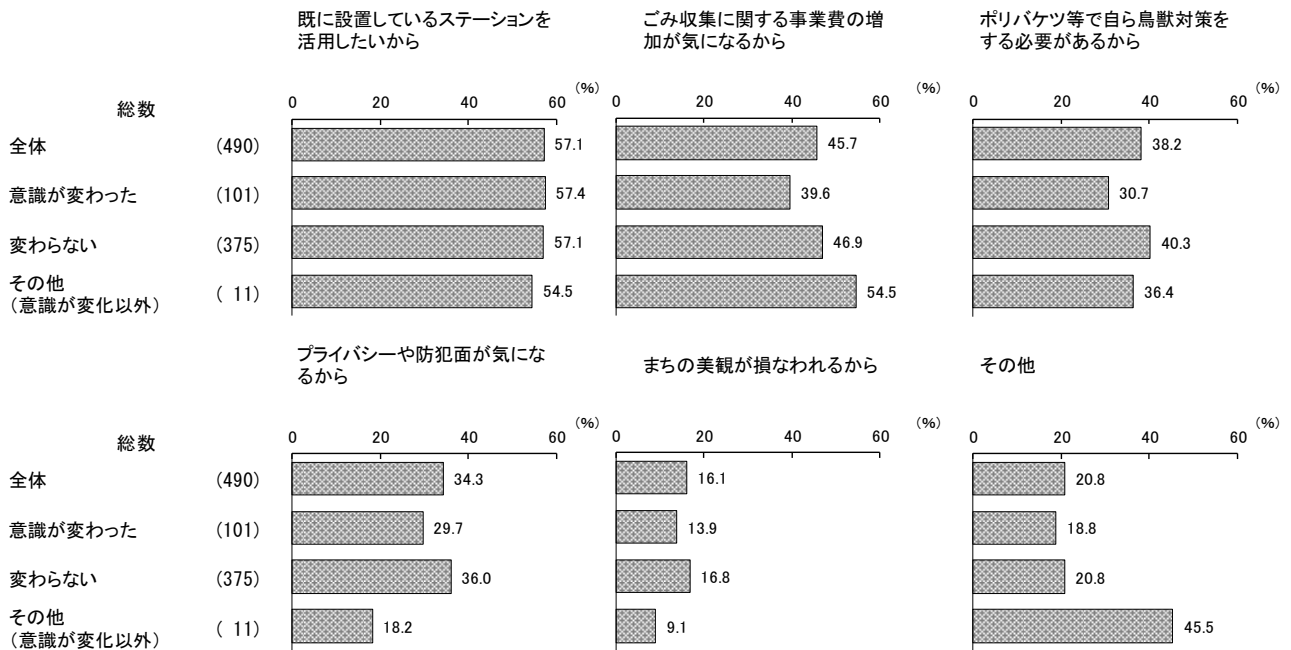
ごみ出し負担の変化別で見ると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は負担が増えたで64.2%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」はどちらともいえないで48.8%となっている。

【ごみ排出量の変化別】



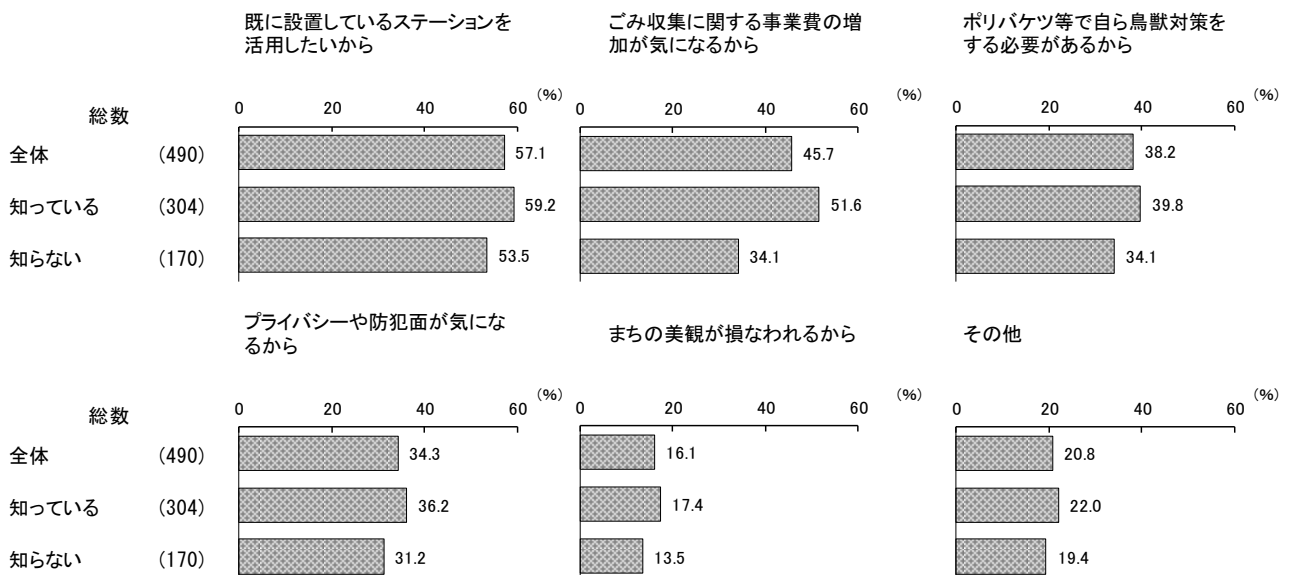
ごみ排出量の変化別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は変わらないで56.8%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は分からないで60.0%となっている。

【ごみ減量・分別意識の変化別】



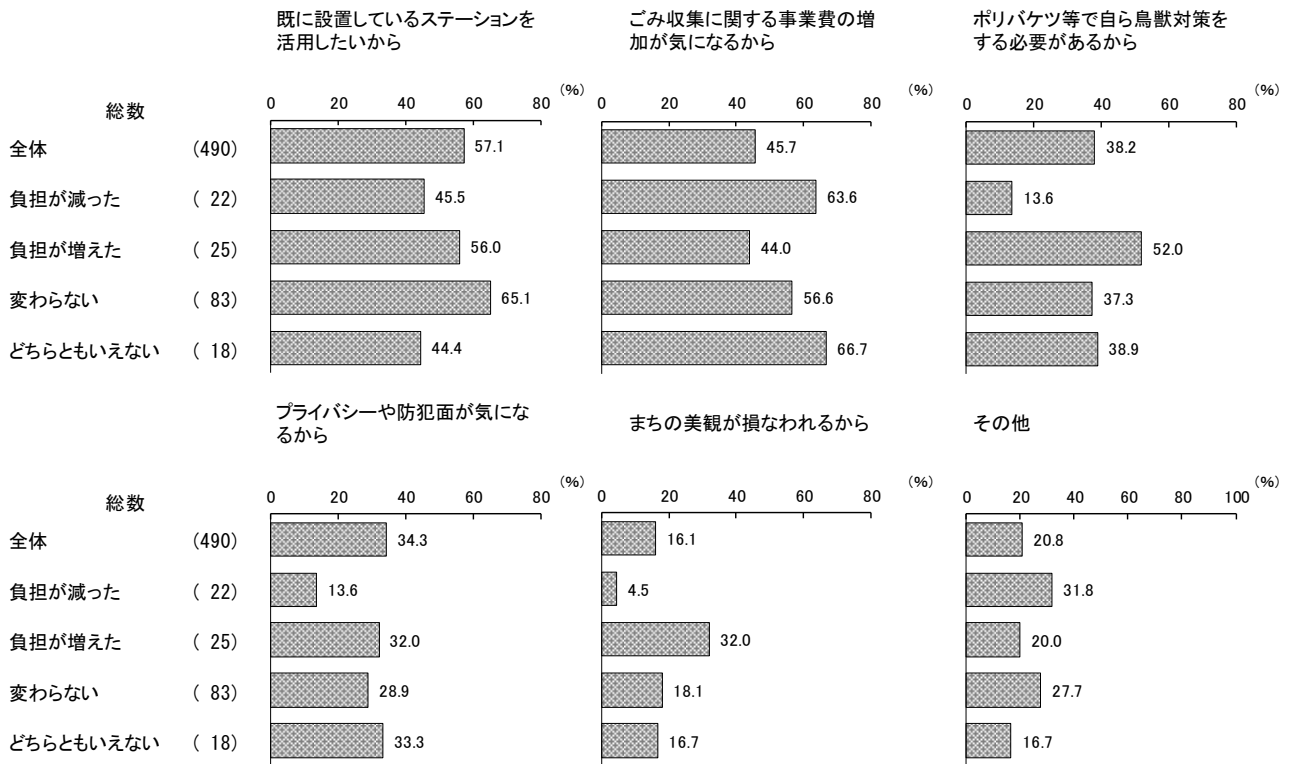
ごみ減量・分別意識の変化別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は意識が変わったで57.4%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は変わらないで46.9%となっている。

【ステーションを起因とする諸問題の認知別】



ステーションを起因とする諸問題の認知別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は知っているで59.2%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は知っているで51.6%となっている。

【ステーションの維持管理負担の変化別】



ステーションの維持管理負担の変化別でみると、「既に設置しているステーションを活用したいから」は変わらないで65.1%、「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」は負担が減ったで63.6%となっている。

(8) 本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般について気づいた点

問17 最後に、本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般などに対して、お気づきの点等ございましたら、お聞かせください。(自由記述)

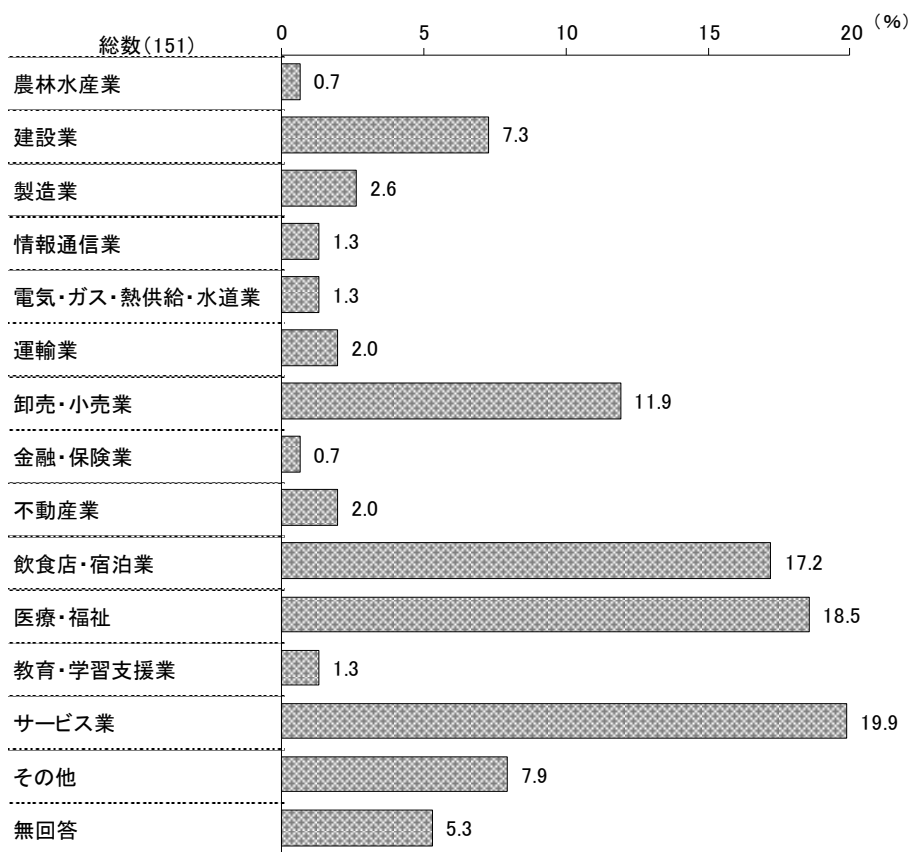
本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般について気づいた点を聞いたところ、1,338人(31.4%)から回答が得られた。回答内容を分類ごとに取りまとめ、意見の多いテーマ5件を次のとおり抜粋した。

分類	内容
① 品目や地域の拡大／事業の推進／継続について	今のところは生ごみだけです、プラごみの出し方のマナーがとても悪いので困っています。
	戸別収集の地域を増やしてほしい。収集場所の確保がむずかしいので、戸別収集がよいと思う。
② 市民の利便性や負担について	ごみ捨て場(ステーション)を自宅横に提供している人の負担がなくなります。
	この数カ月間、戸別収集を試行してみたがごみ捨ての負担が非常に軽減された。
③ 分別／マナー／ルールについて	ごみ出しの時ルールを守らない人がいます。監視カメラ等があると違うのかなと思います。
	指定ごみ袋、企業の徹底、事業用を使用していないところがある。ルールを守ってくれば良い方向にむかうのでは。
④ 収集員の負担が気になる	ごみ回収業者の方の労働力の増加が懸念される点。
	収集職員の負担増加は相当なものです。(特に夏)当地区はステーションの管理は適正であると思います。
⑤ 総合評価など	集積場所が遠い人にとっては、戸別収集は助かると思います。
	戸別収集により、環境美化、子育て支援＝少子化対策、茅ヶ崎市への移住者が増えて氏の繁栄につながる大きな一歩となると思います。

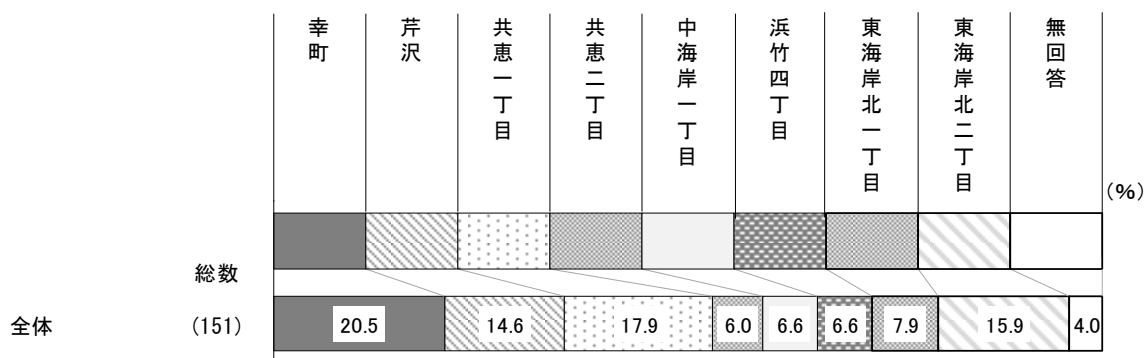
Ⅲ 事業者調査結果

1. 回答者の属性

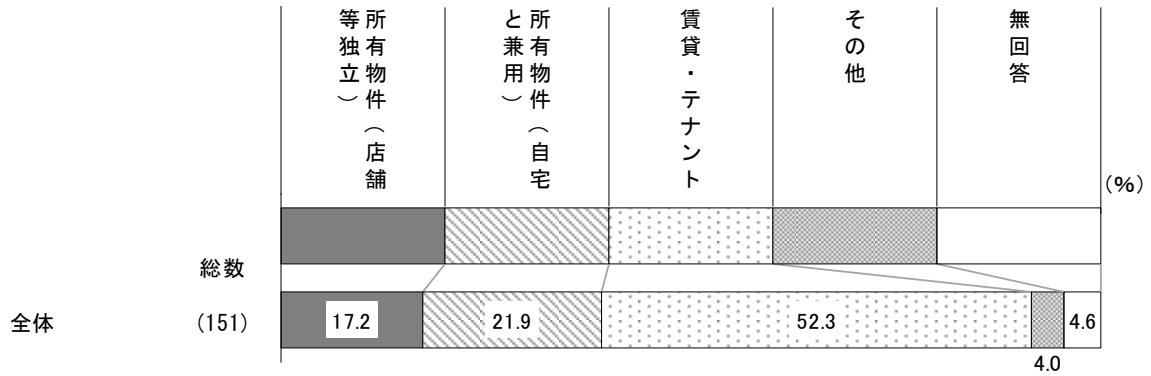
(1) 業種



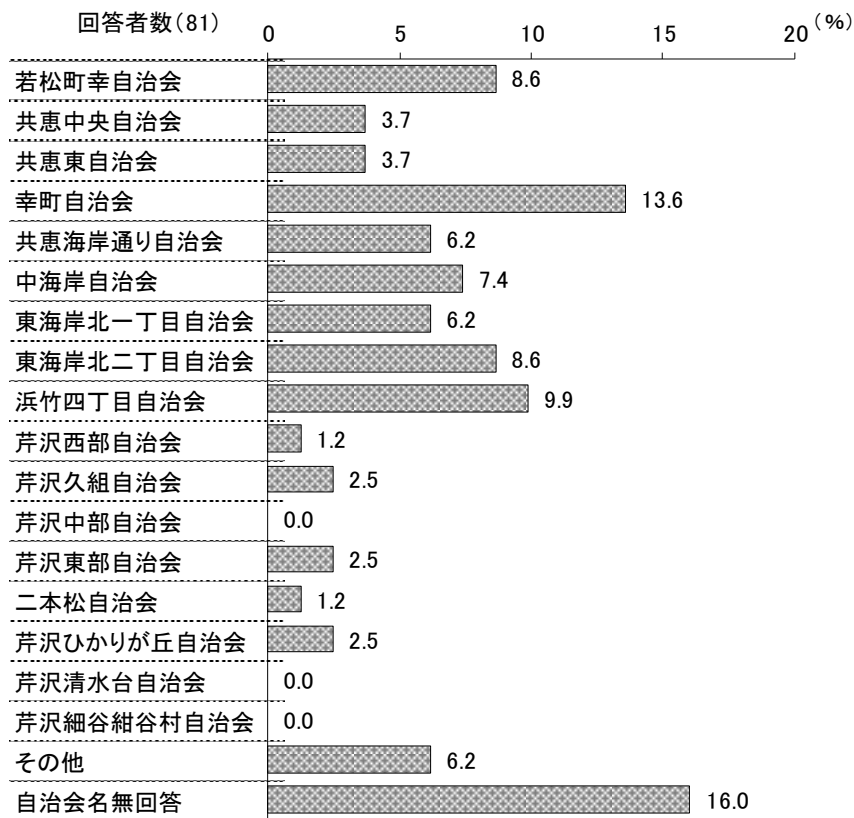
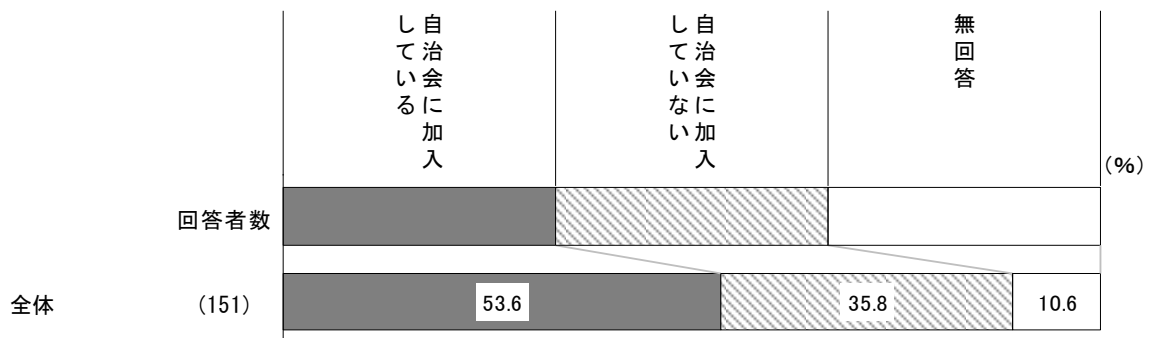
(2) 事業所所在地域



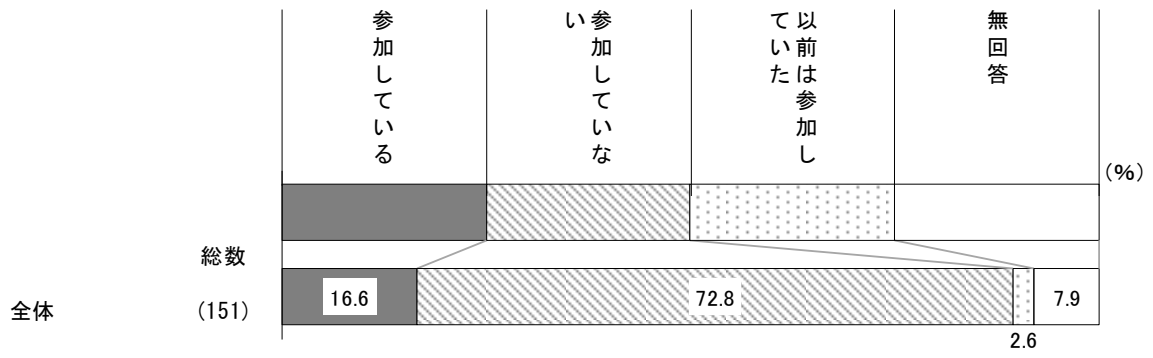
(3) 店舗等の建物形態



(4) 自治会加入状況

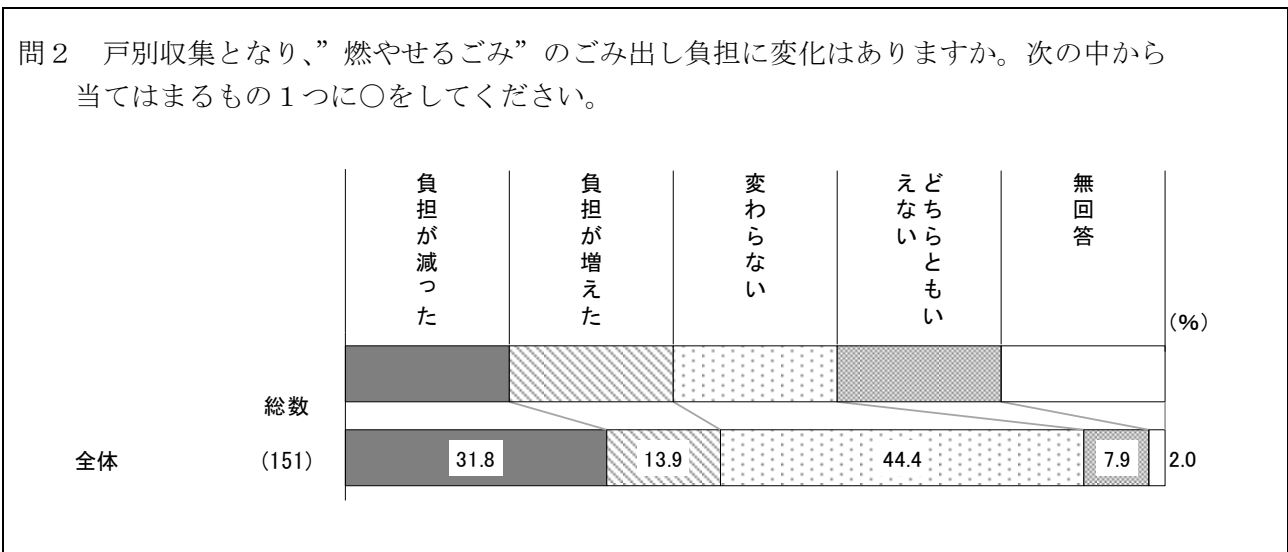


(5) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況



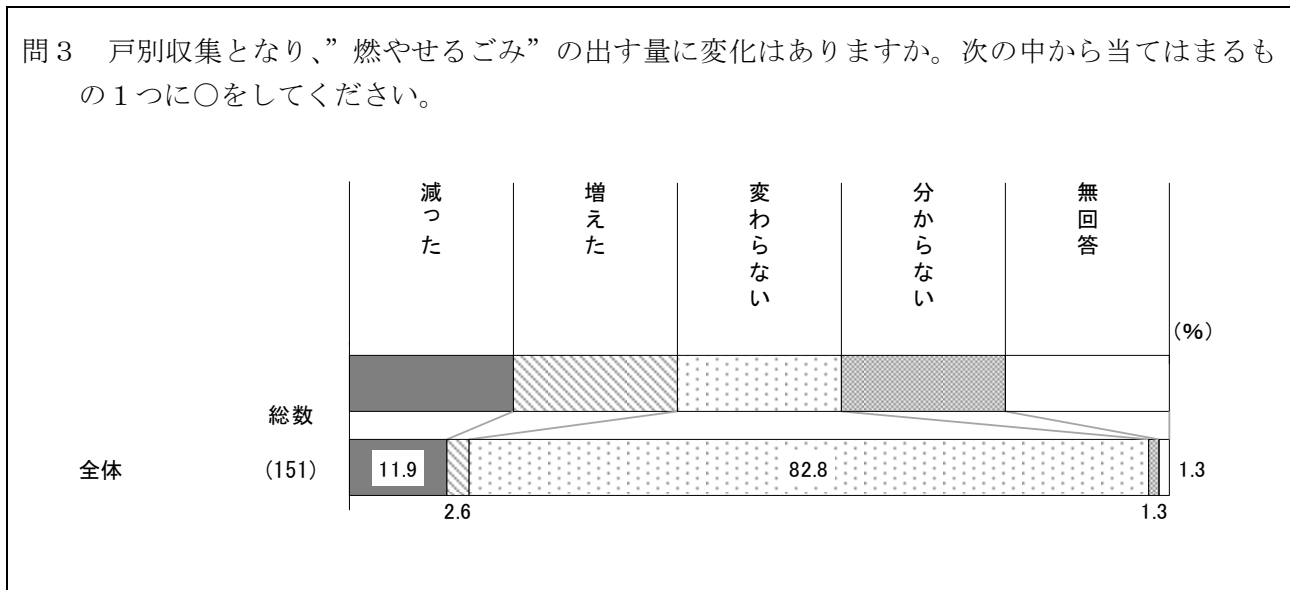
2.”燃やせるごみのごみ出し”について

(1) ごみ出し負担の変化



「燃やせるごみ」のごみ出し負担の変化について聞いたところ、「変わらない」は44.4%「負担が減った」は31.8%、「負担が増えた」が13.9%となっている。

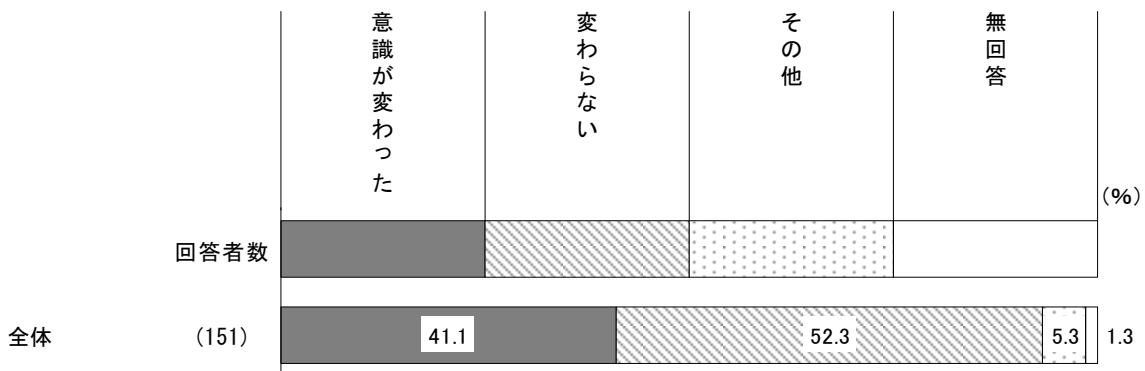
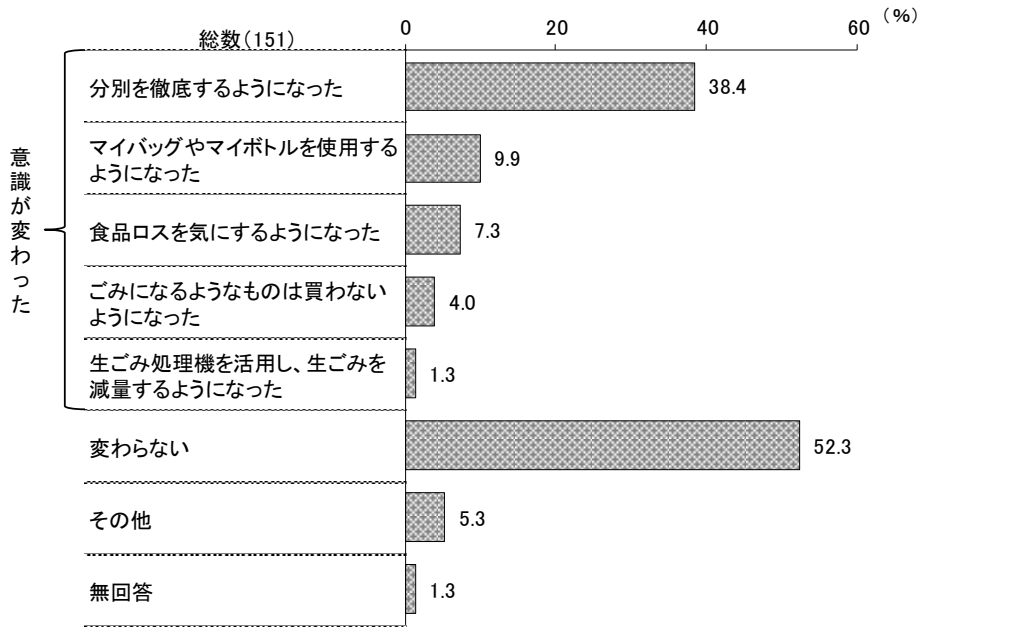
(2) ごみ排出量の変化



戸別収集となったことによる、「燃やせるごみ」の排出量の変化について聞いたところ、「変わらない」は82.8%、「減った」は11.9%、「増えた」は2.6%となっている。

(3) ごみ減量・分別意識の変化

問4 戸別収集となり、「燃やせるごみ」の分別や減量化などに関する意識にどのような変化がありますか。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



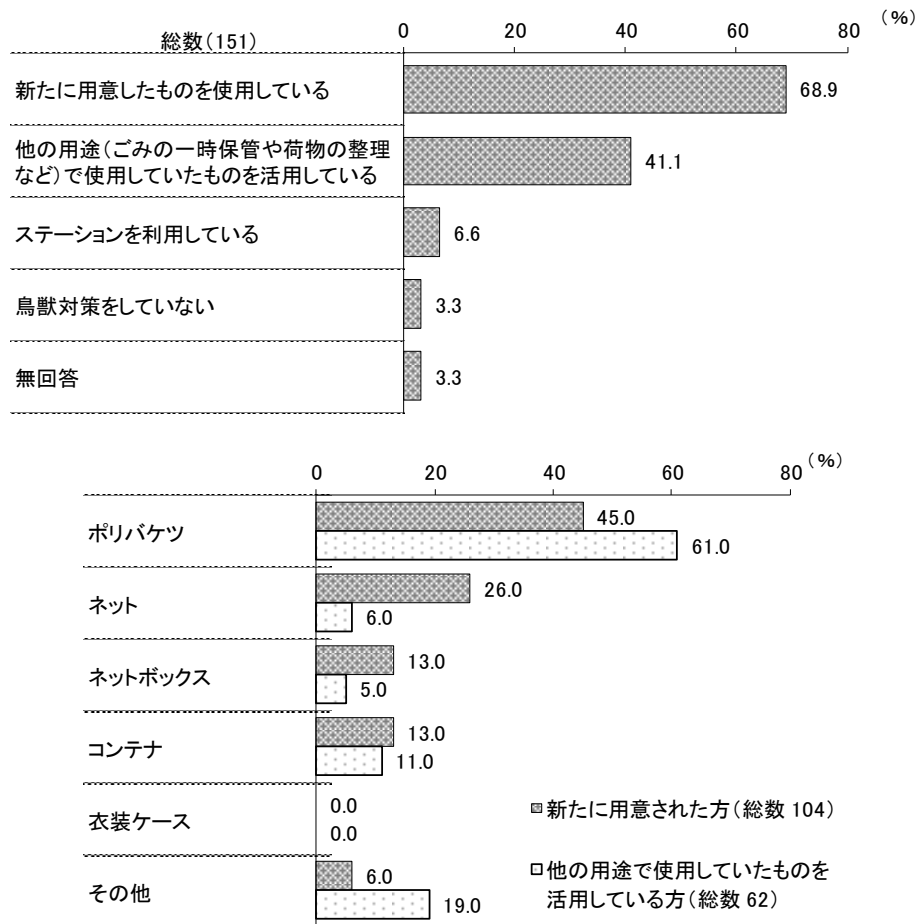
戸別収集となったことによる、ごみの分別や減量化に関する意識の変化について聞いたところ、「変わらない」は52.3%、「意識が変わった」は41.1%となっている。

意識が変わった内容としては、「分別を徹底するようになった」は38.4%、「マイバッグやマイボトルを使用するようになった」は9.9%となっている。

また、その他の意見として「資料はシュレッダーにかけ、資源ごみとして出し、燃えるごみの排出量を減らしている」などがあつた。

(4) 鳥獣対策の方法

問5 「燃やせるごみ」を出す際に取り組まれている鳥獣対策の方法を次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



「燃やせるごみ」を出す際に取り組まれている鳥獣対策について聞いたところ、「新たに用意したものを使用している」は68.9%、「他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用していたものを活用している」は41.1%となっている。

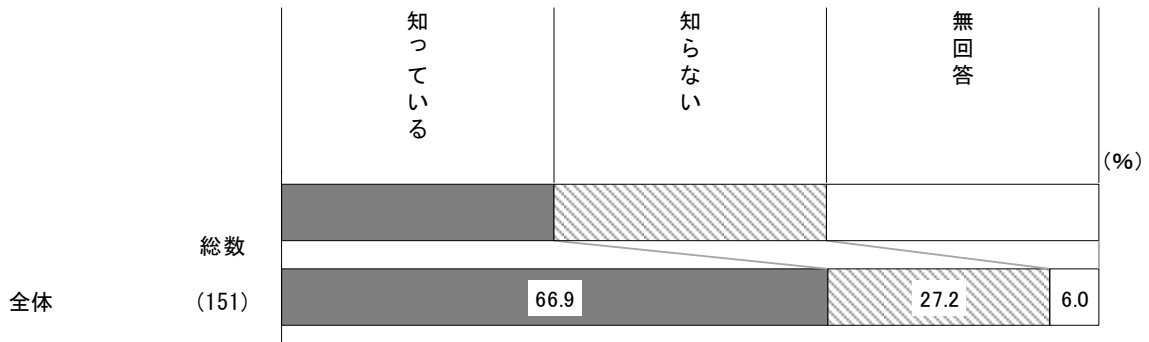
『新たに用意したものを使用している』と回答した方の具体的な対策としては「ポリバケツ」が45.0%、「ネット」が26.0%となっている。また、その他の方法として「ごみ置場」などがあつた。

『他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用していたものを活用している』と回答した方の具体的な対策としては「ポリバケツ」が61.0%、「コンテナ」が11.0%となっている。また、その他の方法として「環境事業センターへの持ち込み」などがあつた。

3. “集積場所（ステーション）の維持管理負担の変化” について

(1) ステーションを起因とする諸問題の認知

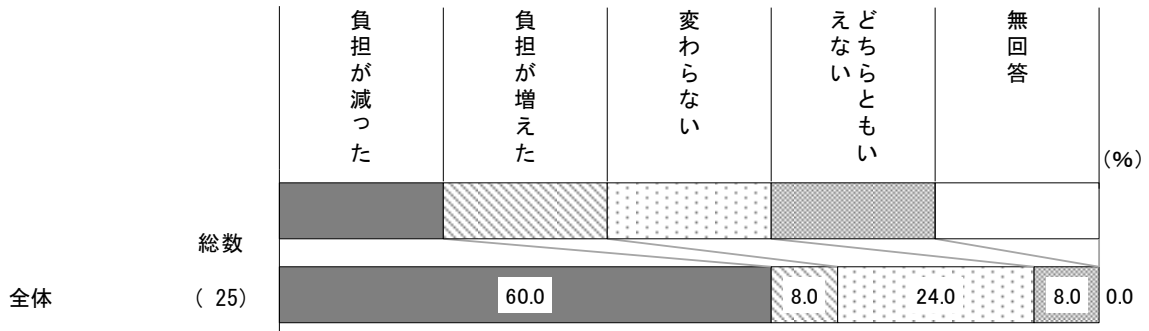
問6 本市は、ステーションを起因とする諸問題を解消していくため、戸別収集の導入を検討しています。現在、市内では次のようなステーションを起因とする諸問題が発生し、その多くが常態化しています。この現状をご存じですか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



ステーションを起因とする諸問題の認知度について聞いたところ、「知っている」は66.9%、「知らない」は27.2%となっている。

(2) ステーションの維持管理負担の変化

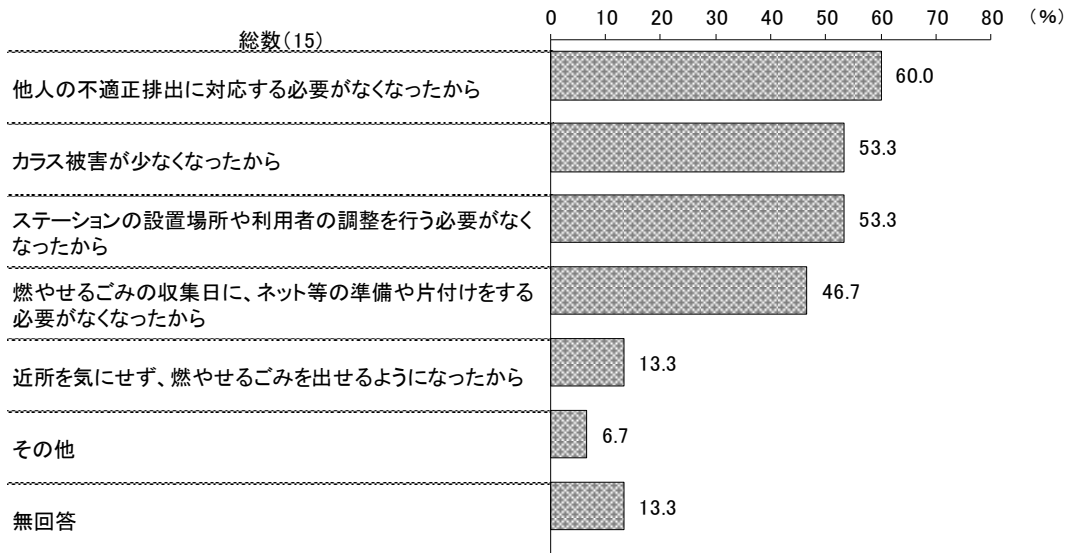
問7 ステーションは、利用者の皆さままで維持管理していただいています。問1で「① 集積場所（ステーション）の清掃当番等に参加している」を選んだ方のみ、燃やせるごみが戸別収集となり、ステーションの維持管理負担に変化はありますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



ステーションの清掃当番等に参加していると回答した方に、維持管理負担の変化について聞いたところ、「負担が減った」は60.0%、「変わらない」は24.0%、「負担が増えた」は8.0%となっている。

(3) ステーションの維持管理負担が減った理由

問8 問7で「① 負担が減った」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



ステーションの維持管理負担の変化で負担が減ったと回答した方にその理由について聞いたところ、「他人の不適正排出に対応する必要がなくなったから」は60.0%、「カラス被害が少なくなったから」と「ステーションの設置場所や利用者の調整を行う必要がなくなったから」はともに53.3%となっている。

また、その他の意見として「毎回、1人でネットの片付けをしていたから」があった。

(4) ステーションの維持管理負担が増えた理由

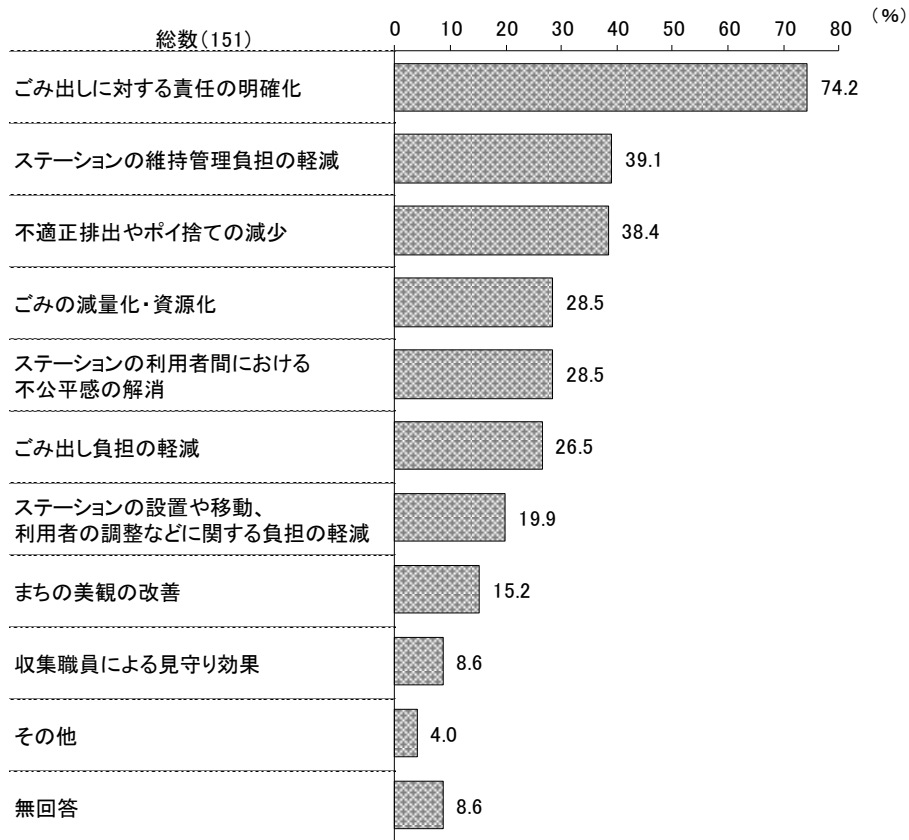
問9 問7で「② 負担が増えた」を選んだ方のみ、どのような時に負担を感じたかお聞かせください。(自由記述)

ステーションの維持管理負担が増えたと回答した方にその理由について聞いたところ、「税金を納めているのにも関わらず、有料であることに疑問がある」といった回答があった。

4. “戸別収集に対するニーズなど” について

(1) 戸別収集のメリット

問10 戸別収集を体験し、戸別収集のメリットであると感じているもの全てに○をしてください。

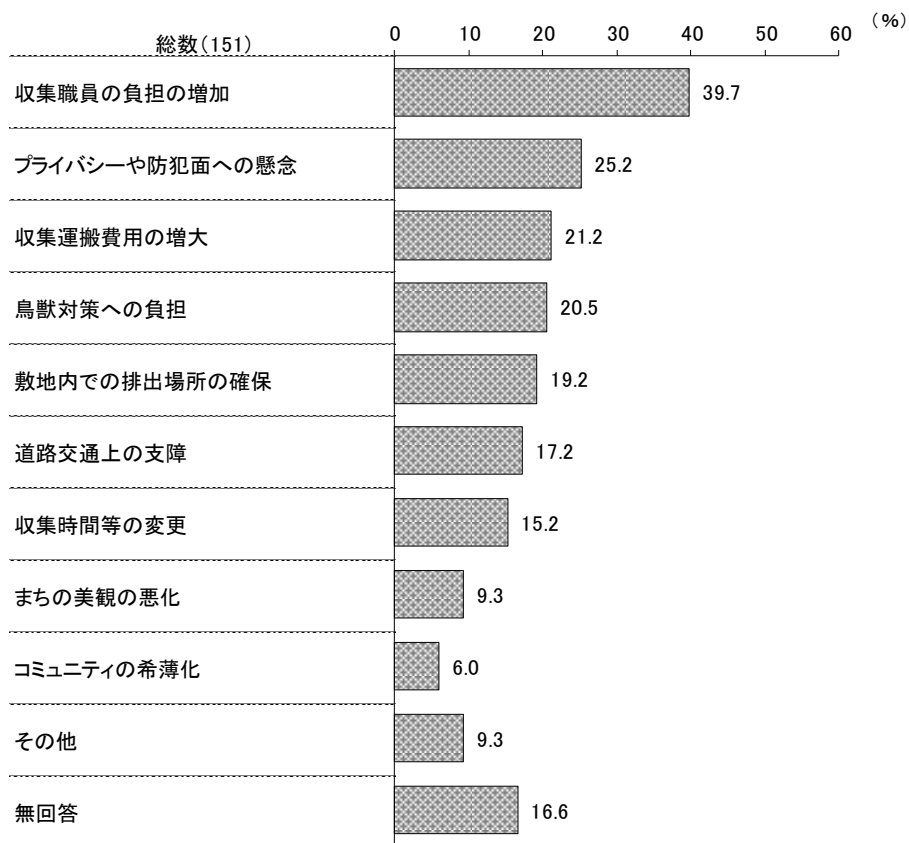


戸別収集のメリットであると感じているものについて聞いたところ、「ごみ出しに対する責任の明確化」は74.2%、「ステーションの維持管理負担の軽減」は39.1%となっている。

また、その他の意見として「メリットはとくに感じてない」などがあつた。

(2) 戸別収集のデメリット

問11 戸別収集を体験し、戸別収集のデメリットであると感じているもの全てに○をしてください。

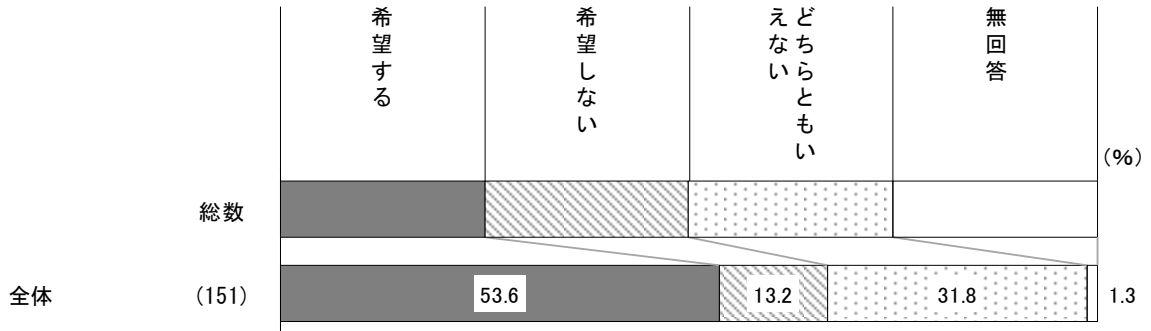


戸別収集のデメリットであると感じているものについて聞いたところ、「収集職員の負担の増加」は39.7%、「プライバシーや防犯面への懸念」は25.2%となっている。

また、その他の意見として「飲酒者による不法ごみ入れ」などがあつた。

(3) 戸別収集の継続意向

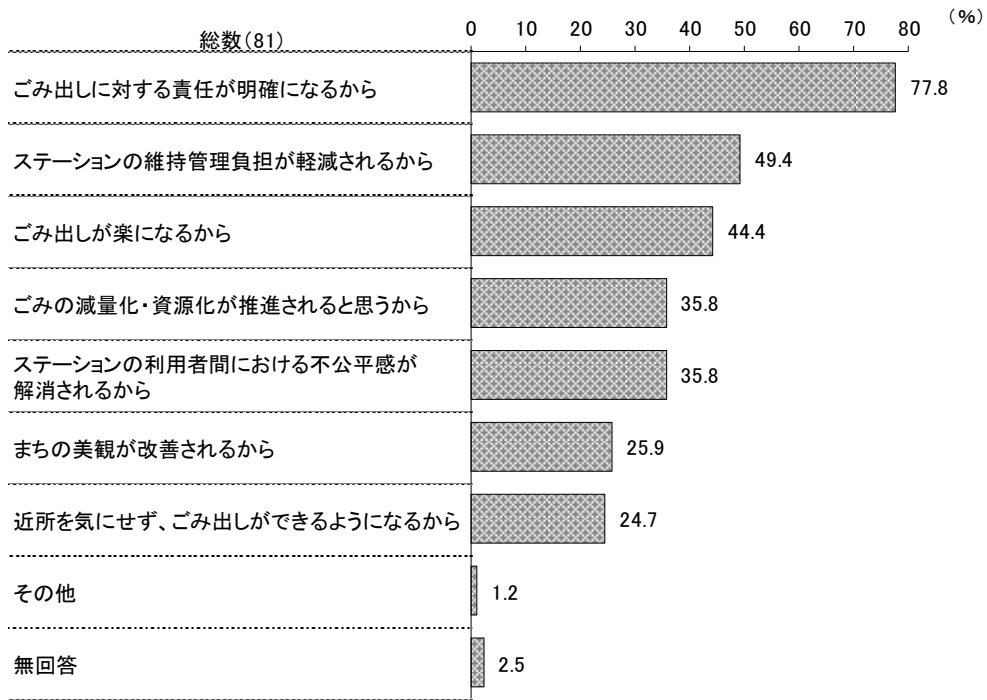
問12 本市は戸別収集を実施し、ステーションを起因とする諸問題を解消させ、持続可能なごみ処理システムの構築を目指しています。本事業の実施期間後も戸別収集の継続を希望しますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



戸別収集の継続意向について聞いたところ、「希望する」は53.6%、「どちらともいえない」は31.8%、「希望しない」は13.2%となっている。

(4) 戸別収集の継続を希望する理由

問13 問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

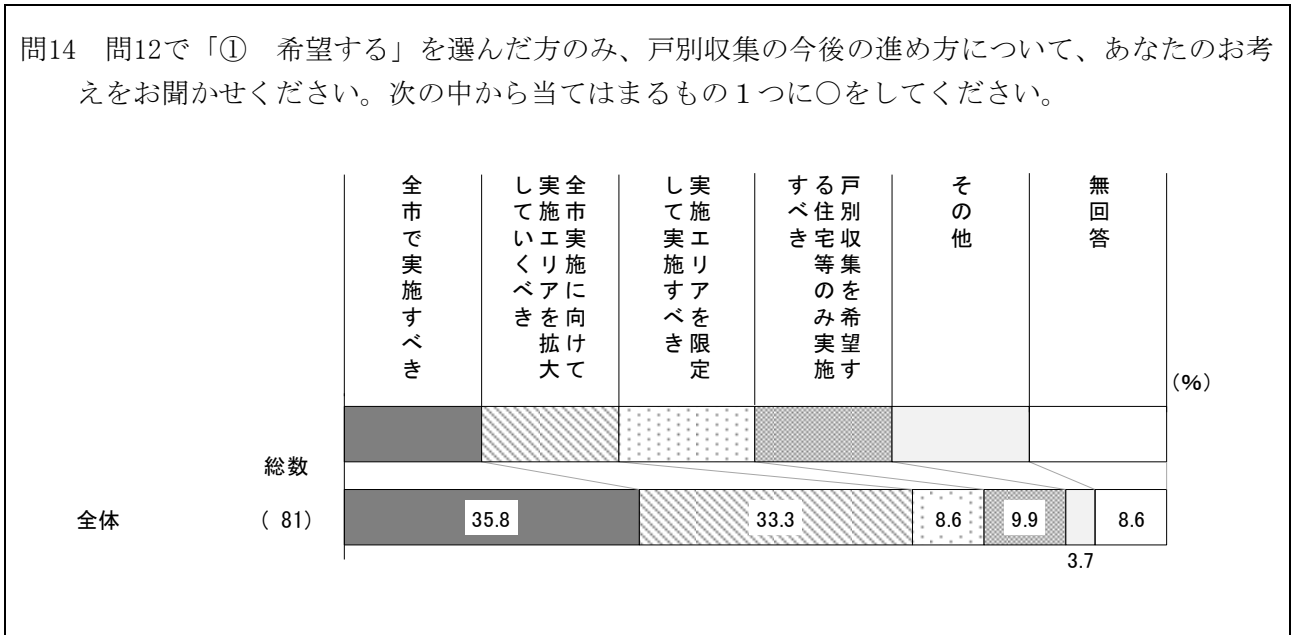


戸別収集の継続意向で希望すると回答した方にその理由について聞いたところ、「ごみ出しに対する責任が明確になるから」は77.8%、「ステーションの維持管理負担が軽減されるから」は49.4%となっている。

また、その他の意見として「家の横が集積場であった為、常にごみに悩まされているから」などがあった。

(5) 戸別収集の進め方

問14 問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集の今後の進め方について、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。

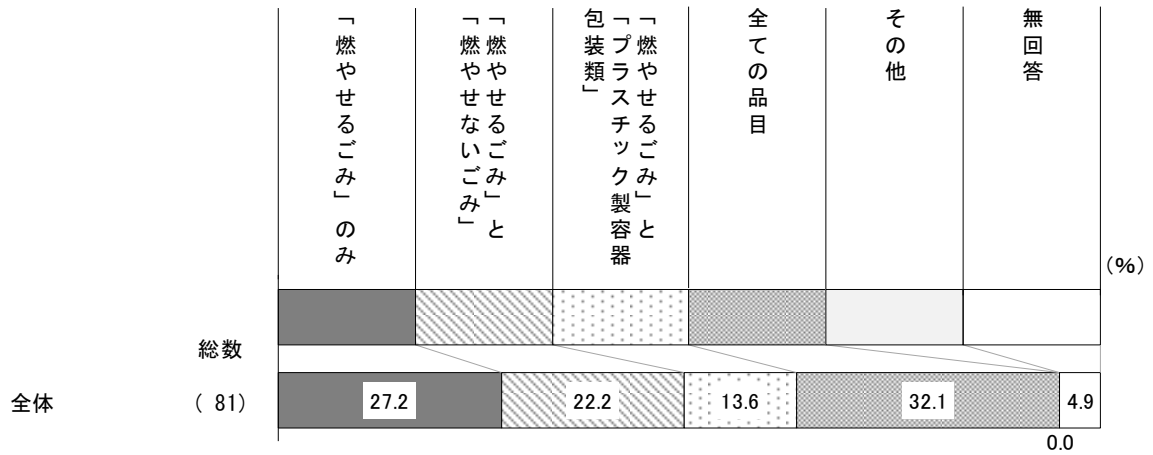


戸別収集の継続意向で希望すると回答した方に今後の戸別収集の進め方について聞いたところ、「全市で実施すべき」は35.8%、「全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき」は33.3%となっている。

また、その他の意見として「不法ごみの多いエリアからやると良い」などがあった。

(6) 戸別収集の対象にすべき品目

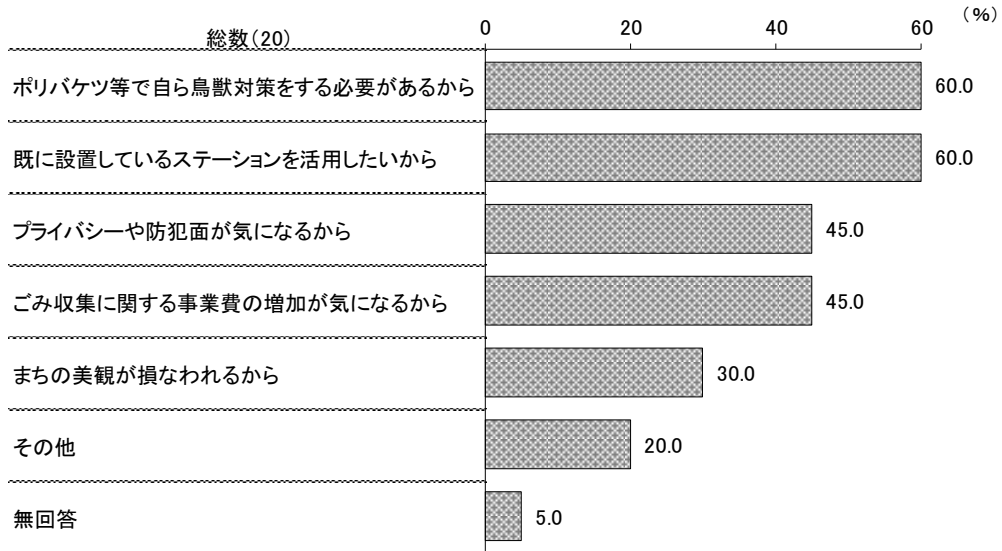
問15 問12で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集をどの品目を対象に実施すべきか、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。



戸別収集の継続意向で希望すると回答した方に戸別収集の対象にすべき品目について聞いたところ、「全ての品目」は32.1%、「燃やせるごみ」のみは27.2%となっている。

(7) 戸別収集の継続を希望しない理由

問16 問12で「② 希望しない」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。



戸別収集の継続意向で希望しないと回答した方にその理由について聞いたところ、「ポリバケツ等で自ら鳥獣対策をする必要があるから」と「既に設置しているステーションを活用したいから」がともに60.0%、「プライバシーや防犯面が気になるから」と「ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから」がともに45.0%となっている。

また、その他の意見として「集合住宅はごみストッカーを使用しており、ルールやマナーを守らない人はそこへ捨てる可能性があるから」があった。

(8) 本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般について気づいた点

問17 最後に、本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般などに対して、お気づきの点等ございましたら、お聞かせください。(自由記述)

本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般について気づいた点を聞いたところ、36事業者(23.8%)から回答が得られた。回答内容を分類ごとに取りまとめ、意見の多いテーマ5件を次のとおり抜粋した。

分類	内容
① 分別/マナー/ルールについて	ひどい所はとなりのアパートのごみ入れに入れている。
	事業をしている方々が緑色の袋でごみ出しをしていないのを多く見られる。
② 排出や収集の運用/事業のルールについて	駅の周辺は生ごみ回収を3回にしてもらえると良いです。
	テナントビルに入居している事業者ですが、収集場所が不明確なため同テナント内の他事業者さまとごみ出しルールについてトラブルになるリスクがある。
③ 市民の利便性や負担について	家庭用ごみ袋・事業者用ごみ袋の値段が高い。
	事業所の場合、袋が高い。そのくせ1枚40リットル分しか出せないのはいかなものか? 検討してほしい。
④ 収集員の負担が気になる	夏の暑い中収集する方が、大変で気の毒の様に思いました。
	収集してくださる方々は夏の暑い時など、戸別の収集は大変だったと思います。
⑤ 品目や地域の拡大/事業の推進/継続について	自宅のごみ集積場所のごみ出しルールを守らない人が多いのでぜひエリアを拡大してほしいです。
	月に一袋まで等の制限付きでも良いので、個人事業者の資源ごみ(プラスチック、ペットボトル等)の回収を希望します。

IV 調査票

戸別収集実験事業アンケート調査票

戸別収集実験事業にご協力いただいている皆さまへ



あなたの**5分**が

茅ヶ崎のごみ収集の未来をつくる

市内 8 つのエリアの皆さまに、戸別収集実験事業（以下、「本事業」という。）の実施にご理解ご協力をいただき、戸別収集を体験していただきました。この度、本事業の検証を行うにあたりアンケート調査を実施いたします。5分程度で回答いただけるアンケート調査となりますので、率直なご意見をお寄せください。

皆さまの体験をもとにしたご意見を反映しつつ、皆さまと共に、本市にふさわしい「戸別収集のあり方」を検討してまいります。回答にご協力をお願いいたします。



令和 7 年 10 月 1 日 茅ヶ崎市長 佐藤 光

戸別収集実験事業アンケート調査の回答方法

回答期限：令和 7 年 10 月 15 日 水まで

回答方法：インターネットで回答または、この調査票に回答を記入し郵送回答

▶ インターネットで回答する場合



- ・ 左記の二次元コードから回答フォームにアクセスしていただき、令和 7 年 10 月 15 日 水までにご回答ください。
- ・ 令和 7 年 10 月 16 日 木以降は、回答フォームにアクセスすることはできません。
- ・ 回答は、1 回のみ行ってください。
- ・ 市ホームページから「戸別収集実験事業アンケート調査」と検索していただき、回答フォームにアクセスすることも可能です。

▶ 郵送回答する場合

- ・ この調査票に回答を記入してください。
- ・ 同封している返信用封筒に、回答を記入していただいた調査票を入れ、令和 7 年 10 月 15 日 水 必着でポストに投函してください。

問い合わせ先

茅ヶ崎市環境部資源循環課資源循環担当

TEL : 0467-81-7178

FAX : 0467-57-8388

E-Mail : shigen@city.chigasaki.kanagawa.jp

問 1 ご回答者について、次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。

市民の方

封筒の宛名に個人名が記載されている方は、次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。
宛名に記載されている方または、ご家庭でまにまにゴミ出しをされている方がご回答ください。

(1) 年齢	① 10歳代 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳代 ⑦ 70歳代 ⑧ 80歳以上
(2) 世帯構成	① 単身世帯 ② カップル・夫婦のみ世帯 ③ 子育て世帯（未就学児がいる） ④ 二世帯同居世帯 ⑤ 三世帯同居世帯 ⑥ 兄弟姉妹など親族同居世帯 ⑦ その他（ ）
(3) 居住地域	① 幸町 ② 芹沢 ③ 共恵一丁目 ④ 共恵二丁目 ⑤ 中海岸一丁目 ⑥ 浜竹四丁目 ⑦ 東海岸北一丁目 ⑧ 東海岸北二丁目
(4) 住居形態	① 戸建て住宅 ② 8戸未満の共同住宅（アパート・マンションなど） ③ 8戸以上の共同住宅（アパート・マンションなど） ④ 店舗等併用住宅 ⑤ その他（ ）
(5) 自治会加入状況	① （ ）自治会）に加入している ② 加入していない
(6) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況	① 参加している ② 参加していない ③ 以前は参加していた

事業者の方

封筒の宛名に店鋪名等が記載されている方は、次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。
店鋪名の責任者がご回答ください。

(1) 業種	① 農林水産業 ② 建設業 ③ 製造業 ④ 情報通信業 ⑤ 電気・ガス・熱供給・水道業 ⑥ 運輸業 ⑦ 卸売・小売業 ⑧ 金融・保険業 ⑨ 不動産業 ⑩ 飲食店・宿泊業 ⑪ 医療・福祉 ⑫ 教育・学習支援業 ⑬ サービス業 ⑭ その他（ ） ※ 兼業の場合、売上げの割合が高いものを選んでください。
(2) 事業所所在地	① 幸町 ② 芹沢 ③ 共恵一丁目 ④ 共恵二丁目 ⑤ 中海岸一丁目 ⑥ 浜竹四丁目 ⑦ 東海岸北一丁目 ⑧ 東海岸北二丁目
(3) 店舗等の建物形態	① 所有物件（店舗等独立） ② 所有物件（自宅と兼用） ③ 賃貸・テナント ④ その他（ ）
(4) 自治会加入状況	① （ ）自治会）に加入している ② 加入していない
(5) 集積場所（ステーション）の清掃当番等の参加状況	① 参加している ② 参加していない ③ 以前は参加していた

以降の間は、 市民の方 事業者の方 共通の間です。

“燃やせるごみのごみ出し”についてお伺いします。

問2 戸別収集となり、“燃やせるごみ”のごみ出し負担に変化はありますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。

- ① 負担が減った ② 負担が増えた ③ 変わらない ④ どちらともいえない

問3 戸別収集となり、“燃やせるごみ”の出す量に変化はありますか。次の中から当てはまるもの1つに○をしてください。

- ① 減った ② 増えた ③ 変わらない ④ 分からない

問4 戸別収集となり、“燃やせるごみ”の分別や減量などに関する意識にどのような変化がありますか。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

- ① 生ごみ処理機を活用し、生ごみを減量するようになった ② 分別を徹底するようになった
③ マイバッグやマイボトルを使用するようになった ④ ごみになるようなものは買わないようになった
⑤ 食品ロスを気にするようになった ⑥ 変わらない
⑦ その他 ()

問5 “燃やせるごみ”を出す際に取り組まれている鳥獣対策の方法を次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

【新たに用意された方】は、次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

- ① ポリバケツ ② ネット ③ ネットボックス ④ コンテナ ⑤ 衣装ケース
⑥ その他 ()

【他の用途（ごみの一時保管や荷物の整理など）で使用していたものを活用している方】は、次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

- ⑦ ポリバケツ ⑧ ネット ⑨ ネットボックス ⑩ コンテナ ⑪ 衣装ケース
⑫ その他 ()
⑬ ステーションを利用している ⑭ 鳥獣対策をしていない

問 14 問 12 で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集の今後の進め方について、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から当てはまるもの 1 つ○をしてください。

- ① 全市で実施すべき ② 全市実施に向けて実施エリアを拡大していくべき
③ 実施エリアを限定して実施すべき ④ 戸別収集を希望する住宅等のみ実施すべき
⑤ その他 ()

問 15 問 12 で「① 希望する」を選んだ方のみ、戸別収集をどの品目を対象に実施すべきか、あなたのお考えをお聞かせください。次の中から当てはまるもの 1 つ○をしてください。

- ① 「燃やせるごみ」のみ ② 「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」
③ 「燃やせるごみ」と「プラスチック製容器包装類」 ④ 全ての品目
⑤ その他 ()

問 16 問 12 で「② 希望しない」を選んだ方のみ、その理由をお聞かせください。次の中から当てはまるもの全てに○をしてください。

- ① プライバシーや防犯面が気になるから ② ポリバケツ等で自ら鳥獣対策をする必要があるから
③ 既に設置しているステーションを活用したいから ④ まちの美観が損なわれるから
⑤ ごみ収集に関する事業費の増加が気になるから
⑥ その他 ()

最後に、本事業や戸別収集導入検討に関する事業全般などに対して、お気づきの点等ございましたら、お聞かせください。(自由記述)

自由記述欄

アンケート調査は以上で終わりです。ご協力いただきありがとうございました。記入漏れがないかお確かめのうえ、令和 7 年 10 月 15 日(水)までに回答くださるようお願いいたします。
引き続き本事業の実施にご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



戸別収集実験事業アンケート調査 報告書

令和8年2月

調査主体 茅ヶ崎市役所 環境部 資源循環課

〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市一丁目1番1号

電話 0467-81-7178 FAX 0467-57-8388

調査機関 株式会社CCNグループ